

令和 5 年度

事業報告書

令和 5 年度

事業報告書

社会福祉法人 桜谷福祉会

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取り組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《目標》

- ① 法人・各事業所組織の活性化・経営基盤の強化
- ② 第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定
- ③ 地域貢献に向けた事業実践
- ④ 児童福祉施設の経営・運営改善
- ⑤ 人材確保・養成等福祉マンパワー対策の強化
- ⑥ 新規施設整備事業の積極的展開
- ⑦ 特別養護老人ホーム桜谷荘の移転整備事業

本年度は、法人は昭和 54 年 5 月 28 日付にて厚生大臣の認可を得て発足以来第 44 年度となり、特別養護老人ホーム桜谷荘は昭和 55 年 5 月 8 日の開設以来第 43 年度、桜谷荘ショートステイ事業所は昭和 59 年 4 月 1 日の事業開始以来第 40 年度、デイサービスセンターやすらぎ・認知症対応型デイサービスセンターやすらぎは平成 9 年 4 月 1 日の開設以来第 27 年度、在宅介護支援センターやすらぎは平成 10 年 4 月 1 日の開設以来第 26 年度、やすらぎ居宅介護支援事業所は平成 12 年 4 月 1 日の開設以来第 24 年度、くるみ保育園（設置認可：平成 21 年 5 月 1 日付兵庫県指令児第 70 号）は昭和 56 年 4 月 1 日の開設以来第 42 年度、幼保連携型認定こども園石屋川くるみ保育園は平成 16 年 4 月 1 日の開設以来第 20 年度、児童養護施設さくらこども学園は平成 22 年 4 月 1 日の開設以来第 14 年度、幼保連携型認定こども園神戸さくら保育園は平成 25 年 4 月 1 日の開設以来第 11 年度、幼保連携型認定こども園西宮セリジェ保育園は平成 26 年 4 月 1 日の開設以来第 10 年度、西北セリジェ保育園は平成 27 年 4 月 1 日の開設以来第 9 年度、尼崎さくら保育園は平成 27 年 4 月 1 日尼崎市からの民間移管以来第 9 年度、さくらルームは平成 28 年 4 月 1 日西宮市からの委託契約を受託以来第 8 年度、特別養護老人ホーム桜ホーム西神（ユニット型定員：80 名）及び地域密着型特別養護老人ホーム桜ホーム西神（多床室定員：20 名）は令和 2 年 4 月 1 日の開設以来第 4 年度、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくは令和 2 年 5 月 1 日の開設以来第 4 年度、桜ホーム西神診療所は令和 4 年 4 月 1 日の開設以来第 2 年度を迎えることができた。

当法人は優れた役員構成で組織され、法人・各施設の経営及び運営は、理事会が執行機関としてそれらの業務等を執行し、評議員会が議決機関として意思決定することにより、当法人の基本理念に基づき、「法人・各事業所組織の活性化・経営基盤の強化」、「第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定」、「地域貢献に向けた事業実践」、「児童福祉施設の経営・運営改善」、「人材確保・養成等福祉マンパワー対策の強化」、「新規施設整備事業の積極的展開」、「特別養護老人ホーム桜谷荘の移転整備事業」等を目指して法人経営・運営を行った。

一方、本年度は新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策の強化、頻発する災害などを想定した業務継続の取組み、高齢者虐待の防止推進及び認知症対応等が、いずれも 3 年の経過措置期間の最終年度であるため、BCP（業務継続計画）等を策定することができた。

また、NPO 法人「いろは」より、令和 6 年 4 月 1 日付にて当法人に事業譲渡される放課後等デイサービス「てとて」（定員：10 名）について、NPO 法人「いろは」が当法人に本事業を事業譲渡することについて令和 6 年 2 月 10 日付にて開催する理事会及び社員総会にて承認されたので、令和 6 年 2 月 20 日付にて事業譲渡契約書の締結を行い、放課後等デイサービス「ブルームひめじ」（定員：10 名）を開設するにあたり、児童福祉法第 35 条第 4 項及び同法施行規則第 37 条第 3 項に基づき、兵庫県へ放課後等デイサービス「ブルームひめじ」（定員：10 名）の設置認可申請書を令和 6 年 3 月 22 日付桜谷福発第 267 号にて姫路市長あて申請書を提出し、令和 6 年 3 月 29 日付姫路市指令福監第 329223 号にて放課後等デイサービス「ブルームひめじ」（定員：10 名）の設置認可書を受領したので、令和 6 年 4 月 1 日付にて開設することとなった。

また、昨年度に引続き、新型コロナウイルスに対する感染予防対策に力を入れてきたが、残念なことに特別養護老人ホーム桜谷荘は【感染拡大期間：令和 5 年 6 月 8 日～6 月 29 日、陽性者：入所者 12 名・職員 6 名】の状況となり、クラスター化してしまったことで、その間の入所者確保を短期入所生活介護の利用者の中からは行っていうえ、減少した短期入所生活介護の新規利用者確保が思うようにはいかなかったこと等により、年間ベッド稼働率が激減したことにより、予算達成することはできなかった。また、特別養護老人ホーム桜ホーム西神は 1 回目【感染拡大期間：令和 5 年 7 月 10 日～8 月 25 日、陽性者：入所者 1 名・職員 6 名】、2 回目【感染拡大期間：令和 6 年 1 月 13 日～2 月 22 日、陽性者：入所者 19 名・職員 13 名】の状況であったが、常勤医師を配置していたこともあり、診療所にて適切な治療をすることで、入所者については重症化することがなかったため、年間ベッド稼働率への影響は最小限にとどめることができた。また、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくは【感染拡大期間：令和 5 年 7 月 18 日～8 月 6 日、陽性者：利用者 3 名・職員 2 名】の状況となり、クラスター化してしまったことで、利用者による利用控えのうえ、新規利用者確保についても思うようにはいかなかったため、年間稼働率が激減したことにより、予算達成することはできなかった。

また、当法人は法人設立当初より人材育成を最重要項目として取り組んできたが、昨年度の「不適切ケア」の事象を踏ま

え、全事業所に対し「人権擁護について」をテーマに本年度事業計画の重点項目として取組んだが、再発防止に向けての議論が不十分であったので、来年度も引続き全事業所に対し「人権擁護について」をテーマに令和6年度事業計画の重点項目として取組むことを指示した。

また、昨年度に引続き、特別養護老人ホーム桜谷荘（定員；85名）、桜谷荘ショートステイ事業所（定員；10名）等の移転に関する検討委員会を進めてきたが、移転先として検討している関西福祉大学北側の約27,000㎡の土地は、1級農地のため、農地転用が非常に困難であるとの見解が出たが、当法人が今回の移転計画を実現させるためには、この場所では考えられないため、赤穂市の当地区の農業振興地域の線引き及び都市計画（令和6・7年度）の見直しに合わせ、より一層赤穂市と連携することで本計画を実現させたい。

また、人材確保の一環として、当法人が経営する事業所に就職することを選んでくれたことに対する感謝及び職員として働きやすく・大切にしてくれる・働き甲斐のある法人・事業所であることをアナウンスするため令和6年3月の学卒者を対象とした内定式を令和6年2月11日（日）11：00～14：00メリケンパークオリエンタルホテルにて内定者18名（特養・桜谷荘：1名、デイ・やすらぎ：1名、保育部門：14名、特養・櫻ホーム西神：1名、ブルーメひめじ：1名）参加で行った。

こうした状況を踏まえ、当法人は基本理念である「①公益的事業の積極的取り組み、②人権を擁護する、③発達支援・自立支援に向けたサービスの確立、④医療・教育・福祉の連携強化、⑤地域社会との共生」を旨とし、高齢者福祉・介護、児童福祉に関することはもとより在宅・施設福祉の拠点としての役割を果たし、その社会的要請に応えることができた。

1 会議

当法人の組織運営のため、次の会議を行った。

① 理事会（年7回）

当法人・各施設運営の業務執行機関として、理事の職務の執行の監督、事業報告・決算の承認、事業計画・予算等を議決するため、以下の会議を行った。

会議名 開催日時	開催場所 議長・署名人	協議事項
第208回理事会 R.5.6.9（金） 15：00～18：40 (議長) 花房八重美理事長 (署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事	特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)	1. 令和4年度法人・各事業所の事業報告書案承認の件 2. 令和4年度決算書案承認の件 3. 令和4年度会計監査人の会計監査報告書案承認の件 (監事監査報告) 4. 令和4年度末における社会福祉充実残額の確定案承認の件 5. 任期満了に伴う理事・監事の選任候補者の推薦案承認の件 6. 任期満了に伴う会計監査人の選任候補者の推薦案承認の件 7. 第7回定時評議員会の招集及び議案提案承認の件 《報告事項》 1) 令和4年度監事等決算報告について 2) 令和4年度社会福祉施設に対する指導・監査の結果報告について ① ア) 特別養護老人ホーム桜谷荘、イ) 桜谷荘ショートステイ事業所 ② ア) 児童養護施設さくらこども学園 3) 令和4年度兵庫県福祉サービス第三者評価受審結果報告について ① 尼崎さくら保育園 ② 西北セリジェ保育園 ③ 認知症対応型デイサービスセンターさくらさく ④ 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神 4) 前期末支払資金残高（繰越金）の取崩額の確定について 5) 桜谷福祉会第4期経営5か年計画（4年目）の結果報告について 6) 寄附金の受入れ状況について（令和5年2月1日～3月31日） 7) 令和4年度沿革簿保存について 8) 職員の異動・採用・退職者について 9) 各事業所の概況報告について（令和5年6月1日現在） 10) その他
第209回理事会 R.5.6.26（月） 18：30～19：00 (議長) 花房八重美理事長 (署名人) 絹田美由紀 小椎尾竹信 山本 雅史 小倉 毅 世良 日一監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事	特養・桜谷荘 (地域交流ホーム) 花房 幸一 中河 篤司 島田 裕弘 小寺 弘之監事	1. 理事長の選任案承認の件 2. 副理事長の選任案承認の件 3. 専務理事の選任案承認の件

<p>第 210 回理事会 R. 5. 8.21 (月) 16:00~18:15</p> <p>(議長) 花房八重美理事長 (署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 令和 5 年度法人・各事業所の事業計画 1/4 半期進捗状況案承認の件 2. 令和 5 年度各拠点区分第 1 次補正予算書案承認の件</p> <p>《報告事項》</p> <p>1) 職員の異動・採用・退職者について 2) 寄附金の受入れ状況について (令和 5 年 4 月 1 日~7 月 31 日) 3) 各事業所の概況報告について (令和 5 年 8 月 1 日現在) 4) その他</p>
<p>第 211 回理事会 R.5.9.25 (月) 16:30~17:55</p> <p>(議長) 花房八重美理事長 (署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 特別養護老人ホーム桜谷荘等の移転に伴う大規模開発に係る開発業者の選定案承認の件 2. 特別養護老人ホーム桜谷荘の全面建替え事業及び新規事業に係る基本設計に関する委託業者の選定案承認の件 3. 特別養護老人ホーム桜谷荘移転に伴う大規模開発及び基本設計に係る費用に対する資金計画案承認の件 4. 特別養護老人ホーム桜谷荘移転に伴う大規模開発及び基本設計等に関する財源確保に伴う特別養護老人ホーム桜谷荘の施設・整備積立金の取崩し案承認の件 5. 第 7 回臨時評議員会の招集及び議案提案承認の件</p> <p>《報告事項》</p> <p>1) 職員の採用・退職者について 2) 各事業所の概況報告について (令和 5 年 9 月 1 日現在) 3) その他</p>
<p>第 212 回理事会 R.5.12.16 (土) 15:30~18:20</p> <p>(議長) 花房八重美理事長 (署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 令和 5 年度法人・各事業所の事業計画 2/4 半期進捗状況案承認の件 2. 令和 5 年度各拠点区分第 2 次補正予算案承認の件 3. NPO 法人いろはの実施事業である放課後等デイサービスとて (定員: 10 名) の事業譲受に向けた基本合意書の締結案承認の件 4. 管理者の任免案承認の件 ① やすらぎ居宅介護支援事業所の木本管理者の異動について ② やすらぎ居宅介護支援事業所の後任管理者の任命について 5. やすらぎ居宅介護支援事業所職員の異動に伴う苦情解決責任者及び苦情受付担当者の補充選任案承認の件 6. やすらぎ居宅介護支援事業所管理者の変更及び職員の異動に伴う重要事項説明書の一部改正案承認の件</p> <p>《報告事項》</p> <p>1) 令和 5 年度監事定期監査の結果報告について 2) 令和 5 年度社会福祉法人指導監査の結果報告について ① 社会福祉法人桜谷福祉会 法人本部 3) 特養・桜谷荘等の移転に伴う大和ハウス工業株式会社との大規模開発に関する請書の締結について 4) 特養・桜谷荘等の移転に伴う有限会社深谷設計との基本設計に関する業務委託契約の締結について 5) 職員の異動・採用・退職者について 6) 各事業所の概況報告について (令和 5 年 12 月 1 日現在) 7) その他</p>
<p>第 213 回理事会 R.6.2.3 (土) 16:00~18:10</p> <p>(議長) 花房八重美理事長</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 放課後等デイサービス「てとて」(定員: 10 名) の事業譲受案承認の件 2. 放課後等デイサービス「てとて」(定員: 10 名) の名称変更及び令和 6 年度・7 年度事業計画案並びに収支予算案承認の件 3. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」の管理者の任命案承認の件 4. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」の事業開設に伴う運営規程・利用契約書・重要事項説明書の策定案承認の件 5. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員: 10 名) の設置認可申請案承認の件 6. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員: 10 名) の事業開設に伴う公印規程別表及び様式 1 の一部改正案承認の件 7. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員: 10 名) の事業開設に伴う諸規程の一部改正案承認の件 ① 就業規則 (正規・契約・パート職員) 別表 1 (勤務の始終時刻) の一部改正案 ② 給与規程 (正規・パート職員) の一部改正案及び本規程の (契約・パート職員) 別表 1 (基本給表) の一部改正案 ③ 経理規程別表 1 (会計の区分一覧) 及び勘定科目一覧別表 2 (貸借対照表・事業活動計算書・資金収支計算書勘定科目一覧) の一部改正案 8. 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員: 10 名) の事業開設に伴う第三者委員の選任案承認の件 9. 放課後等デイサービスの事業譲渡契約書の締結案承認の件 10. 定款の一部改正案承認の件</p>

(署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事 (欠席者職氏名) 山本 雅史理事		11. 第8回臨時評議員会の招集及び議案提案承認の件 <<報告事項>> 1) 近畿厚生局及び兵庫県による社会保険医療担当者の新規個別指導について ① 櫻ホーム西神診療所 2) 職員の採用・退職者について 3) 各事業所の概況報告について(令和6年1月1日現在) 4) その他
第214回理事会 R.6.3.20(土) 13:30~18:05 (議長) 花房八重美理事長 (署名人) 世良 日一監事 小寺 弘之監事 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事	特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)	1. 令和5年度法人・各事業所の事業計画3/4半期進捗状況案承認の件 2. 令和5年度各拠点区分第3次補正予算案承認の件 3. 前期末支払資金残高(繰越金)の取崩し案承認の件 4. 令和6年度法人・各事業所の事業計画案承認の件 5. 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正に関する第9回臨時評議員会への議案提案承認の件 6. 理事長・副理事長及び専務理事の令和6年度の報酬額の決定に関する第9回臨時評議員会への議案提案承認の件 7. 櫻ホーム西神診療所の管理医師の任免案承認の件 ① 櫻ホーム西神診療所の桑島所長の退任について ② 櫻ホーム西神診療所所長の後任所長の任命について 8. 施設長及び副施設長の任免案承認の件 ① 特別養護老人ホーム桜谷荘施設長の異動に伴う後任施設長の任命について ② 幼保連携型認定こども園石屋川くるみ保育園園長の異動に伴う後任園長の任命について ③ 幼保連携型認定こども園神戸さくら保育園園長の異動に伴う後任園長の任命について ④ 西北セリジェ保育園園長の退任に伴う後任園長の任命について ⑤ 特別養護老人ホーム桜谷荘の副施設長の任命について ⑥ 幼保連携型認定こども園西宮セリジェ保育園の副園長の任命について ⑦ 児童養護施設さくらこども学園副施設長の異動に伴う後任副施設長の任命について 9. 令和6年度各事業所職員給与定期昇給案承認の件 10. 令和6年度各拠点区分収支予算案承認の件 11. 放課後等デイサービス「ブルーメひめじ」の事業開設及び既存施設職員の異動に伴う苦情解決責任者・苦情受付担当者の補充選任案承認の件 12. 保育所の重要事項説明書の一部改正案承認の件 13. 幼保連携型認定こども園の利用契約書及び重要事項説明書の一部改正案承認の件 14. 令和6年度介護保険制度及び介護報酬改定に伴う運営規程、重要事項説明書及び契約書の一部改正案承認の件 15. 任期満了に伴う第三者委員の選任案承認の件 16. 任期満了に伴う認知デイ・やすらぎ及び地域密着型特養・櫻ホーム西神並びに認知デイ・さくらさくの運営推進委員の選任案承認の件 17. 任期満了に伴う特別養護老人ホーム桜谷荘のサービス検討委員会委員の選任案承認の件 18. 第9回臨時評議員会の招集及び議案提案承認の件 <<報告事項>> 1) 令和5年度社会福祉施設に対する指導・監査の結果報告について ① ア) 幼保連携型認定こども園西宮セリジェ保育園、イ) 西北セリジェ保育園 ② ア) 幼保連携型認定こども園石屋川くるみ保育園、イ) 幼保連携型認定こども園神戸さくら保育園 2) 相生労働基準監督署による定期監督 ① ア) 法人本部、イ) 児童養護施設さくらこども学園 3) 令和6年度統括会計責任者・会計責任者・予算管理責任者・出納職員・小口現金取扱者・固定資産管理責任者・契約担当者・資金運用責任者の任命について 4) 職員の退職者について(令和6年3月31日現在) 5) 新年度職員の昇格・異動・採用者について 6) 各事業所の概況報告について(令和6年3月1日現在) 7) その他

② 評議員会(年4回)

当法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的な監督を行う機関として位置づけ、必置の議決機関として、定款の変更、理事・監事・会計監査人の選任・解任、理事・監事の報酬の決定、計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録等の承認を決議するため、以下の会議を行う。

会議名 開催日時	開催場所 議長・署名人	協議事項
臨時評議員会 第6回 R.5.4.13(木) 15:00~17:20	特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)	1. 定款及び定款細則の一部改正案承認の件 <<報告事項>> 1) 特養・桜谷荘のベッド稼働率低下による減収分の補充及び冷暖房設備の更新による自己負担(全額)確保に伴う特養・桜谷荘の施設・整備積立金取崩について 2) 幼認・石屋川くるみ保育園の入所児童の確保不足による減収分の補充額確保及び1階トイレ

<p>(議長) 鳥羽大三郎評議員 (署名人) 中田 晴基評議員 池上 英夫評議員 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事 (欠席者職氏名) 側垣 一也評議員</p>		<p>改修による自己負担額確保に伴う幼認・石屋川くるみ保育園の保育所施設・設備整備積立金取崩について</p> <p>3) 幼認・神戸さくら保育園の入所児童の確保不足による減収分の補充額確保に伴う幼認・神戸さくら保育園の保育所施設・設備整備積立金取崩について</p> <p>4) 令和5年度法人・各事業所の事業計画について</p> <p>5) 櫻ホーム西神診療所所長の任免について</p> <p>6) 令和5年度各拠点区分収支予算について</p> <p>7) 諸規程の一部改正等について</p> <p>① 就業規則(正規・契約・パート職員)別表1の一部改正</p> <p>② 給与規程(正規・パート職員)の一部改正案及び本規程(正規・契約・パート職員)別表1の一部改正</p> <p>③ 育児・介護休業規程の一部改正</p> <p>8) 令和5年度統括会計責任者・会計責任者・予算管理責任者・出納職員・小口現金取扱者・固定資産管理責任者・契約担当者・資金運用責任者の任命について</p> <p>9) 職員の退職者について(令和5年3月31日現在)</p> <p>10) 新年度職員の昇格・異動・採用者について</p> <p>11) 各事業所の概況報告について(令和5年3月1日現在)</p> <p>12) その他</p>
<p>定時評議員会 第7回 R.5.6.26(月) 14:30~18:25</p> <p>(議長) 植村 洋輔評議員 (署名人) 水野 亮評議員 岸本 慶宜評議員 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 令和4年度決算書案承認の件 (監事監査報告)</p> <p>2. 任期満了に伴う理事・監事の選任案承認の件</p> <p>3. 任期満了に伴う会計監査人の選任案承認の件</p> <p>《報告事項》</p> <p>1) 令和4年度監事等決算書報告について</p> <p>2) 令和4年度会計監査人の会計監査報告書について</p> <p>3) 令和4年度法人・各事業所の事業報告書について</p> <p>4) 令和4年度末における社会福祉充実残額の確定について</p> <p>5) 前期末支払資金残高(繰越金)の取崩額の確定について</p> <p>6) 桜谷福祉会第4期経営5か年計画(4年目)の結果報告書について</p> <p>7) 令和4年度社会福祉施設に対する指導・監査の結果報告書について</p> <p>① ア) くるみ保育園、イ) 尼崎さくら保育園</p> <p>② ア) 幼保連携型認定こども園西宮セリジェ保育園、イ) 西北セリジェ保育園</p> <p>③ ア) 特別養護老人ホーム桜谷荘、イ) 桜谷荘ショートステイ事業所</p> <p>④ ア) 児童養護施設さくらこども学園</p> <p>8) 兵庫県福祉サービス第三者評価受審結果報告書について</p> <p>① 西北セリジェ保育園</p> <p>② 尼崎さくら保育園</p> <p>③ 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神</p> <p>④ 認知症対応型デイサービスセンターさくらさく</p> <p>9) 令和4年度沿革簿保存について</p> <p>10) 職員の異動・採用・退職者について</p> <p>11) 不適切ケアの対応について</p> <p>事例① 不適切ケアの結果報告について(特別養護老人ホーム櫻ホーム西神)</p> <p>事例② 不適切ケアの中間報告について(児童養護施設さくらこども学園)</p> <p>12) 寄附金の受入れ状況について(令和4年4月1日~令和5年3月31日)</p> <p>13) 各事業所の概況報告について(令和5年6月1日現在)</p> <p>14) その他</p>
<p>臨時評議員会 第7回 R.5.10.12(木) 16:30~17:40</p> <p>(議長) 水野 亮評議員 (署名人) 中田 晴基評議員 藤澤 徹評議員 (議事録作成者) 花房 幸一専務理事</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 特別養護老人ホーム桜谷荘等の移転に伴う大規模開発に係る開発業者の選定案承認の件</p> <p>2. 特別養護老人ホーム桜谷荘の全面建替え事業及び新規事業に係る基本設計に関する委託業者の選定案承認の件</p> <p>3. 特別養護老人ホーム桜谷荘移転に伴う大規模開発及び基本設計に係る費用に対する資金計画案承認の件</p> <p>4. 特別養護老人ホーム桜谷荘移転に伴う大規模開発及び基本設計等に関する財源確保に伴う特別養護老人ホーム桜谷荘の施設・整備積立金の取崩し案承認の件</p> <p>《報告事項》</p> <p>1) 職員の採用・退職者について</p> <p>2) 各事業所の概況報告について(令和5年10月1日現在)</p> <p>3) その他</p>
<p>臨時評議員会 第8回 R.6.2.19(月) 15:00~17:15</p>	<p>特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)</p>	<p>1. 放課後等デイサービス「ととて」(定員:10名)の事業譲受案承認の件</p> <p>2. 放課後等デイサービス「ととて」(定員:10名)の名称変更及び令和6年度・7年度事業計画案並びに収支予算案承認の件</p> <p>3. 放課後等デイサービスの事業譲渡契約書の締結案承認の件</p> <p>4. 定款の一部改正案承認の件</p>

<p>(議長) 中田 晴基 評議員 (署名人) 藤澤 徹 評議員 岸本 慶宜 評議員 (議事録作成者) 花房 幸一 専務理事</p>	<p>《報告事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) NPO 法人いろはの実施事業である放課後等デイサービス「てとて」(定員：10名)の事業譲受に向けた基本合意書の締結について 2) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」の管理者の任命について 3) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」の事業開設に伴う運営規程・利用契約書・重要事項説明書の策定について 4) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員：10名)の設置認可申請について 5) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員：10名)の事業開設に伴う公印規程別表及び様式1の一部改正について 6) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員：10名)の事業開設に伴う諸規程の一部改正について <ol style="list-style-type: none"> ① 就業規則(正規・契約・パート職員)別表1(勤務の始終時刻)の一部改正 ② 給与規程(正規・パート職員)の一部改正案及び本規程の(契約・パート職員)別表1(基本給表)の一部改正 ③ 経理規程別表1(会計の区分一覧)及び勘定科目一覧別表2(貸借対照表・事業活動計算書・資金収支計算書勘定科目一覧)の一部改正 7) 放課後等デイサービス「ブルームひめじ」(定員：10名)の事業開設に伴う第三者委員の選任について 8) 近畿厚生局及び兵庫県による社会保険医療担当者の新規個別指導について <ol style="list-style-type: none"> ① 櫻ホーム西神診療所 9) 職員の採用・退職者について 10) 各事業所の概況報告について(令和6年2月1日現在) 11) その他
--	---

③ 監事会(年2回)

理事の職務の執行を監査し、当法人理事会・評議員会の運営状況及び各事業所の適正な業務執行・会計処理等について監査を行った。

会議名	開催日時	開催場所	監査事項	
監事会	決算監査(2日間)	特養・桜谷荘 (地域交流ホーム)	1. 定款	2. 役員
	R.5.5.26 10:00~18:30		3. 理事	4. 監事
	R.5.5.27 10:00~18:30		5. 理事会	6. 評議員会
	定時監査(2日間)		7. 人事管理	8. 資産管理
	R.5.11.22 10:00~18:30		9. 会計管理	10. 入所者処遇
	R.5.11.23 10:00~18:30		11. 入所者預り金管理	12. その他

④ 経営会議

経営会議(メンバー：13名)を年4回(令和5年4月15日、7月15日、11月11日、令和6年2月17日)開催し、当法人が経営する介護保険事業所個々の事業体の特性に合わせた事業展開、報酬増を生かした職員処遇の改善など、介護保険制度及び介護報酬基準を熟知した経営戦略を立てるため開催した。

しかし、本年度は昨年度に引続き、新型コロナウイルスに対する感染予防対策に力を入れてきたが、残念なことに特別養護老人ホーム桜谷荘は【感染拡大期間：令和5年6月8日～6月29日、陽性者：入所者12名・職員6名】の状況となり、クラスター化してしまったことで、その間の入所者確保を短期入所生活介護の利用者の中から行っていたうえ、減少した短期入所生活介護の新規利用者確保が思うようにいかなかったこと等により、年間ベッド稼働率が激減したことにより、予算達成することはできなかった。また、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神は1回目【感染拡大期間：令和5年7月10日～8月25日、陽性者：入所者1名・職員6名】、2回目【感染拡大期間：令和6年1月13日～2月22日、陽性者：入所者19名・職員13名】の状況であったが、常勤医師を配置していたこともあり、診療所にて適切な治療をすることで、入所者については重症化することがなかったため、年間ベッド稼働率への影響は最小限にとどめることができた。また、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくは【感染拡大期間：令和5年7月18日～8月6日、陽性者：利用者3名・職員2名】の状況となり、クラスター化してしまったことで、利用者による利用控えのうえ、新規利用者確保についても思うようにいかなかったため、年間稼働率が激減したことにより、予算未達成の状況であったので、各事業所の新型コロナウイルスに対する感染予防対策のあり方及び収支状況等についての課題・問題点について協議した。

まず、感染予防対策については、持ち込まない・持ち込ませないの徹底と次のことを各事業所に通達した。①職員の休憩中のあり方の見直し、②職員の共用物の消毒の徹底、③陽性者発生時の隔離方法の徹底(特養での施設内ケア)、④3密を避ける、⑤うがい・手洗い・マスクの徹底、⑥出勤時の健康チェックをより一層徹底することに努める。また、予算管理の徹底については、各事業所幹部職員のコスト意識・予算管理能力の開発はもとより、入所系については、①入所待機者管理情報を整備し、ベッド稼働率・平均要介護度のアップを図る、②サービスの質の向上のため利用者・家族に対する満足度調査の実施と従事職員の研修の強化、③あらゆる加算の取得、④経費節減等に努める。通所系については、①新規顧客の確保、②効果的・効率的なサービス提供時間帯でのサービス提供、③専門的知識・技術の導入とサービスの質の向上のため利用者・家族に対する満足度調査の実施、④特徴的サービスの明確化、⑤新規サービスメニュー開発等に努める。居宅介護支援事業所については、①新規顧客の開拓、②公正・中立なマネジメント、③デイ・やすらぎとの連携強化、④あらゆる加算の取得に努める。

なお、本部事務局により毎月の月次試算表に基づき、収入目標が未達成事業所管理者に対し、状況確認及び目標達成についての指導強化を図った。

⑤ 施設長会

施設長会（メンバー：18名）を年4回（令和5年4月25日、7月22日、10月28日、令和6年2月24日）開催し、基本理念の浸透、事業計画の進捗、各事業所間の連携、各委員会の運営状況、各事業所運営上の課題・問題点等について検証・検討した。

⑥ コンプライアンス委員会

法令遵守の業務管理体制を図るため、コンプライアンス委員会（メンバー：12名）を年4回（令和5年5月16日⇒中止、8月22日、10月24日、令和6年1月23日、3月19日）開催し、不正行為の未然防止、利用者保護、介護保険事業所運営の適正化の検証及び令和3年4月1日からの介護保険制度改正（運営基準の見直し）及び介護報酬改定に向けての検討に取り組んだ。

特に、令和3年介護報酬改定で目立つのは自立支援に向けた「CHASE（チェイス）」（高齢者の状態やケアの内容のデータを収集するシステム）を活用した科学的介護の推進。新たに「科学的介護推進体制加算」を創設し、利用者の情報を「CHASE」に提出してフィードバックを受けてケアに活用することを評価することとなっている。また、「CHASE（チェイス）」と「VISIT（ビジット）」を統合した科学的介護情報システム「LIFE（ライフ）」を活用することを要件として含まれる加算一覧から積極的加算取得に取り組んだ。

2 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価及び第5期経営5か年計画の策定

「法人のあるべき姿」、「向うべき方向に着実に進んでいく」ための具体的目標とプロセスを示すものとして、5年間（平成31年度～令和5年度）の期間を対象に、法人の基本理念のもと、『①地域貢献への積極的展開、②利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す、③経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す』の3つを重点目標に掲げ、第4期経営5か年計画の最終年度として、各事業所において5年間の評価・まとめを積極的に推進してきた。

なお、経営計画検証委員会及び経営計画策定委員会（メンバー：19名）を設置し、年7回（令和5年5月23日、7月11日、9月26日、11月28日、令和6年1月30日、2月16日、3月21日）の委員会を開催し、第4期経営5か年間の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画を策定した。

3 地域貢献に向けた事業実践

当法人役員及び各事業所担当職員で構成する地域貢献推進委員会（メンバー：17名）を年4回（令和5年6月23日、9月28日、12月21日、令和6年2月22日）開催し、当法人が社会福祉法人として社会福祉事業の中心的な役割を果たすだけでなく、低所得者への配慮や採算がとれない新しいニーズに対応し、地域福祉のさらなる実践を進め、地域住民の目に見える形でアピールし、社会福祉法人の存在意義に対する広い理解を得ていくための協議を行い、各事業所においては市場化されにくい不採算・非効率の支援ニーズに対しても、当法人の基本理念に基づいて、地域貢献に向けた活動を積極的に実践した。

また、法人役員及び各事業所担当職員で構成するボランティア養成事業プロジェクト会議（メンバー：10名）を年2回（令和5年7月4日、10月13日、令和6年3月15日⇒中止）開催したが、予定どおり会議を開催することができなかった。よって、地域密着ボランティア養成事業【第1回…令和5年10月11日（大津中央集会所、参加者数：12名）、第2回…10月18日（赤穂西公民館、参加者数：11名）、第3回…12月20日⇒中止、第4階…令和6年1月17日⇒中止】についても、計画どおり実施することができなかった。次年度はこのようなことのないよう、年間計画に基づき実施することとしたい。

また、地域共生社会や地域包括ケアシステムの構築に資する取組や高齢者等の地域住民がその持てる力を発揮してできる限り自分らしく暮らすことにつながる取組を行うことを目的として、福祉関係団体及び当法人役員並びに各事業所担当職員で構成する地域サポート施設運営推進委員会（メンバー：10名）を年4回（令和5年7月18日、10月17日、令和6年1月16日、3月12日）開催した。

なお、赤穂市塩屋西北自治会の実施している「防犯パトロール」に年2回、職員延べ2名（令和5年1月19日、令和6年3月10日）参加した。また、神戸市西区の月が丘ふれあいまちづくり協議会「防災・防犯部会」の実施している「防犯パトロール」に年1回、職員延べ1名（巡回：令和5年12月9日）参加及び月が丘青少年育成協議会の実施している「防犯パトロール」に年1回、職員延べ1名（巡回：令和5年4月8日）参加し、当法人も地域の一員として「犯罪のない明るい街づくり」の実現に向け積極的に取り組んだ。

1) 施設機能・設備の地域開放

① 転倒予防教室（1回）

⇒ 令和5年 7月27日 14:00～14:45（赤穂西公民館） ; 16名参加

認知症予防教室（2回）

⇒ 令和5年 5月22日 10:30～11:30（塩屋西自治会館） ; 21名参加

⇒ 令和5年 6月27日 10:00～12:00（大津中央集会所） ; 12名参加

介護者教室（1回）

⇒ 令和6年 3月20日 14:00～15:00（塩屋公民館） ; 14名参加

介護技術講習（3回）

⇒ 令和5年 7月26日 10:00～12:00（木生谷集会所） ; 07名参加

⇒ 令和5年 8月 3日 10:00～12:00（鷗和集会所） ; 13名参加

⇒ 令和6年 3月15日 14:00～15:30（塩屋公民館） ; 15名参加

② 福祉教育の場の提供と世代間交流事業等

⇒ ボランティア受入れ状況 ; (28団体 ; 延べ185回、13個人 ; 延べ343名)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

介護・保育等実習 ; 延べ 794日、実習生 135名 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

トライやるウィーク ; 延べ 122日、延べ 27人 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【特別養護老人ホーム桜谷荘】

赤穂市立赤穂西中学校生徒会 ; 1日、生徒 4名、付添教諭 2名 (令和6年 3月 1日)

【さくらこども学園】

赤穂市立塩屋小学校教諭 ; 1日、教諭 7名 (令和5年 4月20日)
赤穂市民生児童委員 ; 1日、教諭 5名 (令和5年 6月 7日)
更生保護女性会 ; 1日、教諭 5名 (令和5年 6月14日)
西播磨地区里親 ; 1日、教諭 10名 (令和5年 6月15日)
地域子育てサロン開設 ; 延べ 21日、参加者延べ 50名
(令和5年06月09日～令和6年03月08日)

③ 模擬店等機材の無料貸出し事業
⇒ 0件

④ その他

【さくらこども学園】

学園周辺清掃活動 ; 1日、児童 10名、付添職員 4名 (令和5年 5月 3日)
塩屋公園清掃奉仕活動 ; 1日、児童 5名、付添職員 2名 (令和5年11月23日)

【くるみ保育園】

尾浜町クリーン作戦に参加 ; 延べ 4日、付添職員 9名
(令和5年05月15日・20日、12月16日・17日)
名月姫公園清掃奉仕活動 ; 延べ 28日、付添職員 28名
(令和5年 5月16日・17日・18日・24日、6月 7日・13日・20日・
21日、10月18日24日・ 25日、11月 1日・ 2日・ 8日・ 9日・16
日・28日、12月 5日・ 6日・14日・19日、令和6年 1月15日、 2
月27日、 3月13日・14日・19日・22日・27日)

【幼保連携型認定こども園石屋川くるみ保育園】

東明公園清掃奉仕活動 ; 延べ 48日、職員 48名
(令和5年 4月11日・14日・18日・28日、5月01日・12日・14日・
16日・17日・18日・23日、6月 3日・ 5日・ 6日・ 9日・10日・13
日・14日・22日・28日、7月 7日・ 8日、10月12日・24日・25日・
31日、11月 1日・ 7日・ 8日・16日・21日・22日・24日・27日・29
日、12月13日・14日・20日・26日、令和6年 1月 9日・16日・17
日、2月 6日・29日、3月 5日・ 7日・ 8日)
石屋川公園清掃奉仕活動 ; 延べ 15日、職員 15名
(令和5年 4月14日・20日、5月 2日・12日・30日、6月 3日・19
日、10月17日・23日・27日、11月 8日・27日、12月27日、令和6
年 1月12日・24日)
塚町ひろば清掃奉仕活動 ; 延べ 48日、職員 48名
(令和5年 4月13日・24日・27日、5月 9日・15日・18日・24日・
26日、6月 8日・14日・15日・23日・27日・30日、10月13日・16
日・17日・19日・24日、11月 2日・ 8日・ 9日・24日30日、12月
14日・15日・19日・27日・28日、令和6年 1月 5日・11日・12日・
15日・22日・23日・25日・26日・29日、2月 4日・ 8日・16日・20
日・26日、3月 5日・ 7日・ 8日・12日・21日)
石屋川南公園清掃奉仕活動 ; 延べ 12日、職員 12名
(令和5年 4月21日、5月22日、6月16日・21日、10月12日・16
日・18日、11月14日・16日、令和6年 3月09日・20日・22日)
はまだ公園清掃奉仕活動 ; 延べ 3日、職員 3名
(令和5年 4月17日、12月26日、令和6年 1月16日)
大和公園清掃奉仕活動 ; 延べ 7日、職員 7名
(令和5年 4月10日、11月 1日・28日、12月13日・14日、令和6年
2月27日、3月25日)

【幼保連携型認定こども園神戸さくら保育園】

はまだ公園清掃奉仕活動 ; 延べ 92日、職員 92名
(令和5年 4月 3日・ 5日・10日・11日・14日・18日・20日・24日・
27日・28日、5月 1日・ 6日・ 9日・10日・15日・16日・17日・18
日・24日・26日、6月 1日・ 3日・ 7日・13日・15日・19日・23
日・27日、7月 3日・ 6日・13日・20日、9月 7日・ 8日・12日・
13日・15日・20日・22日・27日・30日、10月 6日・12日・16日・17
日・18日・19日・24日・30日、11月 1日・ 2日・14日・15日・16日・
21日・22日・24日・28日・29日・30日、12月 1日・ 4日・ 6日・ 7
日・ 8日・11日・12日・15日・19日・22日・26日・27日、令和6年1
月 9日・16日・17日・22日・24日、2月13日・14日・15日・20日・
26日・28日、3月 1日・ 6日・ 7日・14日・15日・18日・19日・22
日・26日・28日)
大和公園清掃奉仕活動 ; 延べ 2日、職員 2名 (令和5年 4月13日、11月16日)
石屋川南公園清掃奉仕活動 ; 延べ 7日、職員 7名
石屋川公園清掃奉仕活動

(令和5年 4月 3日・27日、5月10日・25日、6月 1日、12月18日、令和6年 3月 4日)

大石東公園清掃奉仕活動 ; 延べ 11日、職員 11名

(令和5年 4月10日・20日、5月 2日・9日、11月 7日、12月14日・21日・22日・28日、令和6年 1月 9日、3月14日)

【幼保連携型認定こども園西宮セリジェ保育園】

本年度は未実施

【西北セリジェ保育園】

高畑町内会清掃奉仕活動 ; 延べ 29日、職員 91名

(令和5年 4月13日、5月23日・25日・27日、6月 7日・20日、9月21日・26日・28日、10月26日、11月 2日・17日・18日・22日・24日、12月16日、令和6年 1月17日・18日、2月21日、3月01日・10日・14日・15日・16日・17日・20日・28日・29日・30日)

【尼崎さくら保育園】

名月姫公園清掃奉仕活動 ; 延べ 3日、園児 36名、付添職員 9名

(令和5年 5月20日、12月21日、令和6年 3月21日)

園周辺清掃奉仕活動 ; 延べ 1日、職員 5名

(令和5年 5月27日)

【特別養護老人ホーム櫻ホーム西神】

施設周辺清掃奉仕活動 ; 延べ 11日、職員 49名

(令和5年 4月20日、5月18日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、令和6年 1月18日、2月15日、3月21日)

月が丘町づくり協議会クリーン作戦奉仕活動 ; 4日、職員 11名

(令和5年 6月18日、9月17日、12月17日、令和6年 3月17日)

2) 低所得者への配慮

① 法人減免

⇒ 通年実施(介護保険)本年度は5件(内訳:特養・桜谷荘1件、特養・櫻ホーム西神4件)であった。

3) 災害時の要援護者の支援

① 災害時等の要援護者の緊急受入れ

⇒ 本年度は、実績がなかった。

② 介護・看護職員等の被災地への派遣

⇒ 令和6年1月1日発生した能登半島地震救援活動に兵庫県を通じて3名の介護員(桜谷荘:1名、櫻ホーム西神:2名)の職員を登録したが、現地に派遣するまでには至らなかった。

③ 福祉避難所として機能開放

⇒ 本年度は、未実施となった。

4) ボランティアの養成

① ボランティア養成事業プロジェクト会議(メンバー:10名):

⇒ 開催回数 3回⇒2回

第1回(令和5年 7月04日)活動趣旨及びボランティア養成講座第1回・第2回の企画の検討

第2回(令和5年10月13日)ボランティア養成講座第3回・第4回の企画の検討

第3回(令和6年 3月15日)本年度のまとめ・次年度への取組み⇒中止

② 地域密着型ボランティアの養成事業

⇒ 開催回数 4回⇒2回

開催日 1回目(令和5年10月11日)「学習ボランティア」 12名参加(大津中央集会所)

開催日 2回目(令和5年10月18日)「学習ボランティア」 11名参加(赤穂西公民館)

開催日 3回目(令和4年11月21日)「地域で見守る認知症高齢者」⇒中止

開催日 4回目(令和5年 1月27日)「地域で見守る認知症高齢者」⇒中止

4 人材確保・養成等福祉マンパワー対策の強化

当法人組織の活性化、福祉人材の確保・養成、能力開発を目的として、人事考課ハンドブックにて全職員に対し、人事考課制度の目的・仕組み、実施時期、自己評価の実施方法等について説明会を実施し、考課者に対しては、育成面接の方法、公正な評価のあり方等について勉強会を実施した。

また、人事考課制度のより一層の定着を図るため、人事考課者4か月進捗ミーティングを年1回(令和5年10月26日)開催し、人事考課制度の見直しに関する検討会議等を年3回(令和5年10月26日、11月16日、令和6年1月11日)開催し、自己点検項目の見直し、人事考課ハンドブックの更新、効果基準の統一等について協議し、本年度の人事考課へ反映することができた。

職員研修については、各事業所の研修委員会による年間研修計画に基づき計画的に実施できた。また、指導者養成研修の一環として、法人内新任部長・課長級研修(2名)を対象に年4回(令和5年9月29日、10月19日、11月16日、12月21日)開催及び法人内新任主任・副主任研修(12名)を対象に年4回(令和5年9月15日、10月13日、12月15日、令和6年1月22日)開催、幹部職員候補者対象マネジメント研修(9名)を対象に年5回(令和5年8月3日・31日、9月19日、10月12日、11月9日)開催した。また、法人内厨房職員研修(9名)「五感で感じる楽しい食事」を年4回(令和5年7月19日、9月9日、11月25日、令和6年3月19日)開催した。

また、昨年度に引続き、令和5年4月1日付にて採用した職員を対象(23名)にチューター制による新任職員研修を実施し、1年経過した時点での研修効果測定を行った結果、おおむね良好な評価であった。

また、令和6年4月1日付で採用する職員採用活動において本年度は、法人内の人材確保対策委員会が人材確保に向けての年間活動計画に基づき、計画的（就職担当教職員対象の説明会・事業所説明会・学校訪問等）に実施できた。よって、学校求人6名（保育6名）、ハローワーク1名（櫻ホーム西神1名）、尼崎市就職支援センター2名（保育2名）、法人ホームページ1名（保育1名）、人材紹介会社5名（保育3名：看護師・管理栄養士・栄養士、櫻ホーム西神2名：内科医師・管理栄養士）、兵庫大学との連携3名（桜谷荘・櫻ホーム西神・ブルーメひめじ）、岡山医療福祉専門学校との連携2名（デイやすらぎ・櫻ホーム西神）うち奨学金対象者2名、聖和短期大学との連携4名（保育4名）、施設実習生3名（保育3名）、職員による紹介2名（保育2名）計29名が採用につながった。

また、令和6年度新任職員の採用者29名（桜谷荘1名・デイやすらぎ1名・保育部門21名・櫻ホーム西神4名・櫻ホーム西神診療所1名・ブルーメひめじ1名）に対し、新任職員研修の一端として事前トレーニング3日間（全体研修：令和6年3月5日、桜谷荘：3月6日・7日、デイやすらぎ：3月6日・7日、保育：3月23日・25日～29日、櫻ホーム西神：3月7日・8日、ブルーメひめじ：3月23日・28日）のペーパー研修・実技研修を実施した。

また、法人基本理念を全事業所全職員への周知徹底を図るため、各事業所に1名以上の基本理念を説明できる人材を確保すべく、法人基本理念説明者養成研修会（2名）を対象に企画したが、本年度は実施することができなかった。次年度はこのようなことのないよう、年間計画に基づき実施することとしたい。

また、専門資格取得の奨励については、良質な福祉・保育サービスの提供に向けて、従事職員の研修の強化、メニューの開発等に努める。また、保育教諭の育成をめざし、幼稚園教諭免許取得者の増加を重視し、幼稚園教諭免許の取得及び社会福祉士・介護福祉士等の資格取得の奨励に努めた。その結果、社会福祉士国家資格の取得では、さくらこども学園（1名）陰山児童指導員、特養：櫻ホーム西神（1名）北野指導課長が合格した。また、介護福祉士国家資格の取得では、デイ：やすらぎ（1名）ズオン介護員、特養：櫻ホーム西神（1名）ティエン介護員、認知デイ：さくらさく（2名）高橋・岩崎介護員が合格した。

また、当法人及び学校法人睦学園兵庫大学・兵庫大学短期大学部との包括的な連携のもと、人的・知的財産や特色ある資源の活用を図り、福祉・まちづくりの各分野で協力し、活力ある地域の形成及び発展と相互の人材育成に寄与することに努めた。特に、当法人職員による講師派遣2名（絹田児童部門統括⇒R.5.9.16～R.6.1.29、中河施設長⇒R.5.9.20～R.6.1.31）、その他講師派遣2名（安田副施設長⇒R.5.9.15～R.6.2.16；岡山医療福祉専門学校、久岡看護主任⇒R.5.10.5～R.6.2.3；頌栄短期大学）であった。

また、奨学金給付対象者（令和6年3月31日現在）（学校法人睦学園兵庫大学・兵庫大学短期大学部）の7名（西本春香：令和2年4月1日～令和6年3月31日、高田涼、高木一加：令和3年4月1日～令和7年3月31日、松本果歩：令和4年4月1日～令和7年3月31日、古谷凜華、下田日彩、溝渕寧：令和5年4月1日～令和9年3月31日）に対し、年2回の定期面談を実施した。また、令和6年度新たな奨学金対象者4名（三寺彩加、船曳ひかり、次田未来、西村真金：兵庫大学）を決定した。また、岡山医療福祉専門学校（介護福祉学科）の留学生（ベトナム人）奨学金給付対象者の2名（ヴァン・ティ・カム・ティセン：令和4年4月1日～令和6年3月31日、ヴォー・ティ・クイン・チャム：令和5年4月1日～令和7年3月31日）、兵庫県奨学金給付対象者の2名（グエン・ヴィエット・ズオン：令和4年4月1日～令和6年3月31日、グエン・チュン・ヒエウ：令和5年4月1日～令和7年3月31日）に対し、日本語習得状況・出席状況・成績状況等について毎月面談を実施した。また、令和6年度新たな奨学金対象者3名（ハラム・ミー・デュエン、グエン・ティ・クエ・チャム、グエン・ティ・ホン・ダオ：岡山医療福祉専門学校）及び岡山外語学院留学生対象者3名（グエン・ティ・フン・ニュー、チャン・リン・ニー、チャン・アン・ゴック令和6年10月1日～令和8年3月31日）を決定した。

6 新施設整備事業の積極的展開

令和5年度法人本部の事業計画に基づき、兵庫県内における入所待機者（高齢者・児童）の多い地域の介護・保育ニーズに応えるため、神戸市（西区・灘区・東灘区）、伊丹市（JR・阪急伊丹駅付近）を中心に施設整備事業（特養・保育園）を積極的に進める。なお、多様化する介護・保育ニーズに応えるため、「地域包括支援事業」、「延長保育」、「一時預かり事業」、「地域子育て支援」、「休日保育」等を更に積極的に取組んだ。

また、尼崎市尾浜町1丁目33-2のくるみ保育園（定員；40名）の耐震及び老朽化対策として全面建替え工事については、定員増を予定しているため尼崎市（JR・阪急塚口駅付近）を中心に建設用地獲得に向けて積極的に取組んだが、用地獲得には至らなかったため次年度も引続き建設用地獲得に向けて積極的に取組まなければならない。

7 特別養護老人ホーム桜谷荘の全面建替え事業に伴う移転先に関する検討会議

昨年度に引続き、特別養護老人ホーム桜谷荘（定員；85名）、桜谷荘ショートステイ事業所（定員；10名）等の移転に関する検討委員会（メンバー：10名）を年8回（令和5年4月28日、7月13日、8月17日、9月14日、10月19日、11月16日、令和6年1月17日、2月15日）開催し、移転先として検討している関西福祉大学北側の約27,000㎡の土地は、1級農地のため、農地転用が非常に困難であるとの見解が出たが、当法人が今回の移転計画を実現させるためには、この場所でしか考えられないため、赤穂市の当地区の農業振興地域の線引き及び都市計画（令和6・7年度）の見直しに合わせ、より一層赤穂市との連携を密にすることで、本計画を実現させたい。

令和5年度

新規採用職員関係経過

年月日	関係機関名等	内容
R. 5. 4.11	特養・桜谷荘	令和5年度第1回人材確保対策委員会
5.20	都ホテル尼崎	保育士就職フェアへのブース出展 (5名来訪)
25	特養・桜谷荘	令和5年度第2回人材確保対策委員会
26	関西保育福祉専門学校	保育士就職フェアへのブース出展 (4名来訪)
28	神戸サンボーホール	保育士就職フェアへのブース出展 (6名来訪)
6. 1	学校訪問	環太平洋大学
12	学校訪問	兵庫大学
13	特養・桜谷荘	令和5年度第3回人材確保対策委員会
19	学校訪問	大阪保健福祉専門学校・聖和短期大学
27	園田学園女子大学	保育士就職フェアへのブース出展 (8名来訪)
29	尼崎さくら保育園	保育部門就職説明会 (2名参加)
7. 1	さくらこども学園	令和6年度奨学金対象者採用試験 (3名受験)
4	学校訪問	日高高等学校・須磨ノ浦高等学校・武庫之荘総合高等学校
8	アルカニックホールオクト	保育士就職フェアへのブース出展 (3名来訪)
9	神戸国際展示場	保育士就職フェアへのブース出展 (5名来訪)
11	特養・桜谷荘	令和5年度第4回人材確保対策委員会
15	神戸国際展示場	令和5年度第1回福祉の就職総合フェアへのブース出展 (0名来訪)
	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第1回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
18	学校訪問	相生産業高等学校・佐用高等学校・龍野北高等学校
	尼崎さくら保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
20	岡山医療福祉専門学校	介護福祉士就職フェアへのブース出展 (6名来訪)
25	特養・櫻ホーム西神	教職員向け説明会 (1名参加)
26	特養・桜谷荘	教職員向け説明会 (1名参加)
	聖和短期大学	保育士就職フェアへのブース出展 (9名来訪)
29	西宮セリジェ保育園	教職員向け説明会 (1名参加)
	尼崎さくら保育園	令和6年度第2回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
8. 1	学校訪問	神戸元町こども専門学校
2	幼認・神戸さくら保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
10	特養・桜谷荘	令和5年度第5回人材確保対策委員会
19	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第1回保育部門厨房職員採用試験 (1名受験)
26	幼認・神戸さくら保育園	保育部門就職説明会 (2名参加)
	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第3回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
9. 6	特養・桜谷荘	令和6年度第1回桜谷荘生活相談員採用試験 (1名受験)
7	兵庫県庁	求人依頼に係る訪問
10	あかし市民広場	児童養護施設就職フェアへのブース出展 (3名来訪)
12	特養・桜谷荘	令和5年度第6回人材確保対策委員会
17	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第4回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
23	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第5回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (2名受験)
30	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第6回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (2名受験)
10.10	幼認・神戸さくら保育園	令和5年度第7回人材確保対策委員会
11	尼崎さくら保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
12	法人本部	令和6年度第1回櫻ホーム西神介護員採用試験 (1名受験)
17	学校訪問	関西福祉大学
	西北セリジェ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
19	学校訪問	大阪こども専門学校
21	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第7回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
23	くるみ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
24	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第8回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
27	西北セリジェ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
30	西北セリジェ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
31	西北セリジェ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
11. 4	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第8回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (2名受験)
7	学校訪問	中国学園大学
12.12	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第9回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
14	特養・桜谷荘	令和5年度第8回人材確保対策委員会
26	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第10回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (2名受験)

年月日	関係機関名等	内容
R. 5.11.28	学校訪問	千里金蘭大学
12. 6	幼認・西宮セリジェ保育園	保育部門就職説明会 (1名参加)
12	幼認・神戸さくら保育園	令和5年度第9回人材確保対策委員会
13	学校訪問	甲子園大学
16	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第11回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
21	学校訪問	姫路ハーベスト医療福祉専門学校
23	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第2回保育部門厨房職員採用試験 (1名受験)
27	学校訪問	神戸女子大学
R. 6. 1. 9	特養・桜谷荘	令和5年度第10回人材確保対策委員会
19	特養・櫻ホーム西神	令和6年度第1回櫻ホーム西神厨房職員採用試験 (1名受験)
29	尼崎さくら保育園	令和6年度第12回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
2. 2	大阪こども専門学校	保育士就職フェアへのブース出展 (11名来訪)
8	放課後等DS「ブルーメひめじ」	放課後等デイサービス就職説明会 (1名参加)
9	放課後等DS「ブルーメひめじ」	放課後等デイサービス就職説明会 (1名参加)
10	放課後等DS「ブルーメひめじ」	放課後等デイサービス就職説明会 (1名参加)
11	メリケンパークオリエンタルホテル	令和6年度新規採用予定者内定式 採用内定者17名参加 (高齢者部門3名、保育部門14名)
13	幼認・神戸さくら保育園	令和5年度第11回人材確保対策委員会
14	放課後等DS・てとて	放課後等デイサービス就職説明会 (1名参加)
16	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第13回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
19	特養・櫻ホーム西神	令和6年度第2回櫻ホーム西神介護員採用試験 (1名受験)
22	放課後等DS「ブルーメひめじ」	令和6年度第1回ブルーメひめじ保育士採用試験 (1名受験)
24	幼認・西宮セリジェ保育園	令和6年度第1回保育部門看護員採用試験 (1名受験)
26	幼認・西宮セリジェ保育園	令和6年度第3回保育部門厨房職員採用試験 (1名受験)
3. 2	神戸国際展示場	令和5年度第2回福祉の就職総合フェアへのブース出展 (5名来訪)
5	特養・桜谷荘	令和6年度新規職員採用内定者法人合同研修 (採用内定者16名参加) (高齢者部門3名、保育部門13名)
6～ 7	令和6年度 採用内定者実地研修	特養・桜谷荘 (3名参加)
12	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第14回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
13	幼認・神戸さくら保育園	令和5年度第12回人材確保対策委員会
15	幼認・神戸さくら保育園	令和6年度第15回保育部門保育士・保育教諭採用試験 (1名受験)
18	学校訪問	環太平洋大学
21	放課後等DS「ブルーメひめじ」	放課後等デイサービス就職説明会 (1名参加)
22	学校訪問	頌栄短期大学
23～30	令和6年度 採用内定者実地研修	保育部門 (16名参加)

令和 5 年度 事業報告書

特別養護老人ホーム桜谷荘 (定員 85名)				
稼働状況		目標	実績	差異
	稼働率	98.00%	95.78%	-2.22%
	人数	83.30名/日	81.41名/日	-1.89名/日
	平均要介護度	4.00	3.77	-0.23
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 地域サポート施設としての活動内容の充実 ③ 福祉避難所としての体制整備 ④ 人権侵害防止の取組みの強化 ⑤ サービスの質の向上への取組み ⑥ 介護事故に対する安全管理体制の強化 ⑦ 感染症対策の強化 ⑧ ノーリフトケア(抱え上げない介護)の質の向上への取組み ⑨ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加 ⑩ 人材養成の積極的展開 ⑪ 経済連携協定(EPA)に基づく外国人(フィリピン)介護福祉士候補者への学習支援 ⑫ 安定した事業運営への取組み ⑬ 部署内及び各職種との連携強化 			
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員85名、年間ベッド稼働率95.78%で予算目標稼働率98.00%に対して2.22%の減、平均要介護度3.77で予算目標平均要介護度4.00に対して0.23ポイントの減であり、予算達成はできなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 福祉避難所としての体制整備 本年度は、赤穂市及び赤穂市社会福祉法人連絡協議会と連携を図り、福祉避難所としての体制整備に取り組んだ結果、実際の非常災害時発生時に適正に福祉避難所として機能するよう、昨年度に更新された福祉避難所マニュアルの周知は図られたが、シミュレーション(訓練)の実施までには至らなかった。次年度は、更新された福祉避難所マニュアルを基に赤穂市及び赤穂市社会福祉法人連絡協議会と連携を図り、シミュレーションを実施することで福祉避難所が実際の災害時に適正に機能できるよう体制整備に努めなければならない。 ④ 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化 人権擁護委員会を中心として、施設内における高齢者虐待及び身体拘束等につながる問題ケースの有無を検証し、問題ケースについてはケアスタッフミーティングを通じて改善策を検討・実施したほか、令和5年9月20日に開催した職員研修において人権擁護に係る研修を実施したことで職員への意識付けを図った結果、本年度も高齢者虐待及び身体拘束等の事例は無かったが、入居者への声かけの在り方等を見直す必要があるため、次年度も引き続き、職員研修及び委員会における牽制機能の充実・強化を図ることで人権擁護を徹底しなければならない。 ⑪ 経済連携(EPA)に基づく外国人(フィリピン人)介護福祉士候補者への学習支援 本年度は、業務時間内での日本語指導員による週2回の日本語指導及び国際厚生事業団の主査するWEBによる日本語研修等の活用に加え、研修担当職員(日本語指導員)によるOJT指導を通して日本語及び介護の基礎の習得に取り組んだが、日本語能力試験N4を合格するまでの日本語を習得するまでには至らなかった。次年度は、介護福祉士国家試験受験年度であることから、国際厚生事業団の主査する国家試験対策講座の活用に加え、効果的な研修となるように日本語指導員の研修プログラムを見直し、EPA介護福祉士候補者の日本語能力の向上、介護福祉士国家試験合格に向けての介護の知識・技術の習得、国家試験基礎知識の習得を目標とした学習支援に取り組まなければならない。 ⑫ 安定した事業運営に向けた対応策の取組み 本年度も経営会議及び事務所ミーティングや介護保険請求復命時等で現状分析及び課題に対する具体策を検討したが、ベッド管理担当者が適正にベッド管理が行える環境整備や入所待機者管理台帳のタイムリーな更新が行えていなかったことに加え、令和5年6月12日から令和5年6月29日にかけて新型コロナウイルスの施設内クラスターが発生した事による新規入所者の受入を中止せざるを得ない状況であったこと及びクラスター後の新規入所受入計画が不十分であったことが影響し、予算稼働率98.00%に対して年間ベッド稼働率95.78%と予算稼働率に対して-2.22%の状況で、予算達成することはできなかった。よって、次年度は経営会議等で決定した戦略の実践に加え、日々のミーティングにおいて具体的なアプローチ方法の検討・実施、入所待機者台帳をタイムリーに更新し、急な退所者が発生した際の補填ができる状況を常に確保するとともに、体調不良者が出やすい時期を予測してのベッド管理を徹底し、空床を減少させ予算達成をさせなければならない。 			

令和5年度

事業報告書

特別養護老人ホーム 桜谷荘

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

〈重点項目〉

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 地域サポート施設としての活動内容の充実
- ③ 福祉避難所としての体制整備
- ④ 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化
- ⑤ サービスの質の向上への取組み
- ⑥ 介護事故に対する安全管理体制の強化
- ⑦ 感染症対策の強化
- ⑧ ノーリフトケア（抱え上げない介護）の質の向上への取組み
- ⑨ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加
- ⑩ 人材養成の積極的展開
- ⑪ 経済連携協定（EPA）に基づく外国人（フィリピン）介護福祉士候補者への学習支援
- ⑫ 安定した事業運営への取組み
- ⑬ 部署内及び各職種との連携強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、定員85名、年間ベッド稼働率95.78%で予算目標稼働率98.00%に対して2.22%の減、平均要介護度3.77で予算平均要介護度4.00に対して0.23ポイントの減であり、予算達成はできなかった。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第5期経営5か年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度は、第5期経営5か年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第5期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

2 地域サポート施設としての活動内容の充実

本年度も引続きサービス利用料金を無料にしたものの、民生児童委員への情報提供や在宅介護支援事業所との連携に不十分な面がみられたほか、機関紙等を活用したPR活動においても効果的活用には至らず、新規利用者は1名のみであった。

しかし、契約者に対しては週1回の見守り訪問及び電話連絡による安否確認、契約者からの相談援助を行った結果、契約者との信頼関係の構築が成され、契約者が地域で安心して生活できる環境の一助として活動できた。

また、地域サポート施設運営委員会で地域ニーズの把握、ニーズに対応する新たな公益的事業の検討を行ったものの、具体的な取り組みにまでには至らなかった。次年度は、地域サポート施設の目的を再整理したうえで地域ニーズに対応した公益的事業に取り組まなければならない。

3 福祉避難所としての体制整備

本年度は、赤穂市及び赤穂市社会福祉法人連絡協議会と連携を図り、福祉避難所としての体制整備に取り組んだ結果、実際の非常災害時発生時に適正に福祉避難所として機能するよう、昨年度に更新された福祉避難所マニュアルの周知は図られたが、シミュレーション（訓練）の実施までには至らなかった。

次年度は、更新された福祉避難所マニュアルを基に赤穂市及び赤穂市社会福祉法人連絡協議会と連携を図り、シミュレーションを実施することで福祉避難所が実際の災害時に適正に機能できるよう体制整備に努めなければならない。

4 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化

人権擁護委員会を中心として、施設内における高齢者虐待及び身体拘束等につながる問題ケースの有無を検証し、問題ケースについてはケアスタッフミーティングを通じて改善策を検討・実施したほか、令和5年9月20日に開催した職員研修において人権擁護に係る研修を実施したことで職員への意識付けを図った結果、本年度も高齢者虐待及び身体拘束等の事例は無かったが、入居者への声かけの在り方等を見直す必要があるため、次年度も引き続き、職員研修

及び委員会における牽制機能の充実・強化を図ることで人権擁護を徹底しなければならない。

5 サービスの質の向上への取組み

1) 介護マニュアルに基づくサービス提供の強化

本年度は、令和5年5月24日に開催したケアスタッフ会において、マニュアル及び各フロアでの決まりごとの周知を図り、介護マニュアルについては、年1回の見直しを行い、それに基づき職員研修を実施したことで全職員への周知徹底を図った。次年度も継続して、マニュアルの周知及び現場での実践状況を検証し、サービスの標準化に取り組まなければならない。

2) サービス自己評価及び利用者満足度調査のサービスへの反映

本年度も継続して、サービス評価委員会が中心となり、本年度実施したサービス自己評価からの課題に対する改善策の実施状況を検証し、サービスの質の向上に取り組んだが、環境整備等においての入居者の視点に立ったサービス改善に課題が見られたため、次年度は、サービス評価委員会及びケアスタッフ会において、入居者の視点に立った施設サービスの改題点を明確にして改善策に取り組まなければならない。

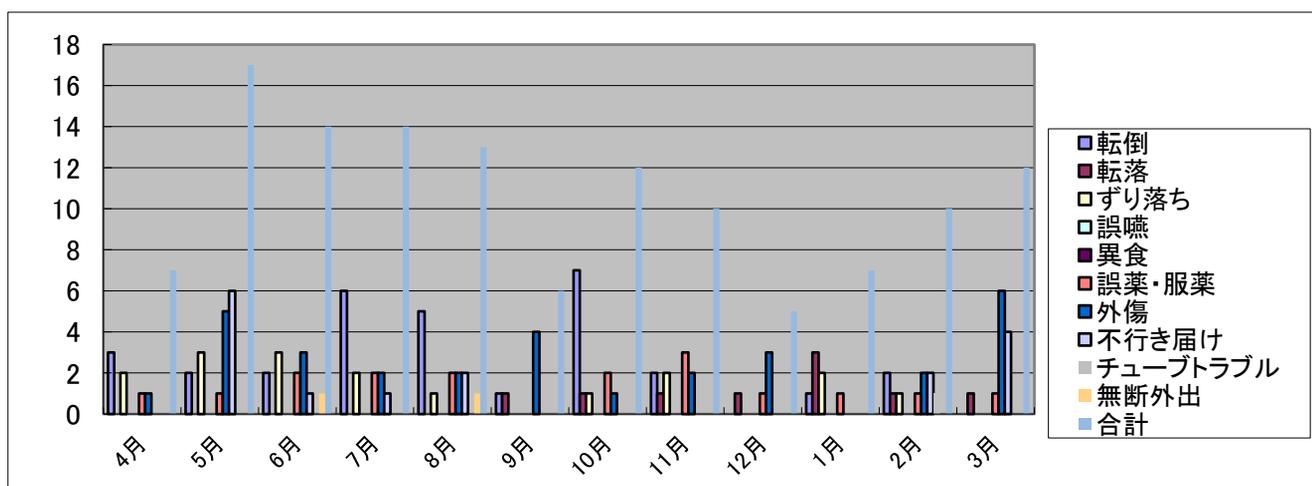
6 介護事故に対する安全管理体制の強化

本年度も介護事故防止委員会において、IACの発生状況等を分析し、具体的な課題及び改善策についてミーティングを活用し、周知徹底を図った結果、転倒・転落については、前年度の63件に対して本年度は40件で、年間23件減少し、誤飲・誤嚥については昨年度に引き続き0件であったことは評価できる。

昨年度に引き続き、介護事故防止委員会での検討内容が適切に介護現場へフィードバックされていない等、委員会としての牽制機能において不十分な状況が伺えたため、次年度は、委員会で検討した課題点を確実に介護現場にフィードバックし、課題に対する改善策の進捗状況を検証することで牽制機能の強化を図り、介護事故の未然防止及び再発防止に努めていかなければならない。

＜令和5年度 特養入居者 ヒヤリハット件数データ3＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	3	2	2	6	5	1	7	2		1	2		31
転落						1	1	1	1	3	1	1	9
ずれ落ち	2	3	3	2	1		1	2		2	1		16
誤飲													0
誤嚥													0
異食										1			1
誤薬	1	1	2	2	2		2	3	1	1	1	1	17
外傷	1	5	3	2	2	4	1	2	3		2	6	31
不行き届け		6	1	1	2						2	4	16
チューブトラブル											1		1
無断外出			1		1								2
その他			2	1									3
合計	7	17	14	14	13	2	12	10	5	7	10	12	127



7 感染症対策の強化

本年度も継続して、感染症対策委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策や5Sについて職員への注意喚起及び施設内パトロールを実施し、感染症予防に係る課題点を各現場にフィードバックし改善策の実施状況の検証を行う等、感染症予防に対する牽制機能を働かせたほか、令和5年7月19日及び10月18日の職員研修で感染症予防対策の周知徹底を図ったが、職員が施設内に新型コロナウイルスを持ち込み感染したと考えられる入居者12名、職員6名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが令和5年6月8日から令和5年6月29日にかけて発生した。

次年度も継続して、日々の介護現場の感染症対策に関する課題点を検証し、感染症対策委員会の牽制機能を更に強化することで、感染症予防の徹底を図らなければならない。

8 ノーリフトケア（抱え上げない介護）の質の向上への取組み

本年度は、ノーリフトケアコーディネーター養成講座アドバンス受講者が中心となり、受講した内容を介護現場に

反映させることでノーリフトケアの質の向上に努めた他、「拘縮の強い入居者のポジショニング」についての事例検討や職員研修を実施したことで、介護の基本を再認識し、ノーリフトケアに反映させることが出来た。

次年度は、入居者個々の状態に応じたスタンディングマシーン等の介護機器を活用して、入居者に自立支援に向けた効率・効果的なノーリフトケアの実践に取り組んでいきたい。

9 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により地域行事の参加等は適わなかったが、家族参加型の施設行事を再開させるなど年間計画に基づき、以下の施設内行事を通して入居者の生活に潤いが持てるよう取り組んだ。また、地域住民との会食を含めた新年会を催すなど、地域交流行事も再開させることができた。次年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで地域及び関係機関が主催する行事等に積極的に参加し、地域との関係づくりに努めなければならない。

《令和5年度行事実施表》

令和5年4月4日 8日	お花見（車中花見） 花まつり	10月25日	ホーム内運動会
5月8日 30日	開荘43周年記念行事 ホーム内ショッピング	11月27日	ホーム内ショッピング
6月30日	輪越し	12月6日 25日 28日	桜寿会忘年会 クリスマス会 ホーム内餅つき
7月7日	七夕	令和6年1月1日 31日	桜寿会新年会 地域との新年会
8月2日 9日	盆供養 ホーム内盆踊り	2月3日	節分行事
9月24日 26日	桜谷荘敬老会 彼岸法要	3月3日 22日	ひな祭り 春の彼岸法要

10 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底とサービスへの反映

本年度は、基本理念の周知徹底の取組みとして、人権擁護委員会が中心となり、令和5年9月20日に実施した職員研修において人権擁護に対する意識づけを図ったほか、令和6年1月19日から1月31日にかけて「虐待の目チェックリスト」を活用して職員アンケートを実施した。しかし、アンケート結果からの具体策の実施までには至らなかったため、次年度はアンケートからの課題に対する具体策を特養幹部会において検討・実施し、基本理念の「人権を擁護する」に基づくサービスの徹底に取り組んでいく。また、課題のある職員に対しての個別指導を計画的、且つ、継続的に実施し改善を図っていきたい。

2) 新任職員研修

本年度は、令和5年3月1日付で採用した介護員2名、6月1日付で採用した厨房職員1名、9月1日付で採用した主任看護員1名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、法人基本理念に基づく介護・看護・調理の基礎を習得することができた。

また、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用することができた。次年度も継続して、は施設長をはじめとした全職員がチューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努めたい。

3) 施設内研修

本年度も研修委員会が作成した年間研修カリキュラムに基づき、確実に施設内研修会を実施した。

研修終了時には感想レポートを提出することで、講義に対する意識を高めさせるとともに理解度の確認を行った。また、研修の振り返り及び理解度の確認、現場での実践を検証するため、職員研修内で振り返りを行い、職員への意識付けを図り、より効果的な研修の実施に努めた。

しかし、研修実施後の職員の意識及び行動の変化の検証が不十分だったので、次年度は研修員会を中心に研修実施後のアンケートを基に、職員の意識や行動がどのように変化し、どのようにサービスに反映されているかを検証していく必要がある。

また、研修を担当した委員会及び部署に研修内容に対する理解度をフィードバックすることで研修内容を見直し、効果的な研修となるように努めていく。

4) 施設外研修

本年度も新型コロナウイルス感染症の影響もあり各種団体が主催する研修会へ積極的に参加することができなかった。

次年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、施設外研修等に積極的に参加し、職員研修及びケアスタッフ会等において、受講者が研修で学んだ内容を伝達する場をタイムリーに設け、研修内容を介護現場に反映させることでサービスの向上につなげていく必要がある。

5) 人事考課制度の効果的運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の考課基準の統一については課題が伺え、効果的な運用に繋げることが出来なかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の考課基準の統一に取り組まなければならない。

6) 資格取得に向けての支援

本年度は、介護福祉士の資格取得に向けた取組みとして、令和5年6月16日から12月15日の第3金曜日に介護課長や主任介護員等の介護福祉士国家資格保有者が講師となり勉強会を実施した結果、職員1名が介護福祉士国家資格を取得することが出来たが、勉強会のカリキュラムに課題が伺えた。よって、次年度は効果的なカリキュラムとなるよう内容を見直し、計画的に勉強会を実施しなければならない。また、介護福祉士実務者研修受講料の一部を法人が負担する等の資格取得に向けての支援を積極的に行っていきたい。

1.1 経済連携（EPA）に基づく外国人（フィリピン人）介護福祉士候補者への学習支援

本年度は、業務時間内での日本語指導員による週2回の日本語指導及び国際厚生事業団の主査するWEBによる日本語研修等の活用に加え、研修担当職員（日本語指導員）によるOJT指導を通して日本語及び介護の基礎の習得に取り組んだが、日本語能力試験N4を合格するまでの日本語を習得するまでには至らなかった。次年度は、介護福祉士国家試験受験年度であることから、国際厚生事業団の主査する国家試験対策講座の活用に加え、効果的な研修となるように日本語指導員の研修プログラムを見直し、EPA介護福祉士候補者の日本語能力の向上、介護福祉士国家試験合格に向けての介護の知識・技術の習得、国家試験基礎知識の習得を目標とした学習支援に取り組まなければならない。

1.2 安定した事業運営に向けた対応策の取組み

1) 平均ベッド稼働率98.00%の確保

本年度も経営会議及び事務所ミーティングや介護保険請求復命時等で現状分析及び課題に対する具体策を検討したが、ベッド管理担当者が適正にベッド管理が行える環境整備や入所待機者管理台帳のタイムリーな更新が行えていなかったことに加え、令和5年6月12日から令和5年6月29日にかけて新型コロナウイルスの施設内クラスターが発生した事による新規入所者の受入を中止せざるを得ない状況であったこと及びクラスター後の新規入所受入計画が不十分であったことが影響し、予算稼働率98.00%に対して年間ベッド稼働率95.78%と予算稼働率に対して-2.22%の状況で、予算達成することはできなかった。

よって、次年度は経営会議等で決定した戦略の実践に加え、日々のミーティングにおいて具体的なアプローチ方法の検討・実施、入所待機者台帳をタイムリーに更新し、急な退所者が発生した際の補填ができる状況を常に確保するとともに、体調不良者が出やすい時期を予測してのベッド管理を徹底し、空床を減少させ予算達成をさせなければならない。

2) 質が高く効率的な介護の提供体制の整備

質が高く効率的な介護の提供を行うことで適正な加算取得に結びつけていくために、加算要件に準ずる介護が提供できているかどうかについての裏付け資料を作成し、介護保険請求復命時及びコンプライアンス委員会において加算要件を満たしているかどうかを検証したことで、質が高く効率的な介護の提供体制が整備され適正に加算を取得することができた。次年度も継続して、コンプライアンス委員会においてLIFEを活用することで算定可能な個別加算について加算取得計画を立案し、計画に基づく加算取得に取り組む。

1.3 施設内の安全環境の確保

労働安全衛生委員会を中心に施設内の安全環境に対する点検を行うため、年間計画に基づき安全衛生パトロールを実施した結果、問題点の早期発見及び早期改善を図ることが出来た。

また、毎朝、腰痛予防体操を実施し、職員の労働安全衛生管理についても改善がみられた。次年度も労働安全衛生委員会で検証した課題点に対する改善策の実施状況及び腰痛予防体操の実施状況を検証するなど委員会の牽制機能を強化し、職員の労働安全衛生管理体制のより一層の整備を図らねばならない。

1.4 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る

本年度も、入居者及び入居者家族からの苦情予防のため、希望や要望に応えられる仕組みとして、サービス検討委員会（民生・児童委員、家族代表者で組織）と入居者・家族との意見交換を計画的に実施し、その内容をサービスに反映させるよう企画したが、新型コロナウイルスの感染症の影響により、サービス検討委員会の委員からの委員会開催中止の要望が強く、委員会の開催が適わなかった。しかし、本年度の苦情発生件数は0件であった。

次年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで委員会を開催し、苦情予防だけでなく、入居者・家族の希望や要望に応えることで個別性の高いサービスの提供に努めなければならない。

1.5 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

入居者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚が図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年5回、地区との合同消防避難訓練を年1回、土石流災害対応訓練を年1回、非常招集訓練を年1回、失踪者発生時の初動対応訓練を年4回実施した。次年度も消防避難訓練及び災害等発生時対応訓練に加え失踪者発生時の初動対応訓練についても年間計画に基づいた訓練の実施を徹底する。また、赤穂市及び赤穂市社会福祉法人連絡協議会と連携を図り、赤穂市全体としての福祉避難所への受入れ訓練を実施し、実際の災害時に適切に福祉避難所として機能できるように取組まなければならない。

《令和5年度消防・災害訓練等実施表》

実施日	訓練種類	他団体との連携	参加人数
令和5年4月12日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員6名
5月29日	夜勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員6名
7月31日	非常招集訓練	赤穂市消防本部	全職員
8月28日	失踪者発生時初動対応訓練		職員10名

9月25日	夜勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員9名
10月20日 30日	土石流災害対応訓練、避難訓練 失踪者発生時初動対応訓練		職員15名 職員6名
11月28日	地区との合同消防避難訓練	赤穂市消防本部	全職員、赤穂記念病院職員1名 地域住民45名（非常招集連絡）
12月25日	失踪者発生時初動対応訓練		職員8名
令和6年1月29日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練、通報訓練	赤穂消防本部	職員6名
2月26日	失踪者発生時初動対応訓練		職員7名
3月25日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員4名

生活相談員

1 家族との連絡調整

本年度も継続して、各部署からの細かな情報収集を行い、その情報を基に、電話連絡による家族への状態報告及び必要事項の調整を実践することができた。また、面会の少ない家族に対してはお便りを送付する際に本人の写真を添えて生活の様子を可視化することで、本人の生活状況が分かるように継続して取組んだ結果、家族から「なかなか会いに行くことができないから、写真を添えてもらってうれしい」、「元気そうで良かった」との声が聞かれた。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視しつつ、対面での面会を実施し、入居者・家族の関係性の構築だけではなく、施設外の社会との関わりを持つきっかけづくりに努めたが、職員が施設内に新型コロナウイルスを持ち込み感染したと考えられる入居者 12 名、職員 6 名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが令和 5 年 6 月 8 日から令和 5 年 6 月 29 日にかけて発生したことにより、対面での面会を中止せざるを得ない状況に陥った。しかし、クラスター終息後すぐに対面での面会を再開したことは評価できる。次年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視しつつ対面での面会等を実施し、入居者・家族の関係性の構築に努めなければならない。

2 ターミナルケアの充実

入所時・ターミナル移行時には、ターミナルケアについての意向確認書を活用して家族の意向確認だけではなく、家族を交えての拡大カンファレンスを開催し、看護部門を中心として、各部署との情報の共有化及び連携を強化することで入居者・家族の意向に沿ったサービス提供の実践に努めることができた。

さらには、各部署でターミナルケア実施の振り返りを行い課題に対する具体策を検討することで、サービスの質の向上に取り組んだ。次年度も家族を交えての拡大カンファレンスを開催し、家族の意向をターミナルケアに反映させ、個別性の高いサービスを実施するほか、ターミナルケア実施後には家族に対してターミナルケアにかかるアンケートの実施やターミナルケア実施後のカンファレンスを行うことで、ターミナルケアの取り組みの充実を図っていく。

3 生活相談員の資質向上と専門性の確立

生活相談員業務マニュアルを基に、業務目的及びその手順の再確認を行い、マニュアルに沿った業務の習得に努めたが、OJT による業務の再確認が中心となり、生活相談員としての心構え・役割等の理解を深めるためのマニュアル研修が不十分であった。よって、次年度は、生活相談員の心構えと役割を意識したうえでマニュアルに基づいた業務が行えるよう日々確認を行うとともに、次年度の介護報酬改定の動向についても注意を払い迅速、且つ、的確に対応していきたい。

4 各職種・外部機関との連携強化

夕方の申し送り・カンファレンス開催後の情報を施設長・介護課長・介護支援専門員との連携のもと収集し、自らも積極的に現場に関わり、入居者及び施設内の状態把握に努めたほか、外部とのパイプ役として積極的に関係機関と連携した結果、施設内外の情報を共有し適切な報告・連絡・相談及び各職種との連携を図ることができた。

また、生活相談員間の連携を強化するために、ミーティングや連絡ノートを活用することで情報の共有化を図り、昨年度からの課題であった、事務所内や各部署への報告・連絡・相談の漏れについては概ね目標を達成できた。

次年度も継続して、生活相談員として主体性をもって状況確認を行い、施設内における様々な情報を収集し、各職種間のパイプ役として機能していくとともに、事務所ミーティングや内部回覧等を活用して事務部門の連携強化に努める。

介護支援専門員

1 アセスメントの充実

新規入所時や介護保険認定更新時及びプラン見直し時にアセスメントを行い、入居者の様子・留意事項等の情報を積み重ね、その情報を基に介護ソフト「ほのぼの」の包括的自立支援プログラムのケアチェック表を活用してデータ更新を行った。また、前回のプランを比較することにより改善や予測をふまえてプランの作成に努めた。

次年度は各部署と確実な連携を図り、情報収集に継続してケアチェック表を活用し、適切なアセスメントに取り組んでいきたい。

2 ケアプランの周知徹底と位置付け

本年度も、全部署のケアプランの共有化を目的として、施設サービス計画の内容を入居者、又はその家族に説明し、同意を得てから、施設サービスを開始するよう徹底した。また、修正後のケアプランを各部署に配布し、ケアプランに沿ったサービスが提供できた。

次年度も継続して、状態変化に応じた適切な見直しプランの作成を早急に行い、各部署と情報を共有し、適正、且つ、タイムリーにサービスに反映出来るように努めていく。

3 サービス担当者会議の充実

本年度も継続して、サービス担当者会議の年間スケジュールを作成し、年間スケジュールに基づき毎週火曜日と金曜日にカンファレンスを定期開催することで各部署の情報の共有化に努め、入居者全員のケアプランを半年に1回以上見直しすることが出来た。また、サービス担当者会議で見直しを行ったケアプランについては早急に各部署へ配布し、ケアプランに沿ったサービスの提供に努めることができた。次年度も継続してサービス担当者会議の開催後3日以内にケアプランを作成し、作成したケアプランの内容を介護現場に周知徹底していく。

4 モニタリングの実践

モニタリングを進めていくうえで、ケアプランと実際のサービス提供状況との整合性を検証するためのケアプラン実践記録については、担当介護員がケアプランの現状を理解するものとして継続的に取組めた。また、認知症ケア全体会において認知症状を有する入居者のモニタリングを行いプランに反映させることが出来た。

次年度は、アセスメントシートを活用して入居者状態の把握及びモニタリングを実践していく。また、各部署との連携を密にしてモニタリングを毎月実施していきたい。

5 ターミナルケアの充実

ターミナル期を迎えた入居者及びその家族の意向を聞き取りながら急変時の対応を含めたケアの方向性を「看取り介護計画書」に反映させたが、情報収集の不十分な面やプラン作成に遅れがみられ、十分なターミナルケアの実践につなげることが出来なかった。

よって、次年度も入居者及び家族の意向を確認し、看取り計画書に反映させ、個別性の高いサービスを実施するほか、ターミナルケア実施後には家族に対してターミナルケアにかかるアンケートの実施やターミナルケア実施後のカンファレンスを行うことで、ターミナルケアの取組みの充実を図っていく。

6 介護支援専門員の資質向上と他職種との連携

介護支援専門員としての資質向上については、施設ケアマネとして入居者の生活支援への視点を持つことで、より具体的なプランへの反映に努めた。また、朝礼や申し送り等で情報の収集を行い、入居者の現状把握に努めた結果、情報収集した内容をタイムリーにプランに反映させることができた。

次年度は、介護給付適正化事業のケアプラン点検マニュアルに基づきケアプランの点検を行い、プランの精度を高めていきたい。

介護部門

1 人材養成の積極的展開

1) 新任職員指導

本年度は、令和5年3月1日付で採用した介護員2名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、法人基本理念に基づく介護の基礎を習得することができた。また、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用することができた。次年度も継続して、全職員がチューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努める。

2) 介護マニュアルに基づく介護サービスの徹底

介護マニュアルについては、令和5年5月24日に開催したケアスタッフ会において、マニュアル及び各フロアでの決まりごとの周知を図り、介護マニュアルについては、年1回の見直しを行い、それに基づき職員研修を実施したことで全職員への周知徹底を図った。次年度も継続して、マニュアルの周知及び現場での実践状況を検証し、サービスの標準化に取り組まなければならない。

また、本年度の基本理念の周知徹底の取り組みとして、人権擁護委員会が中心となり、令和5年9月20日に実施した職員研修において人権擁護に対する意識づけを図ったほか、令和6年1月19日から1月31日にかけて「虐待の目チェックリスト」を活用して職員アンケートを実施した。しかし、アンケート結果からの具体策の実施までには至らなかったため、次年度はアンケートからの課題に対する具体策を特養幹部会において検討・実施し、基本理念の「人権を擁護する」に基づくサービスの徹底に取り組んでいく。また、課題のある職員に対しての個別指導を計画的、且つ、継続的に実施し改善を図っていきたい。

2 個別ケアの充実

1) 生活支援と自立支援への取り組み

① 入居者の状態把握に努め、毎朝のミーティングやスタッフ会において入居者の状態に応じた排泄・入浴形態の変更及び自立支援・生活支援に結びつくケアについて検討・実践した。

また、認知症ケア全体会議においては、毎月、担当入居者の状態について話し合う場を設け、個別ケアの確立に努めた。

しかし、ケース記録の入力漏れや、情報の発信不足により、入居者の状態等の情報の共有化が不十分であったことから統一したケアが実践できていない状況がみられた。

次年度は、ミーティング等における決定事項及び入居者状態の変化について確実に日誌や連絡簿に記載し、職員全員が周知出来るよう努め、ケアの統一及び自立支援に努める。

また、個別リハビリにおいては、日常動作を維持できるメニューを多く取入れ、楽しみながら自立支援につながるリハビリが継続して行えたことは評価できる。

② 本年度も継続して、入居者・家族のニーズ把握に努め、館内及びベランダ等での散歩、ミニ喫茶、ベランダ菜園、レクリエーション等を実施することで入居者同士の交流を図り、施設生活の中でも潤いのある生活に努めた。

しかし、業務調整が不十分なことから定期的な実施ができていない現状がみられたため、次年度は、早期に業務調整を行い確実に実践しなければならない。

③ 本年も継続して、居室に入居者・家族の写真や思い出の品、入居者が作成した折り紙や編み物などを飾ることで入居者・家族の意向に沿った環境整備に努めたほか、担当職員が衣類整理用のかごを活用し、服の種類毎に整理できるよう取り組んだ。また、居室清掃時や訪室時にはベッドやタンス周りの整理整頓に努め、入居者が快適に生活出来る環境を整えた。

しかし、タンスの整理について不十分な状況がみられたため、次年度は入居者担当職員を中心に、毎月タンス整理を行うほか、個別性に合った生活環境作りに努めていく。

2) ケアプランに基づくサービスの提供と自立支援への取り組み

ミーティングにて入居者の状況変化、ケアの実態について検証し、ミーティング・連絡簿を通じてスタッフに周知徹底を図ることができた。また、ケース記録については、介護ソフト「ほのぼの」を活用してデータ入力を行えたが、職員によって入力した内容の精度に差が伺えたため、次年度は入力内容の標準化に取り組んでいきたい。

また、PTと機能訓練指導員との連携のもと、日々の個別リハビリ及び火曜日・木曜日の集団リハビリを実施し、拘縮予防についても体位変換表に基づいて小枕の使用等により実施した。次年度も引き続き、ミーティング及びケアスタッフ会にてポジショニング・拘縮予防・体位変換についての研修を行い、そのことについての必要性を職員へ意識付けすることで周知徹底を図っていく。また、タイムリーなポジショニング等の変更を周知させるため、変更があった場合は早急に変更点のポイントを整理し、現場が理解しやすい様に見本の写真を撮る等して現場への周知徹底を図りたい。

3 認知症専門ケアの充実

本年度は、認知症高齢者への専門ケアの充実を目標に、毎月認知症ケア全体会議を開催し、入居者の状態変化に応じて個別目標と留意事項を見直し、月末にモニタリングを実施・検証することで実施状況とその評価に取り組んだ。また、認知症の理解を深めるため、令和5年8月23日及び令和6年2月28日のケアスタッフ全体会において認知症にかかる研修を実施した結果、認知症に対する意識が向上し、より効果的な認知症ケアに繋げることができた。次年度も継続して勉強会及び研修会を開催し、職員への意識付け及びサービスの質の向上に努めていきたい。

認知症ケア全体会議にて、各認知症グループリーダーより「みんなで取り組むレクリエーション」として、介護現場で実際に行なえるレクリエーションを検討し、その内容及び実施方法等を記載したレクリエーション一覧表を西館・東館それぞれに設置し、担当職員が一覧表の内容に基づくレクリエーションが実施出来るよう取り組んだ。しかし、レ

クリエーション一覧表が効果的に運用されていない状態がみられたため、次年度はレクリエーション一覧表に基づくレクリエーションの実施及びケース記録への記載、実施内容の検証を行うことで一覧表の効果的な運用に努めていかなければならない。

また、認知症ケア全体会議において、他職種協働によるチームアプローチによる個別性の高い目標の検討を行った。次年度もチームアプローチの実施状況の検証を行い課題に対する改善策を実施することで取組みの精度を高めていきたい。

4 リスクマネジメントの取組み

本年度は、入居者個々の認知症状の特徴を理解したうえで、生活パターンや行動パターンを認知症ケア全体会議やスタッフ会及び毎朝のミーティングを活用して検証し、入居者のリスク回避に努めることができた。

しかし、情報収集が不十分なところもあり、突発的な危険行動の回避が出来なかったケースがあったため、度は、職員間での気付きを持つようミーティングやスタッフ会にて意識啓発を図る必要がある。

また、日々のミーティングやスタッフ会において、入居者個々のADLや身体状況の把握に努め、個別留意事項の確認・検証を行い、入居者個々の日常生活動作を検証し居室環境を整えることで事故の未然防止につなげることが出来た。次年度も継続して、入居者個々の状態に合わせた環境整備に努め適切なサービスの提供及び事故防止に努めたい。

IAC レポートを活用し、事故・ハットひやり報告の内容と改善策の周知徹底を図り、介護の在り方・方法の見直しや業務体制の見直し等により職員の意識改革に努めたほか、見守りの優先順位をミーティングで随時検討し、事故の未然防止に努めた。また、高齢者擬似体験による介護事故に対する意識付けを行うことが出来た。しかし、個別のリスクに対する介助方法の徹底と実施状況の検証が不十分な点があったため、次年度は、IAC レポートをより一層活用し、個別の事故の発生原因の追究・改善策の周知徹底を行うほか、介助方法の統一を徹底し、介護事故の防止に努める必要がある。

5 ターミナルケアの充実

変化のおきやすいターミナル期においては、入居者の状態に即応するため、各部署との連携を強化するとともに、見守り・声かけ・傾聴等に特に配慮した。また、家族を交えての拡大カンファレンスに参加することで、より具体的な家族の意向を確認し、その意向に沿ったケアを提供することで、その人らしい最期が迎えられるように取り組むことが出来た。また、ターミナルケア実践状況を検証し、課題に対する改善策を実施することで、ターミナルケアの質の向上に努めた。

入居者の嗜好品やなじみの物を家族との連携のもと用意し、その人らしい居室環境づくりに努めた結果、家族から「ここまでしていただいて幸せです」との声も聞かれたことは評価できる。

よって、次年度も引続きターミナルケアにおける振り返りを行い、各部署との連携を図り、ケア内容の検討を重ね、心身とも穏やかに終末期が迎えられるように支援していく。

6 介護スタッフ及び各職種との連携強化

入居者の状態変化等を毎朝のミーティングにて整理し、連絡簿を活用して現場への周知徹底に取り組んだほか、情報の流れを統一することで、各部署への連絡・調整の強化に努めた。また、各部署との調整を速やかに行ったことにより、ケア内容の変更をスムーズに行うことができた。

しかし、西館、東館の連携に不十分な面があり、ケアの統一において共通認識を持つことができず、ケアが後手になってしまう状況がみられた。

よって、次年度は、連絡簿の記載内容を主任・副主任が確認するとともに主任・副主任会議にて情報の共有化を徹底していく必要がある。

また、各部署との連携においても、主任・副主任・各フロアリーダーが窓口となり、入居者の状態変化に伴うケアの方向性の統一等について更なる充実を図らなければならない。

看護部門

1 部署内及び各職種間との連携強化

医師・各職種との連携については、日誌・バイタル表などを基に入居者の健康状態等について申し送りをを行い、情報の共有化に積極的に取り組んだ。また、体調不良者などが発生した時は、早急に相談員に働きかけ適切な対応に努めたほか、異常の早期発見により医師との連携のもと適切な処置を行う事で、症状の悪化を最小限にとどめることが出来た。

看護員が不在の夜間の対応については、申し送り時に要観察者・観察ポイント・注意事項等を夜勤者に伝達するとともに、夜間帯の看護職員における当番制により、24時間、必要な指示・受診が行える体制を実践することができた。

また、各医療機関との連携においては、看護サマリーを作成し、より細かな情報提供に努め、退院時には必ず事前面談を行い、情報の共有を行った。

部署内の連携については、始業前にミーティングを行い、リーダーが朝礼・申し送りに参加し、リーダーからの報告や日誌・バイタル表から、入居者の健康状態を把握し、部署内での共通理解に取り組んだ。また、その日の予定に沿って役割分担・業務調整を行い、リーダーへの報告・連絡・相談を行ったが、部署内での連携に不十分な面が見られた。次年度は、ミーティングや医務部門カンファレンスだけではなく、日々の関わりの中で部署内の連携を図り、情報の発信及び共有化に努めなければならない。

2 個別ケアの確立

入居者の健康管理において、その人らしさの実現を念頭に、本人・家族・関係医療機関からの聞き取り、ケース記録・サマリー・医療情報提供書などを活用することにより、入居者の既往歴・現病歴・治療内容・身体状況を理解し、日々の観察・看護に取り組んだ結果、早期発見・早期治療につなげることができた。

また、退院時の面談やSS利用者におけるサービス担当者会議等に必ず同行し、健康管理及び身体機能維持の観点から情報収集を行うことで、より質の高い個別ケアに取り組むことが出来た。年2回（春・秋）の健康診断についても、実施スケジュールを作成し、予定通り実施することができた。次年度も引き続き、担当者会議等に同行し、質の高いケアに努めるとともに、健康診断の実施計画を早期に作成し、計画に基づく健康診断を行っていく必要がある。

3 ターミナルケアの充実

ターミナルケアの方針決定について、入所時とターミナル移行時に、本年度は生活相談員と協働で更新した意向確認のシートを活用だけでなく、家族を交えての拡大カンファレンスに参加することで、より具体的な家族の意向を確認し、その意向に沿ったケアを提供することで、その人らしい最期が迎えられるように取り組んだ。また、家族との対話を多く持ち、家族に寄り添うケアを実施することで精神的サポートに努めた。

また、ターミナルケア研修を実施し、知識・技術の向上を図った。研修を重ねていく中で、職員全体の意識の向上がみられ、ケアの充実につながっている。次年度も引き続き、職員研修にて看取りについての研修を行い、各職種間の意志の統一を図る必要がある。

4 感染症予防対策の強化

日々のバイタル測定や全身状態の観察を行い、早期発見に努め、医師への働きかけに積極的に取り組んだ。

本年度は、令和5年7月19日、10月18日の職員研修にて、感染予防の意義・重要性について研修し、職員の意識の向上と予防対策の周知徹底を図った。また、感染予防として手洗い・うがいの徹底を図ったことで入居者及び職員のインフルエンザ罹患者は発生しなかったことは評価できる。さらに、新型コロナウイルスに関しての知識及び感染予防対策について、委員会内で周知・実践し、ポスターの掲示や出勤時の検温、アルコール消毒に努めたが、職員が施設内に新型コロナウイルスを持ち込み感染したと考えられる入居者12名、職員6名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが令和5年6月8日から令和5年6月29日にかけて発生した。次年度も継続して入居者の日々の健康管理に努め、異常の早期発見・早期治療に努めるほか、感染症対策委員会が中心となり感染症対策の基本である手洗い・うがいの徹底及び環境整備に取り組み、感染症予防に努めなければならない。

また、研修委員会と連携し、感染症感染に関連した研修を実施し、職員の意識の向上を図るほか、感染症に係る施設内の環境パトロールを実施し、課題点の検証・改善に取り組んでいく。

5 経口摂取維持への取り組み

医師をはじめ各職種連携のもと、安全な経口摂取を維持する為の取り組みとして、カンファレンスや申し送りの場において、入居者個々の身体状況、栄養状態などの情報を共有し、食事形態、摂取方法などについて検証することができた。

機能訓練部門

1 個別機能訓練計画に基づく生活機能向上への取り組み

1) 外部のリハビリテーション専門職との連携による機能訓練の充実

本年度も継続して、赤穂記念病院の理学療法士と協働で入居者のアセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成するとともに3か月毎に機能訓練の実施状況を評価し、必要に応じて機能訓練計画の見直しを行った結果、入居者の状態に合わせた機能訓練を実施することができ、入居者の自立支援につなげることができた。次年度も継続して個別機能訓練計画に沿った機能訓練を実施し、入居者の生活機能向上に取り組まなければならない。

また、認知症の進行予防や認知症状の改善を目的として、「脳活バランスーCogEvo」を軸とした脳トレを実施し、課題であった移乗動作の改善については、入居者個々の苦手部分を明確化できたこともあり、個別リハビリと合わせて改善が図られた。また、集団への提供については、個別にMMSE等で評価は行えていないが入居者から「またしたい」「今日はしないの」など楽しみにされている感想や、CogEvoをきっかけに「カレンダーを見るようになった」との意見も聞かれた。次年度は、認知機能面以外への好影響も視野に、多職種協働での定期的な提供方法の確立を目指したい。

2 理学療法及び作業療法の専門性の確立

1) 理学療法の実践

身体に障害がある入居者に対し、日常を過ごす上での基本動作能力の維持、向上を図るために入居者の状態に合わせ、上下肢機能維持を目的とした全身運動及び関節拘縮や筋緊張亢進防止のための関節可動域訓練など、理学療法の実践に努めた。また、入浴中のリラックスした状態で関節可動域訓練やマッサージ等の浴中リハビリにも力点を置き取り組んだ。次年度も継続して、入居者の状態に合わせた理学療法の実践に取り組む。

2) 作業療法の実践

身体機能が低下している入居者に対し、日常過ごす上での応用的な動作を図るために季節折々にまつわる作品を制作し壁面に掲示する制作活動やプランターで野菜を栽培し水やりや収穫を行う園芸活動に取り組んだ。また、認知症の進行予防や認知症状の改善を目的として、リアリティ・オリエンテーション（現実見当識訓練）やシナプソロジー（脳活性化プログラム）及びプリント（計算・漢字問題、迷路、間違い探し、塗り絵）など、作業療法の実践に努めた。次年度も継続して、食事動作やその他生活に関わる動作の練習に取り組むことで入居者の機能維持に努めなければならない。

3 レクリエーションを活用した機能訓練の取り組み

本年度は楽しみながら継続的に機能訓練が実施できるように、レクリエーションを活用した機能訓練の実践に努めた結果、風船バレーやボール投げや紅白旗揚げゲームなど、楽しみながら心身の刺激につなげることができた。また、懐かしい歌に触れることで、歌詞を思いだして歌うことを楽しむ音楽療法にも積極的に取り組んだ。次年度も継続して、入居者が楽しみながら取り組める機能訓練の企画・立案・実践に努める。

食事部門

1 楽しみとされる食事

入居者の選択意思を尊重し、個々の嗜好に応じた食べ易い食事を提供するため、嗜好調査を年 2 回実施し、結果を献立に反映することで、入居者の嗜好ニーズの対応に努めることができた。また、「和風あんかけオムライス」、「ロコモコ丼」、「カラフルチキン」などの 19 種類の新メニューを提供し、入居者にとって楽しみある食事の提供に努めたことは評価できる。次年度も入居者の嗜好や状態に応じたメニュー及び食器の検討を行うことで、楽しみとされる食事の提供に努めたい。

市場調査については年 1 回実施し、物価が高騰する中で、事務部門と協力し、業者と交渉することで、品質を落とすことなく適正な食材費で購入することができた。次年度も引続き、市場調査を実施し、適切な価格で、より新鮮で品質の良い食材購入に努める必要がある。

また、適時適温食の実施については、保温食器を使用して適温に努めるとともに、主菜・主食に蓋をすることで乾燥をおさえ、適時適温の食事の提供に努めた。次年度も、各職種の情報を基に食事の提供状況を検証し課題点を改善することで適時適温食の提供に取り組んでいく。

2 栄養ケア計画の実施

各職種との連携により、入居者の身体状況・食事摂取量の把握を行い、スクリーニングにより低栄養状態のリスクの把握と個別栄養ケア計画の作成を行い、入居者個々に合わせた食事の提供に努めた。また、各職種と連携し、食欲不振者・低体重者を早期発見し、食事形態変更・栄養補助食品追加・自助具の活用等により、食事摂取量が増え、栄養状態の改善が図られた。

しかし、管理栄養士の作成が遅延する状況が伺えた。よって、次年度は、各職種の連携のもとタイムリーな栄養ケア計画の作成に努めなければならない。

3 衛生管理マニュアルの徹底

厨房内の日々のミーティングにおいて、衛生管理に係る課題点について検討したほか、外部研修の報告を行う事で部署内外へ食品・器具の扱いについて周知徹底を図った。また、入居者及び入居者家族へ居室内の食品管理については、入居者集会・家族会・オリエンテーションなど機会あるごとに注意事項の説明と協力を呼びかけた結果、本年度の食中毒発生はなかった。次年度も引続き、入居者の食品の持ち込み及び食品の管理について家族へ注意事項の説明を行う。

また、厨房内の環境整備については、衛生チェック表を基に毎週日曜日に清掃を行い、実施できなかった場合はその週のうちに確実に実施することができた。また、害虫の発生予防及び駆除としてアース環境サービスの点検を定期的実施した結果、感染症対策委員会の環境パトロールにおいて、とても良い評価を得た。次年度も引続き、清掃チェック表を活用して確実に清掃を行うことで、厨房内の環境整備に取り組まなければならない。

4 経口摂取維持への取組み

各部署連携のもと、経口維持計画書を作成し、個人の咀嚼・嚥下機能に配慮した食事形態の変更、トロミ付けに努めた。また、調理研究会にて基本理念に基づいた具体的な業務内容の理解及び検討を行い、本年度も継続して、「人権擁護」と「自立支援」に重点を置き、実践と検証に取り組んだ。その結果、職員への基本理念の理解に繋がり、業務内に反映できるまでに至った。次年度も引続き、各部署との連携を図り利用者個々の状態把握に努めるほか、基本理念に基づいた業務内容の周知徹底を図り入居者個人の咀嚼・嚥下機能に配慮した食事の提供に努める。

5 調理技術の向上

厨房内の日々のミーティングを活用し、食材の切り方の統一を図った。

また、調理後職員で必ず味見し、内容を検討した結果、味付けの統一に結びつけることができた。次年度も継続して、食事サービス研究会が中心となり、新メニュー開発、調理技術の統一及び向上に努める必要がある。

6 ターミナルケアの充実

家族・各職種との協働により入居者個々の嗜好や咀嚼・嚥下状態に応じて、炭酸飲料にトロミを付けて提供するなどで、終末期を迎えた入居者が最期まで経口による楽しみのある食事が適うように取り組んだ。次年度も継続して、家族・各職種との協働によるターミナルケアの充実に取り組んでいく。

7 部署内及び各職種の連携強化

日々のミーティング・カンファレンス等での情報収集のほか、栄養士が自ら現場に足を運び利用者の状態を確認することで、入居者へより豊かで楽しみのある食事を提供することができた。

また、厨房内の日々のミーティングにおいて、入居者のケア内容・栄養ケア計画に変更があった場合、変更になった理由を記載・掲示し、職員へ説明することで情報の共有化を図った。次年度も引続き、共通意識を持ち、情報の共有化を図らなければならない。

令和 5 年度 事業報告書

桜谷荘ショートステイ事業所 (定員 10名)				
稼働状況		目標	実績	差異
	稼働率	110.00%	85.90%	-24.10%
	人数	11.00名/日	8.59名/日	-2.41名/日
	平均要介護度	2.50	3.01	0.51
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に福祉還元する ③ 人権侵害防止の取組みの強化 ④ サービスの質の向上への取組み ⑤ ケアプランに基づく介護サービスの提供 ⑥ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑦ 医療処遇の充実 ⑧ 介護事故に対する安全管理体制の強化 ⑨ 顧客確保に向けた積極的展開 ⑩ 赤穂市介護支援専門員連絡協議会と連携し、在宅サービスの充実を図る ⑪ 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・医療機関との連携強化 ⑫ 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る ⑬ 部署内及び各職種との連携強化 			
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員10名、年間ベッド稼働率85.90%で予算目標平均稼働率110.00%に対して24.10%の減、平均要介護度は3.01で予算も目標平均要介護2.50に対して0.51の増であり、予算を達成することができなかった。</p> <p>② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に福祉還元する</p> <p>本年度は、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターだけでなく、行政や医療機関とも積極的に連携を図り、赤穂市における福祉ニーズの把握に努め、地域での24時間の見守り体制や地域で生活されている認知症高齢者への対応などの福祉ニーズに対して、特養・桜谷荘と連携して「地域サポート施設」の運営に取り組んだが、新規利用者の確保は1名のみであった。次年度も継続して地域サポート施設運営委員会において、地域サポート施設の目的の整理及び地域ニーズに対応した公益的的事业に取り組まなければならない。また、在宅介護支援センターやすらぎの開催する介護者教室や認知症予防教室などにも積極的に参加し、施設の専門的知識や技術を地域に福祉還元したほか、各居宅介護支援事業所から利用者及び家族のニーズとしてリハビリ希望が多くなってきているとの情報に対して、機能訓練指導員と連携し、利用者個々の状態やニーズに応じたリハビリを提供することができた。次年度も継続して、各関係機関と連携を図り、地域における福祉ニーズに迅速に対応していく。</p> <p>③ 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化</p> <p>本年度も継続して、利用契約時等に高齢者虐待及び身体拘束等の廃止に向けての考え方を利用者・家族に説明を行い、人権擁護の観点から身体拘束等に係る問題点を説明し、身体拘束等を行わず安全を確保するサービス内容を提示することで、理解・協力を得ることができた。また、居宅介護支援事業所等の関係機関と連携を図り、在宅での高齢者虐待が疑われるケースの有無を確認したが、虐待が疑われるケースは無かった。更に、人権擁護委員会を中心として、施設内における高齢者虐待及び身体拘束等につながる問題ケースの有無を検証し、問題ケースについてはケアスタッフミーティングを通じて改善策を検討・実施したほか、令和5年9月20日に開催した職員研修において、人権擁護に係る研修を実施することで職員への意識付けを図った結果、本年度も高齢者虐待及び身体拘束等の事例は無かったが、利用者への声かけの在り方等を見直す必要があるため、次年度も引き続き、職員研修及び委員会における牽制機能の充実・強化を図ることで人権擁護を徹底する。</p> <p>⑨ 顧客確保に向けての積極的展開</p> <p>本年度も継続して、各居宅介護支援事業所・医療機関及び赤穂市外の居宅介護支援事業所との積極的なアプローチを実施し、利用者のキャンセル時や特養入荘者の入院等が発生した場合には、タイムリーに各居宅介護支援事業所及び家族へ連絡調整することを徹底したが、併設している特養・桜谷荘の新型コロナウイルスのクラスターの影響もあり、本年度の予算稼働率110.00%に対し、85.90%とマイナス24.10%の状況であり、予算を達成することができなかった。よって、次年は事業所の強みを明確にした上で、居宅介護支援事業所及び医療機関へのアプローチを強化していくとともに、日々のベッド管理を徹底し、各居宅介護支援事業所や家族と細かな調整を行い、特養の入院者等による空床発生時やキャンセル発生時にも早期対応できるように予約管理を徹底しなければならない。</p>			

令和 5 年度

事業報告書

桜谷荘 ショートステイ事業所

＜基本理念＞

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

＜重点項目＞

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に福祉還元する
- ③ 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化
- ④ サービスの質の向上への取組み
- ⑤ ケアプランに基づく介護サービスの提供
- ⑥ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑦ 医療処遇の充実
- ⑧ 介護事故に対する安全管理体制の強化
- ⑨ 顧客確保への積極的取組み
- ⑩ 赤穂市介護支援専門員連絡協議会と連携し、在宅サービスの充実を図る
- ⑪ 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・医療機関との連携強化
- ⑫ 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る
- ⑬ 部署内及び各職種との連携強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、定員 10 名、年間ベッド稼働率 85.90%で予算目標平均稼働率 110.0%に対して 24.10%の減、平均要介護度は 3.01 で予算平均要介護 2.5 に対して 0.51 の増であり、予算を達成することができなかった。

1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第 5 期経営 5 年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度は、第 5 期経営 5 年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の 3 つを重点目標に掲げ、法人理念の 5 本柱をもとに第 5 期経営 5 年計画を積極的に推進していきたい。

2 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に福祉還元する

本年度は、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターだけでなく、行政や医療機関とも積極的に連携を図り、赤穂市における福祉ニーズの把握に努め、地域での 24 時間の見守り体制や地域で生活されている認知症高齢者への対応などの福祉ニーズに対して、特養・桜谷荘と連携して「地域サポート施設」の運営に取り組んだが、新規利用者の確保は 1 名のみであった。次年度も継続して地域サポート施設運営委員会において、地域サポート施設の目的の整理及び地域ニーズに対応した公益的事業に取り組まなければならない。また、在宅介護支援センターやすらぎの開催する介護者教室や認知症予防教室などにも積極的に参加し、施設の専門的知識や技術を地域に福祉還元したほか、各居宅介護支援事業所から利用者及び家族のニーズとしてリハビリ希望が多くなってきているとの情報に対して、機能訓練指導員と連携し、利用者個々の状態やニーズに応じたりハビリを提供することができた。次年度も継続して、各関係機関と連携を図り、地域における福祉ニーズに迅速に対応していく。

3 人権侵害防止及び身体拘束等の適正化

本年度も継続して、利用契約時等に高齢者虐待及び身体拘束等の廃止に向けての考え方を利用者・家族に説明を行い、人権擁護の観点から身体拘束等に係る問題点を説明し、身体拘束等を行わず安全を確保するサービス内容を提示することで、理解・協力を得ることができた。また、居宅介護支援事業所等の関係機関と連携を図り、在宅での高齢者虐待が疑われるケースの有無を確認したが、虐待が疑われるケースは無かった。

更に、人権擁護委員会を中心として、施設内における高齢者虐待及び身体拘束等につながる問題ケースの有無を検証し、問題ケースについてはケアスタッフミーティングを通じて改善策を検討・実施したほか、令和 5 年 9 月 20 日に開催した職員研修において、人権擁護に係る研修を実施することで職員への意識付けを図った結果、本年度も高齢者虐待及び身体拘束等の事例は無かったが、利用者への声かけの在り方等を見直す必要があるため、次年度も引き続き、職員研修及び委員会における牽制機能の充実・強化を図ることで人権擁護を徹底する。

4 サービスの質の向上への取組み

1) 介護マニュアルに基づくサービス提供の強化

5月24日に開催したケアスタッフ会において、マニュアル及び各フロアでの決まりごとの周知を図り、介護マニュアルについては、年1回の見直しを行い、それに基づき職員研修を実施したことで全職員への周知徹底を図った。次年度も継続して、マニュアルの周知及び現場での実践状況を検証し、サービスの標準化に取組まなければならない。

2) サービス自己評価及び利用者満足度調査のサービスへの反映

本年度は、サービス評価委員会が中心となり、本年度実施したサービス自己評価からの課題に対する改善策の実施状況を検証し、サービスの質の向上に取組んだが、環境整備等においての入居者の視点に立ったサービス改善に課題が見られたため、次年度は、サービス評価委員会及びケアスタッフ会において、入居者の視点に立った施設サービスの改題点を明確にして改善策に取組まなければならない。

5 ケアプランに基づく介護サービスの提供

新規利用時には、担当ケアマネジャーからの情報提供書の確認と事前面談をすることにより、細やかな心身の状態・生活環境の確認及び利用者ニーズの把握を行い、個別性の高いサービス提供に努めることができた。

特に、長期間利用がなかった利用者の受入れについては、担当ケアマネジャー及び家族への状態確認と看護員の同行による利用者の健康状態を事前に把握することで、状態変化に応じたサービス提供に努めた。また、本年度も継続して利用終了時にご家族へ利用状況を報告する「利用状況のまとめ」について、専門用語は極力使用せず利用者家族に分かりやすい表現で報告書をまとめたことにより、家族から「丁寧で分かりやすい」との評価を得た。

また、報告書による報告だけではなく、必要に応じて在宅での介助方法のアドバイス等も行った。次年度も高齢者福祉施設としての専門的視点から在宅生活が継続できるようにアドバイスを積極的に行っていく。

6 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

1) BCP（事業継続計画）の策定及び（シミュレーション）の実施

本年度は、昨年度策定したBCP（業務継続計画）に基づき令和5年10月20日に土石流災害対応訓練を実施したほか、令和6年3月27日に開催した職員研修においてBCPの必要性について再度全職員への周知を図った。次年度は、自然災害に加え感染症発生時に対応した訓練（シミュレーション）を実施しなければならない。

2) 感染対策の強化

本年度も継続して、ショートステイ利用時には利用者及びその家族等の健康状態を確認し、職員が送迎する際には利用者宅で、家族等が施設へ送迎する際には施設玄関でバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には利用中止等を家族との調整を図ったほか、利用時に持参した衣類等は乾燥機で高熱処理を行った結果、ショートステイ利用者の新型コロナウイルスをはじめとする感染症等の病原体の施設への持ち込みは無かった。

次年度も継続して、感染経路の遮断の徹底及び日々の介護現場の感染症対策に関する課題点を検証し、感染症対策委員会の牽制機能を更に強化することで、感染症予防の徹底を図っていきたい。

3) 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強

利用者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚が図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年5回、地区との合同消防避難訓練を年1回、福祉避難所対応訓練を年1回、土石流災害対応訓練を年1回、非常招集訓練を年1回、失踪者発生時の初動対応訓練を年1回実施した。次年度も年間計画に基づいた訓練の実施を徹底していきたい。

《令和5年度消防・災害訓練等実施表》

実施日	訓練種類	他団体との連携	参加人数
令和5年4月12日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員6名
5月29日	夜勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員6名
7月31日	非常招集訓練	赤穂市消防本部	全職員
8月28日	失踪者発生時初動対応訓練		職員10名
9月25日	夜勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員9名
10月20日	土石流災害対応訓練、避難訓練		職員15名
30日	失踪者発生時初動対応訓練		職員6名
11月28日	地区との合同消防避難訓練	赤穂市消防本部	全職員、赤穂記念病院職員1名 地域住民45名（非常招集連絡）
12月25日	失踪者発生時初動対応訓練		職員8名
令和6年1月29日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練、通報訓練	赤穂消防本部	職員6名
2月26日	失踪者発生時初動対応訓練		職員7名
3月25日	日勤帯想定訓練、避難訓練、消火訓練	赤穂市消防本部	職員4名

7 医療処遇の充実

利用開始時には、健康管理・治療状況を確認し、家族の健康管理に対する意向を伺い、利用者個々に応じて、かかりつけ医・協力医療機関との連携を密に行った。特に、居宅介護支援事業所から「適切な医療的処置ができる」、「医療的に困難なケースでもSSを利用させてもらえる」などの評価を得て利用者の紹介に繋がったことは評価できる。また、利用者の送迎時には看護員が必ず同行し、家族及び利用者に対して、医学的観点から助言を行うことで、「すぐに病院に連れて行って良かった」、「利用毎に細かく健康状態をみているので安心する」、「コロナ禍であるが安心して預けることができる」など、利用者・家族からの評価が得られた。

機能訓練については、継続して赤穂記念病院の理学療法士と連携して個別機能訓練計画書を作成し、計画に基づく機能訓練を実施したほか、SS利用後には実施状況を利用者及び家族に報告した。また、3か月毎に機能訓練の評価を行いその内容を利用者及び家族に説明し、必要に応じて計画・訓練内容の見直しを行った。

その結果、赤穂市健康福祉部医療介護課介護保険係から「赤穂市で唯一適切に機能訓練が実施できるショートステイ事業所」との評価が得られた。次年度も引き続き、個別性の高い医療処遇の充実及び効果的な機能訓練の実施に取り組んでいく。

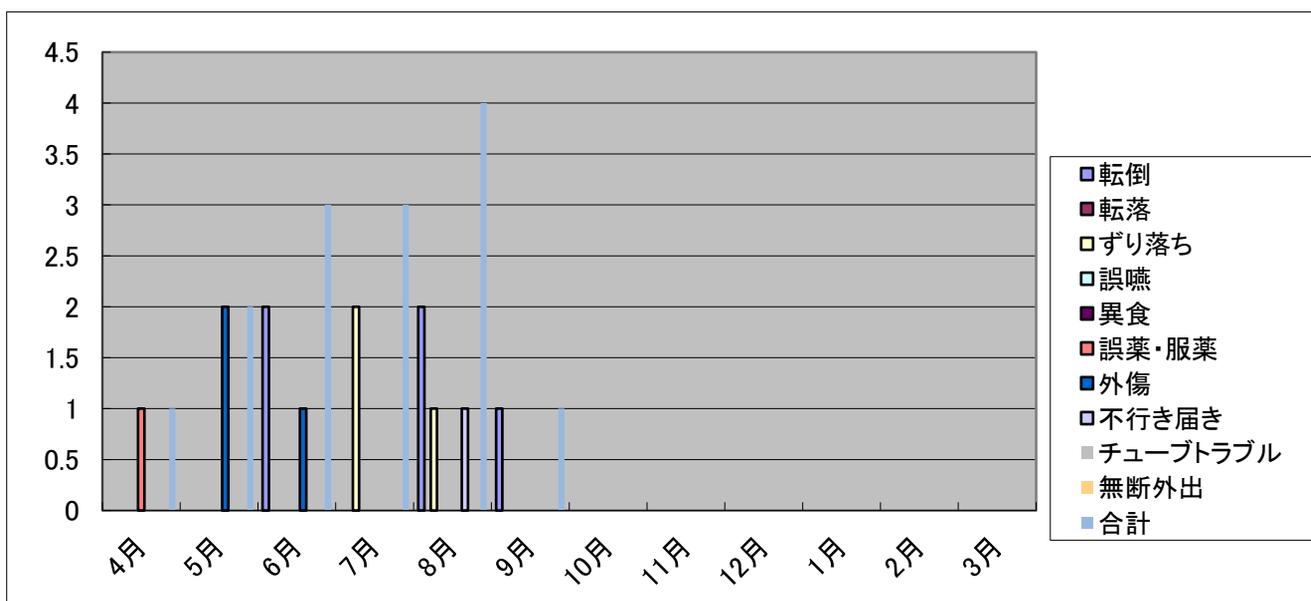
8 介護事故に対する安全管理体制の強化

在宅との環境変化による利用者の行動の変化等に注意をはらうとともに、利用者の細かな ADL の変化を把握し、その旨を情報提供書及び口頭で職員へ説明を行い、介護現場で情報の共有化が図られ、ヒヤリハットの発生件数は 14 件で、昨年度より 4 件増加したが、職員の気付きによるヒヤリハット報告の増加であったことは評価できる。

次年度も継続して、介護事故防止委員会を中心として介護事故に対する意識付けを行うとともに、日々のミーティングにおける利用者の状態把握・情報共有、ケアスタッフ会や職員研修を活用した介護知識・技術の向上を図ることで、利用者の安全確保に取り組む。

《令和 5 年度 ショートステイ ヒヤリハット件数データ》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒			2		2	1							5
転落													0
ずれ落ち				2	1								3
誤飲													0
誤嚥													0
異食													0
誤薬	1												1
外傷		2	1										3
不行き届き					1								1
チューブトラブル													0
無断外出													0
その他				1									1
合計	1	2	3	3	4	1	0	0	0	0	0	0	14



9 顧客確保に向けての積極的展開

本年度の介護報酬改定内容に応じて、質が高く効率的な介護の提供を行うことで適正な加算取得に結びつけていくために、加算要件に準ずる介護が提供できているかどうかについての裏付け資料を作成し、介護保険請求復命時及びコンプライアンス委員会において加算要件を満たしているかどうかを検証したことで、質が高く効率的な介護の提供体制が整備され適正に加算を取得することができた。

しかし、顧客確保については、各居宅介護支援事業所・医療機関及び赤穂市外の居宅介護支援事業所との積極的なアプローチを実施し、利用者のキャンセル時や特養入荘者の入院等が発生した場合には、タイムリーに各居宅介護支援事業所及び家族へ連絡調整することを徹底したが、併設している特養・桜谷荘の新型コロナウイルスのクラスターの影響もあり、本年度の予算稼働率 110.00% に対し、85.90% とマイナス 24.10% の状況であり、予算を達成することができなかった。よって、次年は事業所の強みを明確にした上で、居宅介護支援事業所及び医療機関へのアプローチを強化していくとともに、日々のベッド管理を徹底し、各居宅介護支援事業所や家族と細かな調整を行い、特養の入院者等による空床発生時やキャンセル発生時にも早期対応できるように予約管理を徹底しなければならない。

10 赤穂市介護支援専門員連絡協議会と連携し、在宅サービスの充実を図る

本年度も継続して、赤穂市地域包括支援センター及び各居宅介護支援事業所と連携を図り、在宅福祉サービスの 3 本柱であるショートステイ・デイサービス・ホームヘルプサービスを効果的に組合わせた居宅サービス計画の作成依頼及び各居宅介護支援事業所のケアマネジャーに事業所の PR を行ったが、ショートステイの利用については継続して長期的な利用依頼が多く、本来のショートステイの利用依頼は少ない状況が継続した。

よって、次年度も継続して赤穂市地域包括支援センター及び赤穂市健康福祉部医療介護課に働きかけ、赤穂市にお

ける居宅サービス計画の適正な立案、在宅福祉サービスの3本柱を念頭に置いた効果的な居宅サービス計画の作成依頼、本来のショートステイ利用者の増に向けた取組みを充実させていかなければならない。

1.1 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・医療機関との連携

赤穂市内・外の各居宅介護支援事業所や医療機関と連携を図り、サービス担当者会議や退院前の拡大カンファレンスに参加し、利用者及び家族の介護ニーズを把握し、それらの意向を踏まえ施設サービス計画を作成し、その計画に基づいた介護サービス等を提供することで、在宅生活が継続できるように取組んだ。その結果、赤穂市地域包括支援センターからの紹介や、他事業所を利用していたケースが当事業所へ利用変更してくれるなど、顧客確保につながった。

よって、次年度も引続き、各関係機関との連携を密にし、利用者の状態や利用者及び家族の意向に沿った介護サービス等を提供することで、在宅生活の支援に努め、顧客確保につなげていかなければならない。

1.2 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る

苦情への迅速な対応を図るため、苦情相談窓口を設けて担当者を配置するとともに、日々のミーティングを通じて、苦情となりうる事例等を利用者の立場から検証し、全スタッフに周知するとともに、介護予防・介護サービスに反映させ、苦情の予防とサービスの向上に取組んだ結果、本年度も苦情となるケースは0件であった。

1.3 職場内における連絡・連携の強化

家族や居宅介護支援事業所の担当ケアマネジャーからの必要な情報は速やかに、各部署に連絡し、情報の共有を図り、適切なサービスが提供できるように努めた。

しかし、入手した情報の連絡の遅れや連絡漏れがあったため、次年度は連絡漏れを無くすため、メモに取る等により確実に、且つ、タイムリーに各部署に伝達され、情報が共有されるように努めなければならない。

令和5年度

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
令和			
5.	4.	3 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		4 花見（車中花見）	季節行事（入居者8名参加）
		5 月例法要	ホーム内物故者供養
		8 花まつり	季節行事
		17 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
5.	2	月例法要	ホーム内物故者供養
		8 開荘記念行事	施設の開設を祝う（入居者45名参加）
		15 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		22 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		30 ホーム内ショッピング	出張衣服販売による買い物行事（入居者36名参加）
6.	2	月例法要	ホーム内物故者供養
		12 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		30 輪越し	無病息災の祈願行事
7.	5	月例法要	ホーム内物故者供養
		7 七夕まつり	季節行事（入居者38名参加）
		10 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		24 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		27 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
8.	2	盆供養	ホーム内物故者供養
		9 ホーム内盆踊り	季節行事（入居者41名参加）
		14 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
9.	5	月例法要	ホーム内物故者供養
		6 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		11 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		13 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		25 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		26 彼岸法要	ホーム内物故者の彼岸・年忌法要
		27 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
10.	11	習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		18 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		21 獅子舞い	地域の季節行事
		22 塩屋地区秋祭り	地域の季節行事（職員3名参加）
		23 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		25 ホーム内運動会	季節行事（入居者42名参加）
11.	1	習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		2 月例法要	ホーム内物故者供養
		8 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		15 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		20 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		22 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		27 ホーム内ショッピング	出張衣服販売による買い物行事（入居者37名参加）
		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		29 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
12.	4	月例法要	ホーム内物故者供養
		6 桜寿会忘年会	入居者自治会の忘年会（入居者40名参加）
		11 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		25 クリスマス会	季節行事（入居者42名参加）
		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		28 餅つき	季節行事
		29 迎春準備	季節行事
6.	1.	1 新年会	季節行事
		4 職員新年交礼会	季節行事
		5 月例法要	ホーム内物故者供養
		10 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）
		15 施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
		17 習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力（松井清氏）

6.	1.	24	習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
		31	習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
			地域との新年会	地域との親睦会 (地域ボランティア21名、入居者39名参加)
2.	5		月例法要	ホーム内物故者供養
	7		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
	14		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
	19		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
	26		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
	28		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
3.	3		ひな祭り	季節行事 (入居者32名参加)
	6		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
	11		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
	13		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)
	22		春の彼岸法要	ホーム内物故者供養
	25		施設内理美容	理容師の出張による理髪サービス
	27		習字教室	機能訓練行事 ボランティア1名協力 (松井清氏)

令和5年度

職員研修実施状況

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	講 師 名
令和		(事業所研修)	
5.	5. 17	職員研修 「医務講習」「身体拘束等適正化」	職員33名参加
	7. 19	職員研修 「食中毒について」	職員26名参加
	9. 20	職員研修 「高齢者虐待について」	職員42名参加
	10. 18	職員研修 「感染症について」	職員41名参加
	11. 15	職員研修 「基本理念について」	職員40名参加
6.	1. 17	職員研修 「メンタルヘルスについて」	職員35名参加
	2. 21	職員研修 「ターミナルケアについて」	職員35名参加
	3. 27	職員研修 「BCPについて」	職員39名参加
令和		(法人研修) 【幹部候補者対象マネジメント基礎研修】 受講者：島谷生活相談員、富田看護員	
5.	8. 3	第1回 「基本理念・マネジメントの基礎」	安田副施設長
	8. 31	第2回 「仕事の管理・改善と問題解決、人間行動の理解」	安田副施設長
	9. 19	第3回 「部下育成、良い職場づくり、自己啓発の理解」	立坂施設長
	10. 12	第4回 「各専門職の使命・役割の理解、行動特徴の分析」	立坂施設長
	11. 9	第5回 「開発計画の作成、まとめ」	立坂施設長
令和		【法人内新任主任・副主任研修】 受講者：山野事務主任、岩村副主任介護員、田中厨房副主任	
5.	9. 15	第1回 「基本理念・マネジメントの基礎」	立坂施設長
	10. 13	第2回 「主任・副主任の役割の理解」	立坂施設長
	12. 5	第3回 「自己成長目標の達成度の検証」	立坂施設長
6.	1. 22	第4回 「自己成長目標の達成度の検証・まとめ」	立坂施設長

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	実 施 場 所
令和			
5.	6. 1	身体介護テーマ研修「ポジショニング編」 平木機能訓練指導員	西播磨総合リハビリテーションセンター (WEB)
	7. 17 ～ 18	令和5年度 近畿老人福祉施設研究協議会 齋藤主任介護員、富田看護員	神戸ポートピアホテル
	10. 25	第71回兵庫県社会福祉大会 立坂施設長	兵庫県立丹波の森公苑
6.	1. 12	国際厚生事業団 EPA学習2年目候補者対象集合研修 カット、アルビ介護員	天満研修センター
	1. 14	ライフケア検定講座 横山副主任介護員	兵庫県福祉センター
	2. 12	ライフケア検定講座 横山副主任介護員	兵庫県福祉センター
	2. 26	令和5年度 奈良県老人福祉施設協議会テーマ別研修会 中谷主任介護員、西尾介護員	奈良県橿原文化会館
	3. 7	県老協 令和5年度施設長研修会 立坂施設長、安田副施設長	ホテル北野プラザ六甲荘
	3. 15	令和6年西播磨ブロック老人福祉施設連盟 施設長研修会 立坂施設長、安田副施設長	BIZ SPACE HIMEJI

各委員会開催状況

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		1 特養幹部会
5.	5. 15	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	6. 12	* 令和5年度事業計画の進捗状況検証
	7. 10	* 施設長会議からの課題に対する具体策の検討
	8. 14	* 令和4年度冬期日課反省、令和5年度夏期日課作成
	10. 16	* 基本理念強化月間実施状況の検証、桜谷荘敬老会について
	11. 6	* 令和5年度夏期日課反省、令和5年度冬期日課作成
	6. 3. 11	* 令和6年度委員会構成について
令和		2 主任・副主任会議
5.	4. 25	* 主任・副主任の役割実施状況の検証
	6. 22	* マニュアルの強化月間について
	9. 26	* 基本理念強化月間について
	11. 29	
	6. 2. 27	
令和		3 行事委員会
5.	5. 5	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	6. 6	* 年間行事計画作成
	7. 6	* 行事の企画・立案・準備・実施
	8. 1	* 各部署との調整
	9. 5	* 年間の反省・まとめ
	10. 3	
	11. 7	
	12. 5	
	6. 1. 12	
	3. 5	
令和		4 広報委員会
5.	5. 2	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	8. 15	* 行事写真・アルバム of 整理
	11. 18	* 行事ポスター作成
	6. 3. 8	* 年間の反省・まとめ
令和		5 研修委員会
5.	5. 3	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	6. 7	* 年間研修計画の企画・立案
	8. 2	* 外部講師の調整
	9. 6	* 職員対象アンケート実施について
	10. 4	* アンケート結果からの課題に対する具体策について
	12. 6	* 年間の反省・まとめ
	6. 2. 7	
	3. 6	
令和		6 ケアスタッフ会
5.	8. 23	【ケアスタッフ全体会】
	6. 2. 28	* 認知症ケア研修
令和		【西館ケアスタッフ会】
5.	5. 24	* 取り決め事項の確認
	10. 18	* 各フロア、利用者ケアの取り組みについて
6.	1. 17	* マニュアルに基づく個別手順の見直し
	3. 13	* 基本理念の周知徹底について
令和		【東館ケアスタッフ会】
5.	5. 24	* 取り決め事項の確認
	10. 18	* 各フロア、利用者ケアの取り組みについて

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
6.	1. 17 3 13	* IACレポート検証 * 基本理念の周知徹底について
令和		
5.	5. 15 8. 21 9. 19 11. 20	7 人権擁護委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 施設内で人権侵害となりえる問題の確認 * 職員研修について * 年間の反省・まとめ
6.	1. 15 3. 10	
令和		
5.	5. 12 7. 14 9. 14 11. 9	8 介護事故防止委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 高齢者擬似体験研修の調整 * IAC発生状況の検証 * アンケートからの課題に対する具体策について * 年間の反省・まとめ
6.	1. 11 3. 14	
令和		
5.	5. 17 6. 13 7. 14 9. 12 10. 10 11. 14 12. 12	9 入所検討委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 入所申込者の確認・優先順位の見直しについて * 次期入所候補者について * 年間の反省・まとめ
6.	1. 16 2. 13 3. 14	
令和		
5.	5. 25 7. 14 9. 8 11. 16	10 サービス評価委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 第三者評価受審からの改善策の進捗状況検証 * 入居者の視点に立ったサービスについて * 年間の反省・まとめ
6.	1. 11 3. 14	
令和		
5.	5. 10 5. 25 6. 2 7. 7 9. 9 9 29 11. 2 12. 7	11 労働安全衛生委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 安全パトロールの実施と検証 * 職員研修企画 * 腰痛予防体操について * 年間の反省・まとめ
6.	1. 4 2. 1 3. 7	
令和		
5.	5. 20 6. 17 7. 14 8. 18 10. 20 11. 17	12 感染症対策委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 環境整備に係るパトロール実施、検証 * 感染症対応マニュアルの見直し * 各種感染症の流行時期を考慮した対応策の検討 * 職員研修企画・立案・実施 * 感染症予防ポスター作成

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
6.	2. 16 3. 15	*反省・まとめ
令和		13 安全委員会
5.	5. 9	*年間運営計画の策定
	7. 11	*消防訓練の企画・立案・準備
	9. 12	*失踪者発生時対応訓練について
	11. 6	*福祉避難所受入訓練について
6.	1. 9 3. 12	*土石流災害時対応訓練について
令和		14 認知症ケア全体会
5.	4. 21	*趣旨・活動目的の意思統一
	5. 19	*各グループ会議進捗状況・問題点の報告
	6. 16	*認知症に係る職員研修の企画
	7. 14	*認知症に係る職員研修実施後の検証
	8. 18	*反省・7まとめ
	9. 21	
	10. 19	
	11. 16	
	12. 21	
6.	1. 18	
	2. 15	
	3. 21	

令和5年度

見学・実習等受入れ状況

受 入 年 月 日	摘 要
令和 4 . 7 . 28 8 . 23	【施設見学】 兵庫県立上郡高等学校 3年生 岸 田 愛 里 兵庫県立赤穂高等学校定時制 3年生 坂 本 永 達
	【実 習】 令和 5 . 8 . 7 ～ 11 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科「給食管理臨地実習」 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科 3年生 岡 田 郁 哉 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科 3年生 岡 村 祐 果 14 ～ 16 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科「ソーシャルワーク実習指導」 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科 1年生 石 崎 三 冬 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科 1年生 川 上 拓 真 9 . 19 ～ 10 . 18 岡山医療福祉専門学校「介護福祉実習Ⅱ」 岡山医療福祉専門学校介護福祉学科 2年生 ヴェン・ティ・カムティエン 岡山医療福祉専門学校介護福祉学科 2年生 グエン・ヴィエット・ズオン 6 . 1 . 22 ～ 2 . 2 兵庫県立播磨特別支援学校「職場体験実習」 兵庫県立播磨特別支援学校 1年生 中 川 空 良 2 . 12 ～ 16 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科「給食管理臨地実習」 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科 3年生 花 崎 智 世 兵庫県大学生健康科学部栄養マネジメント学科 3年生 溝 田 晴 海 15 ～ 16 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科「ソーシャルワーク実習指導」 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科 1年生 石 崎 三 冬 兵庫県大学生涯福祉学部社会福祉学科 1年生 川 上 拓 真
令和 6 . 3 . 1	【福祉体験】 「車椅子寄贈」 赤穂市立赤穂西中学校生徒会・吹奏楽部 18名
令和 5 . 7 . 18	【職業体験】 「赤穂高校定時制職業体験」 兵庫県立立赤穂高等学校定時制 20名

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼年	動月	日	摘要
令和			
5	6	28	塩屋西北高齢者クラブ 6名 (輪越し準備)
	9	6	松井清氏 (習字教室指導)
		13	松井清氏 (習字教室指導)
		27	松井清氏 (習字教室指導)
10	11		松井清氏 (習字教室指導)
		18	松井清氏 (習字教室指導)
11	1		松井清氏 (習字教室指導)
		8	松井清氏 (習字教室指導)
		15	松井清氏 (習字教室指導)
		22	松井清氏 (習字教室指導)
		29	松井清氏 (習字教室指導)
12	27		塩屋西北高齢者クラブ 5名 (門松作り)
6	1	10	松井清氏 (習字教室指導)
		17	松井清氏 (習字教室指導)
		24	松井清氏 (習字教室指導)
		31	松井清氏 (習字教室指導)
2	7		松井清氏 (習字教室指導)
		14	松井清氏 (習字教室指導)
		28	松井清氏 (習字教室指導)
3	6		松井清氏 (習字教室指導)
		13	松井清氏 (習字教室指導)
		27	松井清氏 (習字教室指導)

1団体 ・ 1個人・・・22回、延べ31名

令和 5 年度 事業報告書

デイサービスセンターやすらぎ (定員 30名)				
稼働状況		目標	実績	差異
	稼働率	96.70%	86.61%	-10.09%
	人数	29.01名/日	25.98名/日	-3.03名/日
	平均要介護度	2.50	1.78	-0.72
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 利用者の確保及び在宅介護の支援 ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供 ④ 人材養成の積極的展開 ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携 ⑥ 人権侵害防止の取組みの強化 ⑦ 感染症対策の強化 ⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施 ⑨ 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用 ⑩ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 			
総括	<p>事業運営状況は、定員30名、年間運営日数308日、年間目標稼働率96.70%に対し年間実稼働率86.61%で10.09%の減、1日の目標利用者数29.01名に対し1日平均実利用者数25.98名で3.03名の減となった。目標平均要介護度2.50に対し実平均要介護度は1.78で0.72ポイントの減であり、予算達成することはできなかった。</p> <p>また、予防給付・日常生活支援総合事業(要支援1、2)の登録人員は22名であった。</p> <p>② 利用者の確保及び在宅介護の支援</p> <p>本年度は、通所介護事業所として他事業所とのサービスの差別化を図るために、サービス検討委員会にて利用者の意向調査によるサービスメニューの開発に向けての検討や提供方法、サービスの質の向上を図るための検討を行ない、機能訓練の一環として、地域に出かけていき、地域資源の活用をすることで、その人がその人らしく地域で在宅生活が継続できるよう努めた。地域に出かけていく機会を増やしたことが、楽しみにつながり、追加で積極的に利用される方も増えた。このことが、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として家族や居宅介護支援事業所等にアピールできた。しかし、年間を通して入所や入院等を原因としてサービスの利用が無くなった方が増えた。そのため、各居宅介護支援事業所に新規利用者の依頼を行ったが、新規利用者確保や回数増につなげることができなかった。その結果、本年度、予算稼働率の達成につなげることができなかった。</p> <p>次年度は、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、生活相談員が利用者の家族等と面会し、それぞれの自宅に定期的に訪問することで、利用者一人一人の課題等を家族等と共有し、改善していく事で、利用者や家族が在宅で安定した生活を送れるようにするためのプログラムを実践し、その結果を担当ケアマネと共有することでプランにつなげることができた。課題解決に向けて協力し合っていく事で、家族や地域からの信頼を得ていく。このことで新規利用者確保につなげていきたい。</p> <p>さらに、利用者が「近所の友人との交流を再開されたり、手芸を再開し始めたり」等の日常生活における積極性を取り戻してきたなどの状態の変化に対する評価が得られる等、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができたことは評価できる。</p> <p>次年度も引き続き、利用者個々の状態に応じた介護予防プログラムを提供し、取組みのまとめ・評価を家族にフィードバックしていく。</p> <p>⑥ 人権侵害防止の取組みの強化</p> <p>利用者の人権の擁護・虐待の防止等をより推進する観点から、人権を擁護止するために、職員研修等で周知及び意識づけをし、日々の業務で実践できているかの検証を人権擁護委員会で検証した。これにより、職員相互での牽制機能を持たせ、不適切ケアをなくすよう実施した。</p> <p>本年度は、利用者からの要望が被った場合、やむを得ず一人の利用者に待ってもらった後、必ずそのあと伺うか、他の職員が対応し取組んだ。その結果、「職員に言いやすくなった。」と利用者から意見が上がったことは評価できる。</p> <p>次年度も引き続き、人権擁護の観点から適切な介護を実施していく。</p>			

令和 5 年度

事業報告書

デイサービスセンター やすらぎ

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 利用者の確保及び在宅介護の支援
- ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供
- ④ 人材養成の積極的展開
- ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携
- ⑥ 人権侵害防止の取組みの強化
- ⑦ 感染症対策の強化
- ⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑨ 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用
- ⑩ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、定員 30 名、年間運営日数 308 日、年間目標稼働率 96.70%に対し年間実稼働率 86.61%で 10.09%の減、1 日の目標利用者数 29.01 名に対し 1 日平均実利用者数 25.98 名で 3.03 名の減となった。目標平均要介護度 2.50 に対し実平均要介護度は 1.78 で 0.72 ポイントの減であり、予算達成することはできなかった。

また、予防給付・日常生活支援総合事業（要支援 1、2）の登録人員は 22 名であった。

《四半期毎の利用状況》

第 1 四半期（4 月～ 6 月）：	88.24%
第 2 四半期（7 月～ 9 月）：	86.87%
第 3 四半期（10 月～12 月）：	87.07%
第 4 四半期（1 月～ 3 月）：	84.25%

1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 年計画の最終年度として経営計画検証委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第 5 期経営 5 年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度も引き続き、第 5 期経営 5 年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の 3 つを重点目標に掲げ、法人理念の 5 本柱をもとに第 5 期経営 5 年計画を積極的に推進していきたい。

2 利用者の確保及び在宅介護の支援

本年度は、通所介護事業所として他事業所とのサービスの差別化を図るために、サービス検討委員会にて利用者の意向調査によるサービスメニューの開発に向けての検討や提供方法、サービスの質の向上を図るための検討を行ない、機能訓練の一環として、地域に出かけていき、地域資源の活用をすることで、その人がその人らしく地域で在宅生活が続けられるよう努めた。地域に出かけていく機会を増やしたことが、楽しみにつながり、追加で積極的に利用される方も増えた。このことが、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として家族や居宅介護支援事業所等にアピールできた。しかし、年間を通して入所や入院等を原因としてサービスの利用が無くなった方が増えた。そのため、各居宅介護支援事業所に新規利用者の依頼を行ったが、新規利用者確保や回数増につなげることができなかった。その結果、本年度、予算稼働率の達成につなげることができなかった。

次年度は、通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、生活相談員が利用者の家族等と面会し、それぞれの自宅に定期的に訪問することで、利用者一人一人の課題等を家族等と共有し、改善していく事で、利用者や家族が在宅で安定した生活を送れるようにするためのプログラムを実践し、その結果を担当ケアマネと共有することでプランにつなげることができた。課題解決に向けて協力し合っていく事で、家族や地域からの信頼を得ていく。このことで新規利用者確保につなげていきたい。

さらに、利用者が「近所の友人との交流を再開されたり、手芸を再開し始めたり」等の日常生活における積極性を取り戻してきたなどの状態の変化に対する評価が得られる等、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができたことは評価できる。

次年度も引き続き、利用者個々の状態に応じた介護予防プログラムを提供し、取組みのまとめ・評価を家族にフィード

バックしていく。

3 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供

1) 個別援助計画に基づく専門的サービスの提供

個別援助計画に基づくサービスを提供するため、個別援助計画と連動させたほのぼのの予定表（個別のサービス実施予定表）を活用し、個別性の高いサービスの提供とサービスの抜け落ち防止に努めた。また、ケース検討委員会・ミーティングの場を活用してモニタリングを実施し、その内容を日々のサービスに反映させた。次年度も継続して、ほのぼののシステムを活用してのサービス提供及びモニタリングを実施することでサービスの質の向上取組んでいきたい。

2) 介護予防への取組み

個別リハビリ、グループリハビリなど介護予防に力点を置き、実施記録、評価様式を策定し、3か月・6か月ごとの評価を実施することで、介護予防の取組み効果に関する意識が高まり、主体性が生まれ、利用者個々のレベルに見合う介護予防メニューの実践につながった。

4 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の理解と周知徹底

本年度は、基本理念を周知するため、法人主催の基本理念説明者養成研修を受講した職員により、年3回（令和5年4月4日・令和5年10月17日・20日）の研修会を実施した。

また、基本理念の理解を深めるため、発達支援・自立支援に向けたサービスの確立を重点項目として、「在宅時に困らない」を目標に機能訓練と介護が自立支援に向けて連動したサービスとなるよう、OJTやミーティングでの事例検証を重ねた。

また、基本理念に基づく利用者主体のサービスを提供していくために、利用者主体の様々なサービスを実践し、日々、基本理念に基づいたサービスが提供されているかを確認すること及びサービス評価委員会による定期的なサービスの質についての確認・検証を実践することで人材養成の強化につなげることができた。

次年度も基本理念を周知し現場で理念を実践できるようにすることで、人材養成に繋げていく。

2) 従事職員の資質向上及び人材養成のため、以下の研修を実施

① 新任職員指導

本年度、新任職員は未採用であったが、次年度は、施設長をはじめ全職員がチューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努めなければならない。

② 中堅職員の研修

事業所内研修、介護実習、介護者教室等の指導を中堅職員が担当するとともに、勉強会等を開催して中堅職員としての自覚と素養を培うことができた。次年度も引続き、中堅職員としての自覚と素養を培うために研修を実施していく。

③ 事業所内研修・派遣研修

事業所内研修は、介護にかかる基礎知識の反復研修をはじめとして、「人権擁護」、「介護事故予防」、「感染症対策」についても、研修委員会が中心となって年間カリキュラムに基づき取組んだ。

次年度も職員のスキルアップを図り、資質向上及び人材養成のために研修を実施していきたい。

④ 認知症の専門研修

認知症の専門研修（認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修）を受講した職員が、専門的な知識・技術を身につけ、職員にそれを研修し実践することで、サービスの質の向上を図れた。次年度は、他の職員についても認知症の専門研修を受講し、科学的根拠に基づいたサービスを提供できるようにする。

3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の効果基準の統一については課題があり、効果的な運用に繋げることができなかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の効果基準の統一に取組まなければならない。

4) 委員会活動

委員長会議を年3回（令和5年5月30日・9月30日・令和6年2月27日）開催し、委員会活動の進捗状況の確認を徹底した。その結果、各委員会の年度目標は概ね達成できた。

また、委員会活動を通して、職員が主体性をもって仕事に取り組む事につながり、業務の活性化が図られた。次年度も引続き、各委員会が適正に運営できるように、委員会活動の進捗状況の確認を徹底していく。

5 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携

通所介護サービスにより提供されているサービスが、地域包括支援センターの介護予防計画、居宅介護支援事業所の居宅サービス計画に基づき、適正に提供されているか、また、その効果の検証を行なうため、担当者会議等の場で検討し、併せて、利用者の状況把握、提供されるサービスの見直しを実施してきた。その結果、利用者・介護者・ケアマネジャー・サービス提供事業者が一堂に会して行う担当者会議において、利用者の状態確認、サービス内容などの検証を行うことで、情報報の共有化ができサービスを主体的に利用する姿勢がうかがわれた。

次年度も在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携し、居宅サービス計画に基づき、サービスが適正に提供されているか、また、その効果の検証を行なうため、担当者会議等の場で検討していきたい。

6 人権侵害防止の取組みの強化

利用者の人権の擁護・虐待の防止等をより推進する観点から、人権を擁護止するために、職員研修等で周知及び意

識づけをし、日々の業務で実践できているかの検証を人権擁護委員会で検証した。これにより、職員相互での牽制機能を持たせ、不適切ケアをなくすよう実施した。

本年度は、本年度は、利用者からの要望が被った場合、やむを得ず一人の利用者に待ってもらった後、必ずそのあと伺うか、他の職員が対応し取組んだ。その結果、「職員に言いやすくなった。」と利用者から意見が上がったことは評価できる。

次年度も引続き、人権擁護の観点から適切な介護を実施していく。

7 感染症対策の強化

感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染予防策の徹底や職員研修の実施及び施設環境整備に努めた。また、厚生労働省からの通知に基づく対応を徹底した。

その結果、利用者・職員ともに罹患者0名で感染予防に努めることができたことは評価できる。

次年度も、感染症の発生・拡大・再発防止を徹底し、感染予防に努める。

1) 感染経路の遮断（病原体を持ち込まない、持たさない、拡げない）

① 利用時には利用者及びその家族等の健康状態を確認し、施設が送迎する際には利用者宅で、家族等が施設へ送迎する際には施設玄関でバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には利用中止等を調整した。

② 標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底として、手洗いのほか、血液、嘔吐物、排泄物等を扱うときは、マスク・手袋・エプロン・ガウンを着用した。

③ 職員、来訪者が感染症の病原体を施設外部から持ち込まないよう、来所時の検温とその記録を徹底した。

④ 感染経路別（接触感染・飛沫感染・空気感染・血液媒体感染等）予防策として不織布マスクを利用者及び職員に実施し、衝立やフェイスシールドの有効活用、定時及び随時の消毒を徹底した。

2) 感染症対策委員会の創設と適正な運営

感染症対策委員会を創設し、定期的を開催し、常に最新の情報を収集し、感染症対策委員会においてマニュアルの見直しを行った。

3) 感染症発生時の対応

新型コロナウイルス感染症に罹患した、また濃厚接触者と認定された利用者及び職員に対して、保健所や法人本部に状況を報告し対応策の指示を仰ぐ等、緊密に連携を取った。また、有症者の状況やそれぞれに講じた措置等を記録した。

4) 職員研修及び模擬訓練

令和5年12月12日、12月15日に感染予防策の意義・重要性について研修を行い、職員の意識の向上と予防対策の周知徹底を図った。

8 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

令和5年10月9日から記名式にて昨年度と同様に「職員の言葉づかい・態度」の項目について、利用者満足度調査をアンケート調査方式で行った結果、いずれの項目も概ね良好との回答が得られた。

また、調査結果については、令和6年3月18日～令和6年3月23日に利用者からの要望等に対するセンターとしての対応策について説明を行った。よって、次年度も引き続き、利用者満足度調査を実施して、利用者・家族のサービスに対する思いを把握し、利用者・家族の視点に立った通所介護サービスに反映させていく。

また、本年度は令和5年11月9日にかけて全職員を対象に兵庫県福祉サービス第三者評価の自己評価票に基づき、サービス自己評価を実施した結果、職員の事業所で提供している各サービスの目的（ねらい）についての理解度に課題が見られたため、令和5年11月24日に職員研修を実施し、それぞれのサービスについての目的（ねらい）の理解と周知を図ることができた。

9 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的運用

介護予防・日常生活支援総合事業の利用者に対して、本事業の中心的機関である地域包括支援センターと連携を取りながら利用者の受け入れを行い、介護予防計画に基づき、日常生活上の支援及び機能訓練、又はレクリエーションを提供した。

そのために、介護予防・日常生活支援総合事業の利用については、利用目的を明確にし、運動機能の維持・向上を目的とした効果的な実施メニューを準備して、個々の状況に応じた機能向上に取り組んだ。

その結果、利用者の利用者の要支援状態の維持・改善の割合が一定以上となった成果として、「家で寝てばかりでなく、洗濯物たたみや、編み物を再開し始めた。」等の日常生活における積極性を取り戻してきたなどの状態の変化に対する評価が得られる等、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができたことは評価できる。

なお、日常生活上の支援及び機能訓練の実施に際しては、機能訓練指導員を中心に生活相談員、看護・介護職員の連携を密にして、利用当初の身体状況などを把握し、サービス提供記録に基づき定期的に評価を実施し、在宅生活の自立及び介護予防に取り組んだ。次年度も引続き、利用目的を明確にし、運動機能の維持・向上を目的とした効果的な実施メニューを準備して、個々の状況に応じた機能向上に取り組んでいく。

10 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

利用者の生命の安全確保のため、センターの防火・防災対策はもとより、職員一人一人の防災・防火意識の高揚と火災・災害を想定した避難救出訓練の実践強化を図るため、年間計画に基づき消火・避難訓練を年6回、地震・水害避難訓練を年1回実施した。地震・水害避難訓練については、赤穂市立塩屋小学校まで避難し、有事の際に利用者が確実に避難できるよう努めた。次年度も、年間計画に基づいた訓練を実施するとともに、地域住民の協力を得ながら実施するように努める。

【訓練実施結果】

令和5年 4月21日	消火・避難訓練
6月28日	消火・避難訓練
8月24日	消火・避難訓練
10月26日	消火・避難訓練
11月4日	地震・水害避難訓練
12月21日	消火・避難訓練
令和6年 2月9日	消火・避難訓練

1.1 利用者の介護・接客サービス

当センターでは利用者のみならず、その家族（介護者）のニーズをも包括した付加価値の高い以下のサービスを提供し、地域から信頼される施設を目指した。

① 生活相談

利用者とその家庭生活に視点をおき、状態に合わせた個別援助計画の策定とそれに基づいたサービスの提供、また、やさしい言葉遣いと親しみやすい態度で利用者及びその家族との日々の連絡・相談により信頼関係の確立に努めた。また、担当者会議の場を活用し、情報報の共有化を図り、適切なサービス提供に取り組んだ。

次年度は、利用者の家族等と面会し、それぞれの自宅に定期的に訪問することで、利用者一人一人の課題等を家族等と共有し、改善していく事で、利用者や家族が在宅で安定した生活を送れるようにするためのプログラムを実践し、その結果を担当ケアマネの協力を得ていく。それをプランにあげ、課題解決に向けて協力し合っていく事で、家族や地域からの信頼を得ていく。

② 機能訓練

機能訓練指導員を中心に個別援助計画に基づいた効果的な各種の集団・個別リハビリ指導、日常動作訓練等、介護予防を念頭に実施し、利用者が在宅生活をより自立して継続できるよう援助した。そのために、機能訓練指導員等が利用者の居宅を訪問して得た情報を基に、赤穂記念病院の理学療法士と共同で利用者のアセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成し、その後3か月ごとに利用者の居宅を訪問した上で、利用者、又はその家族に対して、機能訓練の内容と個別機能訓練計画の進捗状況等を説明し、訓練内容の見直し等を行っていった。

その結果、介護予防・日常生活支援総合事業において利用者の利用者の要支援状態の維持・改善の割合が一定以上となった成果として、次年度から事業所評価加算が取得できるようになったことは評価できる。次年度も引き続き、利用者が在宅生活をより自立して継続できるよう、機能訓練を通して援助する。

③ 介護サービス

くつろげる雰囲気の中で休養していただき、心身ともに健康であるよう促がしと見守りに努めるとともに、食事・入浴・排泄は、ADLの状況に応じた個別援助計画（サービス確認書）の周知徹底と転倒等の事故防止にも万全を期した。次年度も引き続き、利用者のADLに応じた適正なサービスを提供した。

④ 健康チェック

問診をはじめ、細心の観察力を養い血圧・検温等のバイタルチェックを実施し、身体の状態を把握して健康管理へのアドバイスを行なうとともに、主治医等に受診を促がし、疾病の早期発見・早期治療に努めた。また、感染症の多発時期（インフルエンザ・ノロウイルスなど）及び転倒・骨折が多発する冬季に向けて、注意を喚起するため文書を配布するなど、感染予防に積極的に取り組んだ。次年度も引き続き、利用者の心身の状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めていく。

新型コロナウイルス対策として、利用者に注意喚起を行い、やすらぎ利用前の体温測定を依頼した。また、迎え時にも体温測定を実施し、センター玄関に設置した顔認証温度検知システムで、利用者、職員、来所者全員に検温を実施するなど、熱発者の早期発見に努めた。熱発者に対しては、受診を促した。施設内においては、来所持の手指消毒の徹底や、2時間おきの施設内の換気を実施し、施設内の備品等の消毒を徹底した。

⑤ 送迎

送迎は、安全・快適を最優先とし、車への乗降時の介助・走行中の車酔い・座席からの転落等には添乗員を配置することで万全を期す。また、送迎時の場所の確保と利用者の状態に応じて車椅子専用車両での送迎に努めた。

次年度も引き続き、安全・快適な送迎を実施していく。

⑥ 入浴

健康状態をチェックして安全な入浴に配慮するとともに、身嗜み・清潔保持の自立への支援の機会として取り組んだ。特に、心身ともに疲れを癒すような入浴ができるよう雰囲気づくりに努めるため、入浴時間や介助のあり方については、利用者の希望に応じた対応に努めた。

また、皮膚疾患等の早期発見の場面としても捉え、異常があれば介護職員と看護職員との連携により、家族への連絡も積極的に実施した。次年度も引き続き、心身ともに疲れを癒すような入浴を提供していく。

⑦ 食事

利用者の嗜好と食生活を考慮し、楽しみある食事とするため、食事サービス委員会を中心として、年4回（令和5年8月20日、11月16日、令和6年1月12日、3月11日）の嗜好調査を実施し、個別嗜好の結果を踏まえ、献立への反映に取り組んだ。また、利用者の身体状況に応じ、代替食や咀嚼の状況に応じた食事形態の提供に努めた。

次年度も引き続き、旬の食材・適温・食事形態の工夫により、より満足いただける食事の提供に取り組む。

1.2 行事企画及び個別嗜好の充実

社会的交流の支援、趣味・嗜好の充足及び心身の機能回復・減退防止を図り、楽しみとしてある通所介護とするため、季節行事等を取り入れたことで、利用者により楽しんでいただくことができた。

また、ボランティアの積極的な導入により、多様な個別嗜好の充足を図ったことで、行事運営の充実を図ることが

できた。

次年度も引続き、利用者が楽しんでいただける行事を企画していく。

《令和5年度行事》

実施月	プログラム(午前中)	実施月	プログラム(午前中)
令和5年 4月	開所記念行事、バスハイク（お花見） カレンダー作り、誕生会	10月	レクゲーム、室内運動会 カレンダー作り、誕生会
5月	レクゲーム、料理教室 カレンダー作り、誕生会	11月	レクゲーム、料理教室 カレンダー作り、誕生会
6月	レクゲーム、創作活動 カレンダー作り、誕生会	12月	忠臣蔵大会、クリスマス、忘年会、餅つき カレンダー作り、誕生会
7月	七夕祭り、レクゲーム カレンダー作り、誕生会	令和6年 1月	新年会、新春カルタ、すごろく、福笑い カレンダー作り、誕生会
8月	夏祭り（盆踊り）、創作活動 カレンダー作り、誕生会	2月	節分行事、バレンタイン カレンダー作り、誕生会
9月	敬老会、レクゲーム カレンダー作り、誕生会	3月	ひな祭り行事、レクゲーム カレンダー作り、誕生会

※ 楽しみ作りの一環として、また、リハビリの実践の場として個別外出を随時実施した。

令和 5 年度 事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターやすらぎ (定員 12名)				
稼働状況		目標	実績	差異
	稼働率	70.00%	80.49%	10.49%
	人数	8.40名/日	9.66名/日	1.26名/日
	平均要介護度	2.00	1.49	-0.51
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 利用者の確保及び在宅介護の支援 ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び介護予防を踏まえた専門的サービスの提供 ④ 人材養成の積極的展開 ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携及 ⑥ 人権侵害防止の取組みの強化 ⑦ 感染症対策の強化 ⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施 ⑨ 運営推進会議の効果的運用 ⑩ 認知症カフェの効果的運用 ⑪ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 			
総括	<p>事業運営状況は、定員12名、年間運営日数308日、年間目標稼働率70.00%に対し年間実稼働率80.49%で10.49%の増、1日の目標利用者数8.40名に対し1日平均実利用者数9.66名で1.26名の増となった。目標平均要介護度2.00に対し実平均要介護度は1.49で0.51ポイントの減であり、予算達成することができた。</p> <p>また、介護予防(要支援1、2)の登録人員は2名であった。</p> <p>② 利用者の確保及び在宅介護の支援</p> <p>本年度は、認知症対応型通所介護事業所として通所介護事業所の他事業所との差別化を図るために、認知症対応型通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、生活相談員が利用者の家族等と面会し、それぞれの自宅に定期的に訪問することで、利用者一人一人の課題等を家族等と共有し、改善していく事で、利用者や家族が在宅で安定した生活を送れるようにするためのプログラムを実践し、その結果を担当ケアマネと共有することでプランにつなげることができた。課題解決に向けて協力し合っていく事で、家族や地域からの信頼を得ていくことができたことは評価できる。</p> <p>また、定期的に行ってきた、赤穂市との赤穂市における認知症に罹患されている要支援・要介護者が通所介護施設を利用する場合、適正にコーディネートされるための方法を議論していく等の会議を、令和5年6月28日赤穂市との認知症高齢者への対応策の現状と対応策についての検討会議を健康福祉部長、介護保険担当課長、介護保険係係長、地域包括支援センター所長と赤穂市役所で実施した。その結果、赤穂市として動けていなかったが、認知症対応型通所介護事業として、主任ケアマネ協議会令和5年8月9日に参加できるよう対応してもらえた。</p> <p>令和5年8月9日主任ケアマネ連絡会に参加し、主任ケアマネ17名、地域包括4名出席の場で、赤穂市における認知症対応型通所介護の在り方とサービスについて検討した。結果、参加者には、認知症対応型通所介護の特徴やサービスは理解してもらえたことは評価できる。</p> <p>今後、実際に利用者を紹介してもらえるように、各居宅介護支援事業所を訪問するようにし、翌日8月10日に各事業所を訪問。対象の利用者に対して紹介をしてもらうよう依頼した。</p> <p>結果、会議以降居宅介護支援事業所、地域包括支援センターから12名の新規利用者の紹介があり、年平均9.7名(7月~3月平均10.1名)の利用となり、目標稼働率の達成につながったことは評価できる。</p> <p>次年度も引き続き、認知症対応型通所介護事業所としての「生活相談員の在宅訪問」を確立させ、事業所の特徴を各居宅介護支援事業所にアピールすることで新規利用者確保につなげていきたい。</p> <p>⑥ 人権侵害防止の取組みの強化 (デイサービスセンターやすらぎ事業報告6に準ずる)</p>			

令和 5 年度

事業報告書

認知症対応型デイサービスセンター やすらぎ

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

〈重点項目〉

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 利用者の確保及び在宅介護の支援
- ③ 個別援助計画に基づく自立支援及び専門的サービスの提供
- ④ 人材養成の積極的展開
- ⑤ 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携
- ⑥ 人権侵害防止の取組みの強化
- ⑦ 感染症対策の強化
- ⑧ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑨ 運営推進会議の効果的運用
- ⑩ 認知症カフェの効果的運用
- ⑪ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度は、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、定員 12 名、年間運営日数 308 日、年間目標稼働率 70.00%に対し年間実稼働率 80.49%で 10.49%の増、1 日の目標利用者数 8.40 名に対し 1 日平均実利用者数 9.66 名で 1.26 名の増となった。目標平均要介護度 2.00 に対し実平均要介護度は 1.49 で 0.51 ポイントの減であり、予算達成することができた。

また、介護予防（要支援 1、2）の登録人員は 2 名であった。

〈四半期毎の利用状況〉

第 1 四半期（4 月～ 6 月）：	70.02%
第 2 四半期（7 月～ 9 月）：	75.39%
第 3 四半期（10 月～12 月）：	85.21%
第 4 四半期（1 月～ 3 月）：	91.34%

- 1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定
（デイサービスセンターやすらぎ事業報告 1 に準ずる）

- 2 利用者の確保及び在宅介護の支援

本年度は、認知症対応型通所介護事業所として通所介護事業所の他事業所との差別化を図るために、認知症対応型通所介護事業所としての「売りとなるサービス」として、生活相談員が利用者の家族等と面会し、それぞれの自宅に定期的に訪問することで、利用者一人一人の課題等を家族等と共有し、改善していく事で、利用者や家族が在宅で安定した生活を送れるようにするためのプログラムを実践し、その結果を担当ケアマネと共有することでプランにつなげることができた。課題解決に向けて協力し合っていく事で、家族や地域からの信頼を得ていくことができたことは評価できる。

また、定期的に行ってきた、赤穂市との赤穂市における認知症に罹患されている要支援・要介護者が通所介護施設を利用する場合、適正にコーディネートされるための方法を議論していく等の会議を、令和 5 年 6 月 28 日赤穂市との認知症高齢者への対応策の現状と対応策についての検討会議を健康福祉部長、介護保険担当課長、介護保険係長、地域包括支援センター所長と赤穂市役所で実施した。その結果、赤穂市として動けていなかったが、認知症対応型通所介護事業として、主任ケアマネ協議会令和 5 年 8 月 9 日に参加できるよう対応してもらえた。

令和 5 年 8 月 9 日主任ケアマネ連絡会に参加し、主任ケアマネ 17 名、地域包括 4 名出席の場で、赤穂市における認知症対応型通所介護の在り方とサービスについて検討した。結果、参加者には、認知症対応型通所介護の特徴やサービスは理解してもらえたことは評価できる。

今後、実際に利用者を紹介してもらえるように、各居宅介護支援事業所を訪問するようにし、翌日 8 月 10 日に各事業所を訪問。対象の利用者に対して紹介をしてもらうよう依頼した。

結果、会議以降居宅介護支援事業所、地域包括支援センターから 12 名の新規利用者の紹介があり、年平均 9.7 名（7 月～3 月平均 10.1 名）の利用となり、目標稼働率の達成につながったことは評価できる。

次年度も引き続き、認知症対応型通所介護事業所としての「生活相談員の在宅訪問」を確立させ、事業所の特徴を各居宅介護支援事業所にアピールすることで新規利用者確保につなげていきたい。

利用者個々の認知症状に応じて、脳トレを中心とした認知症進行予防に効果的なメニュー（音読・計算・書写・間違

い探し・記憶力ゲーム等)を提供したほか、脳トレ等の実施過程において利用者に対し「良い評価」を行うことで「達成感」を感じてもらえるように取組んだ結果、利用者のやりがいにつながっただけではなく、職員との人間関係が構築されたことで利用者が当センターにおいて安心し、落ち着いて過ごせる「居場所作り」につながった。また、脳トレ等を実施した評価について、「認知症の進行予防」と「交流支援」の視点で評価ができるように実施記録の様式を策定し、利用毎に家族や介護者に対して状況報告及び実施に係る「まとめの報告」(2回/年)を行った。

その結果、「家に帰って家族と積極的に今日の出来事を話されたり、夜よく寝るようになった。」等の状態変化に対する評価が得られるなど、在宅介護支援として大きく役割を果たすことができた。次年度も引続き、利用者個々の認知症状に応じた認知症予防プログラムを提供し、取組みの評価を家族にフィードバックしていく。

3 個別援助計画に基づく自立支援及び専門的サービスの提供

個別援助計画に基づくサービスを提供するため、個別援助計画と連動させたほのぼの予定表(個別のサービス実施予定表)を活用し、個別性の高いサービスの提供とサービスの抜落ち防止に努めた。また、ケース検討委員会・ミーティングの場を活用してモニタリングを実施し、その内容を日々のサービスに反映させた。次年度も引続き、ほのぼのシステムを活用してのサービス提供及びモニタリングを実施することでサービスの質の向上に取り組んでいく。

また、本年度は個別援助計画に基づく自立支援及び認知症予防を踏まえた専門的サービスの提供をしていくために、認知症の専門研修(認知症介護実践者研修等)を受講した職員が事業所内研修会の講師となり、専門的な知識・技術について講義及びOJT研修を実践した。

次年度は、他の職員についても認知症の専門研修を受講し、科学的根拠に基づいたサービスを提供していく。

4 人材養成の積極的展開

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告4に準ずる)

5 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所との連携

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告5に準ずる)

6 人権侵害防止の取組みの強化

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告6に準ずる)

7 感染症対策の強化

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告7に準ずる)

8 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告8に準ずる)

9 運営推進会議の効果的運用

本年度は運営推進会議を年2回(第1回令和5年6月5日、第2回令和6年3月16日)開催し、当センター(認知症対応型通所介護)のサービスの現状を委員に報告し、サービスに対する指導・助言及び地域の高齢者福祉ニーズに対する意見の把握にもつながり、その内容を当センターのサービスに反映させることでサービスの質の向上に努めた。また、運営推進会議を通じて認知症対応型通所介護事業所としての専門性をより広く地域にアピールできる場となった。

しかし、会議の運営において、検討議題のテーマ性が明確になっていないなどの事前調整に課題が見られたため、次年度においては、事前に会議テーマを明確にしたうえで、委員会開催案内に検討内容等を通知することで、より充実した議論ができる会議となるように事前に十分な準備が必要である。

10 認知症カフェの効果的運用

地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人など誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、情報交換するだけでなく、医療や介護の専門職が指導・助言することにより、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした「認知症カフェ」を開催し、本年度は延18日、参加者57名の利用があった。

次年度は広報活動に重点を置き、地域の方に利用してもらえるようにしていくとともに、利用された方が満足していただけるよう委員会において検討していく必要がある。

11 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告10に準ずる)

12 利用者の介護・接客サービス

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告11に準ずる)

13 行事企画及び専門的対応

(デイサービスセンターやすらぎ事業報告12に準ずる)

プログラムの実施状況

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
5. 4. 1	釣りゲーム	釣りゲーム
4. 3	輪投げゲーム	輪投げゲーム
4. 4	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 5	釣りゲーム	釣りゲーム
4. 6	いなり寿司作り	いなり寿司作り
4. 7	輪投げゲーム	輪投げゲーム
4. 8	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 11 ~ 4. 15	創作活動	創作活動
4. 13	誕生会	誕生会
4. 14	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
4. 17 ~ 4. 22	カレンダー作り	カレンダー作り
4. 24	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 25	釣りゲーム	釣りゲーム
4. 26	輪投げゲーム	輪投げゲーム
4. 27	スリッパとばし	スリッパとばし
4. 28	釣りゲーム	釣りゲーム
4. 29	輪投げゲーム	輪投げゲーム
5. 1	輪投げゲーム	輪投げゲーム
5. 2	釣りゲーム	釣りゲーム
5. 3	おにぎり神経衰弱	おにぎり神経衰弱
5. 4	ビンゴゲーム大会	ビンゴゲーム大会
5. 5	松花堂弁当	松花堂弁当
5. 6	おやつの千本引き	おやつの千本引き
5. 8	おにぎり神経衰弱	おにぎり神経衰弱
5. 9	輪投げゲーム	輪投げゲーム
5. 10	釣りゲーム	釣りゲーム
5. 11	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
5. 12	おにぎり神経衰弱	おにぎり神経衰弱
5. 13	輪投げゲーム	輪投げゲーム
5. 15 ~ 5. 20	創作活動	創作活動
5. 18	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
5. 22 ~ 5. 27	カレンダー作り	カレンダー作り
5. 29	誕生会	誕生会
5. 30	輪投げゲーム	輪投げゲーム
5. 31	おにぎり神経衰弱	おにぎり神経衰弱
6. 1	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 2	明日、天気にな〜れゲーム	明日、天気にな〜れゲーム
6. 3	てるてる坊主つるしゲーム	てるてる坊主つるしゲーム
6. 5 ~ 6. 10	嗜好調査	嗜好調査
6. 10	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 12 ~ 6. 17	創作活動	創作活動
6. 19 ~ 6. 24	カレンダー作り	カレンダー作り
6. 20	誕生会	誕生会
6. 24	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 25	誕生会	誕生会
6. 27	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 28	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
6. 29	誕生会	誕生会
6. 30	誕生会	誕生会
7. 1	リズムにのって指運動！	リズムにのって指運動！
7. 3	これ、どこの言葉？方言当てゲーム	これ、どこの言葉？方言当てゲーム
7. 4	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 5	マッサージ無料体験	マッサージ無料体験
7. 6	リズムにのって指運動！	リズムにのって指運動！
7. 7	これ、どこの言葉？方言当てゲーム	これ、どこの言葉？方言当てゲーム
7. 8	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 10	リズムにのって指運動！	リズムにのって指運動！

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
5. 7. 11	これ、どこの言葉？方言当てゲーム	これ、どこの言葉？方言当てゲーム
7. 12 ~ 7. 13	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
7. 14	リズムにのって指運動！	リズムにのって指運動！
7. 15	これ、どこの言葉？方言当てゲーム	これ、どこの言葉？方言当てゲーム
7. 17 ~ 7. 22	創作活動	創作活動
7. 18	誕生会	誕生会
7. 22	誕生会	誕生会
7. 24 ~ 7. 28	カレンダー作り	カレンダー作り
7. 24	誕生会	誕生会
7. 26	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
7. 27	誕生会	誕生会
7. 29	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
8. 1	どんな料理ができるかな？ゲーム	どんな料理ができるかな？ゲーム
8. 2	後出しじゃんけんゲーム	後出しじゃんけんゲーム
8. 3	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
8. 4	輪投げゲーム	輪投げゲーム
8. 5	どんな料理ができるかな？ゲーム	どんな料理ができるかな？ゲーム
8. 12	後出しじゃんけんゲーム	後出しじゃんけんゲーム
8. 14	誕生会	誕生会
8. 15 ~ 8. 19	創作活動	創作活動
8. 16	やすらぎ夏祭り	やすらぎ夏祭り
8. 18	学生ボランティアによるレクリエーション	学生ボランティアによるレクリエーション
8. 21 ~ 8. 26	嗜好調査・カレンダー作り	嗜好調査・カレンダー作り
8. 23	お誕生会	お誕生会
8. 24	学生ボランティアによるレクリエーション	学生ボランティアによるレクリエーション
8. 25	誕生会	誕生会
8. 26	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 1	学生ボランティアによるレクリエーション	学生ボランティアによるレクリエーション
9. 2	お月見ゲーム	お月見ゲーム
9. 4	出張理容・お誕生会	出張理容・お誕生会
9. 5	お月見ゲーム	お月見ゲーム
9. 6 ~ 9. 16	創作活動	創作活動
9. 11	ビンゴゲーム大会	ビンゴゲーム大会
9. 12	かき氷パーティー	かき氷パーティー
9. 13	職員大演芸大会	職員大演芸大会
9. 15	学生ボランティアによるレクリエーション	学生ボランティアによるレクリエーション
8. 13	誕生会	誕生会
9. 18 ~ 9. 22	カレンダー作り	カレンダー作り
9. 20	お誕生会	お誕生会
9. 23	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 25 ~ 9. 30	秋の音楽教室	秋の音楽教室
9. 27	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
9. 28	誕生会	誕生会
9. 29	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 2	出張理容	出張理容
10. 3 ~ 10. 7	神経衰弱ゲーム	神経衰弱ゲーム
10. 9 ~ 10. 14	創作活動	創作活動
10. 16	折り紙教室	折り紙教室
10. 17 ~ 10. 20	秋の音楽教室	秋の音楽教室
10. 18	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 19	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 21	秋祭り	秋祭り
10. 23 ~ 10. 26	カレンダー作り	カレンダー作り
10. 24	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 27	誕生会	誕生会
10. 28	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 30	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
10. 31	やすらぎ大運動会	やすらぎ大運動会
11. 1 ~ 11. 4	神経衰弱	神経衰弱

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護
5. 11. 6	出張理容	出張理容
11. 6 ~ 11. 11	風船バレー	風船バレー
11. 13	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
11. 13 ~ 11. 18	食事嗜好調査	食事嗜好調査
11. 16	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
11. 17	誕生会	誕生会
11. 20	誕生会	誕生会
11. 20 ~ 11. 24	カレンダー作り	カレンダー作り
11. 25	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
11. 27 ~ 11. 30	輪投げ大会	輪投げ大会
11. 29	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
12. 1	クリスマスツリー飾りつけ	クリスマスツリー飾りつけ
12. 2	タワーゲーム	タワーゲーム
12. 4	出張理容	出張理容
12. 4 ~ 12. 9	創作活動	創作活動
12. 7	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
12. 11 ~ 12. 16	冬の音楽教室	冬の音楽教室
12. 13	誕生会	誕生会
12. 15	誕生会	誕生会
12. 18 ~ 12. 23	カレンダー作り	カレンダー作り
12. 19	誕生会	誕生会
12. 23	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
12. 25	クリスマスビンゴゲーム大会	クリスマスビンゴゲーム大会
12. 26 ~ 12. 27	タワーゲーム	タワーゲーム
12. 28 ~ 12. 29	年末の挨拶	年末の挨拶
6 1. 5 ~ 1. 6	新年の挨拶	新年の挨拶
1. 8 ~ 1. 13	創作活動	創作活動
1. 15	誕生会	誕生会
1. 16	映画鑑賞大会	映画鑑賞大会
1. 17 ~ 1. 19	やすらぎっくアウトゲーム	やすらぎっくアウトゲーム
1. 18	書道教室	書道教室
1. 22	誕生会	誕生会
1. 22 ~ 1. 27	カレンダー作り	カレンダー作り
1. 29 ~ 1. 30	やすらぎっくアウトゲーム	やすらぎっくアウトゲーム
1. 31	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
2. 1 ~ 2. 2	冬の音楽教室	冬の音楽教室
2. 3	節分行事・手巻き寿司	節分行事・手巻き寿司
2. 5 ~ 2. 10	創作活動・タワーゲーム	創作活動・タワーゲーム
2. 12 ~ 2. 17	神経衰弱	神経衰弱
2. 19	誕生会	誕生会
2. 19 ~ 2. 24	カレンダー作り	カレンダー作り
2. 22	書道教室	書道教室
2. 24	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
2. 25	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
2. 27	輪投げ大会	輪投げ大会
2. 28	誕生会	誕生会
2. 29	誕生会	誕生会
3. 1	お雛様行事	お雛様行事
3. 2	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
3. 4	お雛様行事	お雛様行事
3. 5	出張理容	出張理容
3. 6 ~ 3. 9	めくってボンゲーム	めくってボンゲーム
3. 11 ~ 3. 16	魚釣りゲーム	魚釣りゲーム
3. 18	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア
3. 25 ~ 3. 30	個別外出（花見）	個別外出（花見）
3. 26	誕生会	誕生会
3. 27	誕生会	誕生会
3. 28	行事支援ボランティア	行事支援ボランティア

実施年月日	プログラム名・内容	
	通所介護	認知症対応型通所介護

令和5年度

職員研修実施状況

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	講 師 名
5.	4. 4	(事業所研修) 令和4年度事業計画説明会／基本理念説明	鳴瀧施設長、各主任、生活相談員
	5. 16. 18	「自立支援に基づく移動介助」について	川端介護員
	6. 20. 21	「食中毒」について	曾谷管理栄養士
	7. 17. 23	「高齢者虐待」について	山根介護員
	8. 21. 22	「レクリエーション」について	谷口生活相談員
	9. 7. 15	「人権擁護に基づいた認知症の理解」について	中田介護員
	10. 17. 20	「基本理念」について	金谷生活相談員
	11. 21. 24	「サービス自己評価」について	金谷生活相談員
	12. 12. 15	「感染症発生時業務継続計画」について (実地訓練)	小川主任看護員
6.	1. 22. 26	「人権擁護に基づいた接客・接遇」について	梅田介護員
	2. 19. 22	「救急救命」について	小川主任看護員
	3. 18. 21	「介護保険法改正」について	金谷生活相談員

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	実 施 場 所
5.	4. 27	予算説明会	桜谷荘
	6. 29	兵庫県老人福祉事業協会 総会	鳴瀧施設長 ホテル北野プラザ六甲荘
	7. 15	赤穂市老施協研修「感染症対策について」	小川主任看護員 リモート
	7. 27	近畿老人福祉施設研究協議会	谷口相・トゥ介 神戸ポートピアホテル
	28	近畿老人福祉施設研究協議会	鳴瀧施・谷口相・トゥ介 神戸ポートピアホテル
6.	3. 4	認知症ケア向上研修	小川主任看護員 赤穂市福祉会館
	3. 27	兵庫県老人福祉事業協会 総会	鳴瀧施設長 兵庫県福祉センター

各委員会開催状況

開 年 月 日	活 動 内 容
5. 4. 4	1 職員会議 *施設事業計画説明会（概要）
6. 1. 4	*交礼会
2. 27	*各種規程の変更説明
3. 31	*辞令交付
5. 4. 15	2 経営会議 *予算書の見方、予算執行状況、課題への対応状況ほか
7. 15	*予算執行状況、課題への対応状況ほか
11. 11	*予算執行状況、課題への対応状況ほか
6. 2. 17	*予算執行状況、課題への対応状況、次年度への課題と対応策
5. 4. 25	3 施設長会議 *基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点ほか
7. 22	*基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進捗状況、各事業所運営上の課題・問題点ほか
10. 28	*事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点ほか
6. 2. 24	*基本理念の周知徹底方法、事業計画・各委員会の進め方、各事業所運営上の課題・問題点、次年度への課題と対応策ほか
5. 5. 8	4 合同幹部会 *令和4年度事業報告について
6. 2. 2	*令和6年度事業の事業計画について
2. 9	*令和6年度事業の事業計画について
5. 5. 23	5 経営計画検証委員会・策定委員会 *委員会の活動趣旨・活動内容の意識統一、年間活動計画の策定ほか
7. 11	*5年後のビジョン検討、SWOT分析ほか
9. 26	*5年目の2/4半期進捗状況の検証、SWOT分析、経営戦略検討シート作成ほか
11. 28	*兵庫大学当間教授「中期経営計画の必要性」
5. 1. 30	*5年目の3/4半期進捗状況の検証、経営戦略検討シート作成、BSC作成ほか
2. 16	*第4期経営5か年計画の評価・まとめ、BSC作成ほか
3. 21	*第5期経営5か年計画の策定、年間まとめ、次年度への課題ほか
5. 8. 22	6 コンプライアンス委員会 *年間活動計画の策定、日常点検実施後の検証、LIFEを活用した取り組み状況の把握と課題の検討
10. 24	*日常点検実施後の検証、LIFEを活用することを要件とする加算取得に向けた検討
6. 1. 23	*日常点検実施後の検証、LIFEを活用することを要件とする加算取得に向けた検討
3. 23	*日常点検実施後の検証ほか、年間まとめ、次年度への課題ほか
5. 5. 30	7 委員長会議 *各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
9. 30	*各委員会の進捗状況及び年度半ばの反省・課題の抽出
6. 2. 27	*各委員会、令和5年度の反省と課題
5. 6. 5	8 やすらぎ運営推進会議 *やすらぎ活動状況の報告ほか
6. 3. 16	*やすらぎ活動状況の報告ほか

開 年	催 月	日	活 動	内 容
5.	4.	29	9	認知症カフェ検証委員会 * 委員会の趣旨目的、委員会活動計画、認知症カフェの検証について
	5.	30		* 認知症カフェの取組について
	6.	10		* 認知症カフェの取組について
		24		* 認知症カフェの取組について
		27		* 認知症カフェの取組について
	7.	8		* 認知症カフェの取組について
	8.	3		* 認知症カフェの取組について
	9.	23		* 認知症カフェの取組について
	11.	16		* 認知症カフェの取組について
	12.	14		* 認知症カフェの取組について
6.	1.	22		* 認知症カフェの取組について
	2.	26		* 認知症カフェの取組について
	3.	25		* 認知症カフェの取組について
			10	サービス検討委員会
5.	4.	28		* 各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
	5.	24		* 提供プログラムの評価・課題について
	6.	28		* 課題の改善策について
	7.	26		* 改善策の実施状況について
	8.	30		* 新規提供プログラムについて
	9.	25		* 新規提供プログラムについて
	10.	24		* 新規提供プログラムの実施状況について
	11.	28		* 提供プログラムの評価・課題について
	12.	26		* 課題の改善策について
6.	1.	27		* 課題の改善策について
	2.	28		* 改善策の実施状況について
	3.	25		* 年度反省
			11	サービス評価委員会
5.	4.	24		* 各委員会活動主旨、年間カリキュラムについて
	5.	29		* 三者評価課題の進捗について
	7.	25		* 満足度調査について
	8.	22		* 第三者評価課題の進捗について
	10.	7		* 満足度調査について
	10.	27		* 自己評価実施について
	11.	6		* 自己評価集計について
	12.	2		* 集計結果からの課題について
		16		* 集計結果からの課題について
6.	1.	26		* 課題に対する改善策について
	2.	13		* 課題に対する改善策について
	3.	11		* 課題に対する改善策について
			12	ケース検討委員会
5.	4.	10		* 委員会活動主旨、議事録、役割分担、ケース検討（10名）について
	5.	2		* ケース検討（7名）
	6.	3		* ケース検討（5名）
	7.	8		* ケース検討（5名）
	8.	3		* ケース検討（4名）
	9.	12		* ケース検討（5名）
	10.	12		* ケース検討（2名）
	11.	18		* ケース検討（5名）
	12.	16		* ケース検討（3名）
6.	1.	13		* ケース検討（5名）
	2.	9		* ケース検討（1名）
	3.	8		* ケース検討（1名）

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
5.	4. 3	13 研修委員会 *年間活動主旨・年間プログラム・役割分担について
	5. 12	*5月度の研修について・前回の反省
	6. 14	*6月度の研修について・前回の反省
	7. 7	*7、8月度の研修について・前回の反省
	8. 9	*9月度の研修について・前回の反省
	9. 1	*10月度の研修について・前回の反省
	10. 11	*11月度の研修について・前回の反省
	11. 3	*12月度の研修について・前回の反省
	12. 4	*1月度の研修について・前回の反省
6.	1. 10	*2月度の研修について・前回の反省
	2. 3	*3月度の研修について・前回の反省
	3. 1	*4月度の研修について・前回の反省・年度反省
		14 広報委員会
5.	4. 14	*年間活動主旨、年間活動計画について
	5. 16	*おかげさんについて
	6. 9	*おかげさんについて
	7. 14	*おかげさん、アルバム作成について
	8. 7	*おかげさんについて
	9. 9	*おかげさんについて
	10. 13	*おかげさんについて
	11. 13	*おかげさんについて
	12. 18	*おかげさんについて
6.	1. 13	*おかげさんについて
	2. 16	*おかげさんについて
	3. 11	*おかげさんについて、令和4年度に向けて
		15 行事委員会
5.	4. 13	*年間活動主旨、カリキュラム・役割分担、5月の行事について
	5. 12	*6月の企画、4月の行事の反省について
	6. 15	*7月の企画、5月の行事の反省、8月夏祭りについて
	7. 10	*8月の企画、6月の行事の反省、夏祭り、敬老会について
	8. 7	*9月の企画、7月の行事の反省、夏祭り反省、敬老会について
	9. 21	*10月の企画、8月の行事の反省、料理教室、やすらぎ運動会について
	10. 18	*11月の企画、9月の行事の反省について
	11. 15	*12月の企画、10月の行事の反省について
	12. 19	*1月の企画、11月の行事の反省について
6.	1. 15	*2月の企画、12月の行事の反省、年度反省について
	2. 13	*3月の企画、1月の行事の反省について
	3. 14	*4月の企画、2月の行事の反省、来年度の課題について
		16 食事サービス委員会
5.	4. 21	*年間活動カリキュラム・役割分担、第1回嗜好調査について
	8. 3	*敬老会食事について、第2回嗜好調査、夏祭り食事反省について
	12. 8	*食事内容について、第2回嗜好調査反省、手作り料理について
6.	3. 26	*食事内容について、第4回嗜好調査結果、一年間の反省について
		17 感染症対策委員会
5.	5. 13	*委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について
	7. 18	*マニュアル作成について
	9. 5	*マニュアル作成について、研修の進め方等の検証
	11. 14	*マニュアルの確認、12月の職員研修（訓練）に向けて
6.	1. 19	*マニュアルの見直しについて
	3. 12	*マニュアルの見直しについて、反省・まとめ

開 年 月 日	活 動 内 容
5. 4. 22	18 虐待防止委員会 *委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について *高齢者の虐待について *高齢者の虐待について *法人内事業所不適切ケアについて *法人内事業所不適切ケアについて *反省・まとめ、指針の見直しについて 19 労働安全衛生委員会 *委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *安全パトロールの実施と検証 *反省・まとめ 20 厚生委員会 *未実施
6. 24	
9. 5	
10. 28	
12. 19	
6. 2. 28	
5. 5. 4	
6. 1	
8. 3	
10. 5	
12. 7	
6. 2. 1	

令和5年度

ボ ラ ン テ ィ ア 稼 働 実 績

稼 動 年 月 日	活 動	内 容
5 . 4 . 14	行事支援ボランティア (6 名)	リコーダーグループ
	喫茶ボランティア (1 名)	
20	行事支援ボランティア (1 名)	志波多門
21	喫茶ボランティア (1 名)	
24	喫茶ボランティア (1 名)	
	傾聴ボランティア (1 名)	
5 . 2	傾聴ボランティア (1 名)	
9	傾聴ボランティア (1 名)	
11	行事支援ボランティア (7 名)	ドレミ
12	喫茶ボランティア (1 名)	
15	喫茶ボランティア (1 名)	
17	傾聴ボランティア (1 名)	
18	行事支援ボランティア (4 名)	ハーモニカ
19	喫茶ボランティア (1 名)	
22	喫茶ボランティア (1 名)	
	囲碁将棋ボランティア (1 名)	
23	傾聴ボランティア (1 名)	
24	行事支援ボランティア (1 名)	下野正嗣
	傾聴ボランティア (1 名)	
25	傾聴ボランティア (1 名)	
26	喫茶ボランティア (1 名)	
29	傾聴ボランティア (1 名)	
30	傾聴ボランティア (1 名)	
31	行事支援ボランティア (7 名)	めだか
6 . 1	傾聴ボランティア (1 名)	
2	傾聴ボランティア (1 名)	
9	傾聴ボランティア (1 名)	
10	行事支援ボランティア (6 名)	兵庫大学
	行事支援ボランティア (2 名)	ボンヤーマ
12	喫茶ボランティア (1 名)	
14	傾聴ボランティア (1 名)	
15	傾聴ボランティア (1 名)	
20	傾聴ボランティア (1 名)	
22	行事支援ボランティア (4 名)	ハーモニカ
19	喫茶ボランティア (1 名)	
22	傾聴ボランティア (1 名)	
23	傾聴ボランティア (2 名)	
24	行事支援ボランティア (9 名)	羽音色と赤ずきん
26	傾聴ボランティア (1 名)	
27	行事支援ボランティア (7 名)	めだか
	傾聴ボランティア (1 名)	
	行事支援ボランティア (4 名)	マジックショー
30	傾聴ボランティア (2 名)	
7 . 3	喫茶ボランティア (1 名)	
	囲碁将棋ボランティア (1 名)	
4	傾聴ボランティア (1 名)	
5	傾聴ボランティア (1 名)	
6	傾聴ボランティア (1 名)	
7	傾聴ボランティア (1 名)	
12	傾聴ボランティア (1 名)	
13	傾聴ボランティア (1 名)	
14	傾聴ボランティア (1 名)	
18	喫茶ボランティア (1 名)	
19	傾聴ボランティア (1 名)	
21	行事支援ボランティア (5 名)	絵手紙
	傾聴ボランティア (1 名)	
26	行事支援ボランティア (6 名)	ドレミ

稼 年	動 月	日	活	動	内	容
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	27		傾聴ボランティア	(1 名)		
	29		行事支援ボランティア	(1 名)	下野正嗣	
8 .	1		傾聴ボランティア	(1 名)		
			喫茶ボランティア	(1 名)		
	2		傾聴ボランティア	(1 名)		
	3		傾聴ボランティア	(1 名)		
	8		行事支援ボランティア	(1 名)	志波多門	
			傾聴ボランティア	(1 名)		
			喫茶ボランティア	(1 名)		
	9		行事支援ボランティア	(4 名)	栄養相談会 (阪神薬局)	
	10		傾聴ボランティア	(1 名)		
	16		喫茶ボランティア	(1 名)		
	17		傾聴ボランティア	(1 名)		
	24		喫茶ボランティア	(1 名)		
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	26		行事支援ボランティア	(7 名)	ドレミ	
	30		傾聴ボランティア	(1 名)		
	31		傾聴ボランティア	(1 名)		
9 .	7		喫茶ボランティア	(1 名)		
	11		傾聴ボランティア	(1 名)		
	12		傾聴ボランティア	(1 名)		
	13		囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	14		傾聴ボランティア	(1 名)		
	21		傾聴ボランティア	(1 名)		
	25		囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	26		喫茶ボランティア	(1 名)		
	27		行事支援ボランティア	(5 名)	折り鶴の会	
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	28		傾聴ボランティア	(1 名)		
	29		行事支援ボランティア	(1 名)	下野正嗣	
10 .	5		傾聴ボランティア	(1 名)		
	7		傾聴ボランティア	(1 名)		
	12		傾聴ボランティア	(1 名)		
	14		傾聴ボランティア	(1 名)		
	15		行事支援ボランティア	(5 名)	折り鶴の会	
			囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	18		行事支援ボランティア	(4 名)	ちちんぷいぷい一座	
	19		傾聴ボランティア	(1 名)		
	24		行事支援ボランティア	(3 名)	三線	
	26		傾聴ボランティア	(1 名)		
	28		行事支援ボランティア	(5 名)	アンダンテ	
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	30		傾聴ボランティア	(1 名)		
			囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
11 .	1		傾聴ボランティア	(1 名)		
	2		傾聴ボランティア	(1 名)		
	3		傾聴ボランティア	(1 名)		
	6		傾聴ボランティア	(1 名)		
	13		行事支援ボランティア	(1 名)	白川れんげ	
			囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	16		行事支援ボランティア	(6 名)	折り鶴の会	
	18		傾聴ボランティア	(1 名)		
	21		行事支援ボランティア	(1 名)	志波多門	
			喫茶ボランティア	(1 名)		
	25		行事支援ボランティア	(1 名)	下野正嗣	
			傾聴ボランティア	(1 名)		
	28		喫茶ボランティア	(1 名)		

稼 年 月 日	動	活	動	内	容
	29	行事支援ボランティア	(5 名)	ドレミ	
	30	傾聴ボランティア	(1 名)		
12 .	4	囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	7	行事支援ボランティア	(4 名)	COZY	
	23	行事支援ボランティア	(8 名)	めだか	
		傾聴ボランティア	(1 名)		
	27	行事支援ボランティア	(5 名)	高年クラブ	
6 . 1 .	8	囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	10	傾聴ボランティア	(1 名)		
	11	書道ボランティア	(1 名)		
	13	傾聴ボランティア	(2 名)		
	18	書道ボランティア	(1 名)		
	22	囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	23	喫茶ボランティア	(1 名)		
	27	傾聴ボランティア	(2 名)		
	29	囲碁将棋ボランティア	(1 名)		
	30	喫茶ボランティア	(1 名)		
	31	行事支援ボランティア	(7 名)	ドレミ	
2 .	5	喫茶ボランティア	(1 名)		
		傾聴ボランティア	(1 名)		
	8	書道ボランティア	(1 名)		
	9	行事支援ボランティア	(8 名)	折り鶴の会	
	10	傾聴ボランティア	(2 名)		
	17	傾聴ボランティア	(2 名)		
	24	行事支援ボランティア	(4 名)	ゆうぞうwith紅型娘	
	26	行事支援ボランティア	(1 名)	下野正嗣	
	29	喫茶ボランティア	(1 名)		
3 .	1	喫茶ボランティア	(1 名)		
	2	行事支援ボランティア	(2 名)	マッサージ	
	5	喫茶ボランティア	(1 名)		
	8	行事支援ボランティア	(8 名)	折り鶴の会	
	9	傾聴ボランティア	(1 名)		
	12	喫茶ボランティア	(1 名)		
	19	喫茶ボランティア	(1 名)		
	23	行事支援ボランティア	(1 名)	中岡	
		行事支援ボランティア	(1 名)	兵庫大学	
		傾聴ボランティア	(1 名)		
	27	喫茶ボランティア	(1 名)		
	30	傾聴ボランティア	(1 名)		

・ 参加ボランティア : 24 団体
 ・ 延稼働回数 : 156 回
 ・ 延稼動人数 : 289 人

見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘	要
5. 8. 14	介護等体験実習 関西福祉大学	中條日菜子 (～ 8. 18)
	介護等体験実習 関西福祉大学	梶 優衣 (～ 8. 18)
	介護等体験実習 関西福祉大学	前田璃子 (～ 8. 18)
	介護等体験実習 関西福祉大学	浮田悠人 (～ 8. 18)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	檜垣心海 (～ 8. 16)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	藤本みづき (～ 8. 16)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	松井美咲 (～ 8. 16)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	椋代結衣 (～ 8. 16)
21	介護等体験実習 関西福祉大学	船石 眞由子 (～ 8. 25)
	介護等体験実習 関西福祉大学	岩島 沙那奈 (～ 8. 25)
	介護等体験実習 関西福祉大学	内藤 美樹 (～ 8. 25)
	介護等体験実習 関西福祉大学	横田 有未 (～ 8. 25)
28	介護等体験実習 関西福祉大学	橋本直音 (～ 9. 1)
	介護等体験実習 関西福祉大学	岡本皆人 (～ 9. 1)
	介護等体験実習 関西福祉大学	山本琴梨 (～ 9. 1)
9. 4	介護等体験実習 関西福祉大学	浮田悠人 (～ 9. 8)
	介護等体験実習 関西福祉大学	宮崎永愛 (～ 9. 8)
	介護等体験実習 関西福祉大学	高務莉子 (～ 9. 8)
	介護等体験実習 関西福祉大学	佐野悠人 (～ 9. 8)
11	介護等体験実習 関西福祉大学	関本理沙 (～ 9. 15)
	介護等体験実習 関西福祉大学	里山優音 (～ 9. 15)
	介護等体験実習 関西福祉大学	小柳美空 (～ 9. 15)
6. 2. 19	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	檜垣心海 (～ 2. 22)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	藤本みづき (～ 2. 22)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	松井美咲 (～ 2. 22)
	ソーシャルワーク実習 兵庫大学	椋代結衣 (～ 2. 22)

令和5年度

地域交流実施状況

交 流 年 月 日	交 流 内 容
	実績なし

令和5年度

介護相談事業実施状況

介 護 相 談 年 月 日	摘 要
	赤穂市により、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 民生委員の介護相談事業が中止となる

令和5年度 事業報告書

やすらぎ居宅介護支援事業所				
		目標	実績	差異
稼働状況	介護	135.0件	132.3件	-2.7件
	介護予防	20.0件	15.4件	-4.6件
	総合事業	20.0件	16.1件	-3.9件
	合算	155.0件	147.7件	-7.3件
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する ③ 人権侵害防止の取組みの強化 ④ 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保 ⑤ 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践 ⑥ 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携 ⑦ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用 ⑧ 人材養成の積極的展開 ⑨ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施 ⑩ 感染症予防対策の強化及び災害時の対応 			
総括	<p>年間の介護の給付管理件数は月平均132.3件で予算目標管理件数月平均135.0件に対して2.7件の減であり、介護予防における給付管理件数は月平均15.4件で予算目標管理件数月平均20.0件に対して4.6件の減であり、予算を達成することができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 人権侵害防止の取組みの強化 <p>利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するため、デイサービスセンターやすらぎの高齢者虐待防止委員会に積極的に参画し、高齢者虐待防止マニュアルの更新や研修への参加により高齢者の権利擁護についての理解を深め、利用者の人権を尊重したケアマネジメントに努めた。次年度も利用者の人権を尊重したケアマネジメントが出来るように、デイサービスセンターやすらぎの職員研修や各団体の開催する研修会への参加などにより人権擁護に対する意識を高め、利用者の人権を尊重したケアマネジメントに取り組まなければならない。</p> ④ 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保 <p>要介護高齢者の重度化・体調の変化による入院や介護者の高齢化に伴い、入所系サービスを希望するケースは常に増加している状況下において居宅介護支援事業所として、身体的、精神的に自立した生活と家族介護負担の軽減を図り、少しでも在宅生活が継続でき、住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう取組んだ。次年度は、管理件数（介護）135件、（予防）40件を目標とし、法人の機関誌等の活用や介護者教室等への参加の機会を捉えて、事業所の存在・役割をPRしながら、地域包括支援センター・在宅介護支援センター・総合病院及び介護老人保健施設等との連携のほか、地域の診療所や薬局等への訪問依頼などにより新規依頼者の獲得に繋げていきたい。</p> ⑤ 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践 <p>本年度も高齢者が可能な限り住み慣れた地域や在宅で自立した生活を継続していくために、高齢者自身の置かれている環境、身体状況や家族の関わり、地域社会との関係等について総合的にアセスメントを実施し、居宅介護計画、介護予防計画、介護予防ケアマネジメント及びインフォーマルサービスを含めたケアマネジメントを実施することができた。また、居宅サービス計画の適切な運用に際しては、訪問等によりモニタリングを実施していくことで、状態の変化に応じて、「要介護状態の区分変更」を申請し、効果的なサービスの調整を行い、在宅生活が継続できるよう取組み、介護システム「ほのぼの」を活用し、フェイスシートの作成からアセスメント、居宅サービス計画、給付管理等の一連の業務の流れを効果的に実践することができた。次年度も継続して、高齢者の自立に向けたケアマネジメントの徹底に取り組みたい。</p> 			

令和5年度

事業報告書

やすらぎ 居宅介護支援事業所

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《基本方針》

- ① 利用者の人権を擁護する。
- ② 保険・医療・福祉との連携の強化
- ③ 要介護高齢者の自立支援並びに生活の質の向上を図り、地域社会の福祉資源として機能する

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する
- ③ 人権侵害防止の取り組みの強化
- ④ 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保
- ⑤ 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践
- ⑥ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用
- ⑦ 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携
- ⑧ 人材養成の積極的展開
- ⑨ 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施
- ⑩ 感染症予防対策の強化及び災害時の対応

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

事業運営状況は、年間の介護の給付管理件数は月平均132.3件で予算目標管理件数月平均135.0件に対して2.7件の減であり、介護予防における給付管理件数は月平均15.4件で予算目標管理件数月平均20.0件に対して4.6件の減であり、予算を達成することができなかった。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第5期経営5か年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度は、第5期経営5か年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第5期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

2 地域の福祉ニーズに応じた公益的事業を推進する

本年度も継続して、在宅介護支援センター主催の認知症予防教室、介護技術講習、介護者教室、転倒予防教室に参加し、居宅介護支援事業所として知識技術を地域に福祉還元できた。

次年度も在宅介護支援センターと協力し教室等への参加し公益的事業に取り組みたい。

3 人権侵害防止の取り組みの強化

利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するため、デイサービスセンターやすらぎの高齢者虐待防止委員会に積極的に参画し、高齢者虐待防止マニュアルの更新や研修への参加により高齢者の権利擁護についての理解を深め、利用者の人権を尊重したケアマネジメントに努めた。

次年度も利用者の人権を尊重したケアマネジメントが出来るように、デイサービスセンターやすらぎの職員研修や各団体の開催する研修会への参加などにより人権擁護に対する意識を高め、利用者の人権を尊重したケアマネジメントに取り組まなければならない。

4 在宅生活の継続的支援及び新規依頼者の確保

要介護高齢者の重度化・体調の変化による入院や介護者の高齢化に伴い、入所系サービスを希望するケースは常に増加している状況下において居宅介護支援事業所として、身体的、精神的に自立した生活と家族介護負担の軽減を図り、少しでも在宅生活が継続でき、住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう取組んだ。

次年度は、管理件数（介護）115件、（予防）30件を目標とし、法人の機関誌等の活用や介護者教室等への参加の機会を捉えて、事業所の存在・役割をPRしながら、地域包括支援センター・在宅介護支援センター・総合病院及び介護老人保健施設等との連携のほか、地域の診療所や薬局等への訪問依頼などにより新規依頼者の獲得に繋げていきたい。

5 自立支援及び介護予防に向けたケアマネジメントの実践

本年度も高齢者が可能な限り住み慣れた地域や在宅で自立した生活を継続していくために、高齢者自身の置かれている環境、身体状況や家族の関わり、地域社会との関係等について総合的にアセスメントを実施し、居宅介護計画、介護予防計画、介護予防ケアマネジメント及びインフォーマルサービスを含めたケアマネジメントを実施することができた。

また、居宅サービス計画の適切な運用に際しては、訪問等によりモニタリングを実施していくことで、状態の変化に応じて、「要介護状態の区分変更」を申請し、効果的なサービスの調整を行い、在宅生活が継続できるよう取組み、介護システム「ほのぼの」を活用し、フェイスシートの作成からアセスメント、居宅サービス計画、給付管理等の一連の業務の流れを効果的に実践することができた。次年度も継続して、高齢者の自立に向けたケアマネジメントの徹底に取り組みたい。

6 「介護予防・日常生活支援総合事業」の効果的な運用

介護予防及び日常生活支援を目的として、要支援者及び事業対象者の心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、その選択に基づき、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的、且つ、効果的に提供されるよう次年度においても、地域包括支援センターとの連携のもと効果的に運用し、サービスに結び付ける事で利用者の支援を行っていききたい。

7 地域包括支援センター・居宅サービス提供事業所・医療機関との連携

居宅サービス計画に対しては、認定の更新時や変更時には各サービス事業所や医療機関とともに「サービス担当者会議」を開催し、目標の共有やサービス内容の確認及びサービスに対する意向・希望等を確認するようにした結果、サービスの利用状況や問題等が明確になり、サービスの調整がスムーズに行えた。

特に、デイ・やすらぎとの連携・一体化において、継続してミーティングへの主体的参加のもとで、情報の発信と受信に意識して取組んだ結果、利用者の置かれている環境を相互に理解することができ、サービスを効果的に利用することで在宅生活の継続可能につながる支援ができたことは評価できる。次年度も引続き、当法人内のサービス事業所との連携をより一層強化し、やすらぎ居宅介護支援事業所が当法人の介護サービスの窓口としての機能を果たしていきたい。

8 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底

基本理念の徹底と専門性の向上を図るために、研修を通じて内容の確認と理解に努めた。その結果、職員全員が同じ方向に向かって業務を行う事を意識できた。

次年度も研修により基本理念の理解を深めながら、基本理念を意識した業務が行えるように努める。

2) 従事職員の資質の向上及び人材育成のための研修を実施する

① 新任職員指導

本年度も新任職員は未採用であったが、次年度も新任職員の採用があればチューター制を効果的に運用し、基本理念に基づくケアマネジメントが習得できるように取組みたい。

② 中堅職員の研修

内部研修においては、各職員が講師役を務めて業務に関するテーマで毎月開催したほか、階層別研修に計画的に参加することで資質向上に努めた。次年度も引続き事例検討会や多職種連携などの研修を実施し、各職員の資質の向上に取り組みたい。

③ 所内・派遣研修

本年度も継続して、ケアマネジメントにかかる基礎知識をはじめとして、介護保険制度や医療連携、障害福祉など、各団体が主催する研修会への参加やデイサービスやすらぎの職員研修にも参加し、専門知識と資質の向上に取り組めた。次年度も引続き資質の向上に向けて各団体の主催する研修会やデイサービスやすらぎの職員研修会などに参加していく。

④ ケアプラン作成に係る研修

本年度もケアプラン作成において、アセスメントシートから導かれる課題の捉え方やケアプラン内容を確認するとともに、随時ケース検討会を開催し、ケアマネの資質の向上に取り組むことができた。次年度は、外部研修に積極的に参加し介護支援専門員の資質向上に取り組みたい。

3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、業務に対して目標を設定した。その結果、各職員がどのようにすれば目標が達成できるか考えながら業務が行えた。また、目標に届かなくても、それに対する課題を見出し取り組むことができた。よって、次年度も設定した新たな目標の達成に向けて取組み、また残された課題に向合いながら、自己の成長に繋げていけるように努めたい。

9 利用者満足度調査及びサービス自己評価の実施

1) 利用者及び家族の満足度を量るためのアンケート調査の実施

利用者満足度調査を令和5年10月に実施し、潜在化している声や意向を把握し、サービスに反映したケアマネジメントを意識することができた。また、アンケートに対する利用者・家族の評価は概ね良好であった。

次年度も、施設独自のサービス満足度調査を実施することで、継続して利用者・家族の意向を聞き取り、サービスに反映させていく。

2) サービス自己評価の実施

評価できる点として地域住民や地区民生委員などの協力による適切なケアマネジメントを実践し、地域包括支援センター・各サービス提供事業者・医療機関との連携を密にし、また、社会資源の情報などを把握し利用者・家族に

情報提供することで利用者の支援に取組めた。

しかし、サービス自己評価からの課題であった定期的なマニュアルの見直しについては、本年度も計画的な改善には至らなかった。よって、次年度はマニュアルの見直しの年間計画を策定し、計画に基づくマニュアルの見直しを行わなければならない。

10 感染症予防対策の強化及び災害時の対応

1) BCP（業務継続計画）の策定及び訓練（シミュレーション）の実施

デイサービスセンターやすらぎと協同し、感染症発生時の対応について研修及び訓練（シミュレーション）に取り組んだ。次年度は、居宅介護支援事業所としての専門性を反映させた訓練を行わなければならない。

2) 感染症予防策の強化

感染症の発生・拡大・再発防止のため、感染症予防策の徹底や職員研修の実施により感染予防に努めた。厚生労働省からの通知に基づく対応を徹底していく。

① 感染経路の遮断（病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げない）

i) 利用者には利用者及びその家族等の健康状態を確認し、職員が訪問する際には訪問先で、家族等が施設を訪問する際には施設玄関でバイタルチェックを行い、感染症の疑いや発熱等が確認された場合には面接の中止等を調整することができた。

ii) 標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底として、訪問時にマスク着用のほか、手洗いやアルコール等による手指消毒を行い、距離を置いた面接を行ったことにより訪問時の感染は予防できた。

iii) 職員、来訪者が感染症の病原体を施設外部から持ち込まないように留意した。その結果、職員間及び来訪者からの感染は予防できた。

iv) 感染経路別（接触感染・飛沫感染・空気感染・血液媒体感染症等）予防策を照ってすることで感染を予防できた。

② 感染症対策委員会への参加

今年度もデイサービスセンターやすらぎが定期的で開催する感染症対策委員会に積極的に参加し感染症対策マニュアルの更新を行った。また、研修の参加により、感染予防対策の意義・重要性について周知する事ができた。

次年度も引続き、感染症対策委員会及び職員研修に積極的に参加し、感染症予防対策への周知徹底を図っていききたい。

③ 感染症発生時の対応

有症者の状況やそれぞれに講じた措置等を記録していき、感染症対策マニュアルに基づき感染拡大防止のための対応策を実施することで職員の感染予防につなげることができた。

3) 災害時における対応

災害時発生時において、必要な居宅サービスが継続的に提供できるように、利用者の緊急連絡先、避難先、かかりつけ医などの情報を最新のものに更新している。また、デイサービスセンターやすらぎの研修や訓練に参加することで、避難経路の確保や誘導などの理解を深めることができた。次年度も継続して利用者の情報に変更があればタイムリーに更新し、居宅介護支援事業所の特性に応じた研修及び訓練に取り組んでいきたい。

令和 5 年度 事業報告書

在宅介護支援センターやすらぎ				
		目標	実績	差異
稼働状況	地域包括支援センター 協力業務件数	360件/年	187件/年	-144件/年
重点項目	① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能強化 ② 地域包括支援センターとの連携強化 ③ 感染症予防対策の強化 ④ 人材養成の積極的展開 ⑤ 人権侵害防止の取組みの強化			
総括	<p>本年度の事業の運営状況は、地域包括支援センター協力業務件数は年間延 187 件で予算目標件数 360 件に比べて 144 件の減であり、予算を達成することができなかった。</p> <p>① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化 高齢者の在宅支援の一つである地域包括支援センターのランチ機能として、高齢者世帯や独居高齢者世帯等を中心に相談協力員、福祉推進委員との連携を密に行い、独居高齢者や高齢者世帯を対象に定期的に訪問し、基本情報やチェックリストを用いて、対象者の実態把握を行い、介護予防に努めてきた。</p> <p>活動実績としては、相談延件数 670 件（電話相談 171 件、来所相談 22 件、訪問相談 478 件）で前年度比 65 件の増、相談実人員は 484 名で前年度比 11 名の増となった。</p> <p>また、塩屋地区・西部地区で開催される民児協定例会に毎月参加し、地域との関係づくりとともに介護保険制度改正や行政機関からの情報提供及び介護予防教室開催等の連絡を行った。</p> <p>更には、介護予防の拠点として小地域を対象に多くの地域高齢者に参加してもらいたいとの思いから、本年度も介護者教室等を企画し、参加人数の増加がみられた。「認知症予防教室」においては、塩屋西地区・大津地区にて年 2 回（令和 5 年 5 月 22 日、6 月 27 日）開催し、33 名の参加であったが、参加者は前年比 10 名の増加となった。また、「転倒予防教室」は、塩屋西地区にて年 1 回（令和 5 年 7 月 27 日）開催し、16 名の参加、「介護者教室」は、塩屋地区で年 1 回（令和 6 年 3 月 20 日）開催し、14 名の参加となった。「介護技術講習」は、木生谷・天和・塩屋地区で年 3 回（令和 4 年 7 月 26 日、8 月 3 日、令和 6 年 3 月 15 日）開催し、35 名の参加であったが、参加者は前年度比 25 名の減となった。昨年度と同様に、いずれの地区も認知症予防や転倒予防への関心は高く、脳トレや体操等を積極的に取り組む姿勢がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権侵害に対する早期対応・早期防止 高齢者虐待等の人権侵害が疑われる状況が確認された場合においては、地域包括支援センターと連携し、早期対応・早期防止に努めた。結果として本年度は、高齢者虐待等の人権侵害が疑われる状況はなかった。 <p>④ 人材養成の積極的展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事職員の資質の向上及び人材育成のための研修 本年度は、令和 6 年 3 月 1 日付で異動した相談員 1 名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組み、相談援助業務の基礎を習得していく。 また、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用していく。次年度も継続して、効果的な運用に努めたい。 チューター制を効果的に活用するため、達成目標に沿った実践及び検証を行い、定期的な面談、日々の振り返り、OJT による実地指導など、きめ細やかな指導を実施していく。 			

令和 5 年度

事業報告書

在宅介護支援センター やすらぎ

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

〈重点項目〉

- ① 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化
- ② 地域包括支援センターとの連携
- ③ 感染症予防対策の強化
- ④ 人材養成の積極的展開

本年度は、上記基本理念に基づき、以下の事業を重点的に取組むとともに、桜谷荘季節行事等へも参画し、法人内事業所間の連携や職員間の交流に積極的に取り組んできた。

在宅介護支援は、地域に一番近い相談できる場所として積極的に地域の高齢者宅を訪問して身体状況や生活状態を把握し、適時相談業務を行い、地域との関係を大切に在宅支援をしてきた。

また、本年度事業の運営状況は、地域包括支援センター協力業務件数は年間延 187 件で予算目標件数 360 件日垂して 144 件の減であり、予算を達成することができなかった。

1 地域高齢者の実態を把握し、介護予防の拠点としての機能の強化

高齢者の在宅支援の一つである地域包括支援センターのランチ機能として、高齢者世帯や独居高齢者世帯等を中心に相談協力員、福祉推進委員との連携を密に行い、独居高齢者や高齢者世帯を対象に定期的に訪問し、基本情報やチェックリストを用いて、対象者の実態把握を行い、介護予防に努めてきた。

活動実績としては、相談延件数 670 件（電話相談 171 件、来所相談 22 件、訪問相談 478 件）で前年度比 65 件の増、相談実人員は 484 名で前年度比 11 名の増となった。

また、塩屋地区・西部地区で開催される民児協定例会に毎月参加し、地域との関係づくりとともに介護保険制度改正や行政機関からの情報提供及び介護予防教室開催等の連絡を行った。

更には、介護予防の拠点として小地域を対象に多くの地域高齢者に参加してもらいたいとの思いから、本年度も介護者教室等を企画し、参加人数の増加がみられた。「認知症予防教室」においては、塩屋西地区・大津地区にて年 2 回（令和 5 年 5 月 22 日、6 月 27 日）開催し、33 名の参加であったが、参加者は前年比 10 名の増加となった。また、「転倒予防教室」は、塩屋西地区にて年 1 回（令和 5 年 7 月 27 日）開催し、16 名の参加、「介護者教室」は、塩屋地区で年 1 回（令和 6 年 3 月 20 日）開催し、14 名の参加となった。「介護技術講習」は、木生谷・天和・塩屋地区で年 3 回（令和 4 年 7 月 26 日、8 月 3 日、令和 6 年 3 月 15 日）開催し、35 名の参加であったが、参加者は前年度比 25 名の減となった。昨年度と同様に、いずれの地区も認知症予防や転倒予防への関心は高く、脳トレや体操等を積極的に取り組む姿勢がみられた。

2 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターとの同行訪問や連絡調整により在宅での状態把握や目標を共有し、高齢者が自立した生活が継続できるように努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議や在宅介護支援センター連絡会に毎月参加し、困難事例の検討や検証を行うことで、地域で生活する高齢者の情報共有に努め、課題解決に向けて取り組んだ。

更には、地域包括支援センターと連携して、「認知症サポーター養成講座」を令和 5 年 9 月 20 日に開催し、地域で生活される方々の認知症高齢者に対する知識を深めていただける機会となった。

地域包括支援センター協力業務においては、年間目標 360 件に対し 187 件で 144 件の減となり目標を達成することが出来なかった。次年度は、地域包括支援センターと連携のもと、訪問対象者の状況を整理した「一人暮らし老人台帳」及び「高齢者世帯台帳」の内容の充実を図り、地域の高齢者が在宅で安心した生活が継続できる見守り支援及び環境整備に努める。

1) 人権侵害に対する早期対応・早期防止

高齢者虐待等の人権侵害が疑われる状況が確認された場合においては、地域包括支援センターと連携し、早期対応・早期防止に努めた。結果として本年度は、高齢者虐待等の人権侵害が疑われる状況はなかった。

3 感染症予防対策の強化

訪問先の対象者の健康状態を確認し、マスクやゴーグルの装着、手指消毒を行ったうえで訪問を行った。また、必要に応じて、家には上がらず玄関先での対面等を行い、訪問先の方に安心感を持っていただくなどの配慮を行った結果、感染予防が図れた。

令和 5 年 12 月 12 日にデイやすらぎが開催した感染予防策の意義・重要性について研修に参加し、職員の意識の向

上と予防対策の周知徹底を図ると共に、業務継続計画を基に、訓練（シミュレーション）を実施した。

4 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底

事業所内においては、基本理念の徹底と専門性の向上を図るために、やすらぎ居宅介護支援事業所との連携のもと、基本理念の研修に参加して、法人の中で在宅介護支援センターが何を担っているかという視点を確認することが出来た。

2) 従事職員の資質の向上及び人材育成のための研修

本年度は、令和6年3月1日付で異動した相談員1名に対してチューター制を活用した職員育成に取り組み、相談援助業務の基礎を習得していく。

また、新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解を深めたことで、チューター制を適正に活用していく。次年度も継続して、効果的な運用に努めたい。

チューター制を効果的に活用するため、達成目標に沿った実践及び検証を行い、定期的な面談、日々の振り返り、OJTによる実地指導など、きめ細やかな指導を実施していく。

在宅介護支援センターやすらぎが主催する教室関係においても、自身で企画・立案・連絡調整等を行い、適正に開催することが出来た。

また、外部研修においては、兵庫県在介協、赤穂市老施協等の研修会に参加し、在宅介護支援センターの動向等をはじめ、相談援助技術や高齢者介護の理解等、知識習得に努めた。

3) 人事考課制度の運用

人事考課制度により、職員個々の自己評価と評価者との育成面接を継続して行い、自己成長シートを活用し、就業にかかる目的の明確化を図り、自己成長から人材育成へ、そして、信頼関係の確立に努めた。

次年度も引き続き、本来の「人を育てる」と「信頼関係」という目的を達成していくよう、人事考課制度の一層の充実を図る。

令和5年度

職員研修実施状況

1 施設内研修

開催年月日	研修内容	講師名
5. 4. 4	基本理念について	小川主任看護師
5. 18	高齢者の身体の状態を体験しよう～高齢者疑似体験～（居介四事業所合同研修）	社会福祉協議会介護支援センター担当
6. 27	ケアマネジメントプロセスについて	水田主任CM
7. 18	認知症や認知症ケアのための研修	水田主任CM
8. 29	プライバシーの保護について	水田主任CM
9. 12	現状維持プランから元気を取りもどすプランの作り方（居介四事業所合同研修）	居宅はくほう担当
9. 26	倫理及び法令遵守の為の研修	福田CM
10. 31	ハラスメント対策の為の研修	橋本CM
11. 13	皆で情報共有しましょう（居介四事業所合同研修）	やすらぎ居介担当
12. 26	感染症とは？自分や家族が感染した時の対応について考えよう	福田CM
6. 1. 30	R6年度の介護保険制度改正について	橋本CM
2. 15	赤穂市の障害福祉について（居介四事業所合同研修）	在宅ケア担当
2. 20	高齢者虐待防止について	橋本CM
3. 28	BCP業務継続計画について	福田CM

2 施設外研修

開催年月日	研修内容	実施場所
5. 7. 14	多職種豊明市合同カンファレンス視察	オンライン
9. 18	R5年度赤穂市多職種連携研修会	総合福祉会館
11. 20	生活支援サービス実施 団体情報交換会	総合福祉会館
12. 4	R5年度赤穂市ケアマネジメント研修会	総合福祉会館
6. 2. 19	R5年度赤穂市介護支援専門員交流会	総合福祉会館
3. 4	R5年度認知症ケア向上研修	総合福祉会館
3. 13	R5年度第2赤穂市民病院地域医療介護福祉懇談会	赤穂市民病院

令和5年度

介護保険関係会議出席状況

開 年 月 日	議 内 容	出 席 者	実 施 場 所
5. 4. 12	第1回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
6. 14	第2回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
8. 9	第3回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
10. 11	第4回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
12. 13	第5回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	水田主任CM	総合福祉会館
6. 2. 14	第6回赤穂市主任介護支援専門員連絡会	木本管理者	総合福祉会館

令和5年度

市関係会議出席状況

開 年 月 日	議 内 容	出 席 者	実 施 場 所
5. 4. 21	第1回赤穂市自立支援型地域ケア個別会議	水田主任CM	総合福祉会館
7. 14	多職種合同ケアカンファレンス視察	水田主任CM、橋本CM、福田CM	オンライン
9. 18	令和5年度赤穂市多職種連携研修会	水田主任CM	総合福祉会館
11. 20	令和5年生活支援サービス実施団体情報交換会	水田主任CM、橋本CM	総合福祉会館
12. 15	第9回赤穂市自立支援型地域ケア個別会議	福田CM	総合福祉会館
6. 2. 19	令和5年度介護支援専門員交流会	橋本CM	総合福祉会館
3. 13	令和5年度第2回赤穂市民病院地域医療介護福祉懇談会	橋本CM	赤穂市民病院

令和5年度

塩屋・西部地区民生委員定例会参加状況

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
5. 4. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
4. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
5. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
5. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
6. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
6. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
7. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
7. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
8. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
8. 7	高齢者の状況について	赤穂西公民館
9. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
6. 1. 9	高齢者の状況について	赤穂西公民館
2. 1	高齢者の状況について	塩屋公民館
2. 6	高齢者の状況について	赤穂西公民館
3. 5	高齢者の状況について	赤穂西公民館

令和5年度

地域との交流事業(介護予防教室・介護者教室)

交 流 年 月 日	内 容	参 加 場 所
5. 5. 22	認知症予防教室(赤穂市委託) (21名)	塩屋西自治会館
6. 27	認知症予防教室(赤穂市委託) (12名)	大津中央集会所
7. 26	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(20名)	木生谷集会所
7. 27	転倒予防教室(赤穂市委託) (16名)	福浦本町東集会所
8. 3	兵庫県介護技術普及事業(介護技術講習)(20名)	鷗和集会所

令和5年度

地 域 貢 献 事 業 関 係

参 加 年 月 日	内 容	講 師	開 催 場 所
5. 4. 26	第1回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
5. 30	第2回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
6. 10	第3回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
6. 24	第4回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
6. 27	第5回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
7. 8	第6回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
8. 3	第7回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
9. 23	第8回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
11. 16	第9回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター
12. 14	第10回認知症カフェ検証委員会		やすらぎセンター

令和5年度

事業報告書

桜谷荘 喀痰吸引等研修事業

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

本年度は、当法人の基本理念に基づき本事業を実施した。

1 事業目的

介護保険施設や障害者支援施設等において、不特定多数の利用者に対し、適切に喀痰吸引等の医療行為が実施できる介護職員等を養成することを目的として取組んだ。

2 事業の実施主体

社会福祉法人桜谷福祉会

3 事業名及び所在地等

- ① 事業名称 桜谷荘喀痰吸引等研修事業
- ② 事業所在地 兵庫県赤穂市塩屋3450-38
- ③ 事業連絡先 0791-45-1820

4 事業の実施時期

- ・ 令和5年4月1日～令和6年3月31日

5 終了証明証交付年月日

- ・ 令和6年3月31日

6 事業の実施場所

- ① 講義：社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム桜谷荘（兵庫県赤穂市塩屋 3450-38）
社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（兵庫県神戸市西区月が丘 1-41-12）
- ② 演習：社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム桜谷荘（兵庫県赤穂市塩屋 3450-38）
社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（兵庫県神戸市西区月が丘 1-41-12）
- ③ 実地研修：社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム桜谷荘（兵庫県赤穂市塩屋 3450-38）
社会福祉法人桜谷福祉会 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（兵庫県神戸市西区月が丘 1-41-12）

7 実施する研修課程等

- ① 社会福祉士及び介護福祉士法施行規則別表第2号研修を実施した。11:00～17:00
- ② カリキュラムは、下記のとおり実施した。
- ③ 研修講師は、医師・看護師の資格を有する3名が担当した。

	科目	時間数	日時	研修担当者	
開校式	オリエンテーション	0.5			
基 本 研	講	人間と社会	令和5年 8月23日(水) 11:00～17:00	松原看護師長他	
		保健医療制度とチーム医療			
		安全な療養生活			
		清潔保持と感染予防			
		健康状態の把握			
	義	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	1.0	9月13日(水) 11:00～17:00	松原看護師長他
		高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	5.0	10月18日(水) 11:00～17:00	松原看護師長他
		高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	6.0	11月15日(水) 11:00～17:00	松原看護師長他
		高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説	6.0	12月28日(木) 11:00～17:00	松原看護師長他
		筆記試験		令和6年 1月26日(金) 11:00～17:00	松原看護師長他
演	科目	回数	日時	研修担当者	
	口腔内の喀痰吸引	5回以上			
	鼻腔内の喀痰吸引	5回以上			

修 習	気管カニューレ内部の喀痰吸引	5回以上	令和6年1月27日(土)～ 令和6年2月14日(水)	松原看護師長他
	胃瘻又は腸瘻による経管栄養	5回以上		
	経鼻経管栄養	5回以上		
	救急蘇生法	1回以上		
実 地 研 修	口腔内の喀痰吸引	10回以上	令和6年2月18日(日)～ 令和6年3月22日(金)	松原看護師長他
	鼻腔内の喀痰吸引	20回以上		
	気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上		
	胃瘻又は腸瘻による経管栄養	20回以上		
	経鼻経管栄養	20回以上		

8 受講資格

- ① 介護福祉士の資格取得を目指している者
- ② 男女を問わず、心身ともに健全である者
- ③ 学歴は問わないが、高等学校卒業以上の学力があると認められる者
- ④ 面接事業及び演習の参加に支障のない者

9 定員及び開講必要人数

本年度は、定員を20名(特養・桜谷荘の定員10名、特養・櫻ホーム西神の定員10名)、開講必要人数を1名として事業を進め、10名が本事業の研修を受講した。

10 募集方法

本年度は一般公募として、令和5年4月1日から6月30日にかけて当法人ホームページに募集要項を掲載し、20名の応募があった。

1.1 受講申込手続き及び受講者の決定方法

- ① 受講希望者から、令和5年6月30日までに特別養護老人ホーム桜谷荘へ受講申込書の提出があった。
- ② 申込者が定員を上回ることがなかったため、申込者10名全員が受講することとなった。

1.2 受講者負担金

- ① 本年度の受講申込者20名のうち10名が、基本研修・実地研修ともに申込をしたため、受講者負担金は1人当たり100,000円(保険料・テキスト代を含む・税込)とした。
- ② 受講者負担金は、受講決定後(令和5年7月10日付で受講決定通知書を交付)に令和5年7月28日までに研修課程に係る金額を所定の銀行口座に納付することとした。
- ③ 研修期間中の交通費は受講者負担とした。

1.3 研修終了の認定方法

基本研修(講義)を全て受講後の筆記試験と基本研修(演習)に合格し、実地研修を修了した者(本年度受講者10名全員が研修終了)に対し、令和6年3月31日付で修了書を交付した。

1.4 安全管理体制

実地研修の実施において、ヒヤリハット事例を蓄積し、安全管理体制について協議した。また、基本研修(講義)時にも事例を紹介し、安全管理体制について注意を促し、介護職員等による喀痰吸引等の安全管理体制を促進した結果、本年度の事故発生件数は0件であった。

1.5 修了者の管理及び都道府県への報告

- ① 修了者の管理
研修受講者の研修受講進捗状況及び修了者は「喀痰吸引等研修 研修修了者管理簿」によって管理した。
- ② 都道府県への報告
本年度の事業の実施結果報告として、令和6年4月15日付桜谷福発第21号をもって、「喀痰吸引等研修実施結果報告書」及び「喀痰吸引等研修 研修修了者管理簿」を兵庫県知事あて提出できるように準備した。

令和 5 年度 事業報告書

児童養護施設さくらこども学園 (定員 42名)					
稼働状況			目標	実績	差異
	入所	稼働率	90.00%	91.67%	1.67%
		人数	37.80名	38.50名	0.70名
	一時保護利用日数		-	686日	-
	ショートステイ利用日数		30日	7日	-23日
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② サービスの質の向上への取組み ③ 人権侵害防止への取組み ④ 安全で安心な生活環境の構築 ⑤ 養育・自立支援機能の充実 ⑥ 人材育成の積極的展開 ⑦ 食育の推進 ⑧ 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る ⑨ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑩ 地域子育て支援の展開 ⑪ 保健・衛生・健康管理及び感染症対策の強化 ⑫ 心理的支援の充実 				
総括	<p>本年度の事業運営状況は、入所定員42名、入所児童年間延べ人数462名(月平均38.5名)で目標入所児童年間延べ人数456名(月平均38.0名)に対して0.7名増、年間稼働率91.67%と年間通じて目標年間稼働率の90%以上の確保ができた。</p> <p>一時保護児童は、年間21名、年間延べ利用日数686日で前年度比274日の増加であった。また、ショートステイ事業は、年間3名、年間延べ利用日数7日で目標年間利用日数30日に対して23日の不足であった。なお、家庭支援専門相談員が中心となり、こども家庭センター・保護者と連携し、家族再統合に取り組んだことで、2名の家庭復帰に繋げることができた。</p> <p>① サービスの質の向上への取組み 本年度は、昨年度発生した職員から児童への不適切な関わりを踏まえ、組織力の更なる向上を目的に、新たに副施設長、部長、主任保育士を加えた新体制で職員から児童への人権侵害防止、支援の質の向上、職員育成に取り組んだ。施設内虐待防止だけでなく、カンファレンスを主体としたケースワーク、会議、委員会の目的の明確化と効率化、また、職員間連携や児童の生活の見直し等を通じて、事業計画に基づき施設としてのサービスの質の向上に取り組んだ。法人、スーパーバイザー等多くの助言を受け、児童の成長と自立を目的とした生活の構築と、それを可能とする生活支援のあり方について検討した。その結果、新たな取組みとして、児童一人一人の特性、課題、目標に適した、自立に繋がる生活様式と、自立支援計画に基づく支援体制の構築を開始するに至った。次年度はこの取組みを定着させ、より良質の支援が行える体制を作る。</p> <p>② 人権侵害防止への取組み 本年度は職員から児童への不適切な関わりの再発防止と人権侵害の防止の徹底を図るため、こども達が大人を信頼し安心して生活できる環境を構築することを目標に取り組んだ。そのため職員一人一人の権利擁護に対する意識を高め、専門性に基づいた支援を行うための職員育成につとめ、また養護課長・主任による現場での直接的な指導(OJT)にも取り組んだ。職員体制が大きく変わり目的が明確になったことにより、職員も不適切な関わりの再発防止への意識を高め、また、その意識が児童にも伝わることで、施設全体の権利意識の向上と、些細なことでも児童、職員が相談しやすい環境を作ることができた。毎日多くの児童、職員が関わる施設生活の中で、常に適切な対応を実践していくためには、予防のための知識を深め、早期発見、早期対応できる仕組みを構築し、機能させていくための取組みを行った。その結果、職員の意識は高まり、日常的な職員の言動についても確認、対応を行っていくことで、再発防止に繋がっているため、次年度も継続して取り組む。</p> <p>④ 養育・自立支援機能の充実 本年度は個別ケアの充実を図るため、個々のケースについてケースカンファレンスを実施し、児童の課題に対する具体的な対応策を立て、検証を行った。カンファレンスには各専門職も加わり、それぞれの視点によるアセスメントとそれに基づく対応を考えることで支援の幅が広がり、問題点についてより明確に対応することが出来た。全児童に対して、より効率的にカンファレンスを実施していくには、ケースの理解と職員間の共通認識が必要であるため、次年度は、職員がケース理解を深め、より適切な対応ができるようカンファレンスの質を上げる。</p>				

令和5年度

事業報告書

児童養護施設 さくらこども学園

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点目標》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定
- ② サービスの質の向上への取組み
- ③ 人権侵害防止への取組み
- ④ 安全で安心な生活環境の構築
- ⑤ 養育・自立支援機能の充実
- ⑥ 人材育成の積極的展開
- ⑦ 食育の推進
- ⑧ 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る
- ⑨ 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑩ 地域子育て支援の展開
- ⑪ 保健・衛生・健康管理及び感染症対策の強化
- ⑫ 心理的支援の充実

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

本年度の事業運営状況は、入所定員42名、入所児童年間延べ人数462名（月平均38.5名）で目標入所児童年間延べ人数456名（月平均38.0名）に対して0.7名増、年間稼働率91.67%と年間通じて目標年間稼働率の90%以上の確保ができた。

一時保護児童は、年間21名、年間延べ利用日数686日で前年度比274日の増加であった。また、ショートステイ事業は、年間3名、年間延べ利用日数7日で目標年間利用日数30日に対して23日の不足であった。なお、家庭支援専門相談員が中心となり、こども家庭センター・保護者と連携し、家族再統合に取り組んだことで、2名の家庭復帰に繋げることができた。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画に対する実践状況や検証を行った結果、概ね計画通り推移することができた。

次年度は、第5期経営5か年計画の1年目として、「地域貢献への積極的展開」「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第5期経営5か年計画を積極的に推進する。

2 サービスの質の向上への取り組み

本年度は、昨年度発生した職員から児童への不適切な関わりを踏まえ、組織力の更なる向上を目的に、新たに副施設長、部長、主任保育士を加えた新体制で職員から児童への人権侵害防止、支援の質の向上、職員育成に取り組んだ。施設内虐待防止だけでなく、カンファレンスを主体としたケースワーク、会議、委員会の目的の明確化と効率化、また職員間連携や児童の生活の見直し等を通じて、事業計画に基づき施設としてのサービスの質の向上に取り組んだ。法人、スーパーバイザー等多くの助言を受け、児童の成長と自立を目的とした生活の構築と、それを可能とする生活支援のあり方について検討した。その結果、新たな取組みとして、児童一人一人の自立のための生活様式と、自立支援計画に基づく支援体制の構築を開始するに至った。次年度はこの取組みを定着させ、より良質の支援が行える体制を作る。

3 人権侵害防止への取り組み

本年度は職員から児童への不適切な関わりへの再発防止と人権侵害の防止の徹底を図るため、こども達が大人を信頼し安心して生活できる環境を構築することを目標に取り組んだ。そのため職員一人一人の権利擁護に対する意識を高め、専門性に基づいた支援を行うための職員育成につとめ、また、養護課長・主任による現場での直接的な指導（OJT）にも取り組んだ。職員体制が大きく変わり目的が明確になったことにより、職員が不適切な関わりへの再発防止への意識を高め、また、その意識が児童にも伝わることで、施設全体の権利意識の向上と、些細なことでも児童、職員が相談しやすい環境を作ることができた。毎日多くの児童、職員が関わる施設生活の中で、常に適切な対応を実践していくためには、予防のための知識を深め、早期発見、早期対応できる仕組みを構築し、機能させていく力が必要となることから、以下の取組みを実践した。

1) 人権侵害の予防

不適切な関わりの予防のため、年間を通じて職員研修を実施した。施設内虐待の事例、こどもの権利ノート、施設内虐待防止法、被措置児童虐待ガイドライン等、施設内虐待に関する知識を深め、意識を高めることで不適切とされる行為を回避し、冷静に児童に対応することを学んだ。また、人権擁護チェックについては職員一人一人のセルフチェックと、施設としての取組みに対するチェックを行った。権利擁護委員会で結果をまとめ、重点的に取組むポイントとして整理し、次年度に繋げる。

2) 人権侵害の早期発見

人権侵害の早期発見をするために、職員や児童が生活場面で気になったことについて話し合い共有し、必要に応じて施設長から確認し改善すべき言動については随時指導した。児童との面談において、また、生活場面における職員からの何気ない言葉、注意に対する反発、児童間トラブルを仲裁に入った職員に対する暴言等、児童が興奮したり感情的になった時の言動に触発されて職員も感情的になってしまい、そのことが児童に不安感を与えることもあり、職員の言葉の選び方や表現、表情や伝え方等、その都度確認しあった。関わりを密にし、繰り返し対応することで、児童から職員の言動に対する不安の声は減少した。

3) 人権侵害への早期対応

本年度は、職員から児童による問題行動等に対する注意や指導が不適切な関わりに発展しないための取組みを行った。“密室で注意、指導を行わない”“可能な限り複数対応する”“話そう会として皆で話合う”等、職員が自身の対応を客観視できる環境を作った。それにより仮に問題が生じて、その状況を説明できる第三者がいることで、職員も冷静に対応しようとする意識が強くなった。次年度も不適切な関わりに発展する可能性がある職員の言動についての学びを継続し、また、日常的に些細なことでも確認し、対応していくことで再発防止に繋げる。

4) 施設内虐待の再発防止

昨年度発生した職員から児童への不適切な関わりの事案を振り返り、今後も起こり得ることとして、会議、研修等を通じて注意喚起した。職員、児童間による身体接触や異性との関わり方、各棟への職員配置、洗濯、入浴等の生活支援について再発防止の観点から見直し、職員の意識改革を行った。次年度も注意喚起は継続し、再発防止への更なる取組みに繋げる。

4 安全で安心な生活環境の構築

1) 子どもの権利擁護の取組み

本年度は、児童の安全安心な生活を守るために、改めてこどもの権利擁護に関する取組みを徹底した。児童全体集会を年6回（令和5年5月3日、5月27日、7月20日、10月9日、12月20日、令和6年3月20日）開催し、児童、職員で安全安心な生活について話し合い、また、年度当初の目標設定や権利ノートについての説明、グランドルールの決定、学期ごとの反省、聞き取り結果の報告等、年間を通じて児童と職員と一緒に権利擁護について学び・守っていくことを約束した。また、児童の自治会（話そう会）等をユニット別・年代別・男女別・テーマ別と状況に合わせて随時開催し、生活場面を通じて児童の生活における安心・安全とお互いの権利を尊重し合うことの大切さを伝えた。

2) 児童間暴力等への取組み

全児童への聞き取り調査を毎月行い、結果については毎月の棟会議と権利擁護委員会で検討した。暴力、いじめ等の早期発見に取組み、発生した事案については速やかに確認、対応することで解決を図った。児童のパニックや情緒面の課題により発生し、早期解決の難しいケースについては、施設内での指導だけでなく、こども家庭センターや学校、保護者を交えて協議し、また、医療受診や服薬治療を行う等、支援の内容を見直し対応した。

児童の特性や暴力に至る経緯は考慮しながらも、生活の中に暴力を持たないことを原則とし、暴力問題について児童、職員皆で考えることで再発防止に繋がった。

また、こども家庭センターと保護者、施設とで支援方針について協議する機会を増やしたことで、特に暴力的傾向の強い児童については、施設と保護者、医療との連携の中で一貫した対応をすることができた。次年度も引続き、児童の暴力問題に対して、関係機関と協力し、対応する体制を強化する。

3) 児童の意見表明の推進

話そう会の開催や児童への聞き取り、面談を通じて児童に意見表明の機会を設け、自分の気持ちや意見を確認した。内容に応じて権利擁護委員会等で検討し、職員間で周知するなど対応した。次年度も引続き、児童一人一人の気持ちを尊重し、より丁寧な関わり行う。

5 養育、自立支援機能の充実

1) 養育機能の充実

本年度は、医療的支援等様々な配慮を必要とする児童が多く、より専門的な支援が受けられるよう、社会資源の活用を積極的に行った。幼児発達支援センターには2名の児童が通所し、病院での言語指導には1名の児童が参加した。いずれも発達に遅れのある児童であったが、言語面における発音の改善や発語の増加等、明らかな成果が見られた。また、健康面における医療的支援については看護師を中心に病院と連携し、手術実施により持病の根治に繋げ、児童が健康な生活を送ることができるようになった。次年度は養育機能を拡大していくことで入所対応できる児童の幅を広げ、様々なケースに対応できる体制を作る。

2) 自立支援機能の充実

① 自立支援計画書の策定

全児童の自立支援計画をたてるにあたって、事前にアセスメントシートを作成しケースの課題を整理し、進路希望調査票、長期支援計画の作成を通じて、児童の将来を見据えた年間計画を作成した。作成後は、毎月自立支援計画の進捗状況について確認し、必要に応じてこども家庭センターと連携し、ケース協議・発達検査等を行った。しかし、児童の生活が個々の自立支援計画に設定された課題や目標と一致していなかったり、児童一人一人の支援よりもユニット内での集団支援が優先されたルールになっており、自立支援計画を活用できる状態になっ

ていなかった。令和6年2月以降、各棟の生活ルールを全て見直し、児童一人一人の成長と自立を目指した個別の生活様式を設定し個別ケアの充実に取り組んだ。次年度も引続き、児童が日常生活を通じて自立に向かうための自立支援計画を作成し活用できる体制を作る。

② 個別ケアの充実

本年度は個別ケアの充実に図るため、個々のケースについてケースカンファレンスを実施し、児童の課題に対する具体的な対応策を立て、検証を行った。カンファレンスには各専門職も加わり、それぞれの視点によるアセスメントとそれに基づく対応を考えることで支援の幅が広がり、問題点についてより明確に対応することが出来た。全児童に対して、より効率的にカンファレンスを実施していくには、ケースの理解と職員間の共通認識が必要であるため、次年度は、職員がケース理解を深め、より適切な対応ができるようカンファレンスの質を上げる。

学習支援については夜間に中高生の個別学習支援の時間を設けたことで、高校受験対策、中高生のテスト対策を行った。中高生は学力に課題がある児童が多いため、個別学習を行った。結果、成績が向上し進級、進学を果たすことができた。また、令和6年2月からユニット内での生活を、集団支援優先のルールではなく児童一人一人の個別支援の形に切替えたことで、児童の生活にも変化が見られた。規則や禁止事項によって行動するのではなく、職員も児童も状況に応じて考え、話し合いで解決していく過程を踏むことで、児童にも少しずつ自主性や責任感が見られるようになった。職員任せにしていたことを自分でするようになっていたり、自分なりに考えて行動する場面が見られるようになり、個々の成長が感じられるようになった。職員についてもルールによる一括した集団支援から個別支援に切替えることで、生活上の些細なトラブルは状況に応じた解決をするために児童の話を聞き、一緒に取り組み解決方法を考えることが増えた。次年度も自立支援計画が達成できる生活を作っていくために、この取り組みを継続する。

③ 地域・関係機関との連携

児童の支援においては、幼稚園・学校と定期的に協議する場を設けた事で、支援における課題の共有、支援の統一化を図ることができた。

特に、幼稚園・学校での生活において特別な支援が必要な児童については、クラス担任と随時連絡を取合い、必要に応じてこども家庭センターを交えた協議を行うことで、児童の状況を把握し、随時支援方針について検討することができた。次年度も引続き、児童一人一人に関係機関と連携した対応ができる体制を築く。

④ 家族支援の促進

本年度は早期家庭復帰を目指すケースについては、家庭支援専門相談員が中心となり、こども家庭センター、保護者と連携し、家族再統合に取り組んだことで2名の家庭復帰に繋げることができた。それぞれの家庭環境、保護者・児童の意見を考慮した上で協議を重ね、特に被虐待のケースに関しては、こども家庭センターとのケース協議、保護者面接、児童面接、家庭訪問等を経て家庭復帰調整会議を実施したことにより、現在家庭復帰を目指しているケースが2件ある。よって、次年度も早期家庭復帰を目指した保護者支援を行うとともに、児童に対する不適切な関わりなど、虐待に通じる可能性のある家庭については、こども家庭センターと連携して保護者対応を行い、家庭環境の改善を目指す。

⑤ 小規模グループケアの充実

本年度も生活単位を男子棟・女子棟・幼児棟の3棟5ユニット体制とした。幼児棟が再稼働して5年目となり、幼児に特化した養育体制を構築したことで、入所児童の生活環境はより小規模化され、各ユニットにおける支援も定着した。

職員配置については、業務負担の増加や職員間の連携の難しさなど課題もあるが、毎日職員配置票を作成することで各時間帯における職員配置を明確にし、また、各ユニットで業務チェック表への記入を実施したことで、各職員の業務内容の明確化と業務分担、職員間連携をしやすい体制を作ることができた。次年度は児童の生活環境に適した職員配置について検討するとともに、職員の負担軽減に繋がる職員配置を検討する。

6 人材育成の積極的展開

1) 法人基本理念の周知徹底

事業計画説明会を始め、職員会議、棟会議の機会を利用した施設内研修を随時開催することで周知徹底を図った。また、基本理念に基づく施設としての取り組みについて確認し、子育てサロンや権利擁護委員会・自立支援計画等、施設業務と基本理念との関連付けを行った。その結果、基本理念に関する理解は深まった。よって、次年度は一つ一つの業務内容、業務に対する職員の姿勢が理念に基づいたものとなっているかを検討し、更なる定着を図る。

2) 新任職員指導

本年度は4月より新任職員として児童指導員1名が入職した。チューター制による新任職員指導については、チューターだけでなく管理職も面談に参加し、また様々な職員との対話の機会を持ち、業務についても職員配置に応じて新任職員のフォロー体制を作る等、施設全体で支援を行った。しかし、チューターへのサポート体制は十分ではなく、チューターとしての役割を十分に果たせなかった面もあり、課題が残った。次年度は、全職員でチューター制に対する認識を改め、施設全体で職員育成が出来る体制を築く。

3) 施設内研修

マニュアル等の基本業務、食育、感染症予防などの研修を行い基本業務の徹底を図った。また、施設内虐待防止に関する職員研修を行い、児童の権利擁護に努めた。その結果、感染症予防等徹底できたこともあったが、児童の権利擁護については不適切な関わり等課題が見られた。次年度は研修が実践に反映されるよう、研修内容の更なる充実と、業務確認等改善状況の把握に取り組む。

4) 記録の充実と活用

本年度は兵庫大学小倉教授と中国短期大学平尾准教授にスーパーバイザーとして年間を通じて指導を受けた。ケースカンファレンスを通じてケース記録のとり方や活用の仕方、また、個々の児童のケースワークについても職員一人一人に丁寧に指導していただいたことで、自立支援計画と適切な記録に基づいた支援について職員の意識を高めることが出来た。次年度もこの取り組みを継続し、本年度学んだことを活かし、より質の良い支援を行える体制を

作る。

5) 施設外研修

本年度はオンライン研修等を積極的に活用し、職員研修の機会を確保した。次年度は開催される研修については積極的に参加し、職員の学びの機会の確保に繋げる。

6) 職員実地指導 (OJT) 機能の充実

本年度は職員の生活支援現場における実地指導を行うにあたり養護課長・主任による現場を主体とした業務に徹底した。職員にとって確認、相談が出来る存在が常に現場にあり、OJT 指導を受けられることで安心感が得られた。次年度もこの体制を継続し、職員育成を行う。

7) 人事考課制度の効果的運用

自己成長シートでの目標設定に始まり年間を通じて自己の定めた目標について評価し、考課者からの助言を聞く事で、職員としての規範意識や課題、また、自己の成長について確かめることができた。その結果、自身の課題と向き合い、職員としての目標を確かめる機会となり、考課者にも職員に対して助言する立場としての自覚が芽生え、現場での OJT に活かすことができた。

8) 委員会活動

事業運営に関する各委員会の役割を明確にし、全職員が委員会活動に関わる事で、全職員が主体的に責任を持って取り組むことができた。

また、各委員会活動状況の周知については、職員会議等で報告・説明を行い、各委員会活動に対する全職員の理解を図るとともに、必要事項については共通認識のもと実践できるよう努めた。よって、次年度も引続き、各委員会を中心とした活動に対して全職員で取組める体制づくりを構築する。

9) 実習内容の充実

本年度は 12 の養成校より 64 名の実習生を受け入れた。実習内容については児童のプライバシーに配慮した業務内容の見直し等課題も挙げられたため、実習内容の見直しを図った。次年度は実習生が求めるニーズを把握し、それに応えることでより意欲的に実習に取組める体制づくりを図ることで、実習生がより充実した、児童養護施設で働くことの楽しさを感じられる実習を実施する。

10) 職場環境の充実

本年度は職員の職場環境において、勤務表作成手順を見直すことで業務の効率化を図り、超過勤務等労働環境の改善に努めた。また、会議のあり方を見直し時間短縮を行う等、業務の無駄を省き、職員の負担を軽減する工夫を行った。次年度も計画的に職場環境の改善に取り組み、職員の就労意欲向上に繋げる。

7 食育の推進

本年度は、家庭的な食育の推進に加え、児童一人一人の発達に応じた食育に取り組んだ。

偏食、低体重等、個々の課題を理解し、普段の食事を通して少しずつ改善を図っていくことで、バランスの良い栄養摂取や体重増加等、健康面の改善に繋がった。次年度も引続き、家庭的で豊かな食卓の中で、児童の体調・健康増進に繋がる食育に取り組む。

1) 家庭的な食育の推進

普段食事を共にする機会のない児童、兄弟姉妹とのふれあいの場を作ることを目的に、各ユニットでの食事に加え定期的に全児童で会食する機会を設けた。本年度は、「こども達が食べたいものを沢山食べよう」をコンセプトに「唐揚げ祭り」「カレー祭り」等、こどもが好きなメニューに特化した催しとして開催したところ、大変好評だった。こども達からも次回開催に向けてリクエストが出るようになり、食育の取組みとして定着した。次年度も児童に食の楽しさを伝えるとともに、食の学びに繋がった取組みを行う。

2) 季節感を出した児童参加型の行事

【食育行事実施状況】

<令和 5 年度行事実施表>

行 事			
令和 5 年	4 月 3 日	お花見弁当作り	12 月 22 日 冬至 かぼちゃメニュー
5 月	5 日	こどもの日メニュー	24 日 クリスマスメニュー
		柏餅作り	30 日 もちつき
7 月	7 日	七夕メニュー	31 日 年越しそば
	30 日	土用の丑の日	令和 6 年 1 月 1 日 お節料理
8 月	15 日	お盆行事	7 日 七草がゆ
9 月	23 日	お彼岸おはぎ作り	2 月 3 日 節分
	29 日	月見団子	3 月 3 日 ひな祭りメニュー
10 月	30 日	ハロウィンメニュー	17 日 卒園、卒業お祝い会
11 月	3 日	秋の味覚祭	23 日 お彼岸、ぼたもち作り

3) 野菜づくり

畑での野菜作りについては、じゃがいも、なす、きゅうり、玉ねぎ等を職員と児童がともに栽培、収穫した。児童が野菜作りに興味を持ち積極的に手伝ってくれるようになり、また、自分たちが育てた野菜を食べることで、特に幼児の好き嫌いが少なくなり、野菜をおいしく食べることができるようになった。次年度も引続き、野菜作りを行う。

4) 安心・安全な食事の提供

① 食中毒予防を含む感染症予防マニュアルの徹底

衛生環境委員会にて食中毒防止、感染症予防マニュアルについて見直しを行い、施設内研修で周知した。また、児童の飲食、職員の飲食についても感染症予防の観点から注意を促すことで食事時の感染予防に努め、児童、職

員の意識も向上した。次年度も引続き、食中毒・感染症予防に取り組む。

② 感染症予防、衛生管理を目的とした業務手順表の徹底

感染予防の観点から厨房職員の衛生管理を徹底するために食事委員会で業務手順表について検証し、厨房職員だけでなく保育士、児童指導員等の厨房入室時における手洗い等衛生管理を徹底した。

その結果、職員の意識向上に繋がり厨房内の衛生状態が保たれた。また、保育士、児童指導員等に周知することで、厨房内の衛生管理について全職員で取り組むことができた。次年度も引続き、取り組みを継続するとともに、必要に応じて手順表の改訂を行う。

③ ユニットでの感染症予防、衛生管理の手順表の徹底

食事の際の消毒、アクリルボードの設置、黙食の奨励等、ユニット内における感染症対策の手順を定め、施設内研修で周知した。その結果、ユニットごと・職員ごとに違いが生じていた手順や方法について統一し、5ユニット全てにおいて衛生管理が徹底されるよう職員の意識が向上した。次年度も引続き、取り組みを継続する。

④ 児童の健康状態に適した食事の提供を目的としたマニュアルの見直し

児童の健康状態に配慮し、安心・安全な食事を提供するために、食事委員会で食物アレルギー一覧表を作成し、厨房・各ユニットに掲示した。また、ユニット毎に児童の持病・疾病・服薬状況等を確認できる一覧を作成し、児童の健康状態の把握と職員間連携の徹底を図った。次年度も状況に応じて適宜マニュアル、一覧等を改訂し、児童の健康状態の把握と安全な食事の提供を図る。

8 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る

入所児童・保護者からの相談・苦情に対して、施設内に苦情受付窓口、担当者を配置し、苦情解決に向けた啓発と再発予防に取り組んだ。

その結果、令和4年度の苦情受付件数は0件であった。

9 防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

火災を想定した消火・避難訓練を毎月1回行い、児童と職員に火災時の避難誘導方法について周知を図った。また、職員対象に消防設備取扱い説明を行う等、防火、防災に対する職員の共通認識を図った。宿直時間帯を想定した訓練、水害対応訓練等を実施し、また、職員対象に消火器、消防設備取扱い説明を行う等、防火、防災に対する職員の共通認識を図った。その結果、学園内の防災設備に関する理解が深まるとともに、地域の避難場所等を周知することができた。よって、次年度は児童・職員ともに防災意識の向上を図るため、様々なケースを想定しての訓練を実施する。

【訓練実施状況】

令和5年 4月23日	消火・避難訓練 消火器取扱い訓練	10月29日	消火・避難訓練（日勤帯想定）
5月28日	消火・避難訓練（宿直帯想定）	11月25日	消火・避難訓練（日勤帯想定） 火災設備取扱い訓練
6月25日	消火・避難訓練（日勤帯想定） 水害対応訓練	12月23日	消火・避難訓練（宿直帯想定）
7月23日	消火・避難訓練（宿直帯想定）	令和6年 1月21日	消火・避難訓練（宿直帯想定）
8月24日	消火・避難訓練（日勤帯想定）	2月18日	消火・避難訓練（日勤帯想定）
9月23日	消火・避難訓練（宿直帯想定）	3月30日	消火・避難訓練（宿直帯想定）

10 地域子育て支援の展開

1) 子育てサロン

【実施状況】

月	開催数	保護者	こども	計
令和5年5月	0回	0名	0名	0名
6月	3回	6名	9名	15名
7月	2回	0名	0名	0名
8月	0回	0名	0名	0名
9月	4回	8名	12名	20名
10月	4回	1名	1名	2名
11月	3回	5名	5名	10名
12月	1回	0名	0名	0名
令和6年1月	1回	1名	2名	3名
2月	1回	0名	0名	0名
3月	2回	0名	0名	0名

本年度は計21回開催し、延べ50名の参加があった。次年度は感染症予防を徹底し、看護師や心理判定員等専門職による子育て相談等も取入れ利用者増加に繋げていく。

2) 里親開拓

本年度は、夏休み短期里子事業に2名、春休み短期里子事業に1名の児童が参加し、また、週末里親による定期外泊を11回実施した。更に里親とのマッチングに取り組んでいる児童が2名おり、より里親の開拓や連携が必要となっている。赤穂市やこども家庭センターと連携しながら新規里親開拓と児童の里親委託に繋がる関係構築を行う。

3) ショートステイ事業

ショートステイ事業については、赤穂市、たつの市、相生市より3名の委託を受け、延べ7日間の利用となった。ショートステイについては希望者が減少し、目標延べ日数の30日には到達していないため、市町と連携し、支援を必要としている家庭にショートステイを利用していただけるよう、制度について周知する。

1 1 保健・衛生・健康管理及び感染症対策の強化

1) 入所児童の衛生・健康管理

本年度は入所児童の健康管理については看護師を中心に行った。身体測定を毎月実施し、幼児については、毎朝の検温、排便確認を行うことで健康状態把握に努めた。また、健康教育として手洗い教室を7回、咳エチケット教室を3回、歯磨き指導を1回実施した。その結果、手洗いや歯磨きなど、より丁寧に行う児童も増え、児童の衛生・健康管理だけでなく施設内における感染症拡大防止にも繋げることができた。次年度も健康教育をより充実させ、児童の衛生・健康に対する意識向上を図る。

2) 生活環境の整備

入所児童の衣類、排泄、生活空間の清掃、身だしなみ等については、チェック表により確認を行い、清潔な身体、生活環境作りを行った。

その結果、児童の意識が向上し、各自の身だしなみや、清潔感を意識することができるようになった。次年度も引続き、この取組みを継続して行う。

3) 入所児童への性教育の実施

入所児童の性教育については、年間を通じて児童の年齢、発達、特性に応じた個別の取組みを行った。

高校生については退所後に気を付けてほしいこととして妊娠、不妊、避妊、性病、予防接種等について学習し、小学生は身体のパーツについて学んだ。次年度も児童、職員ともに性に対する理解を深める取組みを継続して行う。

4) 感染症対策の強化

本年度も昨年度に引き続き感染症予防の徹底に努めた。全職員が感染症予防に対する意識を高く持ち、手洗い、うがい、消毒、検温を徹底した。しかし、「新型コロナウイルス感染症」は感染症法の2類相当から5類に移行になったが完全終息には至らず、児童13名、職員4名罹患した。インフルエンザも季節を問わず発生し児童13名、職員0名であった。次年度も感染症予防については対策を強化し、引続き徹底する。

また、BCP（業務継続計画）を作成し非常時の体制を構築し職員で共有した。次年度はBCP発動を想定した訓練を実施する。

1 2 心理的支援の充実

今年度は、児童の被虐待体験やトラウマ、発達障害などから生じる課題に対し、心理判定員によるアセスメントをもとにこども家庭センター、医療機関等との連携を深め、児童の能力や特性に応じた支援体制の構築に取り組んだ。

その結果、児童の生活支援、進路選択、保護者への説明等で発達検査や医師の所見等に基づき、より専門的な判断による対応をすることができた。また、カウンセリングやプレイセラピー、医療受診や服薬治療等を通じて児童の状態を把握することで、学校と協力して支援を行うことができた。次年度も引続き、関係機関との連携を強化し、児童一人一人に適した支援を行う。

1) 心理療法の実施

本年度は、7名の児童に対してカウンセリング、プレイセラピーを実施した。8月より心理判定員が2名になったことで対象児童を増やし、定期的に面接を実施することができた。また、本年度より小倉教授（兵庫大学）、平尾准教授（中国短期大学）によるケースカンファレンスに出席し、スーパーバイズを受けたことで、心理判定員の役割、業務について学び業務に活かすことができた。

さらに、本年度より児童2名に対してCogEvoを実施し、児童の特性の理解と効果的な対応について検証し実践した。児童と目的を共有し、毎日自身の気持ちや行動を振り返ることで気持ちが不安定になった時の対処方法について児童自身が意識して取り組むことができるようになった。次年度は心理的支援について専門性を高め、より児童にとって効果的な心理療法を実施する。

2) 関係機関との連携

今年度は、11名の児童が小児精神科への医療受診を行い、医師からの助言、服薬によるケアを行った。特に自傷行為やパニック等により精神科に入院した児童が4名おり、入院期間も計275日間に及ぶ等、医療による治療を必要とする児童が増えたことで、より医療機関やこども家庭センターとの密接な連携が必要となった。発達検査については15名の児童が受け、特に支援を要する児童については、施設、学校、こども家庭センター、医師と協議を行い、児童の特性を考慮した支援を行った。また、こども家庭センター心理士よりトラウマケアに関する研修を行っていただき、現在措置中の児童を事例にトラウマを抱える児童について理解を深めた。その結果、児童の生活支援と医療的支援としてのトラウマケアとのバランスをとり方、今後の支援方針について確認することが出来た。その結果、児童の就学、進路について関係機関による総合的な判断をすることができ、保護者にも児童の特性について理解していただくことができた。次年度も引続き、心理判定員を中心に関係機関との連携を一層強化し支援体制の強化につなげる。

1 3 行事予定

本年度は5月以降、学校行事、地域行事等、多くの行事が開催された。施設行事については感染症対策に十分配慮した形で行事を実施した。その結果、児童、職員ともに、趣向を凝らした行事を計画し楽しむことができた。次年度も児童、職員が主体となり、多くの行事を企画、実施する。

＜令和5年度行事実施表＞

令和5年 4月 4日	お花見	10月 22日	日吉神社秋祭り
5月 5日	GW行事	11月 3日	秋の味覚祭
6月 3日	小学校運動会	5日	ふるさとまつり
10日	県養協フットサル大会	26日	グランドゴルフ大会
7月 19日	カミナリクラブ夏祭り	12月 24日	クリスマス会
22日	フットサル教室	30日	もちつき
8月 2日	絵本教室	令和6年 1月 1日	初詣

3日～4日	キャンプ	1月 8日	赤穂寄席招待
15日	お盆行事	1月 14日	とんど
24日	あこうパン招待	2月 3日	県養協ドッジボール大会
9月 24日	桜谷荘敬老会	3月 17日	卒園卒業お祝い会
10月 3日	幼稚園（年長児）運動会	28日	東条湖おもちゃ王国

令和4年度

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
4.	4. 5	お花見 (女子棟)	施設行事 (児童12名 職員3名)
	4. 27	環太平洋大学ダンスサークル慰問	施設行事 (児童9名 職員3名)
	5. 4	GW行事	施設行事 (児童40名 職員9名)
	5	かしわ餅作り	季節行事 (児童17名 職員4名)
	8. 4	あこうパン買物体験	施設行事 (児童40名 職員6名)
	9	小学生キャンプ	施設行事 (児童12名 職員4名)
	~ 10		
	9. 25	法人敬老会	法人行事 (職員1名)
	11. 3	秋の味覚祭	季節行事 (児童36名 職員13名)
	12. 23	クリスマス会	季節行事 (児童41名 職員12名)
	29	もちつき	季節行事 (児童39名 職員10名)
5.	2. 3	豆まき	季節行事
	3. 27	卒園・卒業お祝いの会	季節行事 (児童42名 職員20名)

2 施設外行事

開 年 月 日	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
4.	6. 9	中学校修学旅行	中学校行事 (赤穂西中学校 児童3名)
	~ 11		
	7. 2	木下サーカス鑑賞 (男子棟)	岡山市 (児童9名 職員3名)
	6. 18	県養協フットサル大会	県養協行事 (児童8名 職員2名)
	8. 3	関西福祉大学生による招待行事	関西福祉大学 (児童12名 職員4名)
	8. 10	関西福祉大学生による招待行事	関西福祉大学 (児童12名 職員4名)
	8. 22	環太平洋大学ダンス体験	環太平洋大学 (児童4名)
	10. 1	環太平洋大学ダンス体験	環太平洋大学 (児童2名)
	10. 27	小学校修学旅行	小学校行事 (塩屋小学校 児童2名)
	~ 28		
	10. 31	赤穂特別支援学校中等部修学旅行	支援学校行事 (赤穂特別支援学校 児童2名)
	11. 5	小学校6年生イベント	小学校行事 (塩屋小学校 児童2名)
	12	大衆演劇招待	ハーモニーホール (児童20名 職員6名)
	12. 11	クラウンサーカス招待	姫路こどもの館 (児童7名 職員3名)
5	1. 8	赤穂寄席招待	ハーモニーホール (児童25名 職員3名)
5	1. 15	とんど	自治会行事 (パンダ公園 児童12名)
	1. 17	赤穂高等学校修学旅行	高等学校行事 (北海道 生徒1名)
	~ 20		
	1. 20	上郡高等学校修学旅行	高等学校行事 (北海道 生徒1名)
	~ 23		
	2. 4	県養協ドッジボール大会	県養協行事 (児童10名 職員2名)

職 員 研 修 実 施

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	内 容
(事業所研修)			
4.	9. 29	職員研修 「トラウマケアについて」	職員15名
	1	職員研修 「食中毒予防と食育について」	職員17名
	1	職員研修 「自立支援計画アセスメントについて」	職員17名
7.	5	職員研修 「施設内虐待防止について」	職員18名
	5	職員研修 「性教育について」	職員18名
9.	8	職員研修 「シラミ対応マニュアルについて」	職員18名
	8	職員研修 「食育について」	職員19名
	8	職員研修 「防災マニュアルについて」	職員19名
10.	4	職員研修 「食中毒予防について」	職員18名
11.	1	職員研修 「感染症・冬に多い病気について」	職員18名
	1	職員研修 「性教育マニュアルについて」	職員18名
	1	職員研修 「一時保護中における児童の思慮衣 田」	職員18名
	1	職員研修 「児童の持病について」	職員18名
4.	2. 2	職員研修 「ノロウイルス感染症対策につい て」	職員18名
	3. 2	職員研修 「自傷行為への対応について」	職員18名
(法人研修)			
4.	8. 23	基本理念説明者養成研修	村井保育士
4.	9. 13	基本理念説明者養成研修	村井保育士
3.	8. 3	福祉サービス第三者評価受審に関する勉強会	サービス評価委員
	8. 4	第1回 幹部候補者マネジメント研修	村井保育士
	8. 19	第2回 幹部候補者マネジメント研修	村井保育士
	12. 10	第3回 幹部候補者マネジメント研修	村井保育士
	12. 17	第4回 幹部候補者マネジメント研修	村井保育士
4.	1. 14	第5回 幹部候補者マネジメント研修	村井保育士
	8. 2	こども家庭センター新任職員研修	瀧谷沙弥 寺内真尋
	3. 8	新任職員研修	瀧谷沙弥 寺内真尋
5.	3. 11	新任職員研修 (実地研修)	大川内令央
	～ 12		

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	内 容
4.	5. 27	児童福祉施設新任職員研修	前田保育士
	7. 15	家庭支援等研修	笹谷主任
	8. 2	家庭支援等研修	笹谷主任
	8. 19	家庭支援等研修	笹谷主任
	8. 24	家庭支援等研修	笹谷主任
	8. 27	県養実習部会研修会	山崎課長 笹谷主任
	9. 13	家庭支援等研修	笹谷主任
	7. 26	チューター研修	深澤保育士
	12. 12	チューター研修	深澤保育士 今津保育士
	9. 7	フレッシュマン研修	瀧谷指導員 寺内指導員
	12. 3	ドイツ研修	笹谷主任指導員
	～ 10		
	12. 16	キャリアアップ研修	陰山指導員

5. 3

チューター研修

中澤保育士

3. 24

ドイツ研修報告会

笹谷主任

状 況

講 師 名
こども家庭センター心理士6名 片山栄養士 笹谷主任児童指導員 村井保育士 中河施設長 中西副主任児童指導員 片山栄養士 中西副主任児童指導員 片山栄養士 八家看護員 村井保育士 中河施設長 八家看護員 八家看護員 横田心理判定員
桜谷荘 桜谷荘 HRコーポレーション 立坂統括施設長 立坂統括施設長 立坂統括施設長 立坂統括施設長 立坂統括施設長 加東こども家庭センター藤波CW 法人本部 笹谷主任児童指導員

実 施 場 所
兵庫県福祉センター 中央こども家庭センター 中央こども家庭センター 中央こども家庭センター 中央こども家庭センター あすてっぶ神戸 中央こども家庭センター 神戸国際会館 神戸国際会館 アスパア明石 兵庫県福祉センター 兵庫県福祉センター

神戸国際会館
桜谷荘

各委員会開催状況

開 催 年 月 日	活 動 内 容
	1 施設長会議
4. 7. 30	* 基本理念の周知徹底方法
11. 12	* 事業計画・各委員会の進め方
5. 2. 26	* 各事業所の事業計画進捗状況及び課題・問題点 * 本部事務連絡について
	2 児童施設運営会議
4. 4. 23	* 前月の収支状況
5. 25	* 前月の指示事項への対応状況
6. 29	* 現状と課題・問題点(月次報告書)
7. 25	* 本部事務連絡について
9. 6	
9. 28	
10. 28	
11. 29	
12. 27	
5. 1. 31	
5. 2. 28	
	3 合同幹部会
4. 5. 6	* 令和3年度事業報告書(案)作成
5. 17	* 桜谷盆踊りについて
4. 1. 31	* 桜谷敬老会について
2. 9	* 桜谷クリスマス会について * 令和4年度事業計画書(案)の作成
	4 経営計画検証委員会
3. 5. 31	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 経営5ヶ年計画3年目の進捗状況 * 次年度の取り組みについて
	5 人材確保対策委員会
4. 4. 27	* 今年度の採用スケジュール・法人説明資料について
5. 10	* 人材確保活動の振り返り・今後の人材確保活動について
6. 14	* 令和4年度人材確保に係る総括
9. 13	* 令和5年度人材確保に係る計画について
10. 21	* ホームページのリニューアルについて
11. 8	
12. 20	
5. 1. 12	
2. 14	
3. 14	
	6 地域貢献推進委員会
4. 5. 26	* 地域貢献事業進捗状況の報告
10. 26	* 新たな取り組みについて
12. 21	

	9 兵庫大学との連携協定に基づく実行委員会
4. 9. 3	*兵庫大学との人的・知的資源の交流 *兵庫大学との協働による調査研究及び事業の実施 *兵庫大学との主催事業による相互の協力・支援
	8 職員会議
4. 4. 12	*新年度の取り組みについて
5. 6	*月間予定の確認
6. 1	*児童の状況について
7. 4	*各委員会報告
9. 7	*必要検討事項について
10. 5	*施設内研修
11. 7	
12. 6	
5. 1. 8	臨時職員会議
1. 13	
2. 1	
2. 23	臨時職員会議
3. 6	
	9 主任・副主任会議
4. 4. 7	*令和4年度の取り組みについて、事業計画の進捗について、指示系統の確認について
8. 12	*事業報告作成について、監査の準備について、人事考課について
5. 3. 2	*夏休み、冬休み対応、職員配置等について
9. 17	*夏休み、冬休みの反省
11. 15	*次年度の体制について
4. 1. 12	
1. 26	
2. 8	
3. 15	
#	
	10 権利擁護委員会
4. 5. 31	*聞き取り内容の報告・対応検討
7. 13	*グランドルール、全体集会について
11. 1	*第三者評価自己評価シートについて
12. 21	*職員の危機感と支援の継続性について
5. 2. 22	*施設内虐待防止について
3. 16	*性教育について
11. 29	
12. 21	
4. 1. 28	
3. 15	
	11 食事委員会
4. 5. 25	*年間活動計画
6. 20	*ユニット調理について
9. 21	*嗜好調査 野菜作りについて
11. 29	*夏休み中の行事食について
9. 16	*秋行事の行事食について
11. 17	*食堂利用について
12. 13	
4. 2. 14	
3. 9	

	12 広報委員会
4. 5. 10	* 広報誌の企画・立案・作成
5. 19	* ホームページ・ブログの更新
12. 6	* さくらこども学園のパンフレットの作成について
5. 3. 16	
	13 衛生環境委員会
4. 7. 6	* 環境整備について（シラミ対策・棟内清掃・公用車の清掃・光熱費の節約等）
12. 2	* 消火避難訓練
5. 3. 9	* 地域清掃活動について
1. 31	* 感染症予防について
3. 29	
	14 サービス評価委員会
4. 5. 16	* 年間計画
10. 26	* サービス自己評価について
11. 30	* 子育てサロンについて
5. 2. 9	* 新任研修について
3. 6	
	* 各委員会報告
	15 研修委員会
4. 5. 24	* 年間活動計画について
7. 19	* 前月の報告・反省、次月の研修内容について
10. 17	* 園内研修について
3. 16	* 研修アンケートについて * 次年度の研修について
	16 衛生推進委員会
4. 5. 16	* 職員配置・有休取得状況について
7. 11	* 令和4年度勤務体制について
11. 10	* 勤怠管理システムについて
	17 業務継続計画策定委員会
4. 5. 19	* 業務継続計画の策定にむけて

令和3年度

ボランティア稼働実績

稼年	動月	日	摘	要
4	4	27	環太平洋大学ダンスサークル慰問	3名
4	7	18	一般ボランティア	糟谷梨々花
	6	13	ぶどうの会	4名
	7	19	ぶどうの会	3名
	8	12	一般ボランティア	糟谷梨々花 鈴木里実
	8	27	一般ボランティア	石井杏奈
	9	30	ぶどうの会	3名
	12	17	更生保護女性会	7名
	12	18	ぶどうの会	3名

3団体、 3個人、 延日数 9日 延人数 27名

令和4年度

見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘 要
4. 4. 22	施設見学 塩屋小学校 (20名)
5. 5. 30	保育実習 大阪青山大学 井上月斗
~ 6. 9	
8. 8. 8	保育実習 関西福祉大学 佐柄くるみ
~ 18	
8. 8. 11	相談援助実習指導1 兵庫大学 皆川梨乃
~ 12	
8. 8. 11	相談援助実習指導1 兵庫大学 川村らん
~ 15	
8. 8. 13	相談援助実習指導1 兵庫大学 大庭愛華
~ 15	
8. 8. 17	社会福祉士実習 関西福祉大学 幸嶋青季・渡辺胡桃
~ 9. 17	
9. 9. 1	相談援助実習指導1 兵庫大学 桑田志紀華
~ 5	
9. 9. 1	相談援助実習指導1 兵庫大学 曾我弘菜
~ 5	
9. 9. 1	相談援助実習指導1 兵庫大学 徳永小梅
~ 5	
9. 9. 6	相談援助実習指導1 兵庫大学 皆川梨乃
~ 8	
9. 9. 6	相談援助実習指導1 兵庫大学 宮脇麗子
~ 10	
9. 9. 18	保育実習 湊川短期大学 河本萌乃花・小林夏鈴
~ 24	
9. 9. 19	保育実習 関西福祉大学 幸嶋青季
~ 22	
11. 11. 1	保育実習 武庫川女子大学 渡辺萌夢・嶺重悠
~ 11	渡森澤いずみ
12. 12. 8	保育実習 ハーベスト医療福祉専門学校 館林朱理・田中葵
~ 18	
12. 12. 19	相談援助実習指導1 兵庫大学 中谷琉来・松本蒼汰
~ 30	
5. 5. 1. 23	保育実習 湊川短期大学 稲岡桃花・梅田葵
~ 2. 2	
2. 2. 9	保育実習 聖和短期大学 渋川千鶴・椎原夢優
~ 12	
2. 2. 13	保育実習 神戸女子大学 岸田侑佳・小川琴未
~ 23	岸森下原里香・湊琉利
2. 2. 24	保育実習 武庫川女子大学 力武花凜・松永夏乃
~ 3. 6	
3. 3. 1	保育実習 聖和短期大学 水野心温・久保田佳歩
~ 11	
3. 3. 3	社会福祉士実習 関西福祉大学 矢部詩紋・大内海海
~ 13	
3. 3. 12	相談援助実習指導1 兵庫大学 大庭愛華・川村らん
~ 15	大曾我弘菜
3. 3. 17	相談援助実習指導1 兵庫大学 宮脇麗子
~ 20	

令和2年度

職員福利厚生関係

実 年 月 日	内 容	備 考

令和5年度 事業報告書

くるみ保育園（定員 40名）					
稼働状況			目標	実績	差異
	入所	稼働率	114.20%	107.7%	6.5%
		人数	45.68名	43名	2.68名
	延長保育利用者数		—	1030名	—
	一時保育利用者数		300名	155名	-145名
重点項目	① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“保育のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取り組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開 ⑦ 「こども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす ⑧ 職員が成長する職場づくり				
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員40名、年間稼働率107.71%で予算目標稼働率114.20%に対して6.49%の減であり、達成できなかった。</p> <p>一時預かり保育事業は、年間目標300名に対し、年間利用者数155名で145名の減であり、達成できなかった。また、延長保育事業は、年間1,030名（月平均85.8名）であった。</p> <p>② 子どもの最善の利益につながる“保育のトライアングルの充実” 「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の2類相当から5類に移行になってからは、行事はその時の状況をみて計画的に進め、保護者の方にも状況を早めに周知して参加を呼び掛けた。行事後のアンケート調査から子どもの成長および行事の再開を喜ぶ保護者の姿があった。子どもとの楽しい時間の共有から育児の楽しさを感じる機会となった。</p> <p>③ 子どもの人権擁護の取り組み 法人保育園合同研修として、「子どもの人権擁護を考える part6」に取り組んだ。「人権勉強会」を園内で「保育園職員委員会」が主となり毎月開催し、人権擁護について全職員で学び、子ども主体の保育体制が保たれているか細やかな振り返りを行ってきたが、11月8日に保育中に園長が子どもに対して発した言葉が「子どもに対する不適切な言葉かけではないか」という保護者からの投書があった。法人の指導の下、「臨時職員会議」「保育部門苦情解決委員会」を開き改善策、及び再発防止策について検討した。保護者には玄関掲示でその旨お伝えし、その後、不適切な関わりが発生することがないように保育に取り組み、保護者の信頼回復に尽力した。さらに職員間でもお互いに声を掛け合う必要性に気づくなどの意識改革も見られ、引続き全職員で人権を擁護した取組みを継続する。</p> <p>⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開 子育て支援事業は青空保育やベビーマッサージ、保育体験などを行い併せて成長測定など行ったが、参加者は少なくリピーターも無かった。次年度はさらに積極的に子育てサポート委員会や看護師が中心となり、土曜日保育体験や離乳食講習会なども行い地域の子育て支援活動に尽力する。また、地域の子育て世代の支援施設となり、保育所に期待されている、「かかりつけ相談機関」となるよう保育園各専門職と共に取り組む。</p> <p>⑧ 職員が成長する職場づくり 職員が安心して働き、仕事を通して成長できる職場となるように、幹部会議や担任会議など部別の会議に参加するなど職員同士が切磋琢磨し学ぶ意欲を高めたり、委員会に参画したりすることで保育園の運営に携わっている意識をもつことができ自分の役割を認識できた。今後もそれぞれの課題の抽出と自己研鑽に取り組み、仕事を通して成長できる職場環境を整えていく。</p> <p>施設内研修のテーマ「子どもの発達に沿った遊びの環境を整え、やる気を育む」を目標に子どもたち一人一人を理解し、興味や関心を探りながら遊びの環境を実践と検証を重ねて取り組み、子どもが“やってみたい”、“遊びたい”という意欲を高めることが出来た。次年度も子どもの育ちを大事にしながら、職員のやりがいと保育の質の向上も図る。</p> <p>また、法人合同研修の「職員育成講座：キャリアに応じた教育・保育実践の検証（聖和短期大学／立花准教授）」を受講した。支援が必要な子ども、障害児保育について学び、子どもを知ること、寄り添うことの大切さを学ぶことで日々の保育の取組みにつながった。次年度は、さらなる職員の保育力の向上を目指す。</p>				

事業報告書

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“保育のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開
- ⑦ 「こども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす
- ⑧ 職員が成長する職場づくり

本年度は、当法人基本理念に基づき第 4 期経営 5 か年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園 6 園共通の課題に取り組む計画を立てスタートした。5 月には「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の 2 類相当から 5 類に変更となり、保育活動の調整が必要となった。完全終息には至っていないこと、又その他の感染症の発生状況も視野に入れ、引き続き子どもの健康管理に留意し保育園生活を過ごした。子どもたちは元気に計画した活動に参加し、健やかに成長した。

本年度の事業運営状況は、定員 40 名、年間稼働率 107.71%で予算目標稼働率 114.20%に対して 6.49%の減であり、達成できなかった。

一時預かり保育事業は、年間目標 300 名に対し、年間利用者数 155 名で 145 名の減であり、達成できなかった。また、延長保育事業は、年間 1,030 名（月平均 85.8 名）であった。

1 第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 か年計画の最終年度に取り組んだ。5 月に「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の 2 類相当から 5 類に移行したことにより、地域に向けた子育て支援活動“ネウボラ・セリジェ”の来園形式の実施は感染状況を見ながら再開した。感染状況を踏まえて見送った行事もあったが、行った活動には参加者も多数あった。

次年度も「地域貢献の積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」の 3 つの重点項目が十分に実施できるように、計画的に事業を推進する。特に、地域に向けた子育て支援活動“ネウボラ・セリジェ”の活動に力を注ぎ、3 つの重点項目の実践につなげていき、第 5 期経営 5 か年計画の 1 年目の推進に積極的に取組む。

2 子ども最善の利益につながる“保育のトライアングルの充実

「子ども・保護者・職員の 3 者（＝トライアングル）」のそれぞれが尊重され、信頼関係のもと、保育園で充実した毎日を送ることができる保育の実践を行い、より良い保育の充実に努めた。3 者への対応は以下のように実践した。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる保育をおこなう

本年度も一人一人の子どもの思いに寄り添い、その育ち・生活リズム等を尊重し子どもが安心して過ごせる関わりを心がけた。また、友だちと過ごす心地よさ・楽しさを感じられるような保育を行った。子どもたちは保育士との信頼関係のもと毎日を安心して過ごし、自己を発揮してそれぞれの年齢で成長が見られた。次年度も子どもの心の育ちを支える保育を実践する。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる保育を行う

5 月以降は、行事はその時の状況をみて計画通り進め、保護者の方にも状況を早めに周知して参加を呼びかけた。行事後のアンケート調査から子どもの成長および行事の再開を喜ぶ保護者の姿があった。子どもとの楽しい時間の共有から育児の楽しさを感じる機会となった。

また、日々の保育の中では、お迎えの際に保護者へ口頭でその日の子どもの様子を丁寧に伝えることを全職員が大切にすると共に、週間保育予定ボードの記入、保育の写真の掲示、日々の保育ファイルの展示等ドキュメンテーションを用いた保育の見える化の取組みを通して保護者との子育てを共有した。今後も継続する。

3) 職員が“保育に携わる喜びを感じる”保育を実践し、検証することから保育の質の向上をめざす

乳幼児期に子どもの興味関心に基づく主体的な活動を促す環境を整えることで、それぞれの活動の中で、子どもが十分に遊び込み、遊びの楽しさを体験する保育が実践できた。遊びの環境を発達に合わせて継続的に変えていくことで、職員も次の保育計画を立案し実践する楽しさを感じることができ、保育の質向上にもつながった。

3 子どもの人権擁護の取組み

法人保育園合同研修として、「子どもの人権擁護を考える part6」に取り組んだ。「人権勉強会」を園内で「保育園職員

委員会」が主となり毎月開催し、人権擁護について全職員で学び、子ども主体の保育体制が保たれているか細やかな振り返りを行なった。この取組みを実施することにより、職員全体の子どもの人権擁護に対する考え方を専門職として深めることができ、職員相互でのチェック機能を強化することにより、園内で不適切な関りが発生することがないように取組んだが、園長が保育中に子どもに対して発した言葉が「子どもに対する不適切な言葉かけではないか」という保護者からの投書があった。

- ・ 11月18日 保護者から無記名投書
- ・ 11月12日 児童部門絹田統括に報告
- ・ 11月13日 法人の指導の下、園内で「臨時職員会議」開催、状況把握と今後の対応を話し合う（児童部門絹田統括、絹田事務局次長参加）
- ・ 11月14日 書面にて保護者に「ご報告」として、投書の意見の内容報告と謝罪
- ・ 11月15日、20日、21日の各クラス懇談会で説明と謝罪（児童部門絹田統括、尼崎くるみ保育園兼本園長参加）
保護者会の欠席者には以降園長から全員に説明と謝罪
- ・ 11月27、29日 保育部門苦情部会を開催。状況報告と意見への改善策及び再発予防策について検討
- ・ 11月29日 保育園の玄関掲示板に法人からの「いただいたご意見についての回答」という形で原因究明と解決策を掲示した。（12月16日まで）

その後、不適切な関わりが発生することがないように保育に取組み、保護者の信頼回復に尽力した。

更に職員間でもお互いに声を掛け合う必要性に気づくなどの意識改革も見られ、引続き全職員で人権を擁護した取組みを継続する。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取組み、子どもの命を守る。

- ① 子どもの成長を把握する「身体測定」「各健診」を定期的を実施し、その結果は、速やかに保護者と共有し、子どもの健康管理に努めた。
- ② 緊急事態発生時対応訓練を、日ごろから、子どもの育ちに関する情報を把握し、それらをもとに発症が考えられる様々な症状“SIDS”や“アナフィラキシーショック”の対応、“大けが”“窒息”発生対応訓練を計画的に実施し、不測の事態に備えるようにした。繰返し行うことで全員が体験し、学びにつながった。
- ③ 保健・衛生に関する研修の徹底
子どもの体調の異変に気付き、急変時に適切な対応ができるように日々の子どもの姿を観察することで異変に気付くことや、「嘔吐処理研修」を繰返し開催することで、職員全員が知識を深められるように取組んだ。

【緊急事態発生時対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年5月2日	SIDS発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
5月31日	窒息発生対応訓練	応急手当の方法を映像で共有し学ぶ
6月30日	アナフィラキシー発生対応訓練	応急手当、心肺蘇生、消防連絡訓練
7月31日	痙攣発生対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
8月29日	アナフィラキシー発生対応訓練	応急手当、心肺蘇生、消防連絡訓練、エピペン使用体験
9月28日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
10月7日	痙攣発生対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
11月20日	アナフィラキシー発生対応訓練	応急手当、心肺蘇生、消防連絡訓練
12月28日	大けが対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
令和6年1月26日	アナフィラキシー発生対応訓練	応急手当、心肺蘇生、消防連絡訓練
2月14日	痙攣対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
3月11日	SIDS発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練

3) 感染症発症時の対応

感染症発症時の対応については、法人の“新型コロナウイルス対応指針”に基づいた対応及び国・尼崎市の指導のもと子どもが安心して過ごせる環境整備に努めた。

4) 「感染症対策チーム」による体制強化

本年度は、各園の看護師がリーダーとなり、全職員が感染症対策の必要性と対応について意識を高めることを目標とした。スタッフ会議での情報共有とクイズ形式の研修会を行うことで、少しずつ日々の生活の中での対策に積極的に関与する姿が見られ効果があった。児童部門看護会議でも状況を共有しながら進めることができた。

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」及び「保育所保育指針」に基づき、安全で安心できる保育環境の整備に取組んだ。特に、災害や事故の発生に備えるとともに外部からの不測の事態に備えた必要な対策とその訓練を行い、全ての職員がそのねらいや内容を理解できるようにした。

1) 防災対策

防災訓練で毎月の消火・避難訓練は災害別に実施し、想定できる各種災害の対応訓練を実施した。地震の最終避難場所の名和小学校、火災の最終避難場所の尼崎さくら保育園まで避難する訓練を経路の確認しながら行った。また、保護者参加の訓練、特に防災に関する話し合いは年2回のクラス懇談会で取上げ、計画的に行い、保護者とともに子どもの安全確保の体制を万全にしていけるように取組んだ。

2) 施設内外の安全管理対策の強化

毎月「安全点検」を実施し、施設や備品・遊具・玩具等の安全性には常に留意してきた。施設や備品の不具合や老朽化などの対応は、不備が生じたら速やかに本部に連絡し、専門業者に相談し対応した。しかし、ヒヤリ・ハッ

トの件数が少ないことなど危機管理意識については十分でなく、今後も些細な変化や危険度を察知できる力をつけていく必要がある。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月20日	集 合	平日午前（園児34名、職員15名） 「非常ベルの音を知り保育士の指示に従う」ことを伝えた。
5月11日	火災（消火・通報）	平日午前（園児35名、職員16名） 避難滑り台を使用し、園庭西側に避難した。災害伝言ダイヤル171使用
6月1日	火災（消火・通報）	平日午前（園児33名、職員16名） 避難滑り台を使用し、園庭西側に避難した。
7月4日	火災（消火・通報） 消防署との合同訓練	平日午前（園児35名、職員17名） 2階調理室より出火、避難滑り台を使用、園庭に避難した。 水消火器を使用。（尼崎北消防署消防士3名の指導）
8月3日	火災（消火・通報）	平日午前（園児37名、職員15名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
9月11日	火災（消火・通報）	平日午前（園児30名、職員12名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
19日	風水害	平日午前（園児36名、職員17名） 台風の影響で雨風がひどく園周辺に水が溢れたので、2階に避難した。
28日	不審者対応	玄関が閉まっていたので園庭に侵入（園児32名、職員13名） 園庭に侵入した不審者が避難滑り台より上ってきたので、入り口／窓から遠い位置に避難した。
10月28日	少人数訓練 火災（消火・通報）	土曜日午前（園児12名、職員6名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
12月6日	延長保育時 火災（消火・通報）	夕方延長保育時間帯 園児2名、職2名） 民家より出火、園庭から外に避難した。
7日	火災（消火・通報）	平日午前（園児44名、職員17名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
23日	火災（消火・通報） 尼崎さくら保育園避難	土曜午前（園児17名、職員6名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難。その後、尼崎さくら保育園に避難した。
令和6年 1月11日	火災（消火・通報）	平日午前（園児43名、職員17名） 3階コンセントから出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
26日	地震（名和小学校前）	平日午前（園児42名、職員16名） 地震後、名和小学校まで避難した。保護者に引き渡しカードに記入していただく
2月15日	火災（消火・通報）	平日午前（園児41名、職員15名） 民家より出火、階段を使用し、玄関に避難した。
3月7日	火災（消火・通報）	平日午前（園児42名、職員16名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
15日	不審者対応	園外で遭遇（園児41名、職員15名） 公園で不審者に遭遇し、園に応援依頼を入れ警察に連絡し他職員が迎えに行った。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実

子育て支援事業は青空保育やベビーマッサージ、保育体験などを行い併せて成長測定など行ったが、参加者は少なくリピーターも無かった。次年度はさらに積極的に子育てサポート委員会や看護師が中心となり、土曜日保育体験や離乳食講習会なども行い地域の子育て支援活動に尽力する。また、地域の子育て世代の支援施設となり、保育所に期待されている、「かかりつけ相談機関」となるよう保育園各専門職と共に取り組む。

7 「こども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす。

安定した保育園運営を継続させるために、予算稼働率 114.2%の達成へ向け、入所園児の確保の他、一時預かり・延長保育の各事業を積極的に推進していったが、保護者の勤務形態の変化等や育児休暇所得者の増加により、0歳児の入園が後半にずれ目標は達成できなかった。今後もさまざまな要因で運営が厳しくなることは予想されるため、保育園の地域における存在価値を示せる事業を提示していくとともに、保育の質向上にも取り組み、園児確保を重要課題として引続き取り組んでいく。

また、地域に奉仕する活動として、年2回のクリーン作戦に参加するとともに、散歩時には公園清掃も行った。次年度も地域の奉仕活動に積極的に取り組む。

8 職員が成長する職場づくり

1) 法人基本理念の周知・徹底

昨年度同様毎月のスタッフ会議の中で、基本理念に沿った各クラスの年齢に応じた関わりや取り組みが出来ているかを検証し、専門職としての意識を高めた。

2) 職員のやりがいがある職場環境作りに努める

職員が安心して働き、仕事を通して成長できる職場となるように、幹部会議や担任会議など部別の会議に参加するなど職員同士が切磋琢磨し学ぶ意欲を高めたり、委員会に参画することで保育園の運営に携わっている意識をもつことができ自分の役割を認識できた。今後もそれぞれの課題の抽出と自己研鑽に組み、仕事を通して成長でき

る職場環境を整える。

3) 保育所保育指針に基づく職員の資質向上の推進

施設内研修のテーマ「子どもの発達に沿った遊びの環境を整え、やる気を育む」を目標に子どもたち一人一人を理解し、興味や関心を探りながら遊びの環境を実践と検証を重ねて取り組み、子どもが“やってみたい”、“遊びたい”という意欲を高めることが出来た。次年度も子どもの育ちを大切にする保育実践に努め、保育の質の向上と職員のやりがいを築く。

また、法人合同研修の「職員育成講座：キャリアに応じた教育・保育実践の検証（聖和短期大学／立花准教授）」を受講した。支援が必要な子ども、障害児保育について学び、子どもを知ること、寄り添うことの大切さを学ぶことで日々の保育の取組みにつながった。次年度は、さらなる職員の保育力の向上を目指す。

【キャリアに応じた教育・保育実践の検証】スーパーバイザー：聖和短期大学／立花准教授

回数	日時	参加対象者
第1回	令和5年 6月 2日	障害児保育①
第2回	20日	障害児保育②巡回指導
第3回	23日	障害児保育③巡回指導
第4回	7月 14日	新人育成①
第5回	9月 15日	障害児保育④
第6回	10月 20日	障害児保育⑤
第7回	12月 8日	新人育成②
第8回	15日	検証会議

4) 園内委員会

委員会の目的を理解して、積極的に取り組む姿が見られた。次年度も各委員会と保育現場の共同の取組みをさらに進めていく。

5) 人事考課制度の効果的運用

業務に対する自己評価及び評価者との面接等を通して自己の業務についての分析、目的意識の明確化を図り、向上心を培う一助であることを理解し、考課者は、信頼関係の構築から始め、キャリアパス及び職員一人一人の資質を捉えた職員育成を行った。結果自己の課題と向き合うことができ、それぞれに成長がみられた。

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
5.	4.	3	入園・進級のお祝いの会	入園・進級のお祝いの会
		21	お誕生日会	4月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		25	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練
5.	2.		こどもの日の集い	こどもの日のいわれを知り、皆が健康に過ごせるよう祈る
		10	0歳児クラス懇談会	今年度の取り組みの説明・保護者間の交流
		11	1歳児クラス懇談会	今年度の取り組みの説明・保護者間の交流
		12	お誕生日会	5月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		12	2歳児クラス懇談会	今年度の取り組みの説明・保護者間の交流
		19	夏野菜の苗植え	野菜の栽培をし、収穫の楽しみを経験する（2歳児）
		23	旬の食材の話（食育）	旬の食材（玉ねぎ）について学ぶ
		25	けんこう保育「正しい手の洗い方」	1・2歳児の子どもたちが「手洗い」について学ぶ
		25	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練
6.	1.		消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練
		2	けんこう保育「歯磨き指導」	歯磨きやうがい大切さを園児と学ぶ
		9	お誕生日会	6月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		21	耳鼻科健診	全クラス耳鼻科健診を受ける
		22	旬の食材の話（食育）	旬の食材（パプリカ）について学ぶ
		28	眼科検診	全クラス眼科検診を受ける
7.	4.		自衛消防避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練（尼崎北消防所の方3名）
		6	歯科健診	全園児歯科健診をうける
		7	七夕のつどい	園児と七夕の由来を知る。
		12	内科検診	全園児内科検診を受ける
		14	お誕生日会	7月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		20	プール開き	夏の期間のプール、水遊びの安全を祈って皆でお願いする
		29	くるみ夏まつり	園児と職員でヨーヨー釣り、輪投げなどの夏祭りの遊びを楽しむ
8.	3.		消火・避難訓練	全園児、全職員参加の消火・避難訓練
		4	お誕生日会	8月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		9	おばけスイカ	旬の食材（すいか）で顔をくりぬいたものをオバケに見立て楽しむ（全園児）
		27	旬の食材の話（食育）	旬の食材（なすび）について学ぶ
		28	スプーンの持ち方（食育）	スプーンの持ち方について学ぶ（2歳児）
9.	1.		「防災メニュー・非常食」の話（食育）	防災について知り、非常時の食事を知る（全園児）
		7	交通安全教室	各クラス、交通ルールについて学ぶ（尼崎北警察署の方3名）
		8	お誕生日会	9月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		11	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の消火・避難訓練
		14	冬野菜の土作り（食育）	野菜を植える準備をしながら栽培を楽しむにする（2歳児）
		15	お月見会	全クラスでお月見の話聞く
		19	風水害避難訓練（台風）	全園児、全職員参加の風水害時の避難訓練
		22	お月見団子作り（食育）	おにぎりをお団子にしてお団子作りを楽しむ（2歳児）
		26	冬野菜の種まき（食育）	野菜の栽培をし、収穫の楽しみを経験する
		28	不審者対応訓練	園内に不審者が入ってきた想定で訓練する
		22	野菜のスタンプ（食育）	夏野菜を使って、野菜のスタンプを楽しむ（1歳児）
		29	旬の野菜の話（食育）	旬の野菜（しめじ）について学ぶ
10.	13		お誕生日会	10月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		21	運動会	名和小学校体育館で運動会を開催
		23	けんこう保育「トイレの使い方」	2歳児がトイレの使い方について学ぶ
		25	ハロウィンパーティー	英語保育の中でハロウィンパーティーを楽しむ
		26	芋掘り遠足	中島農園でお芋掘りの楽しさを経験する（2歳児）
		27	旬の食愛の話（食育）	旬の食材（サツマイモ）について学ぶ
		29	消火・避難訓練	保育士の少人数時の消火・避難訓練
11.	6.		けんこう保育「早寝、早起き、朝ご飯」	1, 2歳児クラス「紙芝居」を使って学ぶ
		7	スカイパーク遠足	マイクロバスで、スカイパークに遠足に行く（2歳児）
		10	お誕生日会	11月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観
		14	七五三詣り	尾浜神社に七五三詣りに行く（2歳児）
		〃	0歳児クラス懇談会	後半期の取り組み・保護者間の交流
		20	けんこう保育「手洗いの仕方」	手洗いチェッカーを使って手洗いの確認をする
		〃	1歳児クラス懇談会	後半期の取り組み・保護者間の交流
		21	2歳児クラス懇談会	後半期の取り組み・保護者間の交流

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
12	27	スプーンの三点持ち (食育)	スプーンの持ち方について学ぶ (2歳児)	
	6	消火・避難訓練	延長保育時の園児、職員参加の避難訓練と消火訓練	
6.	7	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練と消火訓練	
	8	お誕生日会	12月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観	
	20	クリスマス会	「ちあきさんの人形劇」を観てクリスマス会を楽しむ	
	22	冬至とかぼちゃの話	2歳児が冬至についてとかぼちゃの話を学ぶ	
	23	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練と消火訓練 (尼崎さくら保育園まで避難)	
	1	5	七草かゆ (食育)	伝統行事食を味わう
	11	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練と消火訓練	
	12	お誕生日会	1月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観	
	15	けんこう保育「正しい手の洗い方」	1・2歳児の子どもたちが「手洗い」について学ぶ	
	19	けんこう保育「いいうんち・悪いうんち」	うんちの違いについて学ぶ (2歳児)	
2.	22	こま回し大会	昔から伝わる遊びを楽しめる行事を開催した	
	26	避難訓練 (地震)	全園児、全職員参加の避難訓練で地震のため、名和小学校へ避難	
	2	2	節分 (豆まき)	節分の由来を知り、豆まき (新聞紙で作った豆)
	3	恵方巻きについて (食育)	節分の食べ物について知る	
	7	内科検診	内科検診を受ける	
	9	お誕生日会	2月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観	
	10	生活発表会		
	15	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練と消火訓練 (尼崎さくら保育園まで避難)	
	15	冬野菜の収穫	冬野菜の収穫の楽しみを食の意欲に繋げる	
	//	お店屋さんごっこ	全クラスでお店屋さんごっこを楽しむ。	
3	28	旬の食材の話 (食育)	旬の食材 (ごぼう) について学ぶ	
	28	けんこう保育「体のなかをのぞいてみよう」	体のしくみについて学ぶ (2歳児)	
	29	歯科健診	全園児2回目の歯科健診を受ける	
	1	ひな祭り	ひな祭りの由来を知る	
	7	消火・避難訓練	全園児、全職員参加の避難訓練と消火訓練	
	8	お誕生日会	3月生れの園児のお誕生日会・保護者希望者参観	
	11	けんこう保育「目耳、鼻を大切にしよう」	目耳鼻の大切さを知る (2歳児)	
	14	お別れ遠足	王子動物園に遠足 (2歳児)	
	15	不審者対応訓練 (屋外)	全園児、全職員参加の不審者避難訓練をし、おはなしシアターを通し、安全教室を行う	
	14	保護者説明会	重要事項説明会を行う	
16	保護者説明会	重要事項説明会を行う		
23	卒園式	卒園児を見送る会 (2歳児の保護者参加)		
25	けんこう保育「ありがとうの掃除」	今まで使ったロッカー等をきれいに掃除して感謝の気持ちを伝える		
29	お別れ会	全クラスで卒園児とのお別れ会をしてそれぞれ大きくなった喜びを感じる		

令和5年度 地 区 関 係

実 年 月 日	施 内 容	派 遣 者 名	派 遣 場 所
5. 7. 22	尾浜商店街夏祭り	矢野、小林、東谷	尾浜商店街

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	
(事業所研修)			
5	5	2	緊急事態発生時対応訓練 (SIDS) 職員6名
		31	緊急事態発生時対応訓練 (窒息) 職員6名
6	30		緊急事態発生時対応訓練 (アナフィラキシー) 職員6名
7	31		緊急事態発生時対応訓練 (けいれん) 職員6名
		27	嘔吐物処理研修 I 職員11名
8	4		緊急事態発生時対応訓練 (窒息) 映像共有 職員11名
		29	緊急事態発生時対応訓練 (アナフィラキシー) 職員5名
		21~25	エビペン使用体験研修 職員17名
9	28		緊急事態発生時対応訓練 (SIDS) 職員6名
10	7		緊急事態発生時対応訓練 (けいれん) 職員6名
11	20		緊急事態発生時対応訓練 (アナフィラキシー) 職員6名
12	5		大けが対応を学ぶ 職員11名
		28	緊急事態発生時対応訓練 (大けが) 職員5名
6	1	10	痙攣対応を学ぶ 職員11名
		26	緊急事態発生時対応訓練 (アナフィラキシー) 職員5名
	2	6	嘔吐物処理研修 II 職員11名
		14	緊急事態発生時対応訓練 (けいれん) 職員6名
	3	2	緊急事態発生時対応訓練 (SIDS) 職員5名
(法人研修)			
5	6	2	障害児保育① (神戸さくら) 東谷園長
		20	障害児保育②巡回指導 (西宮セリジェ) 矢野主任
		23	障害児保育③巡回指導 (神戸さくら) 藤澤
	7	7	障害児保育 (神戸さくら) 久野副主任
	9	9	厨房リーダー研修 (六甲山サイレンスリゾート) 上村厨房職員
	9	15	障害児保育④ (神戸国際会館) 東谷園長
		〃	新任副主任研修 (桜谷荘) 久野副主任
10	13		新任副主任研修 久野副主任
		20	障害児保育⑤ 藤澤
11	2		学び合い研修「アンガーマネジメント」 (神戸さくら) 久野副主任・飯田
		25	新メニュー開発研修 (神戸さくら) 上村厨房職員
12	7		学び合い研修「ピアノ」 (神戸さくら) 藤澤
		15	障害児保育研修検証会議 (神戸国際会館) 東谷園長・久野副主任
6	1	22	新任副主任研修 久野副主任
	3	5	新人職員研修
		11	チューター研修 久野副主任
		13	新任副主任研修 久野副主任
		24	新人職員研修 東谷園長

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	
5	5	22	保育所保健師看護師研修会 福住看護員
	6	15	尼崎市厨房衛生管理研修 上村厨房職員
	7	22	キャリアアップ研修「乳児保育」 飯田保育士
		29	キャリアアップ研修「マネジメント」 久野保育士
8	5		キャリアアップ研修「乳児保育」 飯田保育士
		19	兵庫県認定こども園園長等研修 東谷園長
		〃	キャリアアップ研修「障害児保育」 中西保育士
		26	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」 藤澤保育士
9	4		尼崎市研修「3歳未満児の気になる子ども」 中西保育士
		13	兵庫県認定こども園園長等研修 東谷園長
		16	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」 藤澤保育士
		22	兵庫県認定こども園園長等研修 東谷園長
10	5		兵庫県認定こども園園長等研修 東谷園長
11	9		兵庫県認定こども園園長等研修 東谷園長
		10	尼崎市法人保育園会絵本研修 矢野、中西、藤澤、東谷
		19	キャリアアップ研修「食育、アレルギー対応」 福住看護員
12	1		キャリアアップ研修「食育、アレルギー対応」 福住看護員

	13	兵庫県認定こども園園長等研修
6	1	18 尼崎市地域型保育事業現任研修

東谷園長
久野保育士

状 況

講 師 名
聖和短大 立花先生 聖和短大 立花先生 聖和短大 立花先生 聖和短大 立花先生
聖和短大 立花先生 立坂統括施設長 立坂統括施設長 聖和短大 立花先生 羽柴保育教諭
太田主任保育教諭 聖和短大 立花先生 立坂統括施設長 絹田副理事長 種村助教授 立坂統括施設長 絹田副理事長

実 施 場 所
安部野区民センター 尼崎中小企業センター 尼崎市記念公園 尼崎市記念公園 尼崎リサーチインキュベーションセンター 神戸ポートピアホテル 尼崎リサーチインキュベーションセンター 市民健康開発センターハーティ21 尼崎中央北生涯学習プラザ 神戸ポートピアホテル 市民健康開発センターハーティ21 ラッセホール ラッセホール ポートピアホテル アルカイクオクト 尼崎市記念公園 市民健康開発センターハーティ21

ラッセホール
尼崎市女性センター

各委員会開催状況

開 年 月 日	活 動 内 容
5. 4. 25 7. 22 10. 29 6. 2. 24	<p>1 施設長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基本理念の周知徹底 * 事業計画・各委員会の進捗状況 * 各事業所運営上の課題・問題点 * 本部事務連絡について
5. 4. 22 5. 25 6. 28 7. 28 8. 25 9. 22 10. 27 11. 29 12. 22 6. 1. 26 2. 29	<p>2 児童福祉施設運営会議</p> <p>試算表の見方及び平成28年度当初予算・3月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 5月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 6月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 7月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 8月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 9月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 10月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 11月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 12月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 1月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
5. 5. 23 7. 11 9. 26 11. 28 6. 1. 18 3. 21	<p>3 経営計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> * 委員会の活動主旨・活動内容の意識統一・年間活動計画・経営計画の策定目的、策定手順 * 5年後のビジョン検討・SWOT分析について * SWOT分析・経営戦略検討シート作成について・5年目の2/4半期進捗状況の検証 * 経営戦略検証シート作成・BSC作成について・5年目の3/4半期進捗状況の検証 * 第4期経営5か年計画の評価・まとめ BSC作成 * 第5期経営5か年計画策定（完成）・年間まとめ、次年度への課題
5. 6. 23 9. 28 12. 21 6. 2. 22	<p>4 地域貢献推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 各施設の地域貢献取り組みの進捗状況の検証
5. 5. 9	<p>5 保育部門苦情解決委員会</p> <p>令和4年度の苦情関係について</p>
5. 4. 4 5. 9 6. 7 7. 5 8. 3 9. 11 10. 12 12. 7 6. 1. 10 2. 9 3. 7	<p>6 合同園長会</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各園の現状報告 * 課題の分析と対応
4. 4. 22	<p>7 保育部門会議</p> <p>① 合同主任会議</p>

開 年	催 月 日	活 動 内 容	
	5. 19	*各専門部門の現状報告・課題の分析と対応	
	6. 26		
	8. 25		
	9. 22		
	10. 11		
	11. 29		
	12. 14		
6	1. 26		
	2. 29		
	3. 28		
5.	4. 22		② 合同主任副主任会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *保育指導計画の内容検討
5.	5. 12		③ 合同厨房会議（リーダー会議） *各園の現状報告・課題の分析と対応 *献立表の作成 *マニュアルの内容検討 *リーダーの育成、リーダー会議の開催
	7. 19		
	9. 9		
	11. 25		
6.	3. 6		
5.	4. 5	④ 合同看護会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *ネウボラの活動報告 *マニュアルの内容検討 *感染症についての取組み	
	5. 15		
	6. 20		
	7. 18		
	8. 23		
	9. 19		
	10. 17		
	11. 22		
	12. 19		
6	1. 23		
	2. 21		
	3. 19		
5.	4. 3	8 スタッフ会議 *来月の予定確認、1ヵ月の各クラス・委員会報告 *人権勉強会、基本理念に基づいた保育の振り返り、発達に沿った遊び環境 *各研修報告	
	5. 2		
	6. 5		
	7. 4		
	8. 4		
	9. 19		
	10. 6		
	11. 6		
	12. 5		
6	1. 10		
	2. 6		
	3. 1		
5.	4. 3	9 保育園運営委員会 *今月・来月の取組み、現状の課題について、その他	
	5. 2		
	6. 5		
	7. 4		
	8. 4		
	9. 19		

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	10. 6 11. 6 12. 5 6. 1. 10 2. 6 3. 1	
	5. 5. 1 7. 14 6. 1. 16 3. 29	10 保育内容検討委員会 自己点検 Ⅰ期の振り返り Ⅱ期の振り返り Ⅲ期の振り返り Ⅳ期・一年間の振り返り
	5. 4. 10 5. 24 6. 20 7. 7 8. 7 9. 27 10. 31 11. 16 6. 1. 31 2. 19 3. 25	11 クラス会議 (0歳児クラス) *前月の振り返り *今月・来月の取り組みについて *ワークシートの見直し
	5. 4. 20 5. 26 6. 22 7. 12 8. 31 9. 20 10. 30 11. 24 12. 6 6. 1. 19 2. 22 3. 8	クラス会議 (1歳児クラス) *前月の振り返り *今月・来月の取り組みについて *ワークシートの見直し
	5. 4. 26 5. 26 6. 15 7. 13 9. 6 9. 22 10. 27 12. 27 6. 2. 15 3. 26	クラス会議 (2歳児クラス) *前月の振り返り *今月・来月の取り組みについて *ワークシートの見直し

開 年 月 日	活 動 内 容
5. 7. 19 10. 21 6. 2. 10 3. 30	12 サービス評価委員会 趣旨・活動内容の確認・年間計画の策定 各委員会の自己評価振り分け、確認 保護者アンケートの実施、自己評価、アンケート結果報告 次年度に向けて改善策まとめ
5. 4. 14 5. 17 6. 14 7. 4 8. 2 9. 15 10. 13 11. 6 12. 22 6. 1. 10 2. 22 3. 13	13 環境研究委員会 *ヒヤリ・事故報告の内容検討と対策 *安全点検の実施
5. 4. 3 5. 15 6. 16 7. 21 8. 18 9. 19 10. 6 11. 21 12. 5 6. 1. 10 2. 6 3. 22	14 食育研究会議 *嗜好調査について *食育について
5. 4. 17 5. 11 6. 23 7. 11 8. 29 9. 26 10. 19 11. 2 12. 26 6. 1. 22 2. 28 3. 21	15 保健研究委員会 *けんこう保育について（計画・検証） *園内の衛生管理 *感染症報告のまとめ
5. 5. 16	16 絵本研究委員会 *園だより発行

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
	5. 30 6. 30 7. 26 8. 30 9. 29 10. 30 11. 28 12. 25 6 1. 30 2. 26 3. 29	*絵本の整理、修繕
	5. 4. 20 6. 26 10. 5 6 3. 27	17 子育てサポート委員会 *開催行事の打合せ *子育て情報の収集と発信
	5. 7. 25 10. 21 6. 2. 10 3. 29	18 衛生推進委員会 *衛生推進委員会の役割について・衛生チェック *職員の健康管理について *安全パトロールの実施
	5. 4. 3 5. 13 6. 24 7. 5 8. 17 9. 29 10. 5 11. 4 6. 1. 10 1. 27 2. 6 3. 27	19 保育園職員委員会 *保育園職員委員会の趣旨・役割について、活動内容の確認 *子どもの人権チェックリストの検証
	6. 2. 14	20 臨時職員会議 6園合同

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼働 年 月 日	摘 要
5. 7. 8 8. 16 12. 26	聖和短期大学 青木さん 元町こども専門学校 増山さん (16. 18日) 元町こども専門学校 増山さん (26. 27日)

令和5年度

職員福利厚生関係

実施 年 月 日	内 容	備 考
	なし	

令和5年度

見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘要
5. 6. 23 7. 18 10. 23 6. 3. 12	見学者 関西保育専門学校 川上さん、下西さん 園田学園4回生 中島さん 兵庫県保育士支援センター紹介 羽川さん 尼崎保育士支援センター紹介 藤巻さん
	実習生 なし
	インターンシップ なし
5. 9. 11	トライやるウィーク 9月11日～15日 大成中学校3名(女3)

令和5年度 感染症罹患状況

施設名 くるみ保育園

分類	感染症		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
			園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	
学校保健法 伝染病	第2種	1	インフルエンザ											1名			3名	2名	1名		1名		1名					6名	3名		
		2	百日咳																										0名	0名	
		3	麻疹 (はしか)																											0名	0名
		4	風疹 (三日はしか)																											0名	0名
		5	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)																											0名	0名
		6	水痘 (水ぼうそう)													1名														1名	0名
		7	咽頭結膜熱 (プール熱)													2名														2名	0名
		8	結核																											0名	0名
	第3種	9	流行性角結膜炎 (はやり目)																											0名	0名
		10	急性出血性結膜炎																											0名	0名
		11	腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																											0名	0名
	その他	12	伝染性紅斑 (りんご病)																											0名	0名
		13	溶連菌感染症													1名								1名						2名	0名
		14	流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)				1名	3名	1名																					3名	2名
		15	手足口病			2名								2名		4名		1名												9名	0名
		16	マイコプラズマ感染症																											0名	0名
		17	ヘルパンギーナ			1名		1名		1名					1名	1名					1名									6名	0名
		18	アタマジラミ																											0名	0名
	19	伝染性膿痂疹 (とびひ)																											0名	0名	
その他 感染症	20	RSウイルス感染症			1名																					1名		2名	0名		
その他 感染症	21	アデノウイルス感染症							1名			13名																13名	1名		
その他 感染症	22	突発性発疹	1名				1名												1名									3名	0名		
その他 感染症	23	ヒトメタニューモウイルス																										0名	0名		
その他 感染症	24	新型コロナウイルス感染症								3名	3名	8名	4名															11名	7名		
合 計			1名	0名	4名	1名	5名	1名	1名	1名	3名	3名	24名	5名	9名	0名	4名	2名	3名	0名	1名	0名	2名	0名	1名	0名	58名	13名			

令和5年度 事業報告書

幼保連携型認定こども園 石屋川くるみ保育園【定員：79名（1号 9名、2・3号 70名）】					
稼働状況			目標	実績	差異
	入所	1号	稼働率	33.30%	%
人数			3.00名	名	名
2・3号		稼働率	114.30%	%	%
		人数	80.01名	名	名
合算		稼働率	105.08%	%	%
		人数	83.01名	<u>82.25名</u>	<u>-0.76名</u>
延長保育利用者数			—	<u>2,264名</u>	二
一時保育利用者数			500名	<u>96名</u>	<u>-404名</u>
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し、子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開 ⑦ 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく ⑧ 職員が成長する職場づくり ⑨ 福祉サービス第三者評価の受審 				
総括	<p>本年度の事業運営状況は、1号定員9名、年間稼働率35.19%で予算目標稼働率33.33%に対して1.86%の増、2号・3号定員70名、年間稼働率113.33%で予算目標稼働率114.30%に対して0.97%の減、合算定員79名、年間稼働率104.43%で予算目標稼働率105.08%に対して、6.5%の減であり、予算達成できなかった。</p> <p>一時預かり保育事業は、年間目標500名に対し、年間利用者数96名で404名の減であり、達成できなかった。また、延長保育事業は年間2,264名（月平均188.7名）であった。</p> <p>② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 全てその子どもの「いま、そのまま」の姿を受容し、保育園で心地よく過ごせるような支援を心がけた。個々の気持ちの揺らぎを丁寧に読取り、一人一人のタイミングで気持ちに折合いをつけたり気持ちを切り替える手助けをしたり、感情を認められることで安心できるように関わったりした。結果として、子どもが安心して教育・保育者に思いを伝えるようになった。</p> <p>保護者との信頼関係の構築にも取り組んだ。本年度は「教育・保育参加」を初めて実施した。子どもたちと一緒に活動し子どもの世界を感じていただく機会を持った。自分の子どもだけでなく、周りの子どもの成長も喜んでくださる保護者が多く、保護者と園の共育での連携が構築できたので、今後も継続する。</p> <p>教育・保育参加の取組みは、職員にとっても「しているつもり」の教育・保育ではなく、「相手に伝わる」教育・保育を意識することができた。保護者とともに子どもの活動を行うことをきっかけに、保護者と教育・保育者が同じ目線で子どもの育ちの話ができ、お互いの思い（子育て、教育・保育）について理解を深めることができた。</p> <p>③ 子どもの人権擁護の取組み スタッフ会議で子どもの人権についての園内研修を実施した。乳児クラスは「丁寧な教育・保育」について、幼児クラスは「子どもの主体性」を学ぶために、神戸大学附属幼稚園に複数回見学研修に行き、子どもが主体的に生活するための教育・保育環境や行事のあり方について学んだ。子どもの主体性を尊重することが子どもの人権擁護につながることを全職員で意識し、次年度も日々の教育・保育の取組みの中で子どもの人権が守られるように努める。</p> <p>⑨ 福祉サービス第三者評価の受審 令和5年11月9日・10日に第三者評価機関の（株）H.Rコーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和6年2月22日付で受審結果をWAMNETで公表した。</p> <p>平成16年に開園し、平成29年に保育園から幼保連携型認定こども園となった。職員の定着率が高く地域との関わりも多いことは、保護者にとって安心して預けられる施設であり地域の子育て支援施設としての位置づけも築けた。特に、教育・保育内容について、職員全員で子どもの育ちに沿った活動内容となるよう計画から実践、振返りの仕組みができていることに評価を得た。各職員が自分の役割を再認識する機会となった。</p>				

令和5年度

事業報告書

幼保連携型認定こども園 石屋川くるみ保育園

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し、子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開
- ⑦ 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく
- ⑧ 職員が成長する職場づくり
- ⑨ 福祉サービス第三者評価の受審

本年度は、当法人基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園6園共通の課題に取り組む計画を立てスタートした。

本年度の事業運営状況は、1号定員9名、年間稼働率35.19%で予算目標稼働率33.33%に対して1.86%の増、2号・3号定員70名、年間稼働率113.33%で予算目標稼働率114.30%に対して0.97%の減、合算定員79名、年間稼働率104.43%で予算目標稼働率105.08%に対して、6.5%の減であり、予算達成できなかった。

一時預かり保育事業は、年間目標500名に対し、年間利用者数96名で404名の減であり、達成できなかった。また、延長保育事業は年間2,264名（月平均188.7名）で年々減少している。保護者の働き方の変化等の対策を考える。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度に取り組んだ。5月には「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の2類相当から5類移行となり、事業推進はコロナ以前に戻りつつ行えた。国の施策にも挙がっている地域に向けた子育て支援活動は、当法人保育園独自の取組みである“ネウボラ・セリジェ”に力を入れ、再スタートした。昨年度から始めた地域の子育てサークルへの出張保育も依頼が増え、神戸さくら保育園と共に実施した。園での活動も積極的に行った。

次年度は、神戸市においては「子育て施策」により一層重点を置く方針も出ているので、「地域貢献の積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」の3つの重点項目が十分に実施できるように、従来の取組みを見直し事業を推進する。

2 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実

本年度も、「子ども・保護者・職員の3者（＝トライアングル）」のそれぞれが尊重され、信頼関係のもと保育園で充実した毎日を送れる教育・保育をコロナ感染防止対策の中で工夫して行い、子どもたちの育ちを支える教育・保育の充実に努めた。3者への対応は以下のように実践した。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる教育・保育をおこなう

子ども一人一人の「やってみたい」「行ってみたい」「ふしぎだな」という前向きな気持ちや、反対に「やりたくない」「一人でいたい」という一見ネガティブに見える気持ちを、全てその子どもの「いま、そのまま」の姿として受容し、保育園で心地よく過ごせるような支援を心がけた。集団で過ごす中では自分の思いがかなわないこともあり、年齢や社会性の発達の差によって子どもが受入れられる許容範囲も違うので、個々の気持ちの揺らぎを丁寧に読み取り、一人一人のタイミングで気持ちに折合いをつけたり気持ちを切替える手助けをしたり、感情を認められることで安心できるように関わったりした。結果として、子どもが安心して保育者に気持ちを表現することができていた。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる教育・保育を行う

日々の子どもの生活の様子を、よい子ネットやドキュメントシートやクラス掲示物、連絡ノート等を通して、「今」を分かりやすく伝えた。それらをきっかけに、保護者とクラス保育者が話をしやすい雰囲気ができ、日々の子どもの様子の共有や、保護者へのねぎらいの声掛けがしやすくなり、信頼関係を構築することができた。またクラス懇談会でも、担任から写真や動画、紙資料を用いて分かりやすく子どもの様子を保護者に伝えた際の反応から、安心して園に預けて頂けていることが感じられた。

12月からは「教育・保育参加」を初めて実施した。参観ではなく「参加」にすることで、子どもたちの中に入って一緒に活動をしていただき、子どもの世界を感じていただく機会とした。自分の子どもと一緒に、周りの子どもの成長も喜んでくださる保護者が多く、保護者と園の共育での連携ができつつあるので、今後も継続する。

3) 職員が“教育・保育に携わる喜びを感じる”教育・保育を実践・検証することから教育・保育の質の向上をめざす教育・保育参加を実施したことで、「しているつもり」の教育・保育ではなく、「相手に伝わる」教育・保育を意識することができた。保護者が一緒に保育に入ってくくださったことをきっかけに、保護者と教育・保育者が同じ目線で子どもの育ちの話ができ、お互いの思い（子育て、教育・保育）について理解を深めることができ、教育・保育者の表情は笑顔が増え自信を持って教育・保育に取り組むようになった。特に、年度後半は全クラスのビデオ公開教育・保育を行い、客観的に自身の教育・保育を振り返ることで、子どもの発達の為に注力していることを発表し合ったり、悩み事に意見を出し合ったりしながら、園全体の教育・保育の質向上に向けて全職員で取り組むことができた。次年度も継続する。

3 子どもの人権擁護の取り組み

保育園職員として、子どもとの関わりかた、人権擁護については最も重要なことであることから、保育園職員委員会が中心となり「子どもの人権を考える part6」に取り組んだ。学びの方法は、毎月のスタッフ会議の中で時間を設けた。本年度の施設内研修のテーマとも連動しているので座学研修に加え、日々の教育・保育実践を通して学んだ。

スタッフ会議で子どもの人権についての園内研修を実施した。乳児クラスは「丁寧な教育・保育」シリーズとして乳児担任が交代で園内研修をし、研修内のグループワークで意見交換をすることで、自身の教育・保育の振り返りや、他の職員の教育・保育観を知り、協働的な教育・保育の構築に取り組んだ。幼児クラスは「子どもの主体性」を学ぶために、神戸大学附属幼稚園に複数回見学研修に行き、子どもが主体的に生活するための教育・保育環境や行事のあり方について学んだ。主体性尊重と放任の違いを理解し、必要なきまりを理解しながら、そのきまりが無理なく守られる教育・保育を、PDCAで振り返りながら実施した。

子どもの主体性を尊重することが子どもの人権擁護につながることを全職員で意識し、次年度も日々の教育・保育の取り組みの中で子どもの人権が守られるように努めていく。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取り組み、子どもの命を守る

子どもの成長を把握する「身体測定」「各健診」を定期的実施した。結果は、速やかに保護者と共有し子どもの健康管理に努めた。また、季節性感染症が時季外れに発症したり年間を通して感染症対策が必要であった。子どもの健康面の確認と必要な対策を考えた。緊急事態発生時対応訓練は、“窒息対応”を追加し、訓練と研修を行い予防に取り組んだ。

2) 感染症対策

昨年度から幼児クラスの生活環境を感染症対策面から見直し、教育・保育中の3密も引き続き可能な限り回避した。子どものマスクの着用は感染状況に応じての対応とした。職員のマスク着用は子どもとの関わり面においてマイナス面もあることから慎重に判断し教育・保育を行った。施設内（教材・玩具類及び備品含む）の消毒作業は、感染症の種類に沿った消毒対応をこれからも継続する。

3) 感染症発症時の対応

法人の“新型コロナウイルス対応指針”に基づいた対応及び、国・神戸市の指導のもと対応した。その都度、保護者には文書で報告をして情報の共有に努めた。

4) 「感染症対策チーム」による体制の強化

本年度は、昨年度の未達部分の補足について考えながら進めた。各園の看護師がリーダーとなり、全職員が感染症対策の必要性と対応について意識を高めることを目標とした。スタッフ会議での情報共有とクイズ形式の研修会を行うことで、少しずつ日々の生活の中での対策に積極的に取り組む姿が見られ効果があった。児童部門看護会議でも状況を共有しながら進めることができた。

【緊急事態発生対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月 4日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
5月 2日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
6月 26日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
7月 8日	心肺蘇生	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
8月 9日	けいれん対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
9月 13日	大けが対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
10月 20日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
11月 9日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
12月 15日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
令和6年 1月 20日	大けが対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
2月 9日	窒息時対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
3月 10日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

毎月の消火・避難訓練は災害別に実施し、想定できる各種災害の対応訓練を実施した。特に“訓練したつもり”とならないように、実施計画作成に時間を取り、確実に訓練に取り組む態勢を整えた。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月 24日	火災、消火 集合	平日午前（園児 25名、職員 10名） 乳児クラスが放送に従い園内階段で玄関ホールまで避難した。

5月15日	火災・消火	平日午前（園児 64 名、職員 12 名） 全クラスが放送に従い園内階段で玄関ホールまで避難した。
7月10日	不審者対応・消火	平日午前（園児 63 名、職員 10 名） 放送に従い乳児クラスは玄関ホールまで避難し、幼児クラスは 2 階保育室から避難用滑り台を使って園舎東側に避難した。
7月19日	台風・水害・消火	平日午前（園児 55 名、職員 9 名） 台風の大雨で浸水を想定、乳児は保育室からの脱出練習、幼児クラスは 3 階ランチルームに避難した。
8月12日 19日	火災・消火（夕方） 火災・消火（土曜日）	平日午前（園児 69 名、職員 12 名） 防災の DVD（灘消防署で借りる）で避難訓練の大切さを学んだ。
9月22日	防災教室・消火	平日午前（園児 75 名、職員 14 名） 灘消防署との連携、県警ホットライン作動。子どもたちは各部屋で待機した。
10月20日	地震火災・消火 （園外避難）	10/13 は延長時（園児 3 名、職員 4 名）10/28 は土曜日午後（園児 18 名、職員 4 名） 放送に従い子どもの安全を確保し、玄関ホールに避難した。
11月15日	地震・津波・消火 （伝言ダイヤル）	平日午前（園児 78 名、職員 13 名） 保育園玄関に不審者。灘警察署員の指導の下、県警ホットラインの使い対応した。
12月20日	火災・消火 （消防署合同）	平日午後（園児 78 名、職員 20 名） 放送に従い全クラス玄関まで避難した。「訓練やったつもり」の記事を共有した。
令和 6 年 1月17日	地震・消火	平日午前（園児 74 名、職員 14 名） 地震による津波が発生したと想定。防災頭巾着用し屋上に避難した。
2月10日 24日	火災・消火 （早朝保育時間）	平日午前（園児 77 名、職員 14 名） 水害発生。乳児は階上の保育室に避難、幼児 3 クラスは大和公園に避難した。行事（マラソン大会）と組み合わせ保護者にも参加を呼びかけた。
3月15日	不審者対応・消火 （園外で遭遇）	平日午前（園児 80 名、職員 19 名） 園外（浜田公園）で不審者に遭遇。園に連絡し応援を要請した。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える子育て支援への展開

5月以降は、地域の子育て支援にも積極的に取り組んだ。昨年度から始めた地域の子育てサークルへの出張教育・保育が好評で本年度も出向いた。依頼が多かったため姉妹園の神戸さくら保育園にも要請し対応した。園内での活動も毎月計画を立て進めた。わらべうたベビーマッサージには定期利用者があり、制作キットやレシピの配布も希望者が多い。次年度も引続き地域の子育て世代向けの活動を進める。

7 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく

本年度も、安定した保育園運営の目標稼働率には達成しなかった。4月時の新入園児確保が厳しく、1号認定児も確保が難しかった。一時保育・延長保育も減少傾向にあり、当園の周辺は施設も飽和状態である。しかし地域の子育て世代との連携はとれているので、そのつながりから入園を検討していただけるように幼保連携型認定こども園のよいところ知らせていく。また、姉妹園が近くにあることを活かす。

8 職員が成長する職場づくり

1) 法人基本理念の周知徹底

毎月の保育園職員委員会が中心となりエピソード研修を行った。本年度の園内研修のテーマでもあったので十分に考える時間を取ることができた。「子どもの人権擁護」については社会情勢の把握も含め常に意識するように、OJTでも伝えた。次年度も引続き行い、重点項目の「子どもの人権擁護の取組み」に繋げる。

2) 職員のやりがいがある職場環境づくりに努める

本年度も職員のキャリアに応じた会議開催を計画していたが、現場の体制が整わず開催を見送ることが多くなった。次年度は、開催日時を計画的に決定し対象者の出席を確保し、職員が希望する話合いの場や研修を計画し、職員のモチベーションを高める。

3) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく職員の資質向上の推進

施設内研修のテーマの「子どもが生活・遊びの主体となる教育・保育」については、昨年度から引続きビデオ研修や発表の場を設け、職員全員が学びの主体となり取り組んだ。結果これまで以上に教育・保育に関する自分の思いや意見を伝える力を獲得した。自分の成長が意欲の向上につながりよい職場になっていると感じることができた。次年度も同じ学びの体制で取り組む。

また、法人合同研修のキャリアに応じた教育・保育実践の検証（聖和短期大学／立花先生）を受講した。支援が必要な子どもの関わり方についても学ぶことができた。昨年からの継続研修で、中堅職員の意欲の向上が継続勤務に繋がり成果があった。

園長としては、保育園運営が厳しくなっていく状況を正確に把握し、自律した運営ができるように、次年度も職員育成、園の広報活動に力を入れ責務を果たしていく。

【階層別研修・中堅職員の育成】 スーパーバイザー：聖和短期大学／立花先生

回数	日時	参加対象者
第1回	令和5年 6月 2日	障害児保育①
第2回	20日	障害児保育②・巡回指導
第3回	23日	障害児保育③・巡回指導
第4回	7月14日	新人育成①

第5回	9月15日	障害児保育④
第6回	10月20日	障害児保育⑤
第7回	12月8日	新人育成②
第8回	15日	検証会議

4) 園内委員会

教育・保育の質の向上に繋がる活動と捉えた取組みを指導し、委員長が担当業務に関する研修を受講するなど各委員会が意欲的に役割を果たしている。次年度も引き続き進める。

5) 人事考課制度の効果的運用

法人指導の下、幹部職員の面談は十分に時間を取り行った。各考課者は担当被考課者の進捗を見守りながら成長に導くことに努めた。次年度も一人一人の職員が自身の成長を確認できる取組みを継続する。

9 福祉サービス第三者評価の受審

本年度は、令和5年11月9日・10日に第三者評価機関の(株)H.R.コーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和6年2月22日付で受審結果をWAMNETで公表した。

平成16年に開園し、平成29年に保育園から幼保連携型認定こども園となった。職員の定着率が高く地域との関わりも多いことは、保護者にとって安心して預けられる施設であり地域の子育て支援施設としての位置づけも築けた。

特に、教育・保育内容について、職員全員で子どもの育ちに沿った活動内容となるよう計画から実践、振り返りの仕組みができていることに評価を得た。各職員が自分の役割を再認識する機会となった。

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
5	4	19	お誕生日会 新入進級おめでとう会	
	20	~21	身体測定	
	24		消火避難訓練	集合
5	9		けんこう保育(4歳児)	お尻の拭き方
	10		お誕生日会	
	12		懇談会(4.5歳児)	
	15		消火避難訓練	火災
	19		懇談会(0.1歳児)	
	22	~23	身体測定	
	24		内科健診	
	25		園外保育(5歳児)	まちっこの森
	26		園外保育(3.4歳児)	王子動物園
6	2		消火避難訓練	水害
	5		歯科衛生指導	
	7		お誕生日会	
	8		眼科検診	
	10		運動会(0.1歳児)	
	19		園外保育(5歳児)	プラネタリウム
	21		歯科健診	
	30		懇談会(2.3歳児)	
	29		けんこう保育(4歳児)	歯
	23		身体測定	
7	4		けんこう保育	4歳児 歯
	5		けんこう保育	2歳児 歯
	5		お誕生日会	
	5		耳鼻科検診	
	8		親子ぐちゃぐちゃ遊び	
	18		けんこう保育	3歳児 歯
	19		けんこう保育	3~5歳児 熱中症
			けんこう保育	
	26		夏祭りウィーク	
18	~19		身体測定	
8	2		お誕生日会	
	5		親子お店屋さんごっこ	
12	・19		消火避難訓練	少人数
	26		ホームカミングデー	
	22	~23	身体測定	
9	6		お誕生日会	
	22		消火避難訓練	火災 浜田公園
19	~20		身体測定	
10	11		お誕生日会	
	14		運動会(2~5歳児)	
	20		消火避難訓練	地震 大和公園
	23		けんこう保育	幼児 目
	30		芋ほり遠足(幼児)	
11	1		園外保育(5歳児)	まちっこの森
	13		お誕生日会	
	15		消火避難訓練	洪水 マルヤナギ
16	・17	・24	クラス懇談会	
	27		保育参加	11/27~1/31
	29		よいこのつどい(5歳児)	
12	6		お誕生日会	
	22		クリスマス会	
25	・26		身体測定	

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容		
6	1	5	書初め			
		10	お誕生日会			
		16	けんこう保育	3歳児 鼻のかみ方		
		17	消火避難訓練			
		18	けんこう保育	5歳児 命の話		
	2	7	7	お誕生日会		
			7	内科健診		
		9	生活発表会リハーサル			
		17	生活発表会			
		19	グランマグランパ発表会 (2・5歳)			
		20	グランマグランパ発表会 (3・4歳)			
		25	身体測定			
		26	身体測定			
		3	6	6	お誕生日会	
				11	消火避難訓練	
	15		お別れ遠足 (布引ハーブ園)			
	15		全体保護者会			
	16		全体保護者会			
	21		卒園式リハーサル			
23	卒園式					
25	身体測定					
26	身体測定					
4	4		11	食育 食器の使い方 (4歳児)		
		5	旬の食材			
		6	食事マナー (3歳児)			
	5	13	旬の食材			
		16	しそジュース (5歳児)			
		7	7	魚の骨 (5歳児)		
		11	旬の食材			
	7	18	スプーンの持ち方 (2歳児)			
		19	イチゴジャム作り (5歳児)			
		26~27	夏祭りおやつ			
	8	4	旬の食材			

開年	催月	日	行事名	行事内容
		8	包丁の使い方(5歳児)	
	9	1	防災の話(幼児)	
		19	旬の食材	
		29	月見クッキング(4歳児)	
10		3	旬の食材	
		23	お箸の持ち方(5歳児)	
11		2	お箸の持ち方(4歳児)	
		7	野菜の型抜き(2歳児)	
		9	旬の食材	
		14	食事のバランス(5歳児)	
		22	茶巾絞り(4歳児)	
			お芋クッキング(5歳児)	
		24	干し芋(3歳児)	
12		22	冬至の話	
			旬の食材	
		25	クリスマスクッキング(5歳児)	
6	1	5	七草がゆ	
		11	鏡開き	
		12	旬の食材	
		16	ドレッシングづくり(4歳児)	
		17	防災食	
		19	5味(5歳児)	
		24	タンドリーチキン(3歳児)	
	2	2	節分メニュー	
		14	バレンタインクッキング	
		16	旬の食材の話「わかめ」	
		26	ドレッシングづくり(4歳児)	
		26	5味(5歳児)	
	3	5	旬の食材の話「菜の花」	
		27	卒園クッキング	
			特別カリキュラム	
			英語保育	
5	4	13		
		20		
		27		
	5	11		
		18		
		25		
	6	8		
		15		
		22		
		29		
	7	6		
		13		
		20		
		27		
	8	3		
		24		
		31		
	9	7		
		14		
		21		
		28		
10		6		
		19		

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	26		
	11 16		
	12 7		
	14		
	21		
6	1 11		
	18		
	25		
	2 8		
	15		
	22		
	29		
	3 7		
	14		
	21		
		音楽リズム	
5	4 12		
	26		
	5 17		
	31		
	6 14		
	28		
	7 12		
	19		
	8 23		
	30		
	9 20		
	27		
	10 18		
	25		
	11 15		
	22		
	12 6		
	20		
6	1 24		
	31		
	2 7		
	14		
	3 6		
	13		
		絵画指導	
5	4 28		
	5 19		
	6 23		
	30		
	7 28		
	9 9 1		
	8		
	11 17		
	24		
	12 1		
	15		
6	1 12		
	26		
	2 26		
		キッズミュージカル	

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
4	4	11		
		18		
		25		
	5	19		
		16		
		23		
	6	6		
		13		
		20		
	7	4		
		11		
		18		
	8	1		
		8		
		22		
	9	5		
		19		
		26		
	10	3		
		10		
		24		
	11	7		
		14		
		21		
	12	5		
		12		
		19		
6	1	9		
		23		
		30		
	2	6		
		20		
		27		
	3	5		
		12		
		19		
			子育て支援事業	
			わらべうたベビーマッサージ	
5	4	4		

開年	催月	日	行事名	行事内容
		11		
		18		
		25	2組	
5		2		
		9		
		16		
		23	6組	
		30		
6		4		
		11		
		18		
		25		
7		10	2組	
		25	1組	
		28	1組	
8		25	2組	
9		22		
10		27	1組	
11		24		
12		5	1組	
		7		
		14		
		21		
		28		
6	1	4		
		11		
		18		
		25		
		26	2組	
2		8		
		15		
		22		
		29	1組	
3		1		
		8		
		15		
		22		
		29	1組	

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
5	4	7	制作キット、レシピ配布	
		14		
		21		
		25	2組	
		28		
	5	2		
		9		
		16		
		23	6組	
		30		
	6	1		
		6	2組	
		12	1組	
		15	2組	
		20	1組	
		22	1組	
		27	1組	
	7	10	2組	
		12	2組	
		27	3組	
	8			
	7	10	2組	
		25	1組	
		28	1組	
	8	3	2組	
		10	3組	
		17	1組	
		24	1組	
		25	2組	
		26	2組	
		28	1組	
	9	22		
	10	5	3組	
		12	1組	
		13	2組	
		19		
		26	3組	
	11	2		
		9		
		16	3組	

開年	月	催日	行事名	行事内容
		30		
	12	22		
6	1	26	2組	
	2	2		
		9		
		16		
		29	1組	
			東明公園清掃	
5	4	11		
		14		
		18		
		28		
	5	1		
		12		
		14		
		16		
		17		
		18		
		23		
	6	3		
		5		
		6		
		9		
		10		
		13		
		14		
		22		
		28		
	7	7		
		8		
10	12	24		
		25		
		31		
12	13	14		
		20		
		26		
6	1	9		
		16		
		17		
	2	6		
		29		
	3	5		

開 年	月	催 日	行 事 名	行 事 内 容
		7 8		

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容		
5	4	8	(事業所研修) 事業計画説明会、基本理念研修	全正規職員
5	6	2	(階層別研修) 障害児保育研修①	宇陀施設長
		20	障害児保育研修②	太田主任、萩原副主任
		23	障害児保育研修③	三浦保育教諭、細川保育教諭
	9	15	障害児保育研修④	宇陀施設長、萩原副主任、三浦保育教諭、細川保育教諭
	10	20	障害児保育研修⑤	太田主任、萩原副主任
	12	15	検証	宇陀施設長、細川保育教諭
	7	14	新人研修①	
	12	8	新人研修②	
5	11	2	法人内学びあい研修 アンガーマネジメント	萩原副主任
		7	ピアノ	
5			(幹部候補者対象マネジメント研修) 三浦保育教諭	
6	1	24	(チューター研修) 萩原副主任	
	3	13	新主任者研修	田畑看護主任

2 施設外研修

開 年	催 月	日	研 修 内 容	
5	5	10~12	救命救急インストラクター	田畑看護主任
	6	8	フッ化物洗口	
		19	神戸大学付属幼稚園参観	宇陀施設長、三浦保育教諭
	7	1	キャリアアップ研修 幼児保育	内田保育教諭、細川保育教諭
		5	〃 乳児保育	内田保育教諭、伊花保育教諭
		10	〃 アレルギー	村山厨房職員
		13	学校医と保健師懇談会	田畑看護主任
		15	キャリアアップ研修 幼児保育	内田保育教諭、細川保育教諭
		18	子ども映画 管理栄養士研修	櫻木保育教諭 中野厨房主任
		22	キャリアアップ研修 幼児保育	内田保育教諭、細川保育教諭
		24	〃 アレルギー	村山厨房職員
			〃 障害児保育	細川保育教諭
	8	1	〃 アレルギー	村山厨房職員
		2	食物アレルギー分野管理栄養士認定研修	中野厨房主任
		21	〃 アレルギー	村山厨房職員
		31	保育スーパーバイザー養成研修	太田主任保育教諭
	9	1	保育スーパーバイザー養成研修	太田主任保育教諭
		7	発達障害	松田保育教諭
		8	つばめセミナー	松田保育教諭
		14	公開保育	佐井木保育教諭
		15	キャリアアップ研修 保健	佐井木保育教諭
		22	神戸大学付属幼稚園参観	萩原副主任、細川保育教諭
	10	3	キャリアアップ研修 保健	佐井木保育教諭
		10	〃	佐井木保育教諭
		16	公開保育	村上
		19	運動会見学	宇陀施設長、萩原副主任、伊花保育教諭
		27	キャリアアップ研修 保健	佐井木保育教諭
	11	13	キャリアアップ研修 保護者支援	松田保育教諭
		14	不適切保育について	宇陀施設長
		15	つばめセミナー	松田保育教諭
		21	公開保育	羽柴保育教諭
			キャリアアップ研修 保健	佐井木保育教諭
		28	公開保育	宇陀施設長
	12	5	キャリアアップ研修 保護者支援	松田保育教諭
		7	保育園囑託医懇談会	田畑看護主任
		11	キャリアアップ研修 保護者支援	松田保育教諭
	6	1	12 衛生管理・事故防止	原田厨房職員
		13	13 保育所における栄養管理の実際	原田厨房職員
		15	15 主任部会 職員への関わり	太田主任保育教諭
			18 実習指導者研修	伊花保育教諭
		18	18 乳児院の小規模ユニットにおける栄養食育支援の取り組み	原田厨房職員
		24	24 つばめセミナー	松田保育教諭
		26	26 公開保育	細川保育教諭
	2	1	2 神戸私立保育園連盟「幼保小連携」	櫻木保育教諭
		21	21 アレルギー栄養士研修	中野厨房主任
	3	12	3 看護協会「母子保健指導者研修」	田畑看護主任
		27	27 私保連園長会	宇陀施設長

状 況

講 師 名
立坂統括施設長
聖和短期大学立花准教授
羽柴保育教諭 太田主任保育教諭
立坂統括施設長
桜谷荘

実 施 場 所

神戸市消防局

神戸大学附属幼稚園

芦屋市役所

神戸ポートオアシス

神戸ポートオアシス

灘区医師会館

芦屋市役所

神戸ポートオアシス

リモート

芦屋市役所

神戸ポートオアシス

神戸ポートオアシス

神戸ポートオアシス

リモート

神戸ポートオアシス

霞が関ビルディング

霞が関ビルディング

リモート

神戸総合教育センター

東灘区役所

神戸ポートオアシス

神戸大学附属幼稚園

神戸ポートオアシス

神戸ポートオアシス

東灘区役所

神戸大学附属幼稚園

神戸ポートオアシス

神戸ポートオアシス

総合福祉センター

神戸総合教育センター

東灘区役所

神戸ポートオアシス

八木保育園

神戸ポートオアシス

灘区医師会館

神戸ポートオアシス

リモート

リモート

総合福祉センター

総合福祉センター

リモート

神戸ポートオアシス

岩岡幼稚園

神戸総合福祉センター

リモート

兵庫県看護協会

リモート

各 委 員 会 開 催 状 況

開 年 月 日	活 動 内 容
	1 施設長会議
5 4 25	* 基本理念の周知徹底
7 22	* 事業計画・各委員会の進捗状況
10 28	* 各事業所運営上の課題・問題点
6 2 24	* 本部事務連絡について
	2 児童施設運営会議
	試算表の見方及び令和5年度当初予算・3月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点
5. 4 22	4月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
	5月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
6 28	6月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
7 28	7月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
8 25	8月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
9 22	9月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
10 27	10月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
11 29	11月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
12 22	12月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
6 1 26	1月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
2 29	2月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他
	3 経営計画検証委員会
5	* 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 第4期経営5か年計画進捗状況の検証
	4 保育部門苦情解決委員会
5. 5. 13	令和5年度の苦情関係について 園内苦情解決部会開催 (状況確認と対応について)
	5 6園園長会
5. 4. 4	* 各園の現状報告
5. 2	* 課題の分析と対応
6. 7	
7. 5	
8. 3	
9. 11	
10. 3	
11. 2	
12. 5	
6. 1. 10	
2. 13	
3. 7	

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容	
5. 4	22	6 合同主任会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *全体の計画の内容検討 *マニュアルの見直し	
5	19		
6	26		
7	20		
8	25		
9	22		
10	11		
11	29		
12	14		
6	1		
2	29		
3	28		
		合同主任副主任会議	
5. 4	22	7 スタッフ会議 *来月の予定確認、1ヵ月の各クラス・委員会報告・基本理念について *年度末、今年度振り返り・まとめ	
6	19		
7	6		
8	19		
9	22		
10	27		
11	2		
12	18		
6	1		
2	1		
3			
5. 4	8		8 保育園運営委員会 *保育内容について *スタッフ会議のレジユメに添って確認
5	19		
6	2		
7	8		
8	26		
9	22		
10	27		
11	24		
12	15		
6	1		
2	20		
3	15		
5. 4	6	9 保育内容検討委員会 丁寧な保育、主体的な保育の環境構成について	
5	19		
7	8		
8	26		
9	15		
10	14		
11	24		
12	15		
6	1		
2	20		
5. 7	8		

開 年	催 月 日	活 動 内 容
6	9. 15 2. 15 3. 15	入所状況、子どもに適した保育スペースと使い方について 次年度年間行事、全体的な計画について健康観 次年度保育計画書類について
		10 クラス会議
		(0歳児)
5.	4. 5	当月の様子
	5. 31	当月の様子
	6. 22	当月の様子
	7. 19	当月の様子
	8. 18	当月の様子
	9. 29	当月の様子
	10. 25	当月の様子
	11. 15	当月の様子
	12. 15	当月の様子
6.	1. 10	当月の様子
	2. 28	当月の様子
	3. 21	当月の様子
		(1歳児)
5.	4. 8	当月の様子
	5. 25	当月の様子
	6. 22	当月の様子
	7. 19	当月の様子
	8. 17	当月の様子
	9. 20	実施せず
	10. 25	当月の様子
	11. 20	当月の様子
	12. 15	当月の様子
6.	1. 23	当月の様子
	2. 26	当月の様子
	3. 15	当月の様子
		(2歳児)
5.	4. 7	当月の様子
	5. 25	当月の様子
	6. 16	当月の様子
	7. 21	当月の様子
	8. 24	当月の様子
	9. 19	当月の様子
	10. 24	当月の様子
	11. 22	当月の様子
	12. 21	当月の様子
6.	1. 19	当月の様子
	2. 22	当月の様子
	3. 13	当月の様子
		(幼児)
5.	4. 1	当月の様子
	5. 15	当月の様子
	6. 20	当月の様子
	7. 14	当月の様子
	8. 23	当月の様子
	9. 21	当月の様子
	10. 28	当月の様子
	11. 20	当月の様子
	12. 20	当月の様子
6.	1. 16	当月の様子

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	2. 9	当月の様子
	3. 19	当月の様子
		12 サービス評価委員会
5.	4. 8	年間予定周知
	7 26	マニュアル見直し、福祉サービス自己評価項目点検
	11 24	福祉サービス第三者評価 総評共有
6	3 15	次年度にむけて
		13 環境研究委員会
5	4. 17	年間活動計画の作成・活動内容の検討
	5. 19	事故を減らすための改善方法の検討・周知
	7. 4	シャワー、水遊びの内容の検討、周知
	8. 28	水遊び内容の改善案を検討
	9. 28	水遊び振り返り
	10.	避難訓練確認、マニュアル見直し
	11. 17	避難訓練確認
	12.	避難訓練確認
6	1. #	避難訓練確認
	2. 29	避難訓練確認
	3 19	避難訓練確認
		14 食育研究委員会
5.	4. 8	* 前月の振り返り・次月の食育予定・その他（1F）
	5 10	* 前月の振り返り・次月の食育予定・その他（2F）
	5. 12	
	6. 2	
	7. 19	
	8 26	
	9. 15	
	10. 27	
	11.	
	12 15	
6	1. 19	
	2. 20	
	3. 15	
		15 絵本研究委員会
5.	4. 20	年間計画作成・周知。
	5. 17	園だより作成。絵本整理
	6. 15	園だより作成。絵本整理
	7. 12	園だより作成。絵本整理
	8. 30	園だより作成。絵本整理
	9. 14	第三者評価(自己評価)の見直し。マニュアル見直し
	10. 18	園だより作成。絵本整理
	11. 17	マニュアル見直し・園だより作成
	12. 14	園だより作成・監査を受けて
6.	1. 18	園だより作成
	2.	園だより作成・絵本貸出について
		16 子育てサポート委員会
5.	4. 18	年間計画作成・活動内容の検討

開 年 月 日	活 動 内 容
10 5	ボランティア内容検討、依頼 今年度振り返り・まとめ
5. 5. 12 7 19 3・28	<p>17 衛生推進委員会 委員会の取り組みについて説明、年間計画チェック項目について チェックリストの確認、実施状況の報告、課題について、安全パトロールについて 実施状況の報告 チェックリストを元に課題・改善方法、次年度について</p>
5. 5. 16 . 6. 5 7. 11 8. 25 9. 25 11. 27 12. 6. 1. 15 2. 14 3・14	<p>18 保健研究委員会 *健康保育について（計画・検証） *掃除の仕方 *寝具について *大掃除について *掃除の仕方 *掃除の仕方 *寝具について *健康活動</p>

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼働 年月日	摘 要
5.7.1 ~	ゴーヤ、いちごの水やり

0団体、1個人・・・250、延べ250名

令和5年度

職員福利厚生関係

実 年 月 日	施 内 容	備 考
5 10	職員ストレスチェック実施 24名	大阪健康倶楽部
11 24	職員インフルエンザ接種 20名	
6 2 20	職員健康診断 20名	

見学・実習等受入れ状況

稼年	動月	日	摘	要
			見学者	
5.	5	23	2組	
	6	6	2組	
		12	1組	
		15	1組	
		20	1組	
		22	1組	
		27	1組	
7	12		2組	
		27	3組	
8	3		2組	
		10	3組	
		17	1組	
		24	1組	
		25	2組	
		26	2組	
		28	1組	
9	7		1組	
		14	2組	
		21	2組	
		28	2組	
10	5		3組	
		12	1組	
		13	2組	
		26	3組	
12	5		1組	
			実習生	
.	8.	15	神戸常盤大学	石岡 佐知映
		~ 26		
	8.	22		
	9	2		
	8.	29		
~	9.	9		
.	9.	5		
		~ 15		
	10	5		
		~ 12		
6	2	19	神戸元町こども専門学校	1年生 宮脇
		~		
	3	2		
			トライやるウィーク	
10	27		神戸市立鷹匠中学校	2年生2名
	11	2		
11	6		神戸市立御影中学校	2年生3名
		~ 10		
			ワークキャンプ	

7	31	葺合高等学校	1名
~	8	1	
8	7	神戸常盤女子高等学校	1名
~	9		

令和5年度 事業報告書

幼保連携型認定こども園 神戸さくら保育園【定員：79名（1号 9名、2・3号 70名）】						
稼働状況			目標	実績	差異	
	入所	1号	稼働率	33.30%	%	%
			人数	3.00名	4名	+1名
		2・3号	稼働率	114.30%	%	%
			人数	80.01名	76.5名	-3.51名
		合算	稼働率	105.08%	%	%
			人数	83.01名	80.5名	-2.51名
	延長保育利用者数		—	1,790名	—	
一時保育利用者数		500名	339名	-161名		
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実 ⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たす ⑧ 職員が成長する職場づくり ⑨ 福祉サービス第三者評価の受審 					
総括	<p>本年度の事業運営状況は、1号定員9名、年間稼働率41.67%で予算目標稼働率33.33%に対して8.34%の増、2号・3号定員70名、年間稼働率109.29%で予算目標稼働率114.30%に対して5.01%の減、合算定員79名、年間稼働率101.58%で予算目標稼働率105.08%に対して、3.51%の減であり、達成できなかった。</p> <p>一時預かり保育事業は、年間目標500名に対し、年間利用者数339名で161名の減であり、達成できなかった。また、延長保育事業は年間1,790名（月平均149.2名）であった。一時保育は予定には到達しなかったが、前年度より大幅に利用者が増えた。単発利用者が継続利用に切替わることは、当園の一時保育の内容が保護者のニーズに沿っている証であるので、引き続き利用者確保の呼びかけをする。</p> <p>② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 子どもの思いに寄添い、思いを受止めてその子の発達に応じたあそび等の活動を考え生活した。毎月の人権勉強会ではグループワークを取入れ、職種を超えて子どもたちとの関わりについて話合った。園内で共通認識を持ち、保育教諭以外の保健や厨房職員も子どもたちと積極的に関わることで、子どもにとってよい人的環境が築けた。引き続き全職員で取り組む。</p> <p>⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る 毎月の訓練を重視し災害対策に取り組んだ。保護者にも災害対策を共に行う必要性を懇談会等機会あるごとに伝え、子どもの安全確保に協力を要請した。3月に行った園外避難訓練は、マラソン大会と合同で実施することで保護者の参加が得られ、二次避難所での引渡し訓練も行い有意義であった。次年度も継続する。</p> <p>⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たす 園児確保の困難や一時保育・延長保育も減少傾向にあり、これからの幼保連携型認定こども園に求められることを情報集めから始めた。神戸市が令和6年度から”こども誰でも通園制度”のモデル事業をスターさせる案内があったので、参加の手を挙げたところ市内22か園に選ばれた。新しい制度で内容は未知であるが、園児確保の窓口の一つとして取組み地域の子育て世代のニーズをつかみ、園の安定運営に役立てる。</p> <p>⑨ 福祉サービス第三者評価の受審 開園以来4回目の受審であった。結果は、開園11年目を迎える保育園としての課題が明確になった。 教育・保育の質の向上に向けての取組みは進んでいるが、同じ課題が積み残し状態であった。課題の職員間での共有と内容の分析・検証、そして対応策について見直し、全職員で取り組んでいくことが教育・保育の質の向上につながるということを共通理解し、改善に取り組む。</p>					

令和 5 年度

事業報告書

幼保連携型認定こども園 神戸さくら保育園

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し、子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開
- ⑦ 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく
- ⑧ 職員が成長する職場づくり
- ⑨ 福祉サービス第三者評価の受審

本年度は、当法人基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園 6 園共通の課題に取り組む計画を立てスタートした。

本年度の事業運営状況は、1 号定員 9 名、年間稼働率 41.67%で予算目標稼働率 33.33%に対して 8.34%の増、2 号・3 号定員 70 名、年間稼働率 109.29%で予算目標稼働率 114.30%に対して 5.01%の減、合算定員 79 名、年間稼働率 101.58%で予算目標稼働率 105.08%に対して、3.51%の減であり、達成できなかった。

一時預かり保育事業は、年間目標 500 名に対し、年間利用者数 339 名で 161 名の減であり、達成できなかったが、単発利用から定期利用となるケースが多かった。延長保育事業は年間 1,790 名（月平均 149.2 名）で年々減少している。また、保護者の働き方の変化等の対策を考える。

1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価及び第 5 期経営 5 年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 年計画の最終年度に取り組んだ。5 月に「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の 2 類相当から 5 類移行となり、事業推進はコロナ以前に戻りつつ行えた。国の施策にも挙がっている地域に向けた子育て支援活動は、当法人保育園独自の取組みである“ネウボラ・セリジェ”に力を入れ、再スタートした。地域の子育てサークルへの出張教育・保育にも取組みまた、園での活動は年度後半からは利用者が定着し始めた。

次年度は、神戸市においては「子育て施策」により一層重点を置く方針も出ているので、「地域貢献の積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」の 3 つの重点項目が十分に実施できるように、従来の取組みを見直し事業を推進する。

2 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実

本年度も、「子ども・保護者・職員の 3 者（＝トライアングル）」のそれぞれが尊重され、信頼関係のもと保育園で充実した毎日を送れる教育・保育をコロナ感染防止対策の中で工夫して行い、子どもたちの育ちを支える教育・保育の充実に努めた。3 者への対応は以下のように実践した。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる教育・保育をおこなう

5 月以降も、「新型コロナウイルス感染症」が完全終息ではないこと、また、子どもの免疫力低下も予想されることから引き続き各種感染症予防対策に配慮しながら保育園生活を過ごした。子どもたちの健康状態を把握した上で、計画した季節感を取り入れた活動を実施した。園外教育・保育や夏の水遊び・プール遊び、食育活動もおおむね再開し、運動会や生活発表会もたくさんの人に見てもらった環境で行えたことで、子どもたちの笑顔が日々の生活の中であふれたくましい成長を確認することができた。また、これまで以上に、健康や安全について子どもと共に学ぶ活動も取入れた。5 歳児の卒園に際しては、家族参列の卒園式と園児参加のおわかれ会を行い、卒園の喜びと寂しさを感じの気持ちとして伝えあう姿があった。異年齢の関わりの大切さを再認識できたので、次年度も異年齢児の活動を増やしていき、子どもの心の育ちを支える。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる教育・保育を行う

保護者の子育て支援活動は話し合いをしながら進めた。運動会の実施方法やクラス懇談会等の開催については、事前説明を行い、実施後の感想をいただくことで今後の開催方法の答えを見出すことができた。子どもの成長過程においての不安等に寄り添い、随時個人懇談も行き、子ども一人一人の育ちを尊重し必要な関わりや支援を共に考えた。子どもの心配に加え保護者自身のしんどさも増えてきている傾向があるので、複数の職員で親子の様子を見守りながら、子どもにとってよい対応を心掛けた。保育園でのいろんな活動を通して保護者にも関わっていただく必要性を繰り返して、マラソン大会を兼ねた園外避難訓練にも協力を得ることができた。

3) 職員が“教育・保育に携わる喜びを感じる”教育・保育を実践・検証することから教育・保育の質の向上をめざす

保育教諭の行う日々及び季節の活動のほか、厨房職員がおこなう食育活動、看護職員がおこなうけんこう教育・保育の取組みを計画に沿って実施した。子ども成長のつながりを大事にした教育・保育の実践は、経験の浅い職員にとっては見通しになることで目の前のしんどさを乗切り自信につなげていくことができた。お互いの足らずを補足しながら、また、経験差による気づきの違いなども話し合い、子どもにとってよりよい教育・保育を話し合いながら進めた。次年度も継続する。

3 子どもの人権擁護の取組み

保育園職員として、子どもとの関わりかた、人権擁護については最も重要なことであることから、保育園職員委員会が中心となり「子どもの人権を考える part6」に取り組んだ。学びの方法は、毎月のスタッフ会議の中で時間を設け、グループワーク形式で行った。グループワークの学びは、さらにクラス会議で子ども一人一人の年齢、発達に応じた適切なかわり方を話合ったり、疑問や悩みを先輩職員に質問することで実践につなげた。保育士の不適切保育が世論で話題となることが多いが、当園では自信をもって子どもたちに関わっている。開園以来設置している WEB カメラも時流に沿い効果的である。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取組み、子どもの命を守る

子どもの成長を把握する「身体測定」「各健診」を定期的実施した。結果は、速やかに保護者と共有し子どもの健康管理に努めた。また、季節性感染症が時季外れに発生するなど、年間を通して感染症対策が必要であった。子どもの健康面の確認と今後必要な対策を考えていく。緊急事態発生時対応訓練は、“窒息対応”を追加し、訓練と研修を行い予防に取組んだ。

2) 感染症対策

昨年度から幼児クラスの生活環境を感染症対策面から見直し、教育・保育中の3密も引続き可能な限り回避した。子どものマスクの着用は感染状況に応じての対応とした。職員のマスク着用は子どもとの関わり面においてマイナス面もあることから慎重に判断し教育・保育を行った。施設内(教材・玩具類及び備品含む)の消毒作業は、感染症の種類に沿った消毒対応をこれからも継続する。

3) 感染症発症時の対応

法人の“新型コロナウイルス対応指針”に基づいた対応及び、国・神戸市の指導のもと対応した。その都度、保護者には文書で報告をして情報の共有に努めた。

4) 「感染症対策チーム」による体制の強化

本年度は、昨年度の未達部分の補足について考えながら進めた。各園の看護員がリーダーとなり、全職員が感染症対策の必要性と対応について意識を高めることを目標とした。スタッフ会議での情報共有とクイズ形式の研修会を行うことで、少しずつ日々の生活の中での対策に積極的に取り組む姿が見られ効果があった。児童部門看護会議でも状況を共有しながら進めることができた。

【緊急事態発生対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月26日	窒息時対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
5月26日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
6月19日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
7月20日	てんかん発作対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
8月8日	けいれん対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
9月12日	大けが対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
10月14日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
11月21日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
12月26日	窒息時対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
令和6年 1月31日	大けが対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
2月27日	窒息時対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
3月30日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

毎月の消火・避難訓練は災害別に実施し、想定できる各種災害の対応訓練を実施した。特に“訓練したつもり”とならないように、実施計画作成に時間を取り、確実に訓練に取り組む態勢を整えた。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月26日	火災、消火 集合	平日午前(園児66名、職員22名) 放送に従い玄関ホールに集合後、幼児クラスは浜田公園まで避難した。
5月30日	火災・消火	平日午前(園児66名、職員13名) 全クラスが放送に従い園内階段で玄関ホールまで避難した。防災頭巾着用、抱っこ紐装着
7月5日	台風・水害・消火	平日午前(園児68名、職員16名) 放送に従い全クラス園内階段で3階ランチルームに避難した。
19日	火災・消火	平日午前(園児67名、職員14名) 調乳室から出火。放送に従い1歳児は屋外避難経路から、0歳・2歳児は玄関から、幼児クラスは避難滑り台及び屋外避難階段で駐車場に避難した。

8月28日	地震・消火	平日午前（園児 69 名、職員 16 名） 放送に従い安全確認後、津波警報は出ていないことを確認し園内階段で玄関ホールに避難。
9月13日	不審者・消火	平日午前（園児 70 名、職員 15 名） 公園から不審者侵入、灘警察署との連携、県警ホットライン作動。放送に従い子どもたちは各部屋で待機した。
10月13日 28日	火災・消火（夕方） 火災・消火（土曜日）	10/13は延長時（園児 4 名、職員 4 名）10/28は土曜日午後（園児 16 名、職員 4 名） 放送に従い子どもの安全を確保し、玄関ホールに避難した。
11月17日	地震・津波・消火	平日午前（園児 74 名、職員 13 名） 放送に従い安全確認、津波警報発令のため、全クラス 3 階ランチルームに避難した。
12月20日	火災（午後おやつ時） 消火	平日午後（園児 75 名、職員 12 名） 1 歳児は避難通路から、2・3 歳児は園内階段、4 歳児は避難滑り台、5 歳児は屋外避難階で玄関まで避難した。
令和 6 年 1月17日	火災・消火	平日午前（園児 75 名、職員 15 名） 地震による津波が発生したと想定。放送に従いランチルームに避難した。幼児クラスは「地震のお話し」を聞いた。
3月7日	地震・津波・消火 （二次避難所で引き渡し訓練、保護者参加型）	平日午前（園児 77 名、職員 14 名、保護者 20 家庭） 放送に従い全クラス園外避難、駐車場集合後、幼児クラスは二次避難所の大和公園に避難。保護者が待機しており引き渡し訓練も実施した。その後マラソン大会をした。行事（マラソン大会）と組み合わせることで保護者の参加が得られた。
21日	不審者対応 消火	平日午前（園児 80 名、職員 14 名） 4・5 歳児が園外（浜田公園）で不審者に遭遇。園に連絡し応援を要請した。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える子育て支援への展開

本年度は、徐々に地域の子育て支援活動ができるようになった。6月、9月には、地域の子育てサークル 2 か所に出張教育・保育を行い“わらべうたベビーマッサージ”や“親子ふれあい遊び”を伝えた。大雨にもかかわらず参加者も多く地域の子育て世代に向けた取組みの必要性を実感した。園内における“ネウボラ・セリジェ”の年間予定をホームページに載せたところ、定期利用者が確保でき、一時保育の利用にもつながった。次年度も引続き、出張教育・保育や園内での活動、また、国の新しい施策にも積極的に取組み、神戸さくら保育園を地域の子育て支援施設として位置付ける。

7 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく

本年度も、安定した保育園運営の目標稼働率には達成しなかった。4月の0歳児入所が2名で1月には11名になったが、年度途中の転宅も複数名あり84名には届かなかった。園児確保の困難や一時保育・延長保育も減少傾向にあり、これからの幼保連携型認定こども園に求められることを情報集めから始めた。神戸市が令和6年度から”こども誰でも通園制度”のモデル事業をスターさせる案内があったので、参加の手を挙げたところ、市内22か園に選ばれた。新しい制度で内容は未知であるが、園児確保の窓口の一つとして取組み地域の子育て世代のニーズをつかみ、園の安定運営に役立てる。

8 職員が成長する職場づくり

1) 法人基本理念の周知徹底

毎月の保育園職員委員会が中心となりエピソードをグループワーク形式で学んだ。特に、基本理念にも掲げている“人権を擁護する”につながる「子どもの人権擁護」については常に意識するように、OJTでも伝えた。

次年度も引続き行い、重点項目の「子どもの人権擁護の取組み」に繋げる。

2) 職員のやりがいがある職場環境づくりに努める

本年度も職員のキャリアに応じた会議開催を計画していたが、現場の体制が整わず開催を見送ることが多くなった。次年度は、開催日時を計画的に決定し対象者の出席を確保し、職員が希望する話し合いの場や研修を計画し、職員のモチベーションを高める。

3) 幼保連駅型認定こども園教育・保育要領に基づく職員の資質向上の推進

施設内研修のテーマの「一人一人の育ちを支える教育・保育 2」については、クラスの教育・保育の状況を主任・副主任が確認しながらOJT指導を中心に行った。キャリアに応じた教育・保育力の養成には課題が残った。次年度も共に学ぶ体制を維持する。

また、法人合同研修のキャリアに応じた教育・保育実践の検証（聖和短期大学／立花先生）を受講した。支援が必要な子どもの関わり方についても学ぶことができた。昨年からの継続研修で、中堅職員の意欲の向上が継続勤務に繋がり成果があった。

園長としては、保育園運営が厳しくなっていく状況を正確に把握し、自律した運営ができるように、次年度も職員育成、園の広報方活動に力を入れ責務を果たす。

【階層別研修・中堅職員の育成】 スーパーバイザー：聖和短期大学／立花先生

回数	日時	参加対象者
第1回	令和5年 6月 2日	障害児保育①
第2回	6月 20日	障害児保育②・巡回指導
第3回	23日	障害児保育③・巡回指導
第4回	7月 14日	新人育成①
第5回	9月 15日	障害児保育④

第6回	10月20日	障害児保育⑤
第7回	12月8日	新人育成②
第8回	15日	検証会議

4) 園内委員会

教育・保育の質の向上に繋がる活動と捉えた取組みを指導し、委員長が担当業務に関する研修を受講するなど各委員会が意欲的に役割を果たしている。次年度も引き続き進める。

5) 人事考課制度の効果的運用

法人指導の下、幹部職員の面談は十分に時間を取り行った。各考課者は担当被考課者の進捗を見守りながら成長に導くことに努めた。次年度も一人一人の職員が自身の成長を確認できる取組みを継続する。

9 福祉サービス第三者評価の受審

本年度は、令和6年1月18日・19日に第三者評価機関の(株)H.Rコーポレーションによる福祉サービス第三者評価を受審し、令和6年2月22日付で受審結果をWAMNETで公表した。

平成25年に開園し、今回の受審査は4回目であった。平成29年に保育園から幼保連携型認定こども園となり神戸さくら保育園の教育・保育を子どもたちの成長を支え保護者に安心して預けていただく施設となるよう取組んできた。途中、職員の入替わりによる連携不足や令和2年からのコロナ禍の下での厳しい運営状況が続いたが、保育園職員の使命を全職員で考えながら取組んだ。結果、徐々に子ども・保護者・職員にとって居心地のいい保育園となり、今回の受審において教育・保育内容、保護者の満足度共に充実していることが評価された。その中で開園11年目の幼保連携型認定こども園としては、さらなる質の向上に取組まなくてはいけないとの助言があった。特に、保護者向けに教育・保育内容を知らせる連絡ノートやドキュメントシートの効果の検証等が不十分であることは一方的な発信になってしまい、保護者の思いを汲取ることができないことにもつながるため、各活動のPDCAの徹底と、保護者と共に子どもを育てていくスタンスで日々の教育・保育の振り返りを丁寧に行う。本年度はいくつかの改善事項とこの課題に職員全員で取り組む。

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
5.	4.	4	進級おめでとうの会	2～5歳児クラス
		17	食育	旬の食材の話「ブロッコリー」(1～5歳児)
		20	お誕生日会	4月生まれの園児のお誕生日会、「はじめまして」
			身体測定	0・3・4歳児
		26	消火・避難訓練	乳児クラス
			クラス別保護者懇談会	1歳児
			緊急事態発生時対応訓練	「窒息発生」1歳児クラス
		27	クラス別保護者懇談会	2歳児クラス
			食育	旬の食材の話「キャベツ」(2歳児)
5.	2		こどもの日の集い	2・3・4・5歳児クラス
		11	お誕生日会	5月生まれの園児のお誕生日会
			食育	旬の食材の話「玉ねぎ」(1・2・3・4・5歳児)
			食育	5歳児「玉ねぎの皮むき」
		16	食育	4歳児「おはしの持ち方・食事マナー」
		12	園外保育	5歳児「布引ハーブ園」
		22	クラス別保護者懇談会	3歳児
		23	クラス別保護者懇談会	4歳児
			食育	4・5歳児「いただきます・ごちそうさま」
			身体測定	0・1・2歳児
		24	クラス別保護者懇談会	5歳児クラス
			身体測定	3・4・5歳児
			緊急事態発生時対応訓練	「アナフィラキシー」2歳児クラス
		30	消火・避難訓練	「地震」全園児
			食育	5歳児「おはしの持ち方・食事マナー」
		31	内科検診	全園児
6.	6		時の記念日	3・4・5歳児
			食育	2歳児「キャベツちぎり」
		8	お誕生日会	6月生まれの園児のお誕生日会
			眼科健診	全園児
		14	歯科検診	全園児
		5	個人懇談	1歳児保護者
		16	食育	旬の食材の話「ピーマン」(1～5歳児)
		19	緊急事態発生時対応訓練	「SIDS」0歳児クラス
			子育て支援活動	地域の子育てサークル「パンダっこクラブ」訪問／保育教諭2名
		21	聴力検査①	3・4・5歳児
		22	聴力検査①	3・4・5歳児
			お楽しみ会	「腹話術公演」(2～5歳児)
		23	子育て支援活動	地域の子育てサークル「マリンキッズ」訪問／保育教諭2名
		28	耳鼻科健診	全園児
			身体測定	1・2・5歳児
		30	身体測定	0・3・4歳児
			個人面談	5歳児すこやか児保護者
7.	4		けんこう保育	2・3・4・5歳児「暑い夏を乗り切るために」
		5	消火・避難訓練	「水害」全園児
		6	七夕の集い	2・3・4・5歳児
		7	食育	行事食「七夕そうめん」(全園児)
		11	園外保育	5歳児「王子動物園」
		13	お誕生日会	7月生まれの園児のお誕生日会
		14	けんこう保育	5歳児「おへそのお話し」
		19	身体測定	0・3・4歳児
			消火・避難訓練	「火災」全園児
		20	身体測定	0・4・5歳児
			けんこう保育	5歳児「プライベートゾーンのお話し」
			緊急事態発生時対応訓練	「てんかん発作」3歳児クラス
		21	身体測定	1・2・3歳児
		22	ホームカミングディ	5歳児・卒園児
		25	プール開き	2・3・4・5歳児

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
		26	水質検査	学校薬剤師による
8.	1		けんこう保育	5歳児「うがい・歯科指導」
	8		緊急事態発生時対応訓練	「けいれん発生」1歳児クラス
	16		食育	旬の食材の話「冬瓜」(1・2・3・4・5歳児)
	17		お誕生日会	8月生まれの園児のお誕生日会
	18		個人面談	2歳児保護者
	21		身体測定	0歳児
			食育	4歳児「トウモロコシの皮むき」
	22		食育	2・3歳児「野菜スタンプ」
			クラス別保護者懇談会	0歳児
			身体測定	3歳児
	24		食育	5歳児「しそジュース作り」
			身体測定	1・2・4・5歳児
	28		食育	5歳児「トウモロコシの皮むき」
	28		消火・避難訓練	「地震」(全園児)
9.	1		けんこう保育	4歳児「うがい・歯科指導」
			食育	防災食のはなし(2・3・4・5歳児)
	6		食育	3歳児「食事マナー」
	～14		5歳児個人懇談	5歳児保護者(13組)、担任・園長
	7		お誕生日会	9月生まれの園児のお誕生日会
	11		食育	旬の食材の話「きのこ」(2・3・4・5歳児)
	12		緊急事態発生時対応訓練	「大けが発生対応」4歳児クラス
	13		消火・避難訓練	「不審者」(全園児)
			個人面談	3歳すこやか児保護者
	19		アート週間	3・4・5歳児
	20		身体測定	1・3・4・5歳児
	21		クラス別保護者懇談会	1歳児
			身体測定	0歳児
	22		身体測定	2歳児
	28		お月見会	2・3・4・5歳児
			食育	5歳児「お月見団子づくり」
10.	12		個人面談	2歳児保護者
	12		食育	旬の食材の話「さつまいも」(2～5歳児)
	13		消火・避難訓練	「延長時火災」(全園児)
	14		運動会	2・3・4・5歳児(保育園屋上)
			緊急事態発生時対応訓練	「アナフィラキシー発症」3歳児クラス
	18		園外保育	3・4歳児「しあわせの村」⇒インフルエンザ流行のため中止
	24		園外保育	5歳児「プラネタリウム」⇒インフルエンザ流行のため延期
	25		けんこう保育	2歳児「トイレの使い方」
	26		お誕生日会	10月生まれの園児のお誕生日会(2・3・4・5歳児)
	27		ハロウィンパーティ	全園児
11.	1		園外保育	2・5歳児「しあわせの村」
	4		個人面談	2歳児保護者
	8		園外保育	3・4歳児「いもほり」
	9		お誕生日会	11月生まれの園児のお誕生日会
	11		運動会	0・1歳児(保育園2階ホール)
	16		食育	旬の食材の話「柿」(2・3・4・5歳児)
			個人面談	3歳児保護者
	20		身体測定	0歳児
	21		緊急事態発生時対応訓練	「SIDS発症」0歳児クラス
			すこやか巡回指導	5・3歳すこやか児の巡回指導(神戸市幼保事業課2名)
	22		身体測定	1・3歳児
			個人面談	3歳すこやか児保護者
	24		食育	5歳児「三色食品群」
			個人面談	0歳児保護者
	27		身体測定	4・5歳児
	29		身体測定	2歳児
	30		園外保育	5歳児「よい子のつどい」
12.	2		個人面談	5歳すこやか児保護者
	4		個人面談	1歳児保護者

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
6 . 1 .	6	個人面談	5歳児保護者
	7	園外保育	6歳児「布引ハーブ園」
	12	お誕生日会	12月生まれの園児のお誕生日会
	13	尿検査	3・4・5歳児 ～13日まで
	13	けんこう保育	3歳児「手洗い」
	13	クリスマス会	全園児
	13	さくらコンサート	全園児、保護者
	13	食育	5歳児「献立づくり」
	14	クラス別保護者懇談会	4歳児
	14	クラス別保護者懇談会	3歳児
	14	食育	5歳児「干し芋作り」
	19	クラス別保護者懇談会	2歳児
	19	個人面談	2歳児保護者
	19	身体測定	全園児
	20	食育	旬の食材の話「小松菜」(1・2・3・4・5歳児)
	22	食育	クリスマスケーキ作り(4・5歳児)
	26	緊急事態発生時対応訓練	「窒息発生」0歳児クラス
	4	新年の集い・書初め	全園児
	5	お正月遊びの紹介	2・3・4・5歳児
	6	食育	七草がゆ(1・2・3・4・5歳児)
	6	食育	旬の食材の話「ブリ」(1・2・3・4・5歳児)
	11	お誕生日会	1月生まれの園児のお誕生日会
	12	食育	5歳児「五味体験」
	16	個人面談	1歳児保護者
	16	園外保育	5歳児「プラネタリウム」⇒延期
	16	緊急事態発生時対応訓練	「嘔吐処理対応」
	17	個人面談	3歳すこやか児保護者
	17	食育	防災食について(1・2・3・4・5歳児)
	17	消火・避難訓練	「地震・津波、シェイクアウト」(全園児)
	22	身体測定	2・3・4・5歳児
	23	個人面談	2歳児保護者
23	歯科検診	全園児	
25	身体測定	0歳児	
31	緊急事態発生時対応訓練	「大怪我発生」3歳児クラス	
2 . 1	1	節分会	全園児
2	2	発表会リハーサル	0・1歳児
7	7	発表会リハーサル	2・3歳児
8	8	お誕生日会	2月生まれの園児のお誕生日会
12	12	生活発表会	全園児(灘区民ホール)
14	14	食育	4・5歳児「バレンタインクッキング」
14	14	歯科検診	全園児
14	14	マラソン大会	3・4・5歳児(大和公園)
14	14	食育	5歳児「バレンタインクッキング」
16	16	アート週間	3・4・5歳児 ～3/1まで
20	20	消火・避難訓練	全園児・保護者(地震・園外避難・引き渡し訓練)⇒延期
20	20	マラソン大会	3・4・5歳児(大和公園)⇒延期
26	26	食育	旬の食材の話(1・2・3・4・5歳児)
27	27	園外保育	5歳児「王子動物園」
27	27	緊急事態発生時対応訓練	「窒息発生対応」3歳児
29	29	ひなまつり会	全園児
3 . 2	2	ホームカミングデイ 2	卒園児・5歳児
3 . 2	2	食育	卒園児・5歳児「クッキーづくり」
3 . 2	2	保護者説明会	1回目(全クラス・新入園児対象)
3 . 2	2	個人面談	0歳児保護者
6	6	幼保小連携行事	5歳児「成徳小学校訪問」
6	6	交通安全教室	5歳児
6	6	食育	旬の食材の話(1・2・3・4・5歳児)
6	6	個人面談	1歳児保護者
7	7	消火・避難訓練	全園児・保護者(地震・園外避難・引き渡し訓練)

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
	13	マラソン大会 保護者説明会 お誕生日会	3・4・5歳児（大和公園） 2回目（全クラス・新入園児対象） 3月生まれの園児のお誕生日会
	15	個人面談 けんこう保育 食育	1歳児保護者 5歳児「大切な体と心のお話し」 3歳児「おはしの話」
	11	消火・避難訓練	「不審者対応・園外で遭遇」全園児
	27	園外保育	5歳児「伊丹プラネタリウム・スカイパーク」
	29	おわかれ会	全園児
	30	緊急事態発生時対応訓練	「SIDS発症」0歳児クラス
		特別カリキュラム 英語保育	
5 . 4 . 4]	21		
	28		
5 . 12	19		
	26		
6 . 9	16		
	23		
	30		
7 . 7	21		
	28		
8 . 4	18		
	25		
9 . 8	15		
	22		
	29		
10 . 6	20		
	27		
11 . 17	24		
12 . 1	8		
	15		
	22		
6 . 1 . 12	19		
	26		
2 . 2	9		
	16		
3 . 1	8		
	15		
	22		
5 . 4 . 12	26	音楽リズム	
	5 . 17		
	31		
	6 . 14		

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
		28		
	7.	12		
		19		
	8.	23		
		30		
	9.	20		
		27		
	10.	18		
		25		
	11.	15		
		22		
	12.	6		
		20		
6.	1.	24		
		31		
	2.	7		
		28		
	3.	6		
		13		
			絵画指導	
5.	4.	21		
		5.26		
	6.	9		
		16		
	7.	7		
		14		
	8.	25		
	9.	15		
		29		
	10.	27		
	11.	10		
	12.	8		
		22		
6.	1.	19		
	3.	1		
			キッズミュージカル	
5.	4.	11		
		18		
		25		
	5.	9		
		16		
		23		
	6.	6		
		13		
		20		
	7.	4		
		11		
		18		
	8.	1		
		15		
		22		
	9.	5		
		19		
		26		
	10.	3		
		10		
		24		

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
11 . 7			
	14		
	21		
12 . 5			
	12		
	19		
5 . 1 . 9			
	16		
	23		
2 . 6			
	20		
	27		
3 . 5			
	12		
	19		
		子育て支援事業	
		保育体験	
5 . 5 . 6			2組
	6 . 17		2組
	8 . 5		1組
	9 . 30		1組
		お誕生日会参加	
5 . 6 . 8			1組
	12 . 7		1組
6 . 1 . 11			1組
		わらべうたベビーマッサージ	
5 . 6 . 23			14組（出張保育「マリンキッズ」で実施）
		育児相談・成長測定	
5 . 4 . 7			2組
	6 . 17		2組
	20		2組
	23		14組（出張保育「マリンキッズ」で実施）
	6 . 11		1組
	7 . 5		1組
	8		1組
	29		2組
	9 . 6		1組
	13		1組
	20		1組
	26		1組
	10 . 10		1組
	11 . 11		1組
	12 . 6		2組
	8		3組
	26		3組
6 . 1 . 11			2組
	17		3組
	29		3組
	2 . 7		1組
	3 . 5		1組
	12		2組
		地域交流事業	
		はまだこうえん清掃	
5 . 4 .			3, 5, 10, 11, 14, 18, 20, 24, 27, 28 (各1名)

開 年 月 日	行 事 名	行 事 内 容
5 .	石屋川・石屋川南公園	1, 6, 9, 10, 5, 16, 17, 18, 23, 24, 26 (各1名)
6 .		1, 3, 7, 13, 15, 19, 23, 27 (各1名)
7 .		1, 3, 7, 13, 15, 19, 23, 27 (各1名)
8 .		なし
9 .		7, 8, 12, 15, 20, 22, 26, 27, 30 (各1名)
10 .		6, 12, 16, 17, 18, 19, 24, 30 (各1名)
11 .		1, 2, 7, 14, 15, 16, 21, 22, 24, 28, 29, 30 (各1名)
12 .		1, 4, 6, 8, 11, 12, 15, 19, 22, 26, 27 (各1名)
6 . 1 .		9, 16, 17, 22, 24 (各1名)
2 .		13, 14, 15, 20, 26, 28 (各1名)
3 .		13, 14, 15, 20, 26, 28 (各1名)
5 . 4 .		大和公園
5 .	10, 25 (各1名)	
6 .	1 (1名)	
12 .	18 (1名)	
5 . 4 .	大石東公園	13 (1名)
11 .		16 (1名)
6 . 3 .		7 (2名)
5 . 4 .	大石東公園	10, 20 (各1名)
5 .		2, 9 (各1名)
11 .		7 (1名)
12 .		14, 21, 25, 28 (各1名)
6 . 1 .		9 (1名)
11 .		13, 20 (各1名)

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	内 容
5. 4.	8	事業計画説明会・基本理念研修	職員16名
	26	マニュアル研修①	15名
		嘔吐処理研修	2名
5. 26		マニュアル研修②	16名
6. 20		階層別研修「障害児保育①」	絹田
	23	階層別研修「障害児保育②」	絹田・山本・矢張
7. 4		チューター研修	絹田・矢張・大江・三木
	14	階層別研修「職員指導①」	絹田・矢張・大江
9. 15		階層別研修「障害児保育③」	絹田・山本
10. 20		階層別研修「障害児保育④」	矢張・鳥濱
	24	新任部長研修	久岡師長
11. 2		学び合い研修「アンガーマネジメント」	矢張・小野・濱田・大江
12. 7		学び合い研修「現場で使えるピアノ」	大江・濱田・瀧谷・武田
		階層別研修「職員指導②」	絹田・矢張・大江
	15	階層別研修「まとめ」	絹田・山本
	18	新任部長研修	久岡師長
	22	チューター研修	4名
5. 2. 24		新任主任副主任研修④	山本・矢張
	27	臨時職員会議	11名
3. 8		次年度 新人研修 (法人全体)	1名
	25	次年度 新人研修 (保育部門)	1名
	27	次年度 新人研修 (保育部門②)	2名

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	内 容
5. 5.	22	第1回保育所保健研修会	久岡看護師長
6. 5		公私合同「障害児研修」	梅田保育教諭
	8	フッ化物研修	鳥濱保育教諭
		防火管理者研修 ～9まで	矢張副主任保育教諭
	9	なだ・東灘区職員合同研修	久岡・矢張・高崎・大江
	12	感染症神戸モデル研修	久岡師長
	15	運動会研修	矢張・鳥濱
	23	キャリアアップ研修「乳児保育」	松村保育教諭
	27	公私合同「障害児研修」	山本主任保育教諭
	29	キャリアアップ研修「保育実践」	平林保育教諭
	29	キャリアアップ研修「障害児保育」	梅田保育教諭
7. 8		関西学院講演会・事例検討会	鳥濱・善明・平林
	13	学校関係者と園医嘱託医との懇談会	久岡師長
	14	キャリアアップ研修「障害保育」	梅田保育教諭
	19	キャリアアップ研修「乳児保育」	松村保育教諭
	21	公私合同「障害児研修」	山本主任保育教諭
	25	主任保育士会研修	山本主任保育教諭
	28	キャリアアップ研修「障害児保育」	梅田保育教諭
8. 4		キャリアアップ研修「障害児保育」	山本主任保育教諭
	7	キャリアアップ研修「幼児教育」	平林保育教諭
	8	キャリアアップ研修「幼児教育」	平林保育教諭
	16	キャリアアップ研修「マネジメント」	矢張副主任保育教諭
	17	キャリアアップ研修「マネジメント」	矢張副主任保育教諭
	28	キャリアアップ研修「幼児教育」	平林保育教諭
	28	キャリアアップ研修「幼児教育」	平林保育教諭
9. 1		サポートブックづくり	山本主任保育教諭
	8	キャリアアップ研修「障害児保育」	梅田保育教諭
	15	キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	松村保育教諭
	20	トリプルPに学ぶ前向き子育て	山本・矢張
10. 3		キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	松村保育教諭
	10	キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	山本主任保育教諭
	26	キャリアアップ研修「保育実践」	山本・平林
	30	キャリアアップ研修「マネジメント」	矢張副主任保育教諭
11. 20		キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	山本主任保育教諭
	24	幼保小の学びの接続事業研修会	山本主任保育教諭

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容	内 容
12.	7	学校関係者と園医嘱託医との懇談会	久岡師長
	15	保健指導研修「小児アレルギー疾患の保健指導」	久岡師長
6.	1.	保健指導研修「小児アレルギー疾患の保健指導」	久岡師長
	15	私保連ふたば会「主任保育士部会研修」	山本主任保育教諭
2.	1	つばめプロジェクト	山本主任保育教諭
3.	4	管理栄養士研修	三木厨房職員
	6	つばめプロジェクト	山本主任保育教諭

状 況

講 師 名
山本主任保育教諭
山本主任保育教諭
久岡看護師長
山本主任保育教諭
聖和／立花先生
聖和／立花先生
種村先生
聖和／立花先生
聖和／立花先生
聖和／立花先生
馬場施設長
羽柴保育教諭
太田主任保育教諭
聖和／立花先生
聖和／立花先生
馬場施設長
絹田統括
立坂統括
法人本部
法人本部、絹田・宇陀施設長
施設長6名
絹田・兼本施設長

実 施 場 所
阿倍野会館
けんみんホール
神戸市総合福祉センター
明石市勤労福祉会館
ポートピアホテル
リモート
神戸常磐アリーナ
神戸ポートオアシス
けんみんホール
あすてっぶ神戸
けんみんホール
関西学院こどもセンター
灘区医師会館
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
けんみんホール
あすてっぶ神戸
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
ポートピアホテル
ポートピアホテル
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
ポートピアホテル
ポートピアホテル
灘区役所
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
灘区役所
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
あすてっぶ神戸
神戸ポートオアシス
神戸ポートオアシス
総合教育センター

実 施 場 所

灘区医師会館

リモート

リモート

総合福祉センター

総合教育センター

リモート

総合教育センター

各 委 員 会 開 催 状 況

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
5 . 4 . 25		1 施設長会議 ＊基本理念の周知徹底 ＊事業計画・各委員会の進捗状況 ＊各事業所運営上の課題・問題点 ＊本部事務連絡について
7 . 22		
10 . 28		
6 . 2 . 24		
5 . 4 . 27		2 児童施設運営会議 試算表の見方及び平成29年度当初予算・3月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点 中止 5月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 6月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 7月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 8月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 9月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 10月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 11月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 12月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 1月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 中止
5 .		
6 . 28		
7 . 28		
8 . 25		
9 . 22		
10 . 27		
11 . 29		
12 . 22		
6 . 1 . 26		
2 . 29		
3 .		
5 . 5 . 24		3 経営計画検証委員会 ＊委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について ＊第4期経営5か年計画進捗状況の検証と第5期5か年計画の策定
7 . 11		
9 . 26		
11 . 28		
6 . 1 . 31		
5 . 5 . 9		4 保育部門苦情解決委員会 令和4年度の苦情関係の第三者委員への報告 くるみ保育園の案件について
11 . 27		
5 . 4 . 4		5 合同園長会 ＊各園の現状報告 ＊課題の分析と対応
5 . 9		
6 . 7		
7 . 5		
8 . 3		
9 . 11		
10 .		
11 .		
12 . 7		
5 . 1 . 10		
2 .		
3 .		
5 . 4 . 22		6 保育部門 ① 合同主任会議 ＊各専門部門の現状報告・課題の分析と対応 中止
5 . 19		
6 . 26		
7 . 20		
8 . 25		
9 . 22		
10 . 11		
11 . 29		
12 . 14		

開 年 月 日	催 月 日	活 動 内 容
6. 1. 26	2. 22	
	3. 28	
4. 5. 16	7. 20	② 合同副主任会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 ⇒ リモート
	11. 17	*保育内容検討 *業務分担表の作成
4. 5. 26	5. 3. 2	③ 合同主任・副主任会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *全体の計画の内容検討 *業務分担表の作成
4. 6. 10	5. 3. 22	④ 合同厨房会議 ⇒ リモート ⇒ 中止
4. 6. 10	12. 15	⑤ 厨房リーダー会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *献立表の作成
5. 3. 6		
4. 4. 5	5. 15	⑥ 合同看護会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 *ネウボラの活動報告
	6. 20	
	7. 18	⇒ 一部リモート
	8. 23	⇒ 中止
	9. 19	⇒ 中止
	10. 17	
	11. 21	
	12. 19	
6. 1. 21	2. 21	
	3. 19	
4. 4. 26	5. 26	7 スタッフ会議 *来月の予定確認、1ヵ月の各クラス・委員会報告
	7. 3	
	7. 8	
	8. 22	
	9. 20	
	10. 13	
	11. 21	
	12. 26	
5. 1. 23	2. 27	
	3. 4	来年度に向けての打合せ
5. 4. 14	5. 26	8 保育園運営委員会 *教育・保育の確認
	7. 3	*研修計画確認、すこやか児対応確認
	7. 8	*人事考課面談予定確認
	8. 22	
	9. 20	
	10. 17	
	11. 21	*新人研修振り返り
	12. 26	*新年度にむけて確認
6. 1. 31	2. 27	
	3. 4	

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
5. 7. 8	11. 21	9 保育内容検討委員会 *クラス状況報告 *今年度のクラスの方針および次期の課題の対応
6 1. 31	3. 4	*今年度のまとめ
5. 4. 8	5. 1	10 クラス会議他
7. 3	8. 1	① 0歳児クラス *子どもの育ちの共有と支援について
8. 22	10. 13	*クラス運営について *保護者との連携について
10 21	11. 17	中止
12. 7	6. 1. 22	中止
2. 1	3. 4	中止
5. 4. 28	5. 26	② 1歳児クラス *子どもの育ちの共有と支援について
7. 3	7. 18	*クラス運営について *保護者との連携について
8. 22	9 20	
10 13	11. 2	中止
12. 6	5. 1. 11	中止
2. 1	3. 4	中止
5. 4. 8	5. 1	③ 2歳児クラス *子どもの育ちの共有と支援について
7. 3	7. 8	*クラス運営について *保護者との連携について
8. 1	9 1	
10. 13	11. 1	
12. 6	5. 1. 10	中止
2. 1	3. 4	中止
5. 4. 8	5. 8	④ 幼児クラス *子どもの育ちの共有と支援について
6. 16	7. 8	*クラス運営について *保護者との連携について
8. 22	9. 20	*クラス間の連携の確認
10 13	11. 9	
12. 11		

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
6. 1. 11		
	2. 1	中止
	3. 4	中止
		11 サービス評価委員会
5. 4. 8		*各委員会の進捗状況の確認、課題整理
	8. 22	*保護者アンケートの準備と集計・分析、自己評価の実施
	11. 24	*保護者アンケートの集計・分析
6. 3. 15		
		12 環境研究委員会
5. 4. 27		*年間計画、安全計画作成
	5. 30	
	6. 13	
	7. 31	*安全点検について
	8. 10	
	9. 9	
	10. 13	
	11. 27	*マニュアル見直し
	12. 14	
6. 1. 25		
	2. 2	
	3. 11	
		13 食育研究委員会
5. 4. 14		*昼食献立について個別対応
	5. 26	*昼食量について個別対応検証
	7. 3	*食事の状況（アレルギー・離乳食）
	7. 8	
	8. 22	*マニュアル見直し
	9. 20	
	10. 17	
	11. 21	
	12. 26	
6. 1. 31		
	2. 27	
	3. 4	
		14 絵本研究委員会
5. 4. 19		*年間計画作成
	5. 24	*園だより、機関誌、HP
	6. 16	*マニュアル見直し
	7. 21	*絵本の整理
	8. 22	→傷んだ絵本の修理
	9. 28	→貸し出しシステムの変更「子どもがわかる」
	10. 23	「さくらとしょかん」のコーナーの飾りつけ
	11. 13	
	12. 21	
6. 1. 24		
	2. 22	
	3. 21	
		15 子育てサポート委員会
5. 4. 14		*年間活動内容の確認、役割分担について
	5. 17	*マニュアル見直し
	10. 18	*地域の祖育てサークルへの出張保育
6. 3. 15		

開 年	催 月 日	活 動 内 容
5.	4. 26	16 保健研究委員会 *年間活動内容の確認、役割分担について *園内共有部分の掃除の進め方 *反省と今後の活動内容について *けんこう保育 *マニュアル見直し
	5. 26	
	6. 21	
	7. 20	
	8. 22	
	9. 21	
	10. 23	
	11. 15	
	12. 13	
6.	1. 22	
	2. 27	
	3. 15	
5.	4. 26	17 保育園職員委員会 *年間活動内容の確認 *人権について考える（グループワーク形式） *職員アンケートの実施 *今年度のまとめ
	5. 26	
	7. 3	
	7. 8	
	8. 22	
	9. 20	
	10. 13	
	11. 21	
	12. 26	
6.	1. 31	
	2. 27	
	3. 4	
5.	4. 12	18 衛生推進委員会 衛生推進委員会の役割について 中止
	8. 22	
	12. 22	
6.	3. 15	衛生チェック
6.	2. 14	19 臨時職員会議

令和5年度

地 区 関 係

実 施 年 月 日	内 容	派遣者名	派遣場所
5. 5. 19	出張保育 (ネウボラセリジェ)	山本主任 保育教諭	パンダっこクラブ
5. 6. 23	出張保育 (ネウボラセリジェ)	松村 保育教諭	マリンキッズ

令和5年度

ボ ラ ン テ ィ ア 稼 働 実 績

稼 働 年 月 日	摘 要
5. 7. 15	聖和短大1年生 千野さん
11. 21	武庫川女子大学1年生 角野さん
12. 4	武庫川女子大学2年生 角野さん
12. 27	兵庫大学3年生 高木さん、高田さん ~12/28まで

令和5年度

職 員 福 利 厚 生 関 係

実 施 年 月 日	内 容	備 考
5. 5. 11. 24	職員インフルエンザ接種 18名	櫻ホーム診療所 大阪健康倶楽部 大阪健康倶楽部 各診療所
12. 1	~10日まで 職員ストレスチェック実施 22名	
6. 2 20	職員健康診断 18名	
	職員健康診断 (別日受診) 5名	

令和5年度

見 学 ・ 実 習 等 受 入 れ 状 況

受 入 年 月 日	内 容
	見学者
5. 4.	8・18・24・25 (各1組)
5.	6日 (2組)
6.	7・19・30 (各1組)
7.	13・24・31(各1組)
8.	22 (1組)
9.	なし
10.	なし
11.	なし
5. 2.	9・13 (各1組)
3.	なし
	実習生
5. 8. 17	兵庫大学1回生 (社会福祉学科) 5名 ~8日まで
8. 28	関西国際大学3年生1名 ~9/7まで
~ 13	
5. 2. 14	兵庫大学1回生 (社会福祉学科) 4名
~ 17	
	トライやるウィーク
5. 10. 30	神戸市立鷹匠中学校2年生 1名 ~11/1まで
11. 6	神戸市立渚中学2年生2名 神戸市立烏帽子中学2年生2名 ~11/10まで

稼 年 月 日	動 摘 要
5. 7. 25 8. 7 11	ワークキャンプ 東灘高校1名 烏帽子中学1名 ~27日まで 神戸親和女子高校1名 ~9日まで

令和4年度 感染症罹患状況

施設名 神戸さくら保育園

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
		園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児
学校保健法 伝染病	第2種	1 インフルエンザ																	9名	1名	10名	1名			19名	2名		
		2 百日咳																								0名	0名	
		3 麻疹 (はしか)																									0名	0名
		4 風疹 (三日はしか)																									0名	0名
		5 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)																									0名	0名
		6 水痘 (水ぼうそう)													1名												1名	0名
		7 咽頭結膜熱 (プール熱)																									0名	0名
		8 結核																									0名	0名
	第3種	9 流行性角結膜炎 (はやり目)																									0名	0名
		10 急性出血性結膜炎																									0名	0名
		11 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																									0名	0名
	その他	12 伝染性紅斑 (りんご病)																									0名	0名
		13 溶連菌感染症																									0名	0名
		14 流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)			6名		7名							1名			2名	1名	24名	1名	1名						41名	2名
		15 手足口病											4名														4名	0名
		16 マイコプラズマ感染症																									0名	0名
		17 ヘルパンギーナ																									0名	0名
		18 アタマジラミ																									0名	0名
	19 伝染性膿痂疹 (とびひ)																									0名	0名	
その他感染症	20 R S ウィルス感染症			1名			2名				2名		1名											2名		8名	0名	
	21 アデノウィルス感染症								1名		1名															2名	0名	
	22 突発性発疹			1名																			2名			3名	0名	
	23 新型コロナウイルス感染症	2名						8名	1名						3名		4名		1名							18名	1名	
合計		2名	0名	8名	0名	7名	0名	10名	1名	1名	0名	8名	0名	2名	0名	5名	1名	28名	1名	11名	1名	10名	1名	4名	0名	96名	5名	

令和 5 年度 事業報告書

幼保連携型認定こども園 西宮セリジェ保育園【定員：105名（1号 15名、2・3号 90名）】						
稼働状況			目標	実績	差異	
	入所	1号	稼働率	20.30%	47.20%	26.90%
			人数	3.00名	7.08名	4.08名
		2・3号	稼働率	118.90%	119.90%	1.00%
			人数	107.01名	107.91名	0.90名
		合算	稼働率	104.77%	108.64%	3.87%
			人数	110.01名	114.08名	4.07名
	延長保育利用者数			—	1295名	—
	一時保育利用者数			300名	480名	180名
	休日保育利用者数			300名	716名	416名
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実 ⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たす ⑧ 職員が成長する職場づくり 					
総括	<p>本年度の事業運営状況は、1号定員15名、年間稼働率41.11%で予算目標稼働率20.30%に対して20.81%の増、2号・3号定員90名、年間稼働率119.81%で予算目標稼働率118.90%に対して0.91%の増、合算定員105名、年間稼働率108.57%で予算目標稼働率104.77%に対して、3.80%の増であり、予算達成した。</p> <p>一時預かり保育事業は、年間目標300名に対し、年間利用者数480名で180名の増であり、目標は達成した。休日保育事業は年間目標300名に対し、年間利用者数716名で416名の増であり、目標は達成した。また、延長保育事業は年間1,295名（月平均107.9名）の利用があった。</p> <p>③ 子どもの人権擁護の取組み</p> <p>毎月のスタッフ会議で園内研修を実施した。子どもへの関わりの中で困った場面や人権擁護のためのセルフチェックを実施する前に項目の内容についてグループワークを行った。グループを経験年数で分けることで、1～2年目の職員が意見を出しやすくなり、また、経験年数毎の意見が学びになった。先輩職員の意見を聞くことで、後輩職員が育ち、看護師と厨房職員との連携にも繋がった。なお、子どもの権利条約等の資料を用いて子どもの人権や不適切な関わりについて考える研修も行った。</p> <p>それらの園内研修を実施することで、子どもへの関わりや言葉掛けを意識する職員の姿が見られるようになった。</p> <p>⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実</p> <p>「新型コロナウイルス感染症」は感染症法の2類相当から5類に移行したが、コロナ前のように活動を実施するのではなく、少しずつ、地域の方が参加できる活動や行事を増やした。看護師による成長測定は毎月定期的に来てくださる方がおり、子どもの成長についてのお話をする等、成長測定以外の関わりもできた。また、夏まつりや移動動物園等の行事に参加する方の中で1号認定児の入園や一時預かり保育の利用にも繋がった。</p> <p>⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たす</p> <p>休日保育の実施は西宮市内で2園しかしておらず、ニーズが高い。本年度は1～2歳児の利用が多かったため、他園からアルバイトとして職員を調整し、1日13～15名の受入れ体制を整えたことで、目標の2倍の利用があった。また、一時預かり保育については、昨年度からの継続利用がなかったが夏頃から問合せが増えた。特に1歳児の利用が多かった。在園児の出席状況から受入れ人数を増やしたことで、目標の1.5倍の利用があった。引き続き、休日保育・一時預かり保育のどちらも地域のニーズに合わせた受入れ体制を整え対応する。</p>					

令和 5 年度

事業報告書

幼保連携型認定こども園 西宮セリジェ保育園

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

〈重点項目〉

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実
- ⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たしていく
- ⑧ 職員が成長する職場づくり

本年度は、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園 6 園共通の課題に取り組む計画を立ててスタートした。

本年度の事業運営状況は、1 号定員 15 名、年間稼働率 41.11% で予算目標稼働率 20.30% に対して 20.81% の増、2 号・3 号定員 90 名、年間稼働率 119.81% で予算目標稼働率 118.90% に対して 0.91% の増、合算定員 105 名、年間稼働率 108.57% で予算目標稼働率 104.77% に対して、3.80% の増であり、予算達成した。

一時預かり保育事業は、年間目標 300 名に対し、年間利用者数 480 名で 180 名の増であり、目標は達成した。休日保育事業は年間目標 300 名に対し、年間利用者数 716 名で 416 名の増であり、目標は達成した。また、延長保育事業は年間 1,295 名（月平均 107.9 名）の利用があった。

1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価及び第 5 期経営 5 年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 年計画の最終年度に取り組んだ。「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の 2 類相当から 5 類移行に伴い、幼児クラスが公共交通機関を利用して園外教育・保育に出掛けたり、保護者や地域参加の行事を増やしたりと事業推進はコロナ以前に戻りつつ行えた。次年度は、さらに「地域貢献の積極的展開」「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」という 3 つの柱を実施できるようにしていく。これからの少子時代という厳しい状況においても、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」となるよう、事業を推進する。

2 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実

本年度も、「子ども・保護者・職員の 3 者（＝トライアングル）」のそれぞれが尊重され、信頼関係のもと保育園で充実した毎日を送れる教育・保育をコロナ感染防止対策の中で行い、子どもたちの育ちを支える教育・保育の充実に努めた。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる教育・保育をおこなう

5 月より「新型コロナウイルス感染症」が 5 類移行となったが、完全終息ではないことから、子どもたちの健康状態を把握し、各種感染症予防対策を行いながら、一人一人の子どもの思い・育ち・生活リズム等を尊重し、安心して過ごせるようにした。結果、いくつかの感染症の発生はあったが感染が拡大することなく元気に意欲的に過ごすことができた。幼児クラスでは、成長していく中での友達関係に関する保護者からの相談が数件あったが、各クラス内で対話の時間を大切にし、グループ活動を増やす等友達と過ごす心地よさ・楽しさを感じる関りを心掛けた。そういった活動から、自分の思いを伝えること、相手に思いが伝わることの喜びを感じ、相手の思いにも気付く姿に繋がった。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる教育・保育を行う

日々の連絡ノートや口頭でのやり取りだけでなく、ドキュメントシートやよい子ネットで、活動によってどのような育ちに繋がるのかを伝え、子どもの成長の喜びを共感した。しかし、「保護者満足度調査」でドキュメントシートの認識が低かったことがあったので、次年度は、ドキュメントシートの内容や掲示場所などを再検討し、育ちを伝えるドキュメントシートとしての認識を高めるとともに、他クラスの活動を知ることによって育ちの連続性も伝えられるようにする。

3) 職員が“教育・保育に携わる喜びを感じる”教育・保育を日々の活動の中で実践し、検証することから教育・保育の質の向上を目指す

教育・保育者が季節の行事や日本の伝統文化に対する知識を深め、子どもが様々な経験を重ねられるように教育・保育に取り入れてきた。年度末には次年度に繋がるように、今後の行事の進め方を、話合った。

3 子どもの人権擁護の取組み

法人保育園合同研修として、「子どもの人権擁護を考える part6」に取り組んだ。「人権勉強会」を園内で「保育園職員委員会」が主となり毎月開催し、全職員で学び、子ども主体の教育・保育体制が保たれているか細やかな振り返りを行なった。この取組みを実施することにより、職員全体の子どもの人権擁護に対する考え方を専門職として深めることで、職員相互でのチェック機能を強化することにより、園内で不適切な関りが発生することがないように徹底した。毎月のスタッフ会議で園内研修を実施した。子どもへの関わりの中で困った場面や「人権擁護のためのセルフチェック」を実施する前に項目の内容についてグループワークを行った。その他、子どもの権利条約等の資料を用いて子どもの人権や不適切な関わりについて考える研修を実施した。それらの園内研修を実施することで、子どもへの関わりや言葉掛けを意識する職員の姿が見られるようになった。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取組み、子どもの命を守る。

子どもの成長を把握する「身体測定」「各健診」を定期的実施した。その結果は、速やかに保護者と共有し、子どもの健康管理に努めた。

2) 感染症対策

季節性感染症が時季外れに発症し、年間を通して感染症対策が必要であった。子どもの過ごす生活環境を衛生面の徹底を中心に整えた。幼児クラスの子どもの職員のマスク着用については、慎重に判断し、教育・保育を行った。園内の（教材・玩具類及び備品含む）消毒作業は、継続する。

3) 感染症発症時の対応

「感染症発生状況のお知らせ」を掲示し、罹患者が特定できないように配慮しつつ、保護者に周知した。引続きその他関係者との連携を強化し、非常事態発生時の連絡・情報共有を確実にを行い、子どもの健康管理及び事業運営が継続できる体制を整える仕組みを構築する。

4) 「感染症対策チーム」による体制の強化

保健・衛生に関する施設内研修として「コロナが2類相当から5類へ」「夏に感染しやすい感染症」「感染症クイズ」を看護員が中心となり実施した。実施後は児童部門看護会議内で、結果の共有と各園の検証をした。

【緊急事態発生時対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月 3日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
5月 25日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
6月 30日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡、エピペン
7月 26日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
8月 10日	けいれん発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡、知識習得確認①
9月 14日	大けが発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
10月 25日	アナフィラキシー発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡、エピペン
11月 27日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡、知識習得確認②
12月 27日	けいれん発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
令和6年 1月 19日	大けが発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡
2月 27日	てんかんけいれん発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡、ブコラム
3月 14日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

1) 安心できる教育・保育環境の整備に力を入れた

子どもの安全管理に関する活動を定期的に行い保護者と共有した。また、当法人保育園の「防災マニュアル」に基づき、西宮セリジェ保育園に最も適した災害対策を考え毎月の消火・避難訓練を通して子どもたちの命を守る体制を万全にした。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月 19日	集合・消火	平日午前（園児名職員名） 放送に従い、保育室内の安全な場所に集合した。
5月 24日	火災・消火	平日午前（園児名、職員名） 放送に従い園内階段で玄関ホールまで避難した。幼児は防災頭巾を着用して避難した。「おはしも」を伝えた。保護者によりコネットを訓練を送信した。
6月 21日	地震・消火	平日午前（園児名、職員名） 放送に従い保育室内の安全な場所で身を守り、二次避難で園内階段で2階ホールまで避難した。
7月 31日	地震・消火	平日午前（園児名、職員名）密を避けるため、幼児のみ参加 放送に従い、外階段を使用し園舎東側の駐車場に避難した。幼児は防災頭巾を着用して避難した。防災教室は参加する予定の消防士がコロナ感染の為、中止
8月 16日	台風水害 ・消火	平日午前中（園児名、職員名） 放送に従い3階屋上に避難した。
9月 14日	不審者対応 (園内)	平日午前（園児名、職員名） 放送に従い子どもの安全を確保し、各クラスでカーテンを閉め、出入り口にイスなどを置き侵入防止対応をした。子どもたちに「いかのおすし」を伝えた。
10月 11日 28日	火災・消火 (少人数)	土曜日午前（園児名、職員名） 少人数を想定して土曜日に訓練を行った。
11月 20日	火災・消火 (少人数)	土曜日午前（園児名、職員名） 少人数を想定して土曜日に訓練を行った。
12月 27日	火災・消火	平日午前（園児名、職員名） 屋上から出火を想定し、外階段等の避難経路を使って1F駐車場へ避難した。

令和6年 1月17日	地震・津波	平日午前（園児名、職員名） 地震による二次災害を想定し防災頭巾を着用して屋上に避難した。
2月14日	火災・消火 (少人数)	平日午後（園児役職員名、職員役職員名）園児役と職員役の担当を決め、実施した。 早朝を想定しての避難訓練をした。
3月29日	不審者対応 (園外)	平日午前（園児名、職員名） 散歩に行っているクラスからの電話連絡で、保育園から保育教諭 数名は迎えに行く。また、園の方に向かっているという連絡で園内も不審者対応の体制を取り、各クラスで出入り口にイスなどを置き侵入防止対応をした。子どもたちに「いかのおすし」を伝えた。

2) 施設内外の安全管理対策は環境研究委員会が中心となり、毎月の安全点検、事故報告書の集計と考察、期毎のヒヤリハットの検証を行い、改善策を話合った。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実

5月以降も、成長測定やお誕生日会カードプレゼント、教育・保育体験など地域の方に向けた活動や行事を少しずつ再開した。看護師による成長測定は毎月参加の方もあり、子どもの成長を話合うなど成長測定以外の関わりもできた。また、夏まつりや移動動物園等の行事に参加する方の中から1号認定児の入園や一時預かり保育利用にも繋がった。なお、甲子園口青少年愛護協会の定例会には毎月参加し、情報交換や自園での活動等を伝えた。

7 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される幼保連携型認定こども園の役割を果たす

安定した保育園運営を継続させるために、予算稼働率120%の達成に向け、入所園児の確保の他、一時預かり・延長保育の各事業に取り組んだ。休日保育の実施は西宮市内で2園しかしておらず、ニーズが高い。本年度は1・2歳児の利用が多かったため、他園からアルバイトとして職員を調整し、1日13～15名の受入れ体制を整えたことで、目標の2倍の利用があった。また、一時預かり保育については、昨年度からの継続利用がなかったが夏頃から問合せが増えた。特に1歳児の利用が多かった。在園児の出席状況から受入れ人数を増やしたことで、目標の1.5倍の利用があった。引き続き、休日保育・一時預かり保育のどちらも地域のニーズに合わせた受入れ体制を整え対応する。

地域の清掃活動日や町内会の戸崎公園清掃日には参加し掃除をするとともに近隣の方とのコミュニケーションから当園の取組みや現況を伝えた。「地域に認めてもらう施設」になるように次年度も引き続き行う。

8 職員が成長する職場づくり

スタッフ会議内で園内研修を実施した。基本理念や子どもへの関わりについて、エピソード研修を実施した。グループを経験年数で分けることで、1～2年目の職員が意見を出しやすくなり、また経験年数毎の意見が学びになった。先輩職員の意見を聞くことで、後輩職員が育ち、看護師と厨房職員との連携にも繋がった。また、西宮市のキャリアアップ研修にも中堅職員が参加し、専門性を高めることができた。

【階層別研修・中堅職員の育成】 スーパーバイザー：聖和短期大学／立花先生

回数	日時	研修内容
第1回	令和5年 6月 2日	障害児保育①
第2回	20日	障害児保育②・巡回指導
第3回	23日	障害児保育③・巡回指導
第4回	7月14日	新人育成①
第5回	9月15日	障害児保育④
第6回	10月20日	障害児保育⑤
第7回	12月 8日	新人育成②
第8回	15日	検証

4) 園内委員会

従事職員一人一人に事業運営を分担し、全職員が主体的に活動に取り組み、それが子どもたちの育ちに繋がることを意識しながら責任を持って業務に取り組んだ。保育園職員委員会は、人権研修の計画や職員間の「今月の目標」を立て、毎月のスタッフ会議で研修を行い子ども主体の教育・保育の実践や職員の社会性の向上に繋げた。

5) 人事考課制度の効果的運用

業務に対する自己評価及び評価者との面接等を通して自己の業務についての分析、目的意識の明確化を図り、向上心を培う一助であることを理解し、考課者は、信頼関係の構築から始め、キャリアパス及び職員一人一人の資質を捉えた職員育成を行った。

令和5年度

行 事 実 施 状 況

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
5.	4.	3	緊急事態発生訓練	SIDS
		11	身体測定	4歳児
		12	身体測定	2歳児
			お誕生日会・はじめまして会	全園児
		13	身体測定	3・5歳児
		17	身体測定	1歳児
		18	身体測定	0歳児
		19	消火・避難訓練	集合
		25	月例内科健診	該当児
		26	クラス懇談会	0歳児
		27	クラス懇談会	1歳児
		28	クラス懇談会	2歳児
			けんこう保育	「正しい手の洗い方」2歳児
5.	1		こどもの日の会	全園児
		8	身体測定	3・5歳児
		10	身体測定	1歳児
			お誕生日会	全園児
		11	身体測定	0歳児
		12	身体測定	2歳児
		16	身体測定	4歳児
		18	月例内科健診	該当児
		23	けんこう保育	「上手に手を洗おう」4歳児
		24	消火・避難訓練	火災
		25	けんこう保育	「上手に手を洗おう」3歳児
			緊急事態発生訓練	SIDS
		26	遠足	北山緑化植物園 5歳児
		29	視力検査	3歳児
		31	けんこう保育	「上手に手を洗おう」5歳児
		27	遠足	貝類館 5歳児
		31	けんこう保育	「上手に手を洗おう」2歳児
6.	1		視力検査	5歳児
		5	視力検査	4歳児
			身体測定	4歳児
		6	身体測定	0歳児
		7	眼科健診	全園児
		8	動物園ごっこ	3・4歳児
		9	時の記念日のお話	3・4・5歳児
			身体測定	2歳児
		12	身体測定	3・5歳児
		13	身体測定	1歳児
		14	誕生日会	全園児
			眼科健診（予備日）	前回欠席者
		16	月例内科健診	該当児
		21	眼科健診（予備日）	前回欠席者
		22	消火・避難訓練	地震
		22	食育	「スプーンの持ち方」 3歳児
		23	食育	旬の食材「トマト」 1～5歳児
		26	けんこう保育	「お口の中をきれいにしよう」 3歳児
		27	けんこう保育	「お口の中をきれいにしよう」 5歳児
			食育	「食事マナー」4歳児
		28	眼科健診（予備日）	前回欠席者
		29	けんこう保育	「お口の中をきれいにしよう」 4歳児
		30	緊急事態発生訓練	アナフィラキシー
7.	3		身体測定	4歳児
		4	身体測定	0・3歳児
			聴力検査	5歳児
		5	聴力検査	4歳児

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
	7	身体測定 七夕会	5歳児 全園児
5.	7.	7 食育	「七夕そうめん」全園児
		10 プール開き	2～5歳児
		けんこう保育	「プライベートゾーン」3～5歳児
		11 耳鼻科健診	全園児
		12 誕生日会	全園児
		身体測定	1・2歳児
		13 月例内科健診	該当児
		21 遠足	貝類館 5歳児
		26 緊急事態発生訓練	SIDS
		29 ホームカミングデー	5歳児・卒園児
		食育	「ミックスジュース作り」 5歳児・卒園児
		31 消火・避難訓練	火災
8.	7	身体測定	1・3歳児
		9 誕生日会	全園児
		身体測定	2・5歳児
		16 消火・避難訓練	風水害
		17 身体測定	4歳児
		21 月例内科健診	該当児
		身体測定	0歳児
		25 夏まつり	全園児
		28 けんこう保育	「ロッカーの使い方」 4・5歳児
		29 食育	「やさいスタンプ」 2歳児
		緊急事態発生訓練	てんかん
		31 プールじまい	3～5歳児
9.	1	食育	「防災食のお話」 3～5歳児
		5 歯科健診	全園児
		6 運動会リハーサル	0・1歳児
		身体測定	3歳児
		7 身体測定	1歳児
		食育	「やさいスタンプ」 1歳児
		8 遠足	西宮市交通公園 5歳児
		身体測定	0歳児
		11 身体測定	2歳児
		12 身体測定	4歳児
		13 身体測定	5歳児
		食育	「ポップコーン作り見学」 2歳児
		14 誕生日会	全園児
		緊急事態発生訓練	大けが
		16 運動会	0・1歳児
		19 月例内科健診	該当児
		21 けんこう保育	「けがの応急手当でのお話」 4・5歳児
		22 食育	旬の食材「かぼちゃ」 1～5歳児
		29 お月見会	全園児
10.	5	児童交流会	5歳児
		身体測定	3・4歳児
		10 身体測定	1歳児
		17 誕生日会	全園児
		身体測定	0歳児
		18 運動会	2～5歳児
		19 食育	「箸の持ち方」 3歳児
		食育	旬の食材「さつまいも」 1～5歳児
		20 遠足	いもほり 3歳児
		身体測定	2歳児
		23 遠足	いもほり 4歳児
		25 食育	「食器のお話」 5歳児
		緊急事態発生訓練	アナフィラキシー
		28 消火・避難訓練	火災・少人数
		30 けんこう保育	「目耳鼻を大切にしよう」 3～5歳児
		秋まつり1日目	全園児

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
11. 6	31	秋まつり 2 日目 身体測定	全園児 2歳児
5. 11. 6		食育	「さつまいも茶巾しぼり」 3・4歳児
	7	身体測定	0歳児
	8	誕生日会 身体測定	全園児 3歳児
	9	身体測定	1歳児
	10	身体測定	4・5歳児
	17	月例内科健診	該当児
	20	消火・避難訓練	地震・津波
		食育	「さつまいも茶巾しぼり」 5歳児
	22	食育	「三色食品群」 5歳児
	27	緊急事態発生訓練	SIDS
	29	交通安全教室	3～5歳児
		食育	「お箸の持ち方」 4歳児
	30	遠足	北山緑化植物園 5歳児
		けんこう保育	「いいうんち わるいうんち」 3・4歳児
12. 4		クラス懇談会	3歳児クラス
		身体測定	1歳児
	5	身体測定	0歳児
	7	身体測定	3歳児
	11	クラス懇談会	0歳児クラス
		食育	「三色食品群」 5歳児
	12	食育	「キャベツちぎり」 5歳児
		クラス懇談会	1歳児クラス
		身体測定	4・5歳児
	13	移動動物園	全園児
	14	誕生日会 身体測定	全園児 2歳児
		クラス懇談会	2歳児クラス
	18	月例内科健診	該当児
	19	クラス懇談会	4歳児クラス
	20	クラス懇談会	5歳児クラス
		クラルテ劇鑑賞会	全園児
		食育	「献立をつくってみよう」 5歳児
	21	けんこう保育	ぶくぶくうがい 2歳児
	22	遠足	プラネタリウム 5歳児
	25	クリスマス会	全園児
		食育	「クリスマスケーキ作り」 3～5歳児
	27	消火・避難訓練 緊急事態発生訓練	火災 SIDS
	28	けんこう保育	「人権ってなに？」 3～5歳児
6. 1 4		書初め	全園児
		食育	七草がゆ 全園児
	9	身体測定	2歳児
	10	誕生日会	全園児
	11	身体測定	1歳児
	12	身体測定	4歳児
	15	身体測定	5歳児
	16	身体測定	0歳児
	17	消火・避難訓練	地震
	18	生活発表会リハーサル	2～5歳児
	19	緊急事態発生訓練	大けが
	27	生活発表会	2～5歳児
	31	生活発表会リハーサル	0・1歳児
2 2		節分会	全園児
		食育	「節分の食べ物」 3～5歳児
	3	生活発表会	0・1歳児
	7	身体測定	2歳児
	8	身体測定	1歳児
	9	身体測定	3～5歳児

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
		13	身体測定 月例内科健診	0歳児 該当児
6.	2.	14	誕生日会	全園児
		15	食育	「お箸の持ち方」 3歳児
		17	ホームカミングデー	5歳児・卒園児
		27	緊急事態発生訓練	てんかん
3.	1.		ひなまつり会	全園児
		4	小学校交流会	上甲子園小学校 5歳児
		5	身体測定	1歳児
			けんこう保育	「お口のなかをきれいにしよう」 5歳児
		6	身体測定	3・5歳児
			けんこう保育	「お口のなかをきれいにしよう」 4歳児
		8	お別れ遠足	みやっこキッズダム 5歳児
		11	身体測定	4歳児
		11	食育	リクエストメニュー 全園児 (5歳児考案) 11～15日
		13	身体測定	0・2歳児
		14	お店屋さんごっこ	全園児
		19	月例内科健診	該当児
		22	けんこう保育	「お口のなかをきれいにしよう」 3歳児
		25	けんこう保育	「ありがとうのお掃除」 3～5歳児
		27	お別れ会	全園児
			緊急事態発生訓練	SIDS
			食育	「収穫した人参」 5歳児
		29	消火・避難訓練	園外
			特別カリキュラム	
5.	4.	17	音楽リズム	
		24		
		5.		
		22		
		29		
		6.		
		19		
		26		
		7.		
		3		
		31		
		8.		
		7		
		28		
		9.		
		11		
		25		
		10.		
		2		
		16		
		11.		
		6		
		27		
		12.		
		11		
		27		
6.	1.	9		
		22		
		2.		
		5		
		19		
		3.		
		11		
		5/18		
5.	4.	7	キッズミュージカル	
		7/14		
		21		
		5.		
		12		
		19		
		26		
		6.		
		2		
		9		
		29		
		7.		
		14		
		21		

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
		28		
	8.	4		
		16		
		18		
	9.	1		
		15		
		22		
	10.	6		
		13		
		27		
	11.	10		
		17		
		24		
	12.	1		
		8		
		15		
	6.	1.		
		12		
		19		
		26		
	2.	9		
		16		
		28		
	3.	8		
		15		
		29		
	7.	5		
		12		
		19		
		26		
	8.	2		
		9		
		23		
	9.	6		
		13		
		20		
		27		
	10.	4		
		11		
		18		
		25		
	11.	8		
		15		
		22		
		29		
	12.	6		
		13		
		27		
	5.	1.		
		10		
		17		
		24		
		31		
	2.	7		
		14		
		21		
		28		
	3.	7		
		14		
		28		
	5.	4.	絵画活動	
		20		

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	6. 15 7. 6		
	20 9. 21 10. 19 11. 16 12. 7 21 6. 2. 7 3. 7	英語保育	
	5. 4. 4 11 18 25 5. 9 16 8 23 30 6. 6 13 20 27 7. 4 11 18 25 8. 1 8 22 29 9. 5 12 19 26 10. 3 10 17 24 11. 7 14 21 12. 5 12 19 26 6. 1. 9 16 23 30 2. 6 13 20 27 3. 5 12 19 26		
	5. 4. 14 28	子育て支援事業 見学・育児相談	2組 1組

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	5. 19		2組
	20		1組
	26		2組
	6. 2		1組
	9		4組
	16		3組
	23		5組
	7. 7		6組
	14		1組
	21		5組
	28		5組
	8. 4		7組
	18		6組
	25		4組
	9. 1		2組
	8		13組
	15		9組
	22		9組
	29		9組
	10. 6		8組
	7		2組
	13		3組
	19		4組
	27		3組
	11. 10		1組
	24		1組
	12. 15		2組
	6. 1. 12		1組
	19		1組
	27		1組
	3. 1		1組
	15		1組
	29		1組
	5. 6. 21	バースデーカードプレゼント	1組
	7. 10		2組
	26		1組
	30		1組
	8. 21		1組
	22		1組
	12. 13		1組
	6. 1. 15		1組
	3. 18		1組
	22		1組
	5. 6. 21	成長測定	1組
	7. 10		2組
	12		1組
	26		1組
	30		1組

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容
5 . 4 . 3		(事業所研修) 事業計画説明会/基本理念 常勤職員
5 . 8 . 3		(法人研修) 幹部職員候補者対象マネジメント研修 三宅
	30	
	9 . 19	
	10 . 12	
	11 . 9	
		法人内厨房職員研修
		法人保育園厨房職員研修
		法人保育園看護員研修 廣田
		法人内男性保育士研修
		チューター研修 吉田も、小谷口、奈良
5 . 7 . 3		
6 . 1 . 24		
	3 . 18	
		職員育成講座：キャリアに応じた保育力の獲得に向けて
5 . 6 . 2		障害児保育① 奈良
	20	障害児保育②・巡回指導 奈良、先東
	23	障害児保育③・巡回指導 松下
	7 . 14	新人育成① 清水、神品
	9 . 15	障害児保育④ 奈良、先東
	10 . 20	障害児保育⑤ 奈良、神品
	12 . 8	新人育成② 奈良、神品
	15	検証会議 奈良、先東

2 施設外研修

開 年	催 月	日	研 修 内 容
5.	5.	10	保育所専門職員研修
		22	大阪保育園看護師研修
		23	西宮市つながり事業
6.	10		うんどろ遊び
7.	6		西宮市立未来センターわかば園公開保育
		8	レッツ チアダンス
		14	発達気になる子どもの理解と支援
		21	西宮市つながり事業
		25	ことばを育む関わり
			つながり 鳴尾北保育所公開保育
8.	1		つながり 瓦木みのり保育所公開保育
		3	兵庫県認定こども園主幹保育教諭等研修
9.	21		つながり 上甲子園こども園公開保育
11.	8		西宮市園長会研修・不適切保育
			つながり まつぼっくり保育園公開保育
			日本アレルギー学会 相談員養成研修
6.	1.	20	西宮市私立保育園協会 新年の集い
5.	9.	13	兵庫県認定こども園園長等研修
		22	
	10.	5	
	11.	9	
	12.	13	
			キャリアアップ研修
5.	5.	19	乳児保育
		26	
	6.	10	
5.	4.	19	保健衛生・安全対策
		5. 13	
		20	
		31	
5.	4.	25	保育実践
		6. 5	
5.	4.	25	保育実践
		5. 8	
		12	
		6. 5	
		9	
5.	6.	17	幼児保育
		24	
		9. 5	
5.	6.	24	幼児保育
		7. 8	
		9. 5	
5.	5.	10	マネジメント
		6. 24	
		9. 9	
		10. 28	
		11. 11	
5.	7.	6	食育・アレルギー
		13	
		22	
		27	
		8. 4	
5.	10.	21	保護者支援・子育て支援

石田、三好

廣田看護員

古菌

古菌

先東主任

松下、石田

廣田看護員

古菌

三宅

先東主任、古菌

先東主任、古菌

先東主任

先東主任、古菌

奈良

先東主任、古菌

廣田看護員

7名

奈良

谷口

田中

松下

先東主任

中家

古菌

清水副主任

平田厨房職員

神品

14	発達気になる子どもの理解と支援	廣田看護員
21	西宮市つながり事業	古菌
11. 18		
12. 2		
16		
6. 1. 27		
5. 10. 5	障害児保育	松下
11. 9		
12. 7		
6. 1. 18		

状 況

講 師 名
種村先生
聖和短大/立花先生

実 施 場 所

リモート
阿倍野区民ホール
若竹文化会館
子育て総合センター
わかば園
子育て総合センター
子育て総合センター
若竹文化会館
こども未来センター
鳴尾北保育所
瓦木みのり保育所
リモート
上甲子園こども園
西宮市役所
まつぼっくり保育園
リモート
宝塚ホテル

ポートピアホテル
ポートピアホテル
ラッセホール
ポートピアホテル
ラッセホール

西宮市民会館
西宮市民会館
西宮大学流通センター

リモート
リモート
リモート
リモート

武庫川女子大学

武庫川女子大学
西宮市民会館
夙川公民館
西宮市民会館
西宮市民会館

リモート
リモート
かえで保育園

リモート
リモート
みどり園あやは

リモート
リモート
武庫川女子大学
武庫川女子大学
リモート

西宮市民会館
西宮市民会館
西宮市民会館
西宮市民会館
西宮市民会館

リモート

子育て総合センター

若竹文化会館

リモート

リモート

武庫川女子大学

武庫川女子大学

武庫川女子大学

武庫川女子大学

武庫川女子大学

武庫川女子大学

令和5年度

各 委 員 会 開 催 状 況

開 年 月 日	活 動 内 容
5. 5. 9	1 保育部門苦情解決委員会 * 令和4年度の苦情関係について
5. 4. 4	2 合同園長会 * 各園の現状報告
5. 9	* 職員育成状況の確認
6. 7	
7. 7	
8. 3	
9. 11	
10. 12	
11. 2	⇒ 中止
12. 7	
6. 1. 10	
2. 9	
3. 6	
	3 保育部門会議
	① 合同主任会議
5. 4. 22	* 各専門部門の現状報告・課題の分析と対応
5. 19	* 職員育成について
6. 29	* 「防災計画」の見直し
8. 25	
9. 22	
10. 11	
11. 29	
12. 14	
6. 1. 26	
2. 29	
3. 28	⇒ リモート
	② 合同副主任会議
5. 4. 22	* 各園の現状報告・課題の分析と対応
6. 6	* 保育内容検討
7. 19	* 業務分担表の作成
8. 22	
9. 27	
11. 2	
12. 18	
6. 1. 17	
	③ 合同主任・副主任会議
5. 4. 22	* 各園の現状報告・課題の分析と対応
	* 全体の計画の内容検討
	* 業務分担表の作成
	④ 合同厨房会議
5. 5. 12	
	⑤ 厨房リーダー会議
5. 5. 12	* 各園の現状報告・課題の分析と対応
7. 19	* 献立表の作成
9. 9	
6. 3. 26	
	⑥ 合同看護会議
5. 4. 5	* 各園の現状報告・課題の分析と対応
5. 15	* ネウボラの活動報告
6. 20	
7. 18	
8. 23	

開 年 月 日	催 月 日	活 動 内 容
	9.19 10.17 11.22 12.19	
6.1.23 2.21 3.18		⑦ 合同任担任会議
5.5.18 22 24 26		・ 5歳児担任会議 ・ 4歳児担任会議 ・ 3歳児担任会議 ・ 1歳児担任会議
7.31 11.1		・ 2歳児担任会議 ・ 0歳児担任会議
		⑧ 合同新任職員会議
5.7.10		⑨ 男性保育士会議 ⇒ リモート
5.4.3 5.11 6.8 7.13 8.10 9.14 10.11 11.8 12.14		4 スタッフ会議 * 来月の予定確認、1カ月の各クラス・委員会報告 * 法人基本理念の理解を深める「エピソード研修」 * 保育園の保育について理解を深める
6.1.19 2.8 3.14		
5.4.3 5.11 6.8 7.13 8.10 9.14 10.11 11.8 12.14		5 保育園運営委員会 * 保育内容について * 職員体制について
6.1.19 2.8 3.14		
5.9.1 11.20		6 保育内容検討委員会 * 期毎の保育の振り返りと次期に向けての取り組みについて検討
5.4.3 5.2 6.30 8.16 9.6		7 クラス会議 ① 0歳児クラス * 今月の振り返り・来月の取り組みについて

開 年	催 月 日	活 動 内 容		
	10.30 11.16 12.15			
6.	1.18 2.15 3.1	② 1歳児クラス * 今月の振返り・来月の取り組みについて		
5.	4.3 5.2 6.26 7.19 8.22 9.7 10.24 11.20 12.12			
6.	1.19 2.16 3.15			
5.	4.3 5.24 6.22 7.19 8.23 10.30 11.22 12.12		③ 2歳児クラス * 今月の振返り・来月の取り組みについて	
6.	1.18 2.15 3.14			
5.	4.3 5.25 6.30 7.26 8.10 9.25 10.30 11.13 12.22			
6.	1.19 2.16 3.15			
5.	8.16 11.25			8 サービス評価委員会 * マニュアル見直し * 自己評価項目 自己評価
6.	1.30			
5.	4.27 6.14 6.23 7.25 8.25 9.19 10.20 11.29 12.28			9 環境研究委員会 * ヒヤリ・事故報告の内容検討と対策 * 安全点検の実施 * マニュアル見直し * プール準備 * 自己評価 * 保護者満足度調査 検証

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
6. 2. 8 3. 5 3. 27		10 食育研究委員会 *嗜好調査について *食育について *マニュアル見直し *自己評価 *保護者満足度調査 検証
5. 4. 3 5. 11 6. 8 7. 13 8. 10 9. 14		
10. 11 11. 8 12. 14 6. 1. 19 2. 8 3. 14		11 保健研究委員会 *感染症報告 *保健連絡 *マニュアル見直し *けんこう保育について *自己評価 *保護者満足度調査 検証
5. 5. 19 7. 20 9. 13 6. 1. 14 2. 11 3. 14		
5. 4. 21 5. 24 6. 26 7. 26 8. 25 9. 21 10. 20 11. 21 12. 18 6. 1. 19 2. 19 3. 15		12 絵本研究委員会 *園だより発行、図書整備 *マニュアル見直し *自己評価 *保護者満足度調査 検証 *絵本貸し出し
5. 8. 21 9. 27 12. 11 3. 14		13 子育てサポート委員会 *年間活動計画について *子育て支援内容検討・検証
5. 5. 16 9. 27		14 衛生推進委員会 *衛生推進委員会の役割について *安全パトロール実施・検証

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼働年月日	摘要
6. 1. 13	たけ ひなたさん (聖和女子短期大学)

令和4年度

職員福利厚生関係

実施年月日	内容	備考
5. 10. 12 ～ 13	職員ストレスチェック実施 29名	大阪健康倶楽部
11. 22	職員インフルエンザ予防接種 29名 (西北セリジェの職員4名含む)	櫻ホーム西神診療所
11. 24	職員インフルエンザ予防接種 2名 (西北セリジェで)	櫻ホーム西神診療所
6. 2. 20	職員健康診断 2名 (神戸さくらで)	大阪健康倶楽部
2 2. 27	職員健康診断 26名	

令和5年度

地区関係

実施年月日	内容	派遣者名	派遣場所
5. 6. 4	クリーン作戦	清水	甲子園口SL公園
12. 10	クリーン作戦	清水	甲子園口SL公園

令和4年度

見学・実習等受入れ状況

受入年月日	摘要
	見学者
5. 4. 11	大西さん (神戸常盤大学)
6. 23	若松さん (相愛大学)
12. 6	大村さん (大阪教育福祉専門学校)
	実習生
5. 4. 24 ～ 5. 11	中西 碧、永吉 華帆、中島 萌、堀尾 舞 (常盤大学)
6. 5 ～ 19	内海 空羽、曾谷 葵 (大阪総合大学)
8. 21 ～ 9. 1	竹久 未来 (関西国際大学)・松山 明日佳 (甲子園短期大学)
8. 17 ～ 30	前 佳澄 (常盤短期大学)
11. 2 ～ 12. 14	小林 真綺 (大阪成蹊短期大学) 計6日
6. 2. 5 ～ 19	川端 涼華、曾根 楓 (大阪総合保育大学)
2. 19 ～ 3. 4	小林 真綺 (大阪成蹊短期大学) 計6日
	インターシップ実習生
5. 5. 30 ～	溝口 桃南 計18回、田原 琴美 計22回 (大阪総合保育大学)
6. 1. 23	
5. 8. 2 ～ 4	向井 綸、横田 朋香 (尼崎西高校)
	トライやるウィーク
5. 5. 22 ～ 26	西宮市立上甲子園中学校 2年生 2名

令和5年度 感染症罹患状況

施設名 西宮セリジェ保育園

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員
学校保健法 伝染病	第2種	1	インフルエンザ					2名		11名	1名			3名		4名		14名	4名	5名		3名		10名		52名	5名		
		2	百日咳																								0名	0名	
		3	麻疹 (はしか)																									0名	0名
		4	風疹 (三日はしか)																									0名	0名
		5	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)																									0名	0名
		6	水痘 (水ぼうそう)																1名									1名	0名
		7	咽頭結膜熱 (プール熱)																1名	1名					1名			3名	0名
		8	結核																									0名	0名
	第3種	9	流行性角結膜炎 (はやり目)																									0名	0名
		10	急性出血性結膜炎																									0名	0名
		11	腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																									0名	0名
	その他	12	伝染性紅斑 (りんご病)																									0名	0名
		13	溶連菌感染症				1名					1名	1名						1名				3名				7名	0名	
		14	流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)								1名							1名	2名									4名	0名
		15	手足口病										1名									1名		20名				22名	0名
		16	マイコプラズマ感染症																									0名	0名
		17	ヘルパンギーナ				9名		1名			2名	1名												1名			14名	0名
		18	アタマジラミ																									0名	0名
		19	伝染性膿痂疹 (とびひ)																									0名	0名
その他感染症	20	RSウイルス感染症	5名							2名																	7名	0名	
その他感染症	21	アデノウイルス感染症	1名		6名		4名											1名		8名		1名					21名	0名	
その他感染症	22	突発性発疹																						1名			1名	0名	
その他感染症	23	ヒトメタニューモウイルス						3名																			3名	0名	
その他感染症	24	新型コロナウイルス感染症						1名	3名	3名									1月							4名	3名		
合計		6名	0名	6名	0名	14名	0名	6名	0名	17名	1名	4名	0名	5名	0名	4名	0名	18名	4名	16名	0名	6名	0名	36名	0名	×	5名		

令和 5 年度 事業報告書

西北セリジェ保育園 (定員 90名)					
稼働状況			目標	実績	差異
	入所	稼働率	118.90%	119.5%	0.6%
		人数	107.01名	107.6名	0.6名
	延長保育利用者数		—	2749名	—
	一時保育利用者数		300名	301名	1名
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実 ⑦ 「こども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす ⑧ 職員が成長する職場づくり 				
総括	<p>本年度の事業運営状況は、定員90名、年間稼働率119.63%で予算目標稼働率118.90%に対して0.73%の増であり、予算達成した。</p> <p>一時預かり保育事業は、年間目標300名に対し、年間利用者数301名で1名の増であり、目標は達成した。また、延長保育事業は年間2,749名(月平均229.1名)であった。</p> <p>② 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実 絵本を1冊選びそこから制作、表現遊び、リズム遊びをクラスの職員以外(絵本研究委員会)の保育士が入って行い、遊びの展開に繋がった。また、「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の2類相当から5類に移行したことで、異年齢で過ごす時間を増やすことができた。日々の活動が全て子どものためになっているか、活動を通してどの部分が育っているか、子どもが幸せな時間を過ごせているか等の振り返りを行い教育的意図を職員間で共有しながら次の活動に活かしたことで、子どもが笑顔で意欲的に園生活を過ごすことができた。</p> <p>③ 子どもの人権擁護の取組み 毎月のスタッフ会議で人権研修を行った。「子どもの人権擁護のセルフチェック」も行い、職員一人ひとりが自らの保育を省みた。セルフチェックの結果、職員に余裕がない時に、好ましくない保育が起きてしまう可能性があるのではないかと分析があがったので、次年度は、余裕のない状況とはどの場面かを具体化し、改善策を考え実施する。</p> <p>④ 子どもの健康管理体制の強化 5月以降も、子どもや職員の健康観察をこまめに行い新型コロナウイルス感染症はじめ、様々な感染症予防に努めた。保育中の換気を徹底し、毎日使用した玩具類の消毒は継続した。</p> <p>⑧ 職員が成長する職場づくり 法人合同研修の「階層別研修・障がい児保育(聖和短期大学/立花先生)」を受講した。巡回指導では子ども一人一人の育ちから支援方法の助言を得たので、日々の保育の関わりに活かすことができた。</p>				

令和 5 年度

事業報告書

西北セリジェ保育園

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実
- ⑦ 「こども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす
- ⑧ 職員が成長する職場づくり

本年度は、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 か年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園 6 園共通の課題に取り組む計画を立ててスタートした。

本年度の事業運営状況は、定員 90 名、年間稼働率 119.63%で予算目標稼働率 118.90%に対して 0.73%の増であり、予算達成した。

一時預かり保育事業は、年間目標 300 名に対し、年間利用者数 301 名で 1 名の増であり、目標は達成した。また、延長保育事業は年間 2,749 名（月平均 229.1 名）であった。

1 第 4 期経営 5 か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 か年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 か年計画の最終年度に取り組んだ。まずは在園の利用者に、西北セリジェ保育園の魅力を感じていただけるよう、保育内容の質向上に努めた。

次年度は、地域に求められる保育園の役割を確立するため、「地域貢献の積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」の 3 つの重点項目が十分に実施できるように、計画的に事業を推進していく。特に、地域に向けた子育て支援活動“ネウボラ・セリジェ”の活動に力を注ぎ、3 つの重点項目の実践に繋げていく。

2 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実

「子ども・保護者・職員の 3 者（＝トライアングル）」のそれぞれが尊重され、信頼関係のもと保育園で充実した毎日を送れる保育の実践を大切にしたい。3 者への対応は以下のように実践した。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる保育を行う

「新型コロナウイルス感染症」は感染症法の 2 類相当から 5 類移行となったが、引続き子どもの体調管理および感染状況を確認しながら保育を進めた。季節の絵本を 1 冊選び、そこから制作・表現遊び・リズム遊びをクラスの職員以外（絵本研究委員会）の保育士が入って行い、遊びの展開に繋げた。お正月遊びや進級にまつわる絵本等を通して、季節や伝統を感じる活動に興味を持ったり、進級の喜びが造形や表現活動に展開するなど、楽しみながら興味関心を広げることができた。また、異年齢で過ごす時間も増やすことができた。子ども同士の関わりの中で、生活の仕方を学んだり、遊びの中で刺激を与えあったりして、子どもが育ちあう姿が見られた。

これらの取組みが、子どもの今の育ちに必要なことを全職員で理解し、連携を取りながら進めた。日々の活動が全て子どものためになっているか、活動を通してどの部分が育っているか、子どもが幸せな時間を過ごせているか等の振り返りを行い、教育的意図を職員間で共有しながら次の活動に活かしたことで、子どもが笑顔で意欲的に保育園生活を過ごすことができた。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる保育を行う

毎日の子どもたちの園生活での様子を、送迎時や連絡ノート、またクラス懇談会や掲示物で知らせた。結果、新学期の新しい環境での生活から一年を通して子どもたちの成長を楽しみにされることになった。行事等は感染状況を確認し、安全を確保した中で、ほぼ計画通りに行うことができた。また、質問や悩みに対しては、時間をとり保護者の思いに寄り添い、共に子育てをすることを伝え、少しずつ安心を得て子育ての楽しさも伝えていった。次年度も引き続き保護者の養育力の支援にも取り組む。

3) 職員が“保育に携わる喜びを感じる”保育を実践し、検証することから保育の質の向上を目指す。

職員も新しい人間関係の構築が課題であったため、職員同士が話合う時間を持つようにした。その中で保育の思いを伝えあうことで協力する体制ができ、結果、職員が自身の成長を感じやりがいとなっていった。年度の終わりには、職員同士保育の楽しさやこれからやってみよう活動があることが話合える職場となった。次年度も職員の成長

が保育の質の向上につながるよう話し合いを大切に取組む。

3 子どもの人権擁護の取組み

保育園職員委員会が中心となり、毎月人権エピソード研修を行った。また、不適切保育のニュース等も研修の中で取上げ、不適切な関りが起こってしまう背景や防止策について職員間で意見交換をして、自園の保育を振り返る機会とした。「子どもの人権擁護のセルフチェック」も行い、職員一人ひとりが自らの保育を省みた。セルフチェックの結果、職員に余裕がない時に、好ましくない保育が起きてしまう可能性があるのではないかという分析があがったので、次年度は、余裕のない状況とはどの場面かを具体化し、改善策を考え実施する。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取組み、子どもの命を守る

本年度は、「身体測定」「各健診」を定期的実施し、また、内科・歯科健診は年2回、他の健診は年1回行い子どもの健康管理に努めた。

緊急事態発生時対応訓練を毎月計画的に行い、職員が共通理解のもと、非常事態に適切な行動ができるように努めた。

【緊急時対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月12日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
5月17日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
6月27日	アナフィラキシー対応	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
7月19日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
8月30日	けいれん発生対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
9月29日	大怪我発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
10月17日	けいれん発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
11月24日	アナフィラキシー対応	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
12月19日	大怪我発生対応訓練	応急手当、消防連絡訓練
令和6年 1月31日	SIDS対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
2月27日	けいれん発生対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
3月15日	アナフィラキシー対応	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練

2) 感染症対策

引続き、子どもや職員の健康観察もこまめに行った。新型コロナウイルス感染症はじめ、様々な感染症予防に努めた。保育中の換気を徹底し、毎日使用した玩具の消毒や玩具類の消毒は継続した。

3) 感染症発症時の対応

5月には、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行した旨を保護者に文書で報告したことにより情報の共有に努めた。

4) 「感染症対策チーム」の発足

看護師が中心となって季節ごとの感染症情報をまとめ、各園に共有した。

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

1) 毎月の消火・避難訓練は災害別に計画し、想定できる各種災害の対応訓練を実施した。また、保護者参加の訓練、防災に関する話し合いも計画し、保護者とともに子どもの安全確保について取組んだ。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月20日	火災集合	平日午前（園児84名、職員22名） 保育士の合図に従って保育室の安全な場所に避難した。
5月17日	火災 (保護者参加型)	平日午前（園児94名、職員24名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。「おはしも」を伝えた。
6月20日	火災	平日午前（園児104名、職員20名） 放送に従い外階段から避難した。
7月19日	不審者対応 (園内)	平日午前（園児88名、職員17名） 放送に従い子どもの安全を確保し、出入口に椅子などを置き、侵入防止対応をした。「いかのおすし」を伝えた。
8月25日	台風・水害	平日午前（園児100名、職員20名） 放送に従い全園児は室内階段から屋上に避難した。
9月26日	火災	平日午後（園児15名、職員6名） 平日午前（園児10名、職員6名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。 平日延長保育（園児6名、職員3名）
10月21日 28日	火災 (土曜少人数時)	土曜日午後（園児15名、職員6名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。
11月23日	火災 (夕方少人数児)	平日午後（園児10名、職員3名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。

12月24日	地震、津波（保護者参加型）	平日午前（園児98名、職員21名） 地震を想定し放送に従い、防災頭巾を着用し屋上に避難した。
令和6年1月19日	火災（午後おやつ後）	平日午前（園児98名、職員22名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。
2月16日	地震・津波（園外避難）	平日午前（園児97名、職員22名） 放送に従い全園児は3階に避難した。
3月21日	火災（早朝保育時間）	平日午前（園児11名、職員3名） 放送に従い全園児は玄関ホールに避難した。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実

わらべうたベビーマッサージ、園庭開放などを園庭の門扉に掲示して地域の方に配信したり、本年度は青空保育も行った。引続き実施し、これらの参加者から子育て世代のニーズを探り、希望される活動を準備する。

7 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たしていく

本年度は、安定した保育園運営を継続させるために行政と連携を密に取り、5月には目標園児数が確保できた。一時預かり・延長保育事業も利用者が徐々に増加した。

また、散歩時の高畑公園、深津公園の清掃活動を積極的に行った。年末のクリーン作戦にも職員が参加して地域の方と交流する機会をもった。

8 職員が成長する職場づくり

1) 法人基本理念の周知・徹底

スタッフ会議で毎月人権研修を行い、項目別に確認することで子どもの気持ちに寄った保育を行った。振り返りから余裕のない時に好ましくない言動が出てしまうことがあるという結果が出たので、次年度はそこに焦点を当てた意見交換等をする。

2) 職員のやりがいがある職場環境づくりに努める

職員の思いに寄り添い、何かある時はすぐに面談を行い改善し、主任、副主任と連携して保育環境を整えた。新任職員研修の「チューター制」はチューターと新任職員の信頼関係を築き、職員育成に繋がった。

3) 保育所保育指針に基づく職員の資質向上の推進

施設内研修では、「絵本研究委員会」が中心となり“絵本からいろいろな活動に広げていく保育”に取り組んだ。絵本から多様な活動に興味を向けられる機会となった。またクラス担任以外の保育士が絵本活動をすることで、保育を客観的に見る視点を持つことができた。次年度も継続する。

また、法人合同研修の「階層別研修・障がい児保育（聖和短期大学／立花先生）」を受講した。巡回指導では子ども一人一人の育ちから支援方法の助言を得たので、日々の保育の関わりに活かすことができた。

園長としては、保育園運営が厳しくなっていく状況を正確に把握し、自律した運営ができるように、特に職員育成、保育園の広報活動に力を入れ責務を果たしていく。

【階層別研修・障がい児保育】スーパーバイザー：聖和短期大学／立花准教授

回数	日時	参加対象者
第1回	令和5年6月2日	障がい児保育①
第2回	20日	障がい児保育②巡回指導
第3回	23日	障がい児保育③巡回指導
第4回	7月14日	新人育成①
第5回	9月15日	障がい児保育④
第6回	10月20日	障がい児保育⑤
第7回	12月8日	新人育成②
第8回	15日	検証会議

4) 園内委員会

本年度は、委員会活動に主体的に取り組む姿が見られた。「保育園職員委員会」が中心となり人権研修を毎月行い、人権について改めて意識して取り組む機会を作り、自身の保育について考え、日々の実践に活かしていった。

5) 人事考課制度の効果的運用

業務に対する自己評価及び評価者との面接等を通して自己の業務についての分析・目的意識の明確化を図り向上心を培う一助であることを理解し、考課者は信頼関係の構築から始め、キャリアパス及び職員一人一人の資質を捉えた職員育成を行った。また期毎の面接の他に、必要に応じて面接を行い、職員がやりがいを感じられる環境作りに努めた。

行 事 実 施 状 況

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
5. 4.	4	身体測定	3歳児
	5	身体測定	4歳児
	6	身体測定	2歳児
	7	身体測定	1歳児
	8	身体測定	5歳児
	18	身体測定	新入園児
	19	健康診断	新入園児
	20	お誕生日会	乳児組・幼児組
	21	食育	旬の食材の話 幼児組
	22	消火・避難訓練	全園児
	26	月例健診	4、10月生まれ
	5. 9	9	身体測定
		クラス懇談会	3歳児
10		クラス懇談会	4歳児
11		お誕生日会	乳児組・幼児組
		身体測定	3歳児
12		身体測定	4歳児
13		身体測定	1、2、5歳児
		クラス懇談会	5歳児
16		食育	旬の食材の話 幼児組
17		遠足	王子動物園 (3・4歳児)
18		消火・避難訓練	全園児
23		食育	食事のマナー 幼児組
24	遠足	西宮北山緑化植物園 (5歳児)	
18	園庭ランチ	3・4歳児	
21	けんこう保育 (手洗い指導)	2、3歳児	
23	月例健診	5、11月生まれ	
6. 1	1	身体測定	3歳児
	7	身体測定	2・5歳児
	8	視力検査	4歳児
	8	お誕生会	乳児組・幼児組
	9	視力検査	3歳児
	10	身体測定	0歳児
	16	食育	梅しそジュース 幼児組
	21	眼科健診	全園児
		食育	旬の食材 全園児
	22	月齢健診	6、12月生まれ
30	消火・避難訓練	全園児	
7. 5	5	身体測定	1、3歳児
	6	食育	夏野菜収穫 3歳児
	7	七夕会	乳児組・幼児組
		食育	七夕そうめん 1～5歳児
	8	身体測定	0、5歳児
	9	身体測定	2、4歳児
	13	お誕生日会	乳児組・幼児組
	14	食育	お箸の持ち方 4、5歳児
	19	消火・避難訓練	全園児
		食育	旬の食材の話し 幼児組
	20	けんこう保育 (早寝・早起き・朝ご飯)	幼児組
		食育	夏野菜の収穫 2、3歳児
	食育	夏野菜の収穫 4歳児	
	食育	夏野菜の収穫 2、3歳児	
8. 2	2	身体測定	0歳児
	4	身体測定	1、2、5歳児
	8	身体測定	3、4歳児

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
	10 19 24 26 25 26	お誕生日会 食育 食育 消火・避難訓練 けんこう保育 旬の食材（パプリカ） お楽しみ会（お化け屋敷）	乳児組・幼児組 夏野菜の片付け 4、5歳児 旬の食材の話し 2～5歳児 全園児 ふわふわ言葉チック言葉（4・5歳児） 3歳児 幼児組
. 9.	1 4 5 8 9 12 13 16 22 26 29	食育 身体測定 運動会リハーサル けんこう保育 身体測定 歯科健診 お誕生日会 運動会 食育 消火・避難訓練 お月見会	とうもろこし 3、4、5歳児 0、4、5、3歳児 乳児 2歳児 1歳児 全園児 乳児組・幼児組 乳児 旬の食材 少人数 全園児
. 10.	3 6 10 11 18 21 23 24 25	5歳児交流会 身体測定 身体測定 お誕生日会 芋掘り遠足 消火避難訓練 消火避難訓練 青空保育 けんこう保育	5歳児 2～5歳児 0、1歳児 全園児 3、4歳児 少人数 延長保育時 芋掘り 歯磨き 幼児
4. 11.	7 8 9 10 13 15 16 22 29 22	遠足 身体測定 お誕生日会 身体測定 けんこう保育 消火・避難訓練 身体測定 身体測定 縄跳び交流会 人形劇 食育	5歳児 1、3、4歳児 乳児組・幼児組 2～5歳児 2～5歳児 全園児 2歳児 5歳児 5歳児 全園児 全園児 お箸 3歳児
4. 12.	5 5～14 13 21 13 14 22 18 18	身体測定 クラス懇談会 お誕生日会 消火避難訓練 歯科検診 お誕生日会 クリスマス会 食育 旬の食材	全園児 全園児 全園児 全園児 全園児 乳児組・幼児組 全園児 お箸 3歳児 幼児
6. 1.	5 9 10 13 16 17 19 25 2. 2 3 5 15 26	書き初め 身体測定 お誕生日会 生活発表会 消火避難訓練 食育 食育 食育 節分会 身体測定 生活発表会 身体測定 交通安全指導 消火避難訓練	全園児 幼児組 乳児組・幼児組 幼児 全園児・保護者 震災の話 幼児 旬の食材 お箸 3歳児 全園児 幼児 乳児 乳児 幼児 園児・保護者

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	5	食育	5味 5歳児
	14	食育	クッキング 5歳児
	15	食育	旬の食材
	28	食材	ケーキトッピング 5歳児
3.	1	ひなまつり会	乳児組・幼児組
	2	ホームカミングデー	5歳児
	4	お店屋さん	幼児
	6	身体測定	全園児
		お別れ会	全園児
	12	お店屋さん	幼児
	13	お誕生日貝	全園児
	23	卒園式	5歳児
	29	消火避難訓練	全園児
	11	食育	旬の食材
	13	食育	卒園クッキング
	19	食育	ランチプレート
		食育	園庭ランチ
	21	食育	おにぎり
		特別カリキュラム	
		音楽リズム	
5.	4. 17		
	24		
	5. 22		
	29		
	6. 2		
	9		
	7. 3		
	31		
	8. 7		
	28		
	9. 11		
	25		
10.	2		
	16		
11.	6		
	27		
12.	11		
	27		
6	1. 9		
	22		
	2. 5		
	19		
	3. 13		
	20		
5.	4. 27	絵画指導	
	5. 11		
	25		
	6. 8		
	22		
	7. 13		
	9. 14		
	. 28		
10.	26		
11.	9		
	30		
6	1. 18		
	2. 8		
	22		
	3. 5		
	15		

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
5.	4.	キッズミュージカル	
	5. 12		
	19		
	16		
	6. 2		
	9		
	23		
	7. 14		
	21		
	28		
	8. 4		
	14		
	16		
	9. 1		
	15		
	22		
	10. 13		
	20		
	27		
	11. 10		
	17		
	24		
	12. 1		
	8		
	15		
6	1. 12		
	19		
	29		
	2. 2		
	9		
	16		
	3. 3		
	10		
	24		
	5. 4. 11	英語保育	
	18		
	25		
	5. 11		
	18		
	25		
	6 13		
	20		
	27		
	7 4		
	11		
	18		
	25		
	8 8		
	22		
	29		
	9. 6		
	13		
	20		
	27		
	10. 3		
	17		
	24		
	31		

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	11 7		
	21		
	12 5		
	12		
	. 19		
6	1 9		
	16		
	. 30		
	2 6		
	13		
	20		
	27		
	3. 7		
	14		
	21		
		子育て支援事業	
		園庭開放	
5	10 24		3 (組)
	12 11		1
		見学・育児相談	
5.	4. 28		3 (組)
	5 12		5
	13		1
	19		3
	26		3
6	16		5
	23		4
7	7		3
	14		4
	21		1
	28		2
8	4		4
	5		1
	18		5
	25		5
9	1		4
	8		5

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
		15		5
		22		4
		29		4
		30		1
	10	6		5
		13		5
		20		7
		21		1
		27		4
		28		1
	11	29		3
	6	1		1
	-	20		1
		26		2
		29		1
	2	9		4
	3	1		2
		8		1
		22		1
			成長測定	
	5	7		2 (組)
		9		1
	10	24		3
	6	3		2
			ベビーマッサージ	
	5	10		1 (組)
	6	2		1
		3		1
			地域交流事業	
			すくすく子育て広場	
			保育体験	
	5	6		1 (組)
		7		1
			青空保育	
	5	9		1 (組)
		10		3

職 員 研 修 実 施 状 況

1 施設内研修

開 催 年 月 日	研 修 内 容	講 師 名
5 . 6 . 2 6 20 6 23 7 14 9 15 10 20 12 8 12 15	(事業所研修)	
	障害児保育①	高橋
	障害児保育②・巡回指導	脇田主任、石川副主任
	障害児保育③・巡回指導	外山、姜、小田
	新人育成①	
	障害児保育④	
	障害児保育⑤	
	新人育成2	
	検証会議	高橋、脇田主任
5 . 5 . 18 22 24 26 7 31 11 1	(法人研修)	
	6園合同担任会議 (5歳児)	姜保育士
	6園合同担任会議 (4歳児)	笠本保育士
	6園合同担任会議 (3歳児)	
	6園合同担任会議 (1歳児)	
	6園合同担任会議 (2歳児)	
6園合同担任会議 (0歳児)	青戸保育士	
5 . 7 . 4 6 . 1 . 25 3 . 11	(チューター研修)	
		小田保育士
		岡村保育士 下屋敷保育士
		種村先生 種村先生 種村先生

2 施設外研修

開 催 年 月 日	研 修 内 容	実 施 場 所
5 4 19	キャリアアップ 研修・保健衛生	小田保育士
4 25	キャリアアップ 研修・保育実践	外山保育士
5 8	キャリアアップ 研修・保育実践	外山保育士
5 9	キャリアアップ 研修・保健衛生	小田保育士
5 12	キャリアアップ 研修・保育実践	外山保育士
5 13	キャリアアップ 研修・保健衛生	小田保育士
5 20	キャリアアップ 研修・保健衛生	小田保育士
5 31	キャリアアップ 研修・保健衛生	小田保育士
5 19	キャリアアップ 研修・乳児保育	山瀬保育士
5 26	キャリアアップ 研修・乳児保育	山瀬保育士
5 12	キャリアアップ 研修・保育実践	外山保育士
6 9	キャリアアップ 研修・保育実践	外山保育士
6 10	キャリアアップ 研修・乳児保育	山瀬保育士
7 8	キャリアアップ 研修・幼児教育	姜保育士
7 6	キャリアアップ 研修・食育アレルギー対応	青戸保育士
7 13	キャリアアップ 研修・食育アレルギー対応	青戸保育士
7 22	キャリアアップ 研修・食育アレルギー対応	青戸保育士
7 27	キャリアアップ 研修・食育アレルギー対応	青戸保育士
9 5	キャリアアップ 研修・幼児教育	姜保育士
9 7	キャリアアップ 研修・障害児保育	笠本保育士
9 9	チャレンジ研修	久保保育士
10 5	キャリアアップ 研修・障害児保育	笠本保育士
10 21	キャリアアップ 研修・子育て支援	脇田主任
11 28	キャリアアップ 研修・マネジメント	石川副主任
11 9	キャリアアップ 研修・障害児保育	笠本保育士
11 11	キャリアアップ 研修・マネジメント	石川副主任
12 18	キャリアアップ 研修・子育て支援	脇田主任
12 2	キャリアアップ 研修・子育て支援	脇田主任
12 7	キャリアアップ 研修・障害児保育	笠本保育士
12 15	キャリアアップ 研修・子育て支援	脇田主任
12 21	キャリアアップ 研修・子育て支援	脇田主任

各 委 員 会 開 催 状 況

開 年 月 日	活 動 内 容	
5. 4. 25	1 施設長会議 * 基本理念の周知徹底 * 事業計画・各委員会の進捗状況 * 各事業所運営上の課題・問題点 * 本部事務連絡について	
7. 22		
10. 28		
6. 2. 24		
5. 4. 27	2 児童施設運営会議 試算表の見方及び平成29年度当初予算・3月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点 中止 5月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 6月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 7月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 8月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 9月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 10月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 11月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 12月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 1月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 中止	
5. 5. 24		
7. 11		
9. 26		
11. 28		
6. 1. 31		
5. 5. 9		4 保育部門苦情解決委員会 令和4年度の苦情関係の第三者委員への報告 くるみ保育園の案件について
11. 27		
5. 4. 4		5 合同園長会 * 各園の現状報告 * 課題の分析と対応
5. 9		
6. 7		
7. 5		
8. 3		
9. 11		
10.		
11.		
12. 7		
5. 1. 10	6 保育部門 ① 合同主任会議 * 各専門部門の現状報告・課題の分析と対応 中止 中止	
2.		
3.		
5. 4. 22		
5. 19		
6. 26		
7.		
8. 25		
9. 27		
10.		
11. 29		
12. 14		
6. 1. 26		

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	2. 29 3. 28	
		② 合同副主任会議 *各専門部門の現状報告・課題の分析と対応 *各専門部門の現状報告・課題の分析と対応
5.	4. 22 5. 6. 6 7. 19 8. 22 9. 27 11 11 2 12. 18	中止 中止
6	1. 2. 3	中止 中止 中止
		③ 合同厨房会議 リーダー会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 (リモート)
5.	5 12 6. 3 22	
		④ 合同看護会議 *各園の現状報告・課題の分析と対応 (リモート) *ネウボラの活動報告 (リモート) *各園の現状報告・課題の分析と対応 (リモート) *各園の現状報告・課題の分析と対応 (リモート)
5.	4 5 5 15 6 20 7 18 8 23 9 19 10 17 11 21 12 19 6 1 23 2 21 3 19	
		7 スタッフ会議 *来月の予定確認、1ヵ月の各クラス・委員会報告 *法人基本理念の理解を深める「エピソード研修」
5.	4. 26 5. 26 7. 3 7. 8 8. 22 9 20 10. 13 11. 21 12. 26 6. 1. 13 2. 27 3. 4	
		8 保育園運営委員会 *保育内容について *職員体制について
5.	4. 14 5. 26 7. 3 7. 8 8 22 9 20 10. 17 11. 21	

開 年	催 月 日	活 動 内 容
3	12.26 6.1.31 2.27 3.4	
	5.7.4 11.14 6.1.13 3.29	9 保育内容検討委員会 * 期毎の保育の振り返りと次期に向けての取り組みについて検討
	5.4.8 5.28 6.13 7.25 8.2 9.9 10.26 11.20 12.5 6.1.15 2.8 3.7	10 クラス会議 ① 0歳児 今月の振り返り・来月の取り組みについて
	5.4.8 5.10 6.15 7.10 8.1 9.7 10.3 11.7 12.5 6.1.11 2.9 3.15	② 1歳児 今月の振り返り・来月の取り組みについて
	5.4.8 5.10 6.14 7.7 8.3 9.6 10.4 11.24 12.7 6.1.9 2.13 3.16	③ 2歳児 今月の振り返り・来月の取り組みについて
	5.4.8 5.11 6.15 7.28 8.30 9.11 10.5	④ 3.4.5歳児 今月の振り返り・来月の取り組みについて

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	11 9	
	12 7	
6.	1 10	
	2 15	
	3 14	
		11 サービス評価委員会
5.	4. 19	*マニュアル見直し
6.	7	*保護者満足度調査 実施内容
6	2. 27	
.	3. 8	*保護者満足度調査 検証
		12 環境研究委員会
5.	4. 27	*ヒヤリ・事故報告の内容検討と対策
	5. 20	*安全点検の実施
	5. 25	*マニュアル見直し
	7. 3	*プール準備
	7. 21	
	8. 24	*保護者満足度調査 検証
	9. 12	
	10. 20	
	10. 30	
.	11. 29	
6	1. 24	
	2. 14	
	3 13	
		13 食育研究委員会
5.	4. 5	*嗜好調査について
	5. 10	*食育について
6.	7	*マニュアル見直し
	7. 4	
	8. 3	*保護者満足度調査 検証
	9. 16	
	10. 16	
	11. 10	
	12. 6	
6.	1. 13	
	2. 3	
	3. 8	
		14 保健研究委員会
5.	5. 12	*感染症報告
	6. 22	*保健連絡
	7. 24	*マニュアル見直し
	9. 1	*けんこう保育について
	9. 16	
	9. 26	
	11. 2	
	11. 23	
	12. 22	
6.	1. 25	
	2. 28	
		15 絵本研究委員会
5.	4. 8	*園だより発行、図書整備
	5. 23	*マニュアル見直し
	6. 21	*絵本活動（各クラス年一回）
	7. 20	*第三者評価割り振り
	8. 21	*絵本貸し出し
	9. 2	
	9. 21	

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	10. 20	
	11. 20	
	12. 18	
6	1. 23	
	2. 20	
	3. 14	
5.	5. 2	16 子育てサポート委員会 *年間活動計画について
	6. 30	*子育て支援内容検討・検証
	8. 9	*マニュアル見直し
	9. 6	*園だよりについて
	10. 16	*ホームページ更新
	11. 21	*ベビーマッサージ
6	1. 16	
	3. 9	
5	5. 19	17 衛生推進委員会 *衛生推進委員会の役割について
	8. 4	*安全パトロール実施・検証
	11. 30	
	12. 19	

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼働年 月日	摘要
5.11.25	安藤さん(聖和短期大学1年)
12.2	〃

令和5年度

職員福利厚生関係

実施年月日	内容	備考
5.11.24	職員インフルエンザ予防接種 27名	櫻ホーム西神診療所 大阪健康倶楽部
5.12.1	職員ストレスチェック実施(～8日) 27名	
6.2.27	職員健康診断 26名	大阪健康倶楽部

令和5年度

地区関係

実施年月日	内容	派遣者名	派遣場所
5.11.10	高畑地区クリーン作戦	脇田主任、石川副主任、松田厨房職員、高橋	高畑町

令和4年度

見学・実習等受入れ状況

受 年	入 月	日	摘 要
5	6	6	インターンシップ 大橋さん 大阪総合保育大学1回生
		27	〃
		26	石原さん 大阪総合保育大学2回生
8	7		〃
		9	大橋さん 大阪総合保育大学1回生
			実習生 なし
			トライやるウィーク 中止

令和5年度 感染症罹患状況

施設名 西北セリジエ保育園

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員		
学校保健法 伝染病	第2種	1 インフルエンザ	2名			4名		18名		1名		2名		4名		5名		1名		7名		23名	4名	2名			69名	4名	
		2 百日咳																									0名	0名	
		3 麻疹 (はしか)																										0名	0名
		4 風疹 (三日はしか)																										0名	0名
		5 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)																										0名	0名
		6 水痘 (水ぼうそう)													1名		1名											2名	0名
		7 咽頭結膜熱 (プール熱)	3名		2名									21名														26名	0名
		8 結核																										0名	0名
	第3種	9 流行性角結膜炎 (はやり目)											2名															2名	0名
		10 急性出血性結膜炎																										0名	0名
		11 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																										0名	0名
	その他	12 伝染性紅斑 (りんご病)																										0名	0名
		13 溶連菌感染症							1名		1名		5名		3名		2名		1名									13名	0名
		14 流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)					5名						1名							1名							7名	0名	
		15 手足口病					1名													1名								2名	0名
		16 マイコプラズマ感染症																										0名	0名
		17 ヘルパンギーナ					14名		5名				1名															20名	0名
		18 アタマジラミ																										0名	0名
	19 伝染性膿痂疹 (とびひ)																										0名	0名	
その他 感染症	20 突発性発疹	1名		2名				1名				1名		1名								1名					7名	0名	
	21 胃腸風邪			8名																		1名					9名	0名	
	22 アデノウイルス感染症	1名		4名		1名		1名		1名		9名		2名		1名											20名	0名	
	23 R S ウイルス感染症	7名																									7名	0名	
	24 ヒトメタニューロウイルス感染症						1名																				0名	1名	
	25 新型コロナウイルス感染症	1名						4名		4名		1名						1名		7名	1名	1名					19名	1名	
合 計		15名	0名	16名	0名	25名	1名	26名	0名	7名	0名	43名	0名	11名	0名	9名	0名	4名	0名	15名	1名	26名	4名	2名	0名				

令和 5 年度 事業報告書

尼崎さくら保育園 (定員 70名)					
稼働状況			目標	実績	差異
	入所	稼働率	118.60%	120.00%	+1.4%
		人数	83.02名	84.4名	+1.38名
	延長保育利用者数		—	3,609名	—
	一時保育利用者数		300名	89名	-211名
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実 ③ 子どもの人権擁護の取組み ④ 子どもの健康管理体制の強化 ⑤ 防災対策を強化し子どもの命を守る ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実 ⑦ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす ⑧ 職員が成長する職場づくり 				
総括	<p>事業運営状況は、年間稼働率 120.0%であり予算は達成することができた。 また、一時預かり保育は年間目標 300 名に対し、本年度は年間利用者数 89 名(月平均 7.42 名)で目標を下回る利用結果となった。</p> <p>なお、延長保育事業は積極的に実施した。年間利用者数総計 3,609 名(月平均 301 名)うち一時間利用者 528 名(月平均 44 名)の利用があった。引続き、保護者のニーズに対応し、子どもの福祉についても今後考える。</p> <p>②子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる保育を行う保護者が子どもの成長に不安を持たないように、個々の状況に応じて保護者へ説明を行い、理解を得たうえで進めていったことで、保護者も状況を理解して下さり、事業の推進に協力的であった。 本年度は、保育参観を再開した。実際に子ども達の日常の姿を見ることで保育の楽しさが伝わり、又、友達との関り等が分かり安心したとの感想を頂いた。 職員間で子どもへの関わりに悩んだとき、どうしたらいい環境になるかを毎月のスタッフ会議で職員と共に考え、実践していくことが保育の質の向上となり、結果、安心して預けられる園となった。</p> <p>③ 子どもの人権擁護の取組み 「子どもの人権擁護を考える part6」に取組んだ。「人権勉強会」を園内で「保育園職員委員会」が主となり毎月開催し、本年度は特に、発達特性をもつ子どもへの関りについて全職員で学び、子ども主体の保育体制が保たれているか、又、園内で不適切な関りが発生することがないように自己の対応を振り返られるように職員間で声を掛け合うようにしたことで、職員間の連携も取れつながりのある保育ができた。引続き、声を掛け合える環境づくりに努めたい。</p> <p>⑥「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実 子育て支援事業については、地域への浸透が薄かったため、市役所や子育てプラザにチラシを置く等の工夫をしたが浸透できなかつた。次年度は、“おはなし会”や“お父さんとあそぼう会”等の取組みを計画し、地域ニーズを把握するために取組みやアピール方法の工夫をしていく。 本年度は、一時預かり保育を積極的に受け入れる体制を心掛けたが、定期利用者や新規確保に繋がらず、年間目標は達成できなかつた。次年度も利用者の確保に繋がるようにアピール方法を工夫していきたい。</p> <p>⑧ 職員が成長する職場づくり 本年度の施設内研修のテーマは「体幹を鍛える遊びを学び、心身ともにたくましい子どもを育てる」とし、キッズミュージカルの講師や外部研修等から運動遊びのレパトリーを学び、子どもが楽しいと感じる保育・職員のやりがいに繋がる保育を実践した。 本年度は、“キャリアに応じた保育力の獲得について”とテーマを決めて、スーパーバイザーを招いてキャリアに応じた保育実践の検証を行ったことで、子どもに対する人権を大切にしたい関りにつながった。保護者からも安心の声が聞こえてきたので、引続き人権を大切にしたい保育に取り組んでいきたい。</p>				

令和5年度

事業報告書

尼崎さくら保育園

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 子どもの最善の利益につながる“教育・保育のトライアングル”の充実
- ③ 子どもの人権擁護の取組み
- ④ 子どもの健康管理体制の強化
- ⑤ 防災対策を強化し、子どもの命を守る
- ⑥ 「ネウボラ・セリジェ」の活動から未来の子育て世代を支える支援への展開
- ⑦ 「子ども家庭庁」創設にともない、今後期待される保育園の役割を果たしていく
- ⑧ 職員が成長する職場づくり

本年度は、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業及び保育園6園共通の課題に取り組んだ。5月には「新型コロナウイルス感染症」が感染症法2類相当から5類へ移行となり、保育活動の調整が必要となった。完全終息には至っていないことや、その他の感染症の発生状況も視野に入れ、引続き、感染拡大に繋がらないように、子どもの健康管理を最優先し保護者とも連携をとりながら子どもたちの成長を支える“遊びと生活”を確保していった。

本年度の事業運営状況は、年間稼働率120.0%であり予算は達成することができた。

また、一時預かり保育は年間目標300名に対し、本年度は年間利用者数89名（月平均7.42名）で目標を下回る利用結果となった。

なお、延長保育事業は積極的に実施した。年間利用者数総計3,609名（月平均301名）うち一時間利用者528名（月平均44名）の利用があった。引続き、保護者のニーズに対応し、子どもの福祉についても今後考える。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として今までの取り組みの検証を行い、次年度の策定に繋げた。

特に、地域に向けた子育て支援活動“ネウボラ♡セリジェ”の来園形式の実施を開始したが、活動の取組みが地域に浸透していなかったことを実感した。

次年度は、他園の活動の良さを取入れ、くるみ保育園と協力し合い“お父さんとあそぼう会”“おはなし会”“青空保育”等の地域に向けた子育て支援活動“ネウボラ♡セリジェ”の活動に力を注ぎ、「地域貢献の積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営を目指す」の3つの重点項目が十分に実施できるように、計画的に事業を推進する。

2 子どもの最善の利益につながる“保育園のトライアングル”の充実

保育園は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生涯時間の大半を過ごす場所であることから子どもの最善の利益を考慮し、子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行い、子どもの福祉を積極的に増進するに最もふさわしい生活の場であるように配慮した。また、養護の関わりは特に重要であることから“非認知的能力”を十分に育むことができる人的環境及び物的環境を整えることに努めた。

さらに、一人一人の子どもの健康保持及び増進並びに安全の確保を以下の項目に沿って実践した。

1) 子どもの人権を擁護し、子どもの笑顔があふれる保育を行う

昨年度に引き続き、本年度も一人一人の子どもの思いに寄り添い、その育ち・生活リズム等を尊重し安心して過ごせる関わりを心がけた。保育園生活は、体力づくりができるように毎日、体操やリレー等に取り組んだ。子どもたちは友達と過ごす中で、友達と考えながら様々なルールを知り、活動に期待を高めていくことができた。

2) 保護者とともに子どもを育てる楽しさを感じる保育を行う

保護者が子どもの成長に不安を持たないように、個々の状況に応じて保護者へ説明を行い、理解を得たうえで進めていったことで、保護者も状況を理解して下さり、事業の推進に協力的であった。

本年度は、保育参観を再開した。実際に子ども達の日常の姿を見ることで保育の楽しさが伝わり、又、友達との関わり等が分かり安心したとの感想を頂いた。

職員間で子どもへの関わりに苦戦したとき、どうしたらいい環境になるかを毎月のスタッフ会議で職員と共に考え、実践していくことが保育の質の向上となり、結果、安心して預けられる園となった。

3) 職員が“保育に携わる喜びを感じる”保育を日々の活動の中で実践し、検証することから保育の質の向上を目指す。『心』にも大きく影響を与えている自然体験を取入れ、子どもたちが「やれる・やれない」等を頭で考える前に「感性で動く」気持ちを育てた。そのために“遊びのレパートリー”を増やし、“保育の内容の目的”を

大切にしながら、毎日の保育に取組み、子どもの育ちを丁寧に見守ってきた。

季節に応じた行事の由来を学び、子どもたちに伝えることで、子どもたちも理解が深まり、職員の達成感にもつながった。引続き、保育の目的を確認し合い、職員間で協力し合って取組む。

3 子どもの人権擁護の取組み

「子どもの人権擁護を考える part6」に取組んだ。「人権勉強会」を園内で「保育園職員委員会」が主となり毎月開催し、本年度は特に、発達特性をもつ子どもへの関りについて全職員で学び、子ども主体の保育体制が保たれているか、又、園内で不適切な関りが発生することがないように自己の対応を振り返られるように職員間で声を掛合うようにしたことで、不適切な事案はでなかったため、引続き、声を掛合える環境づくりに努める。

4 子どもの健康管理体制の強化

1) 子ども一人一人の健康の保持及び増進に取組み、子どもの命を守る。

① 子どもの成長を把握する「身体測定」、「各健診」を定期的実施し、その結果を速やかに保護者と共有し、子どもの健康管理をした。昨年に引続き、手洗い・うがい、室内の換気を周知し、感染予防に努めた。

② 緊急事態発生時対応訓練を計画的に実施した。日ごろから、子どもの育ちに関する情報を把握し、それらをもとに発症が考えられる様々な症状“SIDS”や“アナフィラキシーショック”の対応、“大けが”発生対応訓練を次表に沿って実施し、エピペンを持参している園児がいることから「エピペン研修」も取り入れ、不測の事態に備えた。

③ 保健・衛生に関する研修の徹底

子どもの体調の異変に気づき、急変時に適切な対応をできるように、保育園で過ごす子どもの姿を日々、観察した。また、「けんこう保育」を計画的に行い、けんこうな体を作るためにどうしたらいいのかを子どもたちと学ぶ機会を設けたことにより、子どもの意識は深まった。引続き、小児保健の知識を習得し、職員全員が知識を深められるように取組む。

【緊急事態発生時対応訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月14日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
5月19日	けいれん対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
6月16日	アナフィラキシー対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
7月24日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
8月8日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
9月28日	けいれん対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
11月13日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
12月11日	アナフィラキシー対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
27日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
令和6年 1月12日	大けが対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
3月8日	窒息対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練
12日	SIDS 対応訓練	心肺蘇生、AED、消防連絡訓練

2) 感染症対策

“新型コロナウイルス”感染拡大防止対応だけでなく、その他の感染症予防に努めるため、子どもの過ごす生活環境を衛生面の徹底を中心に整えていくため、施設内（教材・玩具類及び備品含む）の消毒作業や室内の換気に努めた。

3) 感染症発症時の対応

感染症発生時の対応については、法人の“感染症ガイドライン”に基づいた対応および、国・尼崎市の指導のもと対応した。

4) 「感染症対策チーム」による体制強化

“感染症について正しい知識と理解ができる職員を育成する”という目的のもと本年度も行った。現場までの周知に難しさを感じることもあったが、スタッフ会議での情報共有とクイズ形式の研修会を行うことで、少しずつ日々の生活の中での対策に積極的に取組む姿が見られ効果があった。児童部門看護会議でも状況を共有しながら進めることができた。次年度も引続き、正しい知識と理解ができ、実践できるように努める。

5 防災対策を強化し子どもの命を守る

1) 防災対策

防災訓練では、子ども達にも避難経路の知識が深まるように、訓練の際、確認した。職員も臨機応変な助け合いができるように引続き、防災対策についての知識を深める。

2) 施設内外の安全管理対策の強化

施設内外の設備や用具の安全管理を徹底し、毎月「安全点検」を行い、安全管理に努めたが、ヒヤリハットへの意識は浅いことが課題と捉え、次年度はヒヤリハットへの意識を深め、事故を未然に防ぐ。

なお、毎月の消火・避難訓練・危機管理発生時対応訓練は計画通り実施した。また、本年度は、法人保育園で緊急時対応訓練として「アナフィラキシー発生時対応訓練」「けいれん発生時対応訓練」「大けが発生時対応訓練」に加え、「窒息対応訓練」のマニュアルを基に訓練を行い、保健面の対応について徹底することができた。

【消火・避難訓練】

実施日	訓練種類	実施内容
令和5年 4月19日	集合	平日午前（園児79名、職員20名） 非常ベルの音を知り、保育士の言葉がけで保育士のもとに集まる。
5月17日	火災 (消火・通報)	平日午前（園児79名、職員20名） 階段を使用し、園庭西側に避難した。よいこネットで保護者に配信訓練をした。
6月23日	火災 (消火・通報)	平日午前（園児78名、職員18名） 1階調乳室より出火、階段を使用、園庭に避難した。

7月5日	火災（防火教室） （消火・通報）	平日午前（園児74名、職員17名） 1階調理室より出火、階段・避難滑り台を使用、園庭に避難した。園庭にて、消火訓練の様子を見学した。
8月17日	風水害	平日午前（園児62名、職員18名） 風水害により庄下側の氾濫を想定し、2階に避難した。
	火災 （消火・通報）	平日午前（園児62名、職員18名） 調理室より出火、非常階段を使用、園庭に避難した。
9月20日	火災 （消火・通報）	平日午前（園児75名、職員18名） 調理室より出火、非常階段を使用、乳児はテラスより避難した。
28日	不審者 （通報）	平日午前（園児68名、職員19名） 保育士の指示に従い集合する。おはなしシアターで不審者の対応を学んだ。
10月14日	少人数訓練 火災（消火・通報）	土曜日午前（園児17名、職員6名） 階段を使用し、玄関外に避難した。
27日	少人数訓練 火災（消火・通報）	土曜日午前（園児20名、職員5名） 階段を使用し、玄関外に避難した。
11月10日	火災 （消火・通報）	平日午前（園児70名、職員19名） 民家より出火、階段を使用し、玄関外に避難した。
	地震	平日午前（園児70名、職員21名） 地震後の避難方法を知る。「おはしも」の確認をした。 お迎え時、引き渡しカードを使用した訓練をした。
12月21日	火災 （消火・通報）	平日夕方（延長時間）（園児10名、職員3名） 調理室より出火、非常階段を使用、乳児はテラスより避難した。
令和6年 1月19日	火災 （消火・通報）	平日午後（園児87名、職員18名） 調理室より出火、非常階段を使用、乳児はテラスより避難した。
2月08日	地震・津波	平日午前（園児71名、職員18名） 地震後の避難方法を知る。「おはしも」の確認をし、名和小学校まで避難した。
28日	火災 （消火・通報）	平日午前（園児70名、職員18名） 調理室より出火、非常階段を使用、乳児はテラスより避難した。その後、尾浜コミュニティーホールに避難した。
3月28日	不審者対応 （園外）	平日午前（園児／幼児名、職員17名） 散歩中、不審者に遭遇し、保育園と連携を図り、避難した。

6 「ネウボラ・セリジェ」の活動の充実

1) 保育園運営力を活かした子育て支援活動の推進

子育て支援事業については、地域への浸透が薄かったため、市役所や子育てプラザにチラシを置く等の工夫をしたが浸透できなかった。次年度は、“おはなし会”や“お父さんとあそぼう会”等の取り組みを計画し、地域ニーズを把握するために取り組みやアピール方法の工夫をする。

2) 「子どもを地域で育てる仕組みづくり」を行う

本年度は、一時預かり保育を積極的に受入れる体制を心掛けたが、定期利用者や新規確保に繋がらず、年間目標は達成できなかった。次年度も利用者の確保に繋がるようにアピール方法を工夫する。

7 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後期待される保育園の役割を果たす

本年度も、安定した保育園運営の目標稼働率は達成した。一時保育は減収傾向にあり、家庭保育をしている地域の方へのアピール方法を考え、地域の子育てひろばにチラシを置いていただいたが、知名度アップには繋がっていないので、引き続き、地域へチラシを置いていただく等の工夫をする。

8 職員が成長する職場づくり

1) 法人基本理念の周知・徹底

社会福祉法人の職員として、基本理念の大切さを再度伝え、特に“人権を擁護する”に特化し、日々の業務が理念に沿って進められているかを毎月のスタッフ会議で話し合い、基本理念に沿って保育を進められているかの確認や大切さを学ぶことができた。

2) 職員のやりがいがある職場環境づくりに努める

保育園職員委員会を中心に、職員が働きやすい環境を作るために“毎月のテーマ”を掲げたことで、職員間の協力体制や声を掛け合う関わりが増え、働きやすさを職員が感じていた。引き続き、テーマを掲げ、働きやすい環境づくりに努める。

3) 保育所保育指針に基づく職員の資質向上の推進

本年度の施設内研修のテーマは「体幹を鍛える遊びを学び、心身ともにたくましい子どもを育てる」とし、キッズミュージカルの講師や外部研修等から運動遊びのレポーターを学び、子どもが楽しいと感じる保育・職員のやりがいに繋がる保育を実践した。

本年度は、“キャリアに応じた保育力の獲得について”とテーマを決めて、スーパーバイザーを招いてキャリアに応じた保育実践の検証を行ったことで、子どもに対する人権を大切にしたい関わりを学んだことで、保護者からも安心の声が聞こえてきたので、引き続き人権を大切にしたい保育に取り組んでいきたい。

【職員育成講座：キャリアに応じた教育・保育実践の検証】

スーパーバイザー：聖和短大／立花先生

回数	日時	参加対象者
第1回	令和5年 6月2日	障害児保育①
第2回	20日	障害児保育②・巡回指導
第3回	28日	障害児保育③・巡回指導
第4回	7月14日	新人育成①

第5回	9月15日	障害児保育④
第6回	10月20日	障害児保育⑤
第7回	11月17日	新人育成②
第8回	12月15日	検証会議

4) 園内委員会

従事職員一人一人に事業運営を分担し、全職員が委員会活動を行ったが、委員会の目的が多岐にわたりすぎており、業務内での委員会開催が難しい問題が出てきた。委員会の意義・目的を職員全員で話し合い、理解を深める取り組みが必要である。

本年度も「保育園職員委員会」を設け、“働きやすい環境を作るためのテーマ”を掲げることで、職員間で支えあい、声を掛合う関係作りにつながったので、各々の委員会に対しても改善の意見が交わしやすくなった。次年度もテーマ性をもって、取り組む。

5) 人事考課制度の効果的運用

業務に対する自己評価及び考課者との面談を通して自己の業務についての分析、目的意識の明確化を図り、向上を培うことができた。また、考課者はOJTでの指導を通して、キャリアパス及び職員一人一人の資質を捉えた職員育成に積極的に取り組んだ。

行 事 実 施 状 況

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
5.	4.	3	入園・進級式	入園と進級のお祝いの会
	4.	11	お誕生日会	4月生まれの園児のお誕生日会
		24	食育	「旬の食材」について (幼児)
		27	こどもの日のつどい	こどもの日のお祝い「ミニうんどうかい」 (幼児)
	5.	2	こどもの日のつどい	こどもの日のお祝い「ミニうんどうかい」 (乳児)
		9	お誕生日会	5月生まれのお誕生日会
		11	クラス懇談会	4歳児クラス懇談会 (保護者)
		12	クラス懇談会	5歳児クラス懇談会 (保護者)
		18	食育	夏野菜の苗植え (5歳児)
			食育	夏野菜の苗植え (3歳児)
			食育	夏野菜の苗植え (4歳児)
			クラス懇談会	2歳児クラス懇談会 (保護者)
	19		クラス懇談会	0歳児クラス懇談会 (保護者)
		23	遠足	「荒牧バラ園」 (5歳児)
			クラス懇談会	3歳児クラス懇談会 (保護者)
	29		食育	「旬の食材」について (全園児)
	6.	1	けんこう保育	「歯磨きについて」 歯科衛生士 (3・4・5歳児)
		12	食育	「旬の食材」について (全園児)
		13	お誕生日会	6月生まれの園児のお誕生日会
		30	名和まつり	名和小学校との交流 (5歳児)
	7.	1	遠足	プラネタリウム遠足 (5歳児)
		5	防火教室	「避難訓練について学ぼう」 尼崎北消防署 (全園児)
		7	七夕まつり	七夕まつり (全園児)
			食育	「七夕そうめん」 (1・2・3・4・5歳児)
		11	お誕生日会	7月生まれの園児のお誕生日会
		18	けんこう保育	「プライベートゾーンについて」 (2・3・4・5歳児)
		19	プール開き	プール開き (全園児)
		25	交通安全教室	「交通安全について」 尼崎市生活安全課 (2・3・4・5歳児)
			食育	「旬の食材」について (全園児)
	8.	7	けんこう保育	「鼻の日」について (3・4・5歳児)
		8	お誕生日会	8月生まれの園児のお誕生日会 (保護者)
		18	クラス懇談会	1児クラス懇談会 (保護者)
		19	ホームカミングデー	ホームカミングデー (5歳児・小学1年生)
		21	食育	「とうもろこしの皮むき」 (4歳児)
		22	さくらまつり	なつまつり (3・4・5歳児)
		23	さくらまつり	なつまつり (0・1・2歳児)
		24	食育	「おばけスイカ作り」・「旬の食材」 (3・4・5歳児)
		29	食育	「野菜スタンプ」 (2・3・4・5歳児)
	9.	1	食育	防災食について (全園児)
		12	お誕生日会	9月生まれの園児のお誕生日会 (保護者)
		13	高齢者施設訪問	芦風荘訪問 (プレゼントを贈呈) (5歳児)
		14	高齢者施設訪問	なにわローランド訪問 (玄関先でプレゼントを贈呈) (5歳児)
		25	食育	「旬の食材」について (全園児)
		26	けんこう保育	「トイレの使い方」について (2・3・4・5歳児)
			食育	「三色食品群」について (5歳児)
		27	お月見会	「お月見の由来を知ろう」 (全園児)
	10.	10	けんこう保育	「目の日」について (2・3・4・5歳児)
			お誕生日会	10月生まれの園児のお誕生日会 (保護者)
		16	けんこう保育	「玩具の使い方・片付けの仕方」について (2・3・4・5歳児)
		25	ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティー 英語保育 (3・4・5歳児)
		28	運動会	運動会 (尼崎さくら保育園) (0・1歳児)
		30	遠足	芋ほり遠足 (5歳児)
		31	食育	「旬の食材」について (全園児)
	11.	8	クラス懇談会	0歳児クラス懇談会 (保護者)
		9	クラス懇談会	1歳児クラス懇談会 (保護者)
		14	お誕生日会	11月生まれの園児のお誕生日会 (保護者)
		15	芋ほり	園庭の芋ほり (3・4・5歳児)

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容	
	16	クラス懇談会	2歳児クラス懇談会（保護者）	
	17	クラス懇談会	4歳児クラス懇談会（保護者）	
	20	5歳児交流会	立花地区5歳児交流会／若松公園（5歳児）	
	21	秋の遠足	北山緑化植物園（5歳児）	
	22	クラス懇談会	3歳児クラス懇談会（保護者）	
	25	クラス懇談会	5歳児クラス懇談会（保護者）	
	28	けんこう保育	「いいうんち」について（2・3・4・5歳児）	
	28	食育	「旬の食材」について（全園児）	
12.	5	秋の遠足	王子動物園（3・4歳児）	
	6	お店屋さんごっこ	お店屋さんごっこ（0・1・2歳児／4・5歳児）	
	7	5歳児交流会	5歳児交流会／立花幼稚園（5歳児）	
	8	お店屋さんごっこ	お店屋さんごっこ（3・4・5歳児／異年齢児交流）	
	11	食育	「お箸の使い方について」（3歳児）	
	12	お誕生日会	12月生まれの園児のお誕生日会（保護者）	
	19	クリスマス会	人形劇（2・3・4・5歳児）	
	20	クリスマス会	クリスマスパーティー（0・1・2歳児／5歳児）	
	21	食育	「食べ物と身体の動きについて」（5歳児）	
	22	食育	「旬の食材・冬至のはなし」（2・3・4・5歳児）	
	25	けんこう保育	「手洗いについて（手洗いチェッカー）」（2・3・4・5歳児）	
		食育	クリスマスケーキ作り（3・4・5歳児）	
6.	1.	7	食育	「七草がゆ・おせちの話」（2・3・4・5歳児）
		9	お誕生日会	1月生まれの園児のお誕生日会（保護者）
		10	書初め	「た・たつ・辰」書初め（3・4・5歳児）
		11	書初め	「〇・手形」書初め（0・1・2歳児）
			食育	「鏡開きの話」（2・3・4・5歳児）
		15	とんど焼き	尾浜八幡神社のとんど焼き見学（5歳児）
		17	食育	「非常食」について（2・3・4・5歳児）
			お正月あそび	お正月の遊びを知ろう（3・4・5歳児）
		18	お正月あそび	お正月の遊びを知ろう（0・1・2歳児）
		28	生活発表会	生活発表会（0・1・2歳児）
		30	食育	「5つの味を体験しよう」について（5歳児）
			食育	「旬の食材」について（全園児）
2.	2	節分祭	豆まき・節分の由来を知ろう（全クラス）	
		7	食育	「献立を考えよう」（5歳児）
		13	お誕生日会	2月生まれの園児のお誕生日会（保護者）
		7	食育	「バレンタインクッキング」（5歳児）
		25	けんこう保育	「咳エチケットについて」（2・3・4・5歳児）
		17	生活発表会	生活発表会／ピッコロシアター（2・3・4・5歳児）
		22	食育	「旬の食材」について（全園児）
3.	1	ひなまつり会	ひなまつりの由来を知ろう（全園児）	
		4	けんこう保育	「耳の日」について（2・3・4・5歳児）
		6	お別れ遠足	「神戸どうぶつ王国」（5歳児）
		7	5歳児交流会	5歳児交流会／立花幼稚園（5歳児）
		12	お誕生日会	3月生まれの園児のお誕生日会（保護者）
		14	小学校見学	名和小学校見学（5歳児）
		15	マラソン大会	マラソン大会／名月公園グラウンド（3・4・5歳児）
		22	食育	「旬の食材」について（全園児）
		23	卒園式	卒園式（尾浜コミュニティホール）（5歳児・保護者）
		27	食育	「園庭ランチ」（5歳児）
		29	お別れパーティー	卒園パーティー（4・5歳児）
		特別カリキュラム		
		英語保育		
5.	4.	12		
		19		
		26		
	5.	10		
		17		

開 年	催 月 日	行 事 名	行 事 内 容
	24		
	31		
6 .	7		
	14		
	21		
	28		
7 .	5		
	12		
	19		
	26		
8 .	2		
	9		
	16		
	30		
9 .	6		
	20		
	27		
10 .	4		
	18		
	25		
11 .	15		
	22		
	29		
12 .	6		
	13		
	20		
6 .	1 . 10		
	17		
	31		
2 .	7		
	14		
	21		
	28		
3 .	6		
	13		
	18		
		音楽リズム	
5 .	4 . 21		
	28		
	5 . 12		
	19		
6 .	9		
	23		
7 .	14		
	28		
8 .	4		
	25		
9 .	22		
	29		
10 .	13		
	19		
11 .	10		
	24		
12 .	8		
	15		
6 .	1 . 12		
	26		
	2 . 2		

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
16 3 . 1 15			
5 . 4 . 24 5 . 22 6 . 19 7 . 24 8 . 28 9 . 11 11 . 13 27 12 . 4 18 6 . 1 . 15 29 2 . 5 3 . 4	絵画指導		
5 . 4 . 7 14 21 5 . 11 18 25 6 . 8 15 29 7 . 6 13 20 8 . 3 24 9 . 7 21 28 10 . 12 19 26 11 . 2 16 30 12 . 7 14 21 6 . 1 . 11 18 25 2 . 1 8 3 . 7 14 21	キッズミュージカル		
	子育て支援事業 育児相談		

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
5 . 5 . 2			1組
7 . 14			1組
	21		1組
8 . 14			1組
	24		1組
9 . 7			1組
	12		1組
	19		1組
	20		1組
	27		1組
10 . 19			1組
	31		1組
11 . 6			1組
12 . 8			1組
6 . 1 . 22			1組
	29		1組
3 . 1			2組
6 . 3 . 12		園庭開放	1組
	26		1組
5 . 7 . 8		園見学	1組
	24		1組
8 . 23			1組
9 . 19			3組
	20		2組
	27		1組
10 . 19			1組
6 . 1 . 16			1組
	24		1組
5 . 6 . 1		すくすく子育て広場	1組
	20	虫歯予防デー	1組
		青空保育	1組
7 . 7		七夕まつり	0組
8 . 23		さくらまつり	2組
10 . 31		ハロウィンパーティー	3組
12 . 20		クリスマス会	1組
6 . 2 . 2		節分祭	3組
3 . 1		ひなまつり会	3組
		地域交流事業	
5 . 5 . 20			園児18名、引率3名
	12 . 21		園児18名、引率2名
6 . 3 . 21			園児18名、引率2名

令和5年度

地 区 関 係

実 施 年 月 日	内 容	派 遣 者 名	派 遣 場 所
--------------	-----	---------	---------

開 年	催 月	日	行 事 名	行 事 内 容
5.	5.	20	名月姫公園清掃	職員4名、園児18名
	5.	27	尾浜町クリーン作戦(清掃)	職員3名
	12.	21	名月姫公園清掃	職員2名、園児18名
6.	3.	21	名月姫公園清掃	職員2名、園児18名

1 施設内研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容
		(事業所研修)
5 . 4 . 8	8	事業計画説明会 職員12名
	8	基本理念説明会 職員12名
	14	緊急事態発生対応訓練 (S I D S) 職員5名
	19	嘔吐物処理研修 職員10名
5 . 19		緊急事態発生対応訓練 (けいれん) 職員5名
6 . 2		障害児保育①
	16	緊急事態発生対応訓練 (アナフィラキシー) 職員5名
	20	障害児保育②：巡回指導
	23	障害児保育③：巡回指導
7 . 7		階層別研修 広狩副主任
	14	新人研修① 山田課長・村山保育士
	21	普通救命講習会 職員4名
	24	エビペンの使い方講習会 職員13名
8 . 8		緊急事態発生対応訓練 (S I D S) 職員5名
9 . 15		障害児保育④
	28	緊急事態発生対応訓練 (けいれん) 職員5名
	28	夏の感染症研修 職員13名
	20	障害児保育⑤
11 . 2		学びあい研修「アンガーマネジメント」 職員3名
	13	緊急事態発生対応訓練 (S I D S) 職員5名
	17	新人研修②
12 . 7		学びあい研修「ピアノ」 職員2名
	11	緊急事態発生対応訓練 (アナフィラキシー) 職員5名
	27	緊急事態発生対応訓練 (S I D S) 職員5名
6 . 1 . 12		緊急事態発生対応訓練 (大けが) 職員5名
	3 . 8	緊急事態発生対応訓練 (窒息) 職員5名
	11	チューター研修 職員3名
	12	緊急事態発生対応訓練 (S I D S) 職員5名
	18	チューター研修 職員2名
		(法人研修)
	9 . 15	新任主任・副主任マネジメント研修 足立主任、広狩副主任
	10 . 13	新任主任・副主任マネジメント研修 足立主任、広狩副主任
6 . 1 . 22		新任主任・副主任マネジメント研修 足立主任、広狩副主任
	3 . 13	新任主任・副主任マネジメント研修 足立主任、広狩副主任
	11	令和6年チューター研修 職員3名
	18	令和6年チューター研修 職員2名
	23	新人研修 兼本園長

2 施設外研修

開 年 月 日	催 日	研 修 内 容
5 . 5 . 22		看護研修 星看護員
	5 . 25	看護研修 星看護員
	6 . 10	社会福祉方法論1 (オンライン) 兼本園長
	～ . 11	
	6 . 15	メンタルヘルス研修 広狩副主任
	6 . 17	社会福祉方法論2 (オンライン) 兼本園長
	～ . 18	
	6 . 24	社会福祉学演習 (オンライン) 兼本園長
	～ . 25	
	30	就学前の保護者対応について 足立主任
8 . 3		兵庫県主幹研修 (オンライン) 足立主任
	4	社会福祉学特殊講義 (オンライン) 兼本園長
	～ 5	
	7	社会福祉学方法基礎1 (オンライン) 兼本園長
	～ 8	
	14	社会福祉学実践論1 (オンライン) 兼本園長

開 年	催 月	日	研 修 内 容
	～	15	
		15	社会福祉学実践論2（オンライン）
	～	16	
		25	武庫川女子大学 講義
9.	1		子育て支援員研修
	6		子育て支援員研修
	7		わらべうた研修
	8		子育て支援員研修
	13		障害児保育研修「公開保育」
10.	4		愛護団体講習会
11.	10		絵本ライブ研修
12.	2		社会福祉学実践論4
	～	3	
	. 16		キャリアアップ研修
	16		アレルギー相談員養成研修会
	16		社会福祉学方法基礎2（オンライン）
	～ . 17		
	. 23		キャリアアップ研修
6.	1. 28		わらべうたマッサージ資格取得講習会

兼本園長

足立主任

兼本園長

兼本園長

岸本保育士

兼本園長

足立主任

兼本園長・足立主任

常勤職員9名

兼本園長

今澤保育士

星看護員

兼本園長

今澤保育士

広狩副主任

状 況

講 師 名
星看護員
聖和短期大学 立花氏
聖和短期大学 立花氏
聖和短期大学 立花氏
聖和短期大学 立花氏
兼本園長 星看護員
聖和短期大学 立花氏
星看護員 聖和短期大学 立花氏 羽柴保育教諭
聖和短期大学 立花氏 加納主任保育教諭
安田副施設長 安田副施設長 安田副施設長 安田副施設長
絹田統括

実 施 場 所
あこや学園

実 施 場 所

武庫川女子大学
明石商工会議所
明石商工会議所
女性センター・トレピエ
明石商工会議所
立花幼稚園
尾浜八幡神社
アルカイクオクト
佛教大学

各委員会開催状況

開 年 月 日	活 動 内 容	
5. 4. 25	1 施設長会議 * 基本理念の周知徹底 * 事業計画・各委員会の進捗状況 * 各事業所運営上の課題・問題点 * 本部事務連絡について	
7. 22		
10. 28		
6. 2. 24		
5. 4. 22	2 児童施設運営会議 試算表の見方及び令和4年度当初予算・3月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点 5月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 6月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 7月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 8月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 9月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 10月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 11月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 12月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他 1月末日収支状況・前月の指示事項への対応状況・現状と課題・問題点・その他	
6. 28		
7. 28		
8. 25		
9. 22		
10. 27		
11. 29		
12. 22		
6. 1. 26		
2. 29		
5. 11. 28		3 経営計画検証委員会 * 委員会活動目的の意思統一、年間活動計画について * 第4期経営5か年計画4年目の進捗状況の検証
5. 4.		4 人材確保対策委員会 * 今年度の採用スケジュール・法人説明資料について * 令和4年度人材確保に係る計画について * 採用者向けパンフレットの作成について * ホームページリニューアルについて
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		
11.		
12.		
6. 1.		
4. 5. 20	5 保育部門苦情解決委員会 * 令和3年度の苦情関係について	
5.	6 兵庫大学連係協定実行委員会 * 人的・知的資源の交流について * 共同の調査研究および事業の実施状況委員会活動内容の確認 * 新たな取り組み	
6.		
5. 4. 4	7 合同園長会 * 各園の現状報告 * 職員育成状況の確認	
5. 9		
6. 7		
7. 5		
8. 3		

開 年	催 月 日	活 動 内 容
	9. 11	
	10. 12	
	11. .	⇒ 開催できず
	12. 7	
6.	1. 10	
	2. 13	
	3. 7	
		8 保育部門会議
		① 合同主任会議
5.	4. 22	*各専門部門の現状報告・課題の分析と対応
	5. 19	*職員育成について
	6. 6	
	7. 19	
	8. 22	
	9. 27	
	10. 18	
	11. 15	
	12. 27	
6.	1. 26	
	2. 29	
	3. 28	
		② 合同主任副主任会議
5.	4. 22	*各園の現状報告・課題の分析と対応
	8. 16	
		③ 合同副主任会議
5.	4. 22	*各園の現状報告・課題の分析と対応
	5. 17	
	6. 6	
	7. 19	
	8. 22	
	9. 27	
	10. 18	
	11. 15	
	12. 27	
6.	2. 1	
		③ 合同厨房会議
5.	5. 12	
		④ 厨房リーダー会議
5.	5. 12	*各園の現状報告・課題の分析と対応
	7. 19	*献立表の作成 8/20 ⇒ 中止
	8. 1	
	9. 9	
	11. 25	
6.	3. 4	
	22	
	26	
		⑤ 合同看護会議

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
5.	4. 5	*各園の現状報告・課題の分析と対応 *ネウボラの活動報告
	5. 15	
	6. 20	
	7. 18	
	8. 22	
	9. 19	
	10. 17	
	11. 21	
	12. 19	
6.	1. 23	
	2.	
	3.	
		⑥ 合同担任会議
5.	5. 18	5歳児合同担任会議
	22	4歳児合同担任会議
	24	3歳児合同担任会議
	25	1歳児合同担任会議
	7. 31	2歳児合同担任会議
	11. 1	0歳児合同担任会議
		⑦ 男性保育士会議
5.	7. 10	
		9 スタッフ会議
5.	4. 3	*来月の予定確認、1ヵ月の各クラス・委員会報告
	5. 16	*法人基本理念「人権擁護」の理解を深める
	6. 12	
	7. 6	
	8. 9	
	9. 28	
	10. 17	
	11. 2	
	12. 14	
6.	1. 12	
	2. 6	
	3. 1	
		11 保育園運営委員会
5.	4. 3	*保育内容について
	5. 16	*職員体制について
	6. 12	
	7. 6	
	8. 9	
	9. 28	
	10. 17	
	11. 2	
	12. 14	
6.	1. 12	
	2. 6	
	3. 1	
		12 保育内容検討委員会
4.	6. 9	I期の振り返り

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
10. 29		Ⅱ期の振り返り
5. 1. 20		Ⅲ期の振り返り
3. 20		Ⅳ期の振り返り
5. 5. 10		13 0歳児クラス会議
31		*子どもの様子
6. 23		*クラス運営について
7. 14		
8. 3		
9. 5		
10. 5		
11. 9		
12. 7		
6. 1. 15		
2. 13		
3. 7		
5. 4. 2		14 1歳児クラス会議
5. 2		*子どもの様子
6. 7		*クラス運営について
7. 27		
8. 23		
9. 20		
11. 13		
12. 24		
6. 1. 25		
2. 22		
3. 20		
5. 4. 11		15 2歳児クラス会議
5. 24		*子どもの様子
6. 9		*クラス運営について
7. 28		
8. 22		
9. 12		
10. 14		
11. 14		
12. 12		
6. 1. 16		
2. 13		
3. 12		
5. 4. 8		16 フロア会議
4. 30		(幼児クラス)
6. 24		*保育内容について (保育・異年齢児活動・行事等)
7. 21		
9. 1		
9. 30		
10. 19		
11. 16		
12. 14		

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
6. 1. 15	2. 7	
5. 7. 12	10. 11	17 サービス評価委員会 *各委員会の取り組み状況と課題 *自己評価実施
6. 1. 27		
5. 4. 18	5. 10	18 環境研究委員会 *ヒヤリ・事故報告の内容検討と対策 *安全点検の実施 *安全点検の検証、改善
	6. 9	
	7. 4	
	8. 31	
	10. 10	
	10. 25	
	11. 17	
	12. 22	
6. 1. 17	3. 4	
	3. 29	
5. 4. 3	5. 16	19 食育研究委員会 *昼食についての個別対応 *食事の状況（アレルギー・離乳食） *食育の取り組みについて
	6. 12	
	7. 6	
	8. 9	
	9. 28	
	10. 17	
	11. 2	
	12. 14	
6. 1. 12	2. 6	
	3. 1	
5. 4. 25	5. 31	20 絵本研究委員会 *園だより、機関誌、HP、よいこネット
	6. 29	
	7. 31	
	8. 30	
	9. 6	
	9. 29	
	10. 26	
	11. 29	
	12. 7	
6. 1. 27	2. 27	
	3. 27	
5. 5. 2	10. 12	21 子育てサポート委員会 *年間活動計画について *子育て支援活動について

開 年 月 日	活 動 内 容
6. 3. 20	
5. 4. 19	22 保健研究委員会
5. 30	*年間活動計画について
6. 20	*反省と今後の活動内容について
7. 6	*けんこう保育
8. 10	
9. 29	
10. 26	
11. 29	
12. 22	
6. 1. 15	
3. 6	
3. 11	
5. 5. 11	23 衛生推進委員会
10. 3	*年間活動計画について
11. 14	*安全パトロール実施、改善策検討
5. 4. 3	24 保育園職員委員会
5. 31	*年間計画について
6. 22	*人権について（人権セルフチェック）
7. 20	*毎月の目標設定
8. 29	
9. 20	
10. 18	
11. 26	
12. 18	
6. 1. 16	
2. 19	
3. 23	
6. 2. 14	25 臨時職員会議

令和4年度

ボランティア稼働実績

稼働年月日	摘要
	なし

団体・・・0回、計0名

令和4年度

職員福利厚生関係

実施年月日	内容	備考
	なし	

令和5年度

見学・実習等受入れ状況

受入年月日	摘要
	見学者
4. 6. 10	既卒者 1名
7. 13	既卒者 1名
8. 15	聖和短期大学 1名
10. 3	既卒者 1名
8. 12	園田女子大学 1名
12. 28	既卒者 1名
	実習生
5. 7. 24	元町こども専門学校 6名
～ 7. 26	
7. 31	大阪ほけん専門学校 1名
～ 8. 10	
8. 14	大阪こども専門学校 1名
～ 8. 25	
8. 28	甲子園短期大学 1名
～ 9. 9	
10. 23	大阪こども専門学校 1名
～ 11. 2	
5. 11. 2	大阪成蹊大学 2名
5. 11. 9	大阪成蹊大学 2名
5. 11. 16	大阪成蹊大学 2名
5. 12. 7	大阪成蹊大学 2名
5. 12. 14	大阪成蹊大学 2名
6. 2. 19	大阪成蹊大学 2名
～ 3. 4	
	トライやるウィーク

稼 年 月 日	動 摘 要
5. 9. 11 ～ 9. 15	大成中学 2名 中央中学 2名

令和5年度 感染症罹患状況

施設名 尼崎さくら保育園

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員	園児	職員
学校保健法 伝染病	第2種	1 インフルエンザ										4名	2名					2名		21名	2名	9名		2名			38名	4名	
		2 百日咳																										0名	0名
		3 麻疹 (はしか)																										0名	0名
		4 風疹 (三日はしか)																										0名	0名
		5 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)																										0名	0名
		6 水痘 (水ぼうそう)																										0名	0名
		7 咽頭結膜熱 (プール熱)												16名		3名		5名		1名								25名	0名
		8 結核																										0名	0名
	第3種	9 流行性角結膜炎 (はやり目)														1名												1名	0名
		10 急性出血性結膜炎																										0名	0名
		11 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																										0名	0名
	その他	12 伝染性紅斑 (りんご病)																										0名	0名
		13 溶連菌感染症	4名		7名		2名													1名								14名	0名
		14 流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)																										0名	0名
		15 手足口病			4名		6名						3名		1名													14名	0名
		16 マイコプラズマ感染症																										0名	0名
		17 ヘルパンギーナ					6名							5名								1名						12名	0名
		18 アタマジラミ																										0名	0名
		19 伝染性膿痂疹 (とびひ)																										0名	0名
その他感染症	20 RSウイルス感染症	1名																								1名	0名		
その他感染症	21 アデノウイルス感染症							1名		5名						5名										11名	0名		
その他感染症	22 突発性発疹	1名								1名																2名	0名		
その他感染症	23 ヒトメタニューモウイルス																									0名	0名		
その他感染症	24 新型コロナウイルス感染症							1名	3名	1名	1名	1名	3名									1名		1名		5名	7名		
合 計		1名	0名	11名	0名	14名	0名	2名	3名	7名	1名	29名	5名	5名	0名	10名	0名	4名	0名	22名	2名	10名	0名	3名	0名	123名	3名		

令和5年度 事業報告書

一時預かり事業さくらルーム					
稼働状況			令和5年度	令和4年度	前年度対比
	一	実績人数	1,137名	977名	+160
	時	目標人数	2,400名	2,400名	—
		差 異	-1,236名	-1,423名	—
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 子どもの一人一人の育ちを尊重した保育の徹底 ③ 子どもの最善の利益につながる保育及び教育的視点を持った保育の実践 ④ 子どもの人権擁護の取組み ⑤ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後の一時預かり事業に期待される役割を果たす ⑥ 職員が成長する職場づくり 				
総 括	<p>本年度は、西宮市から西宮市立こども未来センター一時預かり事業者として、委託契約の8年目となり、当法人の基本理念に基づき第4期経営5か年計画の最終年度として、法人保育園6園の協力のもと、以下の事業を取組むとともに、法人の季節行事等に参画し、法人内の事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取組むべき計画を立てスタートした。</p> <p>5月に「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の2類相当から5類に移行となり、預かり数も1日6名に戻り事業推進は徐々に好転した。</p> <p>事業運営状況は、令和5年度の登録者数は349名でそのうち新規68名であった。年間運営日数243日、延べ申込者数1,451人、延べキャンセル数314人、延べ実利用者数1,137人、利用率92.83%、一日平均利用者数4.7人であった。</p> <p>② 子どもの一人一人の育ちを尊重した保育の徹底</p> <p>本年度は子どもの体調管理に特に留意しながら保育をした。5月以降もいろいろな感染症の発生があり、保育中の衛生管理体制を徹底した。活動は引続き、「短時間預かり」「不定期預かり」「単発預かり」という預かり形態の特徴を踏まえ、子どもたちがさくらルームでの時間を楽しく過ごし、次の登園を楽しみに通えるよう「制作遊び」を一人一人の発達に応じたものを用意した。子どもたちは熱心に取組み、作品の仕上がりを喜ぶ姿に成長を感じた。</p> <p>育児に負担を感じている保護者が、さくらルームで楽しそうに過ごしている子どもの姿に安心し、職員に対して信頼感を持ち、育児についての相談を受けることも増えている。保護者支援にも引続き取組む。</p> <p>⑤ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後の一時預かり事業に期待される役割を果たす</p> <p>コロナ禍での運営の厳しさがあったが、5類移行となったことで引き続き子どもの健康管理に配慮しながら、積極的に預かり児の確保に取組んだ。年度替わりの対応など、保護者のニーズへもまだまだ対応できることもあるので、次年度も西宮市こども未来センターと状況把握と意見交換を行い、一時預かり事業の可能性を広げる。</p>				

令和 5 年度

事業報告書

一時預かり事業 さくらルーム

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《重点項目》

- ① 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定
- ② 子どもの一人一人の育ちを尊重した保育の徹底
- ③ 子どもの最善の利益につながる保育及び教育的視点を持った保育の実践
- ④ 子どもの人権擁護の取組み
- ⑤ 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後の一時預かり事業に期待される役割を果たす
- ⑥ 職員が成長する職場づくり

本年度は、西宮市から西宮市立こども未来センター一時預かり事業者として、委託契約の 8 年目となり、当法人の基本理念に基づき第 4 期経営 5 年計画の最終年度として、法人保育園 6 園の協力のもと、以下の事業を取組むとともに、法人の季節行事等に参画し、法人内の事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取組むべき計画を立てスタートした。

5 月に「新型コロナウイルス感染症」が感染症法の 2 類相当から 5 類に移行となり、預かり数も 1 日 6 名に戻り事業推進は徐々に好転した。

本年度の事業運営状況は、令和 5 年度の登録者数は 349 名でそのうち新規 68 名であった。年間運営日数 243 日、延べ申込者数 1,451 人、延べキャンセル数 314 人、延べ実利用者数 1,137 人、利用率 92.83%、一日平均利用者数 4.7 人であった。

1 第 4 期経営 5 年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第 5 期経営 5 年計画の策定

本年度は、第 4 期経営 5 年計画の最終年度に取組んだ。

次年度は、姉妹園の西北セリジェ保育園と連携を取りながら、「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立に裏付けられた自律経営を目指す」の 3 つを重点項目に掲げ、法人理念の 5 本柱をもとに第 5 期経営 5 年計画を積極的に推進する。

2 子どもの一人一人の育ちを尊重した保育の徹底

1) 子どもへの対応

本年度は子どもの体調管理に特に留意しながら保育をした。5 月以降もいろいろな感染症の発生があり、保育中の衛生管理体制を徹底した。活動は引続き、「短時間預かり」「不定期預かり」「単発預かり」という預かり形態の特徴を踏まえ、子どもたちがさくらルームでの時間を楽しく過ごし、次の登園を楽しみに通えるよう「制作遊び」を一人一人の発達に応じたものを用意した。子どもたちは熱心に取組み、作品の仕上がりを喜ぶ姿に成長を感じた。

2) 保護者への対応

預かり時の子どもの様子や家庭での様子を話合うことで育ちの共有ができた。育児に負担を感じている家庭が増えているが、さくらルームで楽しそうに過ごしていることに安心し、職員に対して信頼を寄せ、育児についての相談を受けることも多かった。より配慮が必要だと感じたケースは、その都度センター職員に報告し、共に保護者の支援を行った。

3) 安全で安心できる施設面における保育環境を整え、保育する

児童福祉法及び保育所保育指針に基づき、一人一人の子どもの健康の保持及び増進並びに安全の確保とともに、さくらルームの子ども全体の健康及び安全の確保を、西宮市こども未来センターと連携して取組んだ。

衛生管理対策については、日々の掃除・消毒に「新型コロナウイルス感染予防対策」も追加し、徹底した。また、安全管理対策については、法人統一の「安全点検」の仕組みで毎月行い、不具合個所の状況確認・対応を適宜行った。その結果、さくらルーム内での怪我はなかった。

また、危機管理対策については、子どもたちの健康管理、衛生管理、安全管理に対するの不測の事態に平時から備え、こども未来センターが実施する消火・避難訓練にも積極的に参加した。

よって、次年度も引続き、衛生管理及び安全管理、危機管理を徹底し、予想される感染症の発症や災害の発生に備え、子どもたちが安全で安心できる保育環境を整える。

3 子どもの最善の利益につながる保育及び教育的視点を持った保育の実践

預かり児が 5 月から 1 枠 6 名に戻った。引続き、子どもたちの健康確認を保護者とともに丁寧に行い保育を実施した。預かり時間内の活動は、「ふれあいあそび」と「自由あそび」「制作あそび」を行った。「制作あそび」は毎月季節を感じる題材を選び、年齢に応じた制作活動を用意した。活動中の様子から発達の確認も行った。子どもたちは意欲的に活動に取組み、出来上がった作品を保護者に見せる姿は自信にあふれていた。帰宅後も作品を介して親子の会話が

弾むとの報告をたくさん受けるので、次年度も引続き行う。

4 子どもの人権擁護の取組み

法人保育園と共に、子どもの人権擁護についてさくらルームの全職員で取組んだ。さくらルーム内でも話合いの時間を設け、子どもたち一人一人の思いや育ちに沿った保育ができているか自身の取組みや悩み事を話合った。

また、西宮市子ども未来センターとの定例会議においても、利用児やその保護者について情報を共有しよりよい保育を心掛けた。引続き、職員で人権擁護について共通理解をし毎日の保育に取り組む。

5 「子ども家庭庁」創設に伴い、今後の一時預かり事業に期待される役割を果たす

コロナ禍での運営の厳しさがあったが、5類移行となったが引続き子どもの健康管理に配慮しながら、預かり児の確保に取り組んでいく。年度替わりの対応など保護者のニーズへもまだまだ対応できることもあるので、次年度も西宮市子ども未来センターと状況把握と意見交換を行い、一時預かり事業の可能性を広げる。また、運営に当たり、職員の有効的な活用も考える。

【西宮市子ども未来センターとの定例会議】

開催日	議事	参加者
令和5年 8月24日	預かり児、保護者の情報共有、連携について	中止
10月25日	預かり児、保護者の情報共有、連携について	中止
令和6年 2月16日	預かり児、保護者の情報共有、連携について 年度替わりの預かりについて	センター 2名、さくらルーム 2名

6 職員が成長する職場づくり

法人基本理念の周知・徹底については、さくらルーム内で話し合いの時間を持ちエピソード研修を行った。特に、「子どもの人権擁護」については保育実践の中で考え日々の保育実践に活かした。

施設内研修のテーマは「支援の必要な子どもと保護者を支える保育を考える part3」で、日々の預かり児の保護者とのやり取りから、育児に対する不安などの相談を受け助言を行なったことを職員で共有し学びとした。次年度は、現場指導を取入れた研修に繋げ、さらなる職員の保育力の向上を期待する。

人事考課制度は、法人指導の下、計画通りに進めることができた。

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホーム櫻ホーム西神 (定員 80名)						
地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神 (定員 20名)						
稼働状況			目標	実績	差異	
	特養	稼働率		98.0%	95.77%	-2.23%
		人数		78.4名/日	76.6名/日	-1.8名/日
		平均要介護度		4.00	3.89	-0.11
	空床 利用 SS	人数/日		0.27名/日	0.06名/日	-0.21名/日
		人数/年		100名/年	24名/年	-76名/年
		平均要介護度		3.00	2.56	-0.44
	地域 密着型	稼働率		98.0%	98.15%	0.15%
		人数		19.6名/日	19.63名/日	0.03名/日
		平均要介護度		4.00	3.84	-0.16
	合算	稼働率		98.0%	96.25%	-1.75%
		人数		98.0名/日	96.23名/日	-1.77名/日
平均要介護度			4.00	3.73	-0.27	
重点項目	① 第4期経営5か年計画(最終年度)の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する ③ 人権侵害防止の取組みの強化 ④ サービスの質の向上への取組み ⑤ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑥ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加 ⑦ 人材養成の積極的展開 ⑧ 安定した事業運営への取組み					
総括	<p>本年度は、法人基本理念に基づき、第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。</p> <p>本年度の事業運営状況は、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員80名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20名、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.77%で予算目標稼働率98.00%に対して2.23ポイントの減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率98.15%で予算目標稼働率より0.15ポイントの増、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神合算年間目標稼働率で96.25%で予算目標稼働率に対して1.75%減、空床SSを年間目標稼働率97.47%で予算目標稼働率に対して0.53%減、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.89で予算目標平均介護度0.04ポイント減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.84で予算目標平均介護度0.16ポイント減であり、予算を達成することができなかった。</p> <p>③ 人権侵害防止の取組みの強化 本年度は、重点項目「サービスの質の向上への取組み」を意識し「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に行った。人権侵害防止委員会においては、高齢者虐待及び身体拘束等の人権侵害に対する意識付けのために「不適切ケアアンケート」を実施し、人権侵害防止に対する意識化及び課題に対する改善策を検討した。「不適切ケアアンケート」集計したものの中から課題については、全職員対象に事例検討研修会を開催したが、令和6年1月30日にプラスチックグローブを異食したと疑われる事故が発生した。次年度は、「入居者の視点にたったケアの基本に立ち返る」を意識し、職員の都合で物事を判断せず、入居者視点にたった支援を行い、入居者が安心した生活が送れるように職員一体となり取り組んでいく。</p> <p>④ サービスの質の向上への取組み 本年度は、生活相談員が中心に相談窓口となり、各部署からの情報をもとに、家族と連携することができた。新型コロナウイルスの影響により、対面での面会が困難となったが、リモート面会を活用することで面会の機会を確保することができた。令和6年1月からは感染対策を徹底したうえで居室での面会を開始し、入居者・家族共に喜んでいただく機会をもつことができた。また、ホームページの情報を適宜更新し、積極的に情報を発信することで施設の取り組みが見える化を図ることもできた。次年度は、入居者と家族の面会ができ、定期的にお便り、通信の送付し、ホームページ・SNSを更新することで入居者・家族に情報発信することでより良い関係性が維持できるように取り組んでいく。</p> <p>⑦ 人材養成の積極的展開 本年度は、兵庫大学のバックアップを受け、排泄支援、自立支援について事例研究に取り組んだ結果を神戸市老人福祉連盟主催の発表会(RR1グランプリ)にて2位を受賞することができた。また、近畿老人福祉施設研究協議会の分科会で発表することもできた。次年度も個々の事例の問題性を把握し理解を深め、問題解決のための対応を見出すことを目的に、様々な変化に対応できる職員を育成するために事例研究事業に取り組むたい。</p>					

令和5年度

事業報告書

特別養護老人ホーム 櫻ホーム西神
地域密着型特別養護老人ホーム 櫻ホーム西神

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《基本方針》

- ① 福祉施設としての専門的な知識・技術・機能を地域に還元する
- ② 入居者の自己選択を尊重する
- ③ 安心・安全・安楽な生活を保障する
- ④ 生きがいづくり、リハビリ等を提供し心身の自立を支援する
- ⑤ 地域住民等との世代間交流による連携を図り、互いに協力しあえる関係を構築する

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する
- ③ 人権侵害防止の取組みの強化
- ④ サービスの質の向上への取組み
- ⑤ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑥ 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加
- ⑦ 人材養成の積極的展開
- ⑧ 安定した事業運営への取組み

本年度は、法人基本理念に基づき、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員80名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20名、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率95.77%で予算目標稼働率98.00%に対して2.23ポイントの減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率98.15%で予算目標稼働率より0.15ポイントの増、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神合算年間目標稼働率で96.25%で予算目標稼働率に対して1.75%減、空床SSを年間目標稼働率97.47%で予算目標稼働率に対して0.53%減、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.89で予算目標平均介護度0.04ポイント減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度3.84で予算目標平均介護度0.16ポイント減であり、予算を達成することができなかった。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第5期経営5か年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度は、第5期経営5か年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第5期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

2 社会福祉施設としての専門的知識・技術を地域に還元する

本年度は、定期開催された月が丘ふれあいのまちづくり協議会及び民生委員・児童委員の主催する定例会等に参加することにより、地域の福祉ニーズの把握に努めた。デイサービスセンターさくらさくと協働し、運営推進会議を概ね2か月に1回開催することで、地域の声を聞く貴重な意見交換の場となった。また、施設周辺を中心とした清掃活動を毎月継続し、取組んだ活動を運営推進会議・月が丘ふれあいまちづくり協議会の定例会等で報告を行った。新型コロナウイルスの影響の中、多目的ホールを活用した地域の勉強会を2回開催し、地域と共に学ぶ機会を確保することができた。

また、広報誌「櫻さくら通信」については、年2回（4月、9月）発行し、介護保険制度や施設情報等を掲載することで、家族・地域へ事業所の情報を発信することができた。

次年度は、福祉施設としての役割や目的を再整理したうえで、地域ニーズに対応した地域貢献事業に取り組んでいく。

3 人権侵害防止の取組みの強化

本年度は、重点項目「サービスの質の向上への取組み」を意識し「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に取り組んだ。人権侵害防止委員会においては、高齢者虐待及び身体拘束等の人権侵害に対する意識付けのために「不適切ケアアンケート」を実施し、人権侵害防止に対する意識化及び課題に対する改善策を検討した。「不適切ケアアンケ

ート」集計した中から課題については、全職員対象に事例検討研修会を開催してきたが、令和6年1月30日にプラスチックグローブを異食したと疑われる事故が発生した。令和6年1月31日に事実確認し、法人本部へ連絡するとともに神戸市福祉局監査指導部へ報告を行った。令和6年2月1日には、神戸市福祉局監査指導部より連絡があり、令和6年1月31日に報告の「介護保険及び老人福祉施設等事業者における事故・高齢者虐待（疑い）報告」の内容を確認し、令和6年2月1日16時00頃に櫻ホーム西神での現地調査を行うこととなった。2月19日、21日、28日に人権侵害防止研修の時間を利用して、本事例をもとに人権侵害防止に関する研修【入居者の視点にたった支援】を全職員対象に実施し、これまでの業務について振り返った。

次年度は、「入居者の視点にたったケアの基本に立ち返る」を意識し、職員の都合で物事を判断せず、入居者視点にたった支援を行い、入居者が安心した生活が送れるように職員一体となり取り組んでいきたい。また、職員研修においても、座学だけでなく、事例にもとづくグループワークを行うことで気づきを増やし、少しずつ課題解決ができるように取り組みたい。

4 サービスの質の向上への取り組み

本年度は、サービスの標準化を図るために、各委員会が中心となりマニュアルを見直し、更新することができた。マニュアルの共有化と周知徹底については、各委員会、主任・副主任介護員、ユニットリーダーが中心となりユニットごとにチェックを行った。

次年度は、各委員会や各部門会議等においてもマニュアルに基づくサービス提供ができていないかの検証を行い、施設全体でサービスの標準化を図れるように取り組んでいく。

1) サービス自己評価及び入居者満足度調査のサービスへの反映

本年度は、入居者及び家族に対して満足度調査を実施し、入居者及び家族のニーズの把握に努めたものの、具体的な取り組みまで至らなかった。次年度も満足度調査を実施し、各部署間で改善策を協議し、入居者及び家族のニーズに応じたサービスが提供できるように努める。

2) サービスの標準化の徹底

本年度は、サービスの標準化を図るために、各委員会が中心となりマニュアルの見直しを行い、更新することができた。マニュアルの共有化と周知徹底については、各委員会、主任・副主任介護員、ユニットリーダーが中心となりユニットごとにチェックを行った。

次年度は、各委員会や各部門会議等においてもマニュアルに基づくサービス提供ができていないかの検証を行い、施設全体でサービスの標準化を図れるように取り組んでいく。

3) 接遇の向上

本年度は、人権侵害防止委員会を中心に、不適切なケアアンケート、接遇に関するアンケートを実施し、とりまとめたものを人権侵害防止委員会で改善策の検討を行った。丁寧な言葉かけができていない職員に対しては、各部門責任者による面談を実施し、個別指導を行った。

次年度も継続して、課題のある職員に対しては個別指導を行い、より丁寧な言葉かけがけを徹底して指導していく。

4) ノーリフトケア（抱え上げない介護）の質の向上への取り組み

本年度は、機能訓練指導員と介護サービス委員会が中心となり、ノーリフトケアの意義目的についてマニュアルを整理し、介護現場に反映させることでノーリフトケアの質の向上に努めたほか、実際に対応が困難な入居者の事例を検討し、職員研修を実施したことで、介護の基本を再認識し、ノーリフトケアに反映させることが出来た。

次年度は、マニュアルを活用し、入居者個々のデータを収集し、自立支援に向けた効率・効果的なノーリフトケアの実践に取り組んでいく。

5) 排泄支援の充実

本年度は、介護サービス委員会が中心となり、個々の排泄パターンをつかむためのデータの収集および王子ネピアと協働で勉強会を定期開催することで入居者本人にあったおむつの使用方法を検討し、対応することができた。

次年度は、排泄予測機器（DFREE）を活用し、更にデータを収集することで、入居者個々の自立支援に向けた支援計画を作成し、排泄ケアが行えるようにしていく。

6) 口腔衛生管理の充実

本年度は、介護サービス委員会が中心となり、歯科医師、又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士による口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上受け、口腔ケア・マネジメントに係る計画を作成し、計画に基づく口腔ケアを実施することができた。また、口腔ケアが困難であると診断された入居者については、歯科衛生士による専門的な口腔ケアを実施した。

7) 介護ソフトほのぼのシステムの効果的活用

本年度は、ほのぼのシステムの効果的活用について、日々の記録の重要性を幹部会議・ユニットリーダー会議等で話し合い、検討することで情報の一元化を努めることができた。次年度は、各部署等との情報共有を図り、入力する内容の標準化及びシステムの効果的活用に努めていきたい。

8) 介護事故に対する安全管理体制の強化

本年度も事故・リスクマネジメント委員会において、事故・発生状況等を分析し、具体的な課題及び改善策についてミーティングを活用し、周知徹底を図った。特に介護事故に対する気づきを持つことで、ヒヤリハット報告書が増加し、介護事故を未然に防げたものもあった。

次年度も事故・リスクマネジメント委員会が中心となり、マニュアルに沿ったサービスが提供できるように取り組んでいく。

9) 苦情への迅速な対応と苦情の予防

本年度も、入居者及び入居者家族からの苦情予防のため、希望や要望に応えられる仕組みとして、新型コロナウイルスの蔓延状況を勘案し家族会をリモートで行い家族との意見交換を実施することで、その内容をサービスに反映させるように努めたが、ご家族への状況報告が遅れたために苦情に繋がった事例もあった。

次年度は、適宜マニュアルを更新し、タイムリーに情報提供することで苦情の予防を図るだけでなく、入居者・家族の希望や要望に応えることで個別性の高いサービスの提供に職員一丸となって努める。

1 0) 入居者・家族の関係性維持の取組み

本年度は、生活相談員が中心に相談窓口となり、各部署からの情報をもとに、家族と連携することができた。新型コロナウイルスの影響により、対面での面会が困難となったが、リモート面会を活用することで面会の機会を確保することができた。令和6年1月からは感染対策を徹底したうえで居室での面会を開始することができ、入居者・家族共に喜んでいただく機会をもつことができた。また、ホームページの情報を適宜更新し、積極的に情報を発信することで施設の取組みを見える化を図ることもできた。

次年度は、入居者と家族の面会ができ、定期的にお便り、通信の送付し、ホームページ・SNSを更新することで入居者・家族に情報発信することでより良い関係性が維持できるように取組んでいく。

1 1) 地域との関係性維持の取組み

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、年間6回開催予定していた運営推進会議は、5回の開催となったが、地域との連携を目的に意見交換を行い、吸い上げられた意見・要望等を各種会議で共有し、改善策を検討することができた。また、施設の情報や介護保険制度等についても月が丘定例会議・認知症カフェ・地域包括支援センター主催の研修等で発信し、周知を図ることができた。

次年度は、感染予防を徹底したうえで運営推進会等を通じ、地域の方からの意見を吸い上げ、改善策を検討することでサービスへ反映できるように努める。

1 2) 美味しく安全な食事の提供

本年度は、積極的にミールラウンドを行い、入居者の摂取状況・口腔機能・嚥下機能について評価を行った。また、嗜好調査を行うことで入居者の意向に沿った献立作成にも取組むことができた。

次年度も積極的にミールラウンドや嗜好調査を実施することで入居者のニーズに応じた楽しみのある食事が提供できるように努める。

1 3) 認知症対応の充実

本年度は、認知症への対応力向上に向け、認知症会議を開催した。新型コロナウイルスの影響もあり会議を2回開催できなかったが、施設内での困難な入居者の事例をあげることで対応方法の検討をすることができた。

次年度は、認知症対応力を向上させるために、多職種が関わることでより入居者のことを知り、対応方法の具体策を検証し、少しでも安心した生活が送れるよう支援していく。

5 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度も継続して、感染症予防委員会が中心となり、新型コロナウイルス対策について職員へ注意喚起し、感染予防に係る課題点を各現場にフィードバックし、改善策の実施状況の検証を行うなど、感染予防に取り組んだ。5月には「新型コロナウイルス感染症法」による位置づけが、2類相当から5類へ移行となる中、施設内部での感染症対策の徹底を継続してきたが、令和5年6月13日に感染予防に関する全体研修を実施し、感染予防対策の周知徹底を図ったが、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神【感染拡大期間：令和5年7月10日～8月25日、陽性者：入居者1名・職員6名】、【感染拡大期間：令和6年1月31日～2月22日、陽性者：入居者19名・職員13名】2回合計：入居者20名、職員19名が新型コロナウイルス陽性者となるクラスターが発生した。

次年度は、日々の介護現場の感染症対策に関する課題点到注視し、感染症予防委員会の牽制機能を更に強化することで、櫻ホーム西神診療所医師とも連携し、感染症予防の徹底を図る。

防災・防火意識の高揚については、入居者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚を図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年2回、地区との合同消防避難訓練を年1回実施した。また、厨房が中心となり計画的に備蓄品を確保することができた。

次年度も消防避難訓練及び災害等発生時対応訓練についても年間計画に基づいた訓練の実施を徹底する。防災訓練に加え事業継続計画に基づく安否確認訓練など、常に非常時を想定した訓練を実施し、本年度策定された業務継続計画書に基づき、感染症発生時の対応については感染症予防委員会が中心となり、災害発生時の対応については幹部会が中心となって、研修及び訓練（シミュレーション）を実施していきたい。

【令和5年度災害訓練実施表】

年月日	訓練内容
令和5年 6月 5日	消防・避難訓練（日勤帯想定）
10月 22日	地区との非常災害時合同訓練
12月 1日	消防・避難訓練（夜間想定）
令和6年 1月 17日	非常災害時事業継続対応訓練（地震）、BCPシミュレーション訓練

6 地域及び関係機関が主催する行事等への積極的参加

本年度は、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加等の地域交流には限りがあったが、年間計画に基づき以下の施設内行事を通して入居者の生活に潤いが持てるよう取組んだ。

次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、感染予防を徹底したうえで地域及び関係機関が主催する行事等に入居者・家族が積極的に参加し、地域との関係づくりに努める。

① 月が丘地域行事

年月日	行事名
令和5年 5月 21日	寄せ植え
6月 11日	ふれあい文化祭 バザー
7月 29日	夏祭り
10月 22日	寄せ植え、防災訓練、月が丘運動会

10月29日	スマイルコンサート、バザー、高齢者声掛け訓練
12月（土曜日）	火の用心

③ 施設行事

年月	行事名	年月	行事名
令和5年 4月	お花見	12月23日	音楽会
5月	母の日イベント	12月23日	クリスマス会（全館合同行事）
6月	父の日イベント	令和6年 1月 1日	新年祝賀会 初詣
7月 7日	七夕まつり	2月 3日	節分会
8月20日	夏祭り（全館合同行事）	3月 3日	ひな祭り会
9月24日	敬老祝賀会（全館合同行事）		

※全館合同行事はデイサービスセンターさくらさくと合同で企画・開催する

7 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底とサービスへの反映

本年度は、法人基本理念の「人権を擁護する」を重点に、実際に行っている業務が、基本理念を達成できているかを「基本理念の周知徹底方法及び実施計画」を作成し、計画的に実行することができた。また、施設長会議で共有された情報を施設に持ち帰り、改善策を検討すること「人権を擁護する」についての理解を深めることができた。

次年度も「基本理念の周知徹底方法及び実施計画」をより具体的に計画し、「入居者の視点にたったケア」について何をすべきかを幹部会議や各部署会議などで考え、業務の達成度を検証し、課題点に対する改善策を実施することで、基本理念に基づくサービス提供の強化を図っていく。

2) チューター制の効果的運用

本年度は、毎月チューター会議を開催し、チューター制を活用した職員育成に取組んだ結果、法人基本理念に基づく介護の基礎を習得することができた。勤務のすれ違いによる新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解度について課題があったため、次年度は、交代勤務での職員間のすれ違いが起りやすいユニット型での研修体制ではなく、チューター制をより活用しやすい多床室で職員研修体制の強化を図る。また、指導内容・指導方法については、新任指導担当者への研修を行い、新任職員に対してマンツーマン指導を行うことで基本理念に基づく介護の基本が習得できるように取り組む。

3) 施設内研修

本年度は、介護部門が主体となり、年間研修カリキュラムに基づき、確実に施設内研修会を実施した。研修終了時には感想レポートを提出することで、講義に対する意識を高めさせるとともに理解度の確認を行った。

また、研修の振り返り及び理解度の確認、現場での実践を検証するため、職員研修内で振り返りを行い、職員への意識付けを図り、より効果的な研修の実施に努めた。

次年度は各委員会の担当者が資料を配布するだけでなく、研修内容がどのようにサービスに反映されているかを検証していく。

4) 施設外研修

本年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、リモートを活用した各種団体が主催する研修会へ参加した。

次年度も継続して、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、施設外研修等に計画的に参加し、職員研修及びケアスタッフ会等において、受講者が研修で学んだ内容を伝達する場をタイムリーに設け、研修内容を介護現場に反映させることでサービスの向上につなげる。

5) 人事考課制度の効果的運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。

しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の考課基準の統一については課題が窺え、効果的な運用に繋げることが出来なかった。

次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の考課基準の統一に取り組む。業務に対する自己評価及び評価者との面接などを通して、自己の分析、目的意識の明確化を図り、向上心を培う一助とする。

6) 事例研究

本年度は、兵庫大学のバックアップを受け、排泄支援、自立支援について事例研究に取組んだ結果を神戸市老人福祉連盟主催の発表会（RR1 グランプリ）にて2位を受賞することができた。また、近畿老人福祉施設研究協議会の分科会で発表することもできた。

次年度も個々の事例の問題性を把握し理解を深め、問題解決のための対応を見出すことを目的に、様々な変化に対応できる職員を育成するために事例研究事業に取り組む。

7) 認知症介護基礎研修の受講の義務付け

本年度は、当施設での対象者はいなかった。次年度は、認知症対応力を向上させるために医療・福祉の資格を有さない職員には、認知症介護基礎研修を受講させる。

8) 喀痰吸引研修の受講と実践

本年度は、桜谷荘喀痰吸引等事業のもと喀痰吸引研修を3名が受講し、修了することができた。次年度は、たん吸引が必要な方等に、研修で学んだ内容を入居者に還元できるように取り組む。

9) 外国人介護員の育成

本年度は、業務時間内での日本語指導員による週1回（毎週金曜日）の日本語指導及び介護福祉士国家資格取得へ向けての勉強会を開催した。日本語能力試験においては、N2合格者1名、N3合格者なし、介護福祉士国家取得

においては、2名受験し不合格という結果であった。

次年度は、日本語能力の向上、介護福祉士国家資格取得に向けての介護の知識・技術の習得、国家試験基礎知識の習得を目標とした学習支援に取り組まなければならない。

8 安定した事業運営、ガバナンスの確立への取組み

1) 平均ベッド稼働率 98.0%の確保

本年度の事業運営状況は、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；定員 80 名、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；20 名、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率 95.77%で予算目標稼働率 98.00%に対して 2.23 ポイントの減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；年間稼働率 98.15%で予算目標稼働率より 0.15 ポイントの増、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神と地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神の合算年間目標稼働率 96.25%で予算目標稼働率に対して 1.75%減、空床 SS を年間目標稼働率 97.47%で予算目標稼働率に対して 0.53%減、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度 3.89 で当初予算比 0.04 ポイント減、地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神；平均要介護度 3.84 で当初予算比 0.16 ポイント減、合算で平均介護度 3.73 当初予算比 0.18%の減であり、予算を達成することができなかった。ショートステイ（空床利用）の受入れについて居宅介護支援事業所等への積極的にアプローチを行ったことで延べ利用日数は前年度実績 50 日に対して令和 5 年度実績は 359 日となり、SS 合算の稼働率を上げることができた。

次年度は、経営会議、施設長会議等で決定した戦略（ユニットへ生活保護受給者受入、空床ショートの積極的受入れ、PR 活動の強化）の実践に加え、幹部会議、入居検討委員会及び日々のミーティングにおいて具体的なアプローチ方法の検討・実施を確実に行う。また、櫻ホーム西神診療所主治医と連携し、日々の状態観察を行い異常の早期発見、早期治療に努めることで、入院によるベッド稼働率の低下を防ぎ、予算達成を目指す。

2) サービスの質が高く効率的な介護の提供体制を整備し、適正な加算の取得

本年度は、サービスの質が高く効率的な介護の提供を行うことで適正な加算取得に結びつけていくために、加算要件に準ずる介護が提供できているかどうかについての裏付け資料を作成し、介護保険請求復命時及びコンプライアンス委員会において加算要件を満たしているかどうかを検証したことで、質が高く効率的な介護の提供体制が整備され適正に LIFE を含む加算を取得することができた。

次年度は、コンプライアンス委員会において更なる算定可能な個別加算について加算取得計画を立案し、計画に基づく加算取得に取り組む。

令和5年度 事業報告書

認知症対応型デイサービスセンターさくらさく（定員 12名）				
稼働状況		目標	実績	差異
	稼働率	80.00%	73.80%	-6.2%
	人数	9.6名/日	8.8名/日	-0.8名/日
	平均要介護度	2.00	2.10	+0.1
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定 ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する ③ 認知症カフェの実施 ④ 運営推進会議の効果的運用 ⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み ⑥ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化 ⑦ 人権侵害防止の取組みの強化 ⑧ 人材養成の積極的展開 ⑨ 顧客確保への積極的取組み 			
総括	<p>本年度は、法人基本理念に基づき、第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。</p> <p>なお、本年度の事業運営状況は、定員12名、年間平均利用率73.8%で、当初予算稼働率に対して6.2%の減、平均介護度2.1であり、0.1ポイントの増であり、予算達成はできなかった。</p> <p>③ 認知症カフェの効果的運用 地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした認知症カフェを実施し、年間80名の参加状況であった。次年度は、本年度行ったヒアリングから得られたニーズに応じたプログラムを提供し、地域に開かれた認知症カフェを開催していきたい。</p> <p>⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み 本年度は利用者の認知症状の状態に応じて、個別に対応したプログラムを提供し、本人や家族、ケアマネージャーからも概ね高評価をいただけた。中核症状や周辺症状に合わせた個別対応を中心とするサービスは居宅介護支援事業所等からの信頼も厚く、困難ケースや他のデイサービスの受け入れが難しくなった利用者の受け入れ先として機能できたが、次年度はより専門性をもって認知症の進行予防や改善が期待できるプログラムを中心とした個別対応を確実に提供できる体制にしていきたい。</p> <p>また、生活相談員が中心となり利用者家族の自宅を訪問して利用者の在宅での課題をヒアリングし、介護支援専門員にも情報共有をして通所介護計画書の利用目標として取り組んでいくことで利用者が在宅生活を長く継続できるように努めた。次年度も生活相談員が利用者家族の自宅を訪問することで利用者やその家族を共に支援していきたい。</p> <p>⑩ 介護報酬改定に伴う対応策及び顧客確保への積極的取組み 1) 平均利用率80%の確保 本年度も引続き、居宅会議支援事業所等への周知活動や、利用者や家族、ケアマネージャーからの信頼関係の構築を行った結果、紹介や新規利用者の増加などがあったが、入院や利用終了者も多く、100%稼働に必要な登録者数の確保ができず、予算稼働率80.00%に対して73.8%と予算稼働率に対して-6.2%の状況で、予算達成することはできなかった。</p> <p>次年度は、予算稼働率を職員全員が意識をした上で、接遇やサービス面の向上に取組み、利用者や家族、ケアマネとの信頼関係の強化を図ると共に、体験利用の積極的受け入れや、営業ツールや営業戦略の見直しを行い、予算稼働率が確実に達成できるようにしていきたい。</p>			

事業報告書

認知症対応型デイサービスセンター さくらさく

《基本理念》

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

《基本方針》

- ① 福祉事業所としての専門的な知識・技術・機能を地域に還元する
- ② 利用者の自己選択を尊重する
- ③ 安心・安全・安楽な生活を保障する
- ④ 生きがいつくり、リハビリ等を提供し心身の自立を支援する
- ⑤ 地域住民等との世代間交流による連携を図り、互いに協力しあえる関係を構築する

《重点項目》

- ① 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定
- ② 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する
- ③ 認知症カフェの実施
- ④ 運営推進会議の効果的運用
- ⑤ 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み
- ⑥ 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化
- ⑦ 人権侵害防止の取組みの強化
- ⑧ 人材養成の積極的展開
- ⑨ 顧客確保への積極的取組み

本年度は、法人基本理念に基づき、第4期経営5か年計画の最終年度として、以下の事業を取組むとともに、法人内事業所間の連携や職員間の交流にも積極的に取り組んできた。

なお、本年度の事業運営状況は、定員12名、年間平均利用率73.8%で、予算目標稼働率に対して6.2%の減、平均介護度2.1であり、0.1ポイントの増であり、予算達成はできなかった。

1 第4期経営5か年計画（最終年度）の評価・まとめ及び第5期経営5か年計画の策定

本年度は、第4期経営5か年計画の最終年度として経営計画策定委員会において計画の評価・まとめを行うとともに、新たに第5期経営5か年計画を策定した。計画の評価・まとめを行うことに併せて計画の実践状況の検証を行った結果、概ね計画どおり推進することができた。

次年度は、第5期経営5か年計画の初年度として「地域貢献への積極的展開」、「利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す」、「経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す」の3つを重点目標に掲げ、法人理念の5本柱をもとに第5期経営5か年計画を積極的に推進していきたい。

2 地域の福祉ニーズを把握し、専門的知識・技術を地域に還元する

本年度は、定期開催された月が丘ふれあいのまちづくり協議会及び民生委員・児童委員の主催する定例会、認知症高齢者声掛け訓練などに参加することにより、地域の福祉ニーズの把握に努めたほか、施設周辺を中心とした清掃活動を毎月継続して実施した。

また、広報誌「櫻さくら通信」については、年2回（4月、9月）発行し、介護保険制度や施設情報等を掲載し、ご家族・地域へ事業所の情報を発信することができた。次年度は、地域との関わりをより深く持つことで、地域ニーズを的確に把握し、事業所として専門的知識・技術を地域に還元できるよう努めていく。

3 認知症カフェの効果的運用

地域貢献事業の一環として、認知症の人やその家族、地域の人等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として、認知症の人やその家族が、在宅や地域で安心して生活できるように支援していくことを目的とした認知症カフェを実施し、年間80名の参加状況であった。

次年度は、本年度行ったヒアリングから得られたニーズに応じたプログラムを提供し、地域に開かれた認知症カフェを開催していきたい。

令和5年 4月21日	介護相談・脳トレ	3名
5月19日	介護相談・脳トレ	6名
6月16日	脳トレ・カラオケ	7名
7月21日	脳トレ・レクリエーション	8名
8月18日	診療所医師講座「認知症」	9名

9月15日	介護相談会	7名
10月20日	介護相談会	5名
11月17日	介護相談・脳トレ	6名
12月15日	理学療法士「骨について」	6名
令和6年 1月19日	診療所医師講座「認知症」	14名
2月16日	コロナ感染症にて中止	0名
3月15日	理学療法士講座「筋肉について」	9名

4 運営推進会議の効果的運用

運営推進会議を概ね2か月に1回開催することで、地域の声を聞く貴重な意見交換の場となった。

また、地域との連携を目的に意見交換を行った内容等を各種会議で共有し、改善策を検討することができた。また、施設の情報や介護保険制度等についても月が丘定例会議・認知症カフェ・地域包括支援センター主催の研修等で発信し、周知を図ることができた。次年度も継続して、計画的に運営推進会議を開催することで適正な事業運営に努める。

5 認知症介護の専門性の確立及びサービスの質の向上の取組み

1) 認知症介護の専門性の確立

兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修等は本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催が遅延したが、令和6年2月25日には生活相談員1名が兵庫県4DAS実践研修を受講修了することができたことで、認知症ケアに必要な評価と認知症の方への機能訓練の考え方やケアの実践方法について見直し、実践することができた。

次年度は職員の認知症介護実践者研修の受講や、兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）の研修、脳体力トレーナーCogEvoの活用などを積極的に行っていき、専門性の高い認知症介護が実施できるよう努めなければならない。

2) 「利用しやすいデイサービス」に向けた体制整備

本年度は利用者の認知症状の状態に応じて、個別に対応したプログラムを提供し、本人や家族、ケアマネジャーからも概ね高評価をいただいた。中核症状や周辺症状に合わせた個別対応を中心とするサービスは居宅介護支援事業所等からの信頼も厚く、困難ケースや他のデイサービスの受け入れが難しくなった利用者の受け入れ先として機能できたが、次年度は認知症の進行予防や改善が期待できるプログラムを中心とした個別対応を確実に提供できる体制にしていきたい。

また、生活相談員が中心となり利用者家族の自宅を訪問して利用者の在宅での課題をヒアリングしたものを通所介護計画書の利用目標とし、サービス提供内容として取組んでいくことで利用者が在宅生活を長く継続できるように、利用者やその家族を共に支援していく。

また、希望者への夕食の提供については、近隣に夕食を提供するデイサービスが少なく、デイサービス利用後の介護者支援にもつながると利用者家族や居宅介護支援事業所からも期待されているため、次年度も継続して夕食を提供していく。

3) サービス自己評価及び入居者満足度調査のサービスへの反映

サービス自己評価及び福祉サービス第三者評価からの課題・問題点に対して、デイサービス会議等で、改善策の実施状況の検証を行った。また全利用者・家族に満足度調査を実施することで、利用者・家族の意向を聞き取り、サービスに反映した。

また、神戸市自己チェックリストを用いて、自己評価を実施することでサービスの質の向上につなげた。

4) 苦情への迅速な対応と苦情の予防を図る

利用者・家族からの相談・苦情に対して、連絡帳や申し送りなどで職員全員が確実に情報共有することで、苦情予防に繋げ、本年度も苦情はなかったが、次年度も引続き、施設内に苦情受付窓口、担当者を配置し、苦情解決責任者・第三者委員を通じて、原因の究明と改善対応策の検討を迅速に行う体制をとり、事故リスクマネジメント委員会、デイサービス会議でサービスの改善と全職員への周知徹底を図っていく。

5) 家族支援の充実

家族会を第1回（令和5年11月17日）、第2回（令和6年3月15日）と開催し、デイリープログラムや行事の取組み、利用者の様子などをプロジェクターを活用して説明したほか、家族も一緒にプログラムに参加していただいたことで家族から高い評価が得られた。

次年度も、介護者の悩みや情報共有・精神的負担軽減を目的として、年2回以上の家族会を計画的に開催する。

6) 介護ソフトほのぼのシステムの効果的活用

日々の記録の重要性についてデイサービス会議を活用して理解を深め、各種記録を確実に入力し、情報の一元化を図れるよう努めた。また、介護ソフトほのぼのシステムの掲示板機能を活用し、各部署等との情報共有及び可視化を図ったことで、サービスの質の向上や各部署との連携強化、情報の伝達ミスを防ぐことができた。

次年度も、引続きシステムを活用していくことで情報の共有などが効果的にできるように努める。

7) 介護事故に対する安全管理体制の強化

利用者に対する安心・安全を確保するために安全対策担当者を選任し、事故・リスクマネジメント委員会において、介護事故発生原因の究明及び再発防止のための対策を検討した結果、ヒヤリハット事例から事故を未然に防ぐことができ、その結果大きな事故はなかった。

次年度も事故・リスクマネジメント委員会が中心となり、マニュアルに沿ったサービスが提供できるように取組んでいく。

8) 行事企画及び専門的対応

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、年間計画に基づき以下の事業所内行事を通して社会的交流の支援、趣味・嗜好の充足及び心身の機能回復・減退防止を図り、季節行事等を取入れるとともに、利用者相互・利用者と職員の信頼関係・ふれあいを構築する独自のメニューに取組んだ。

次年度はボランティアなどの積極的な導入により、多様な個別嗜好の充足を図るとともに、行事運営の一層の充実を図りたい。

【令和5年度行事実施表】

実施月	行事	実施月	行事
令和5年 4月	お花見会	10月	ハロウィン仮装パーティー
5月	母の日会、ガーデニング	11月	音楽会、紅葉狩り
6月	父の日会	12月23日	クリスマス会（全館合同行事）
7月 7日	七夕まつり	令和6年 1月 1日	書初め
8月20日	夏祭り（全館合同行事）	2月 3日	節分会
9月24日	敬老祝賀会（全館合同行事）、運動会	3月 3日	ひな祭り会

※全館合同行事は櫻ホーム西神とさくらさく合同で企画・開催する

6 感染症対策及び防災・防火意識の高揚と避難訓練の強化

本年度も継続して、感染症予防委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策について職員への注意喚起、感染予防に係る課題点を各現場にフィードバックし改善策の実施状況の検証を行うなど、感染予防に取り組んだが、デイサービスでも2月に新型コロナウイルス感染症の発生が起きてしまった。

次年度は、日々の介護現場の感染症対策に関する課題点に注視し、感染症予防委員会の牽制機能を更に強化することで、櫻ホーム西神診療所医師とも連携し、感染症予防の徹底を図る。

防災・防火意識の高揚については、利用者の生命の安全を守るということを第一とし、職員一人一人の防火意識の高揚を図れるよう、年間計画に基づいた消防避難訓練を年2回、地区との合同消防避難訓練を年1回実施した。

また、厨房が中心となり計画的に備蓄品を確保することができた。

次年度も消防避難訓練及び災害等発生時対応訓練についても年間計画に基づいた訓練の実施を徹底する。防災訓練に加え事業継続計画に基づく安否確認訓練など、常に非常時を想定した訓練を実施し、本年度策定された業務継続計画書に基づき、感染症発生時の対応については感染症予防委員会が中心となり、災害発生時の対応については幹部会が中心となって、研修及び訓練（シミュレーション）を実施していきたい。

【令和5年度災害訓練実施表】

年月日	訓練内容
令和5年 6月 5日	消防・避難訓練（日勤帯想定）
10月22日	地区との非常災害時合同訓練
12月 1日	消防・避難訓練（夜間想定）
令和6年 1月17日	非常災害時事業継続対応訓練（地震）、BCPシミュレーション訓練

7 人権侵害防止の取組みの強化

本年度は、重点項目「サービスの質の向上への取組み」を意識し「不適切な言葉かけ」をなくすように計画的に行った。人権侵害防止委員会においては、高齢者虐待及び身体拘束等の人権侵害に対する意識付けのために「不適切ケアアンケート」を実施し、人権侵害防止に対する意識化及び課題に対する改善策を検討した。また、日々の申し送り会やデイサービス会議においても人権侵害防止に関する研修などを実施し、適切な業務の状況確認や、不適切な環境に対する利用者目線での支援について確認を行った。

次年度は、「利用者の視点にたったケアの基本に立ち返る」を意識し、環境整備を含めて気づきを増やし、人権侵害防止に取り組むたい。

8 人材養成の積極的展開

1) 基本理念の周知徹底とサービスへの反映

本年度は、法人基本理念の「人権を擁護する」を重点に、実際に行っている業務が、基本理念を達成できているかを「基本理念の周知徹底方法及び実施計画」を作成し、計画的に実行することができた。また、施設長会議で共有された情報を施設に持ち帰り、改善策を検討すること「人権を擁護する」についての理解を深めることができた。

次年度も「基本理念の周知徹底方法及び実施計画」をより具体的に計画し、何をすべきかを幹部会議や各部署会議などで考え、業務の達成度を検証し、課題点に対する改善策を実施することで、基本理念に基づくサービス提供の強化を図っていく。

2) チューター制の効果的運用

本年度は、毎月チューター会議を開催し、チューター制を活用した職員育成に取り組んだ結果、法人基本理念に基づく介護の基礎を習得することができた。新任職員研修の進捗状況の検証やチューター制に対する職員の理解度については課題が伺えたため、次年度も施設長をはじめとした全職員がチューター会議を行なうことにより、チューター制に対する理解を深め、効果的な運用に努めなければならない。

3) 事業所内研修

本年度も年間研修カリキュラムに基づき確実に施設内研修会を実施し、研修終了時には感想レポートを提出することで、講義に対する意識を高めさせるとともに理解度の確認を行った。

また、研修の振り返り及び理解度の確認、現場での実践を検証するため、職員研修内で振り返りを行い、職員への意識付けを図り、より効果的な研修の実施に努めた。しかし、参加できていない職員に対するフィードバックに課題があったため、次年度は研修を担当した委員会が資料を配布するだけでなく、研修内容がどのようにサービスに反映されているかを検証していく必要がある。

実施年月日	研修名
令和 5年 4月 6日	事業計画説明会（理念研修）
5月 19日	王子ネピアによる排泄支援研修
6月 30日	倫理及び法令遵守に関する研修
7月 31日	感染予防に関する研修
8月 5日	認知症に関する研修
9月 27日 29日 30日	身体拘束・虐待防止研修
10月 30日	接遇に関する研修
11月 21日 30日	王子ネピアによる排泄支援研修
12月 22日	ポジショニング研修
12月 26日	クレーム対応研修
令和 6年 2月 21日 28日	身体拘束に関する研修
2月 19日 21日 28日	高齢者虐待防止に関する研修
3月 12日 13日	看取りに関する研修

4) 事業所外研修

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートを活用した各種団体が主催する研修会へ参加した。次年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、施設外研修等に計画的に参加し、職員研修及びケアスタッフ会等において、受講者が研修で学んだ内容を伝達する場をタイムリーに設け、研修内容を介護現場に反映させることでサービスの向上につなげていく必要がある。

受講日	研修名	受講者数
令和 6年 2月 25日	兵庫県 4 DAS 実践研修	1名

5) 人事考課制度の効果的運用

人事考課制度により、職員個々における自己評価及び指導者との育成面接などを通じて職員として就業にかかる目的の明確化を図るとともに、適切な評価、指導を通じて人材育成及び信頼関係の構築に努めた。しかし、年間計画に基づく人事考課制度の見直しや考課者の考課基準の統一については課題が伺え、効果的な運用に繋げることが出来なかった。次年度は、年間計画に基づく人事考課制度の見直し及び考課者の考課基準の統一に取り組まなければならない。

6) 認知症介護基礎研修の受講の義務付け

本年度の受講対象者はいなかったが、次年度も引続き、認知症対応力を向上させるために医療・福祉の資格を有さない職員については、認知症介護基礎研修を受講させていく。

9 顧客確保への積極的取組み

安定的な事業運営を継続させるためにも予算稼働率 80.00%の確保が必要なことから、新規顧客確保に向けてサービスの充実を図り、効率的な介護の提供体制を整備し、適正な加算取得に向けた検討を積極的に実施する。

1) 平均利用率 80%の確保

本年度も引続き居宅会議支援事業所等への周知活動や、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めた結果、新規利用者を含めた紹介件数の増加につながることができたが、100%稼働に必要な登録者数の確保には至らず、予算稼働率 80.00%に対して 73.8%と予算を達成することができなかった。

次年度は、予算稼働率を職員全員が意識をした上で、接遇やサービス面の向上に取組み、利用者や家族、ケアマネジャーとの信頼関係の強化を図ると共に、体験利用の積極的受け入れや、営業ツールや営業戦略の見直しを行うことで、予算稼働率を達成できるように努める。

2) 居宅介護支援事業所との連携強化

本年度も毎月定期的な居宅介護支援事業所への訪問や、電話や FAX などによるこまめな報告や情報共有、担当者会議や地域包括センター主催の研修等の参加などで、ケアマネジャーとの信頼関係を継続することができた。

次年度も継続し、適正に情報等を共有することでサービスの質を向上させ、新規利用者の紹介に繋げていく。

令和5年度

行 事 実 施 状 況

1 施設内行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
令和			
5	4. 20	誕生日会(兼たこ焼き)	ダリア・サザンカ行事(入居者18名 職員 7名参加)
	5. 10	誕生日会(兼母の日)	ウメ・モモユニット行事(入居者20名 職員 5名参加)
	14	誕生日会	アジサイユニット行事(入居者10名 職員 3名参加)
	23	誕生日会(兼居酒屋)	ハス・ヒマワリ行事(入居者19名 職員 6名参加)
	31	誕生日会	サクラユニット行事(入居者20名 職員 6名)
6.	10	誕生日会(兼ホットケーキ)	アジサイユニット行事(入居者10名 職員 3名参加)
	18	誕生日会(兼父の日)	ウメ・モモユニット行事(入居者 20名 職員 5名参加)
	24	誕生日会(兼白十字)	ダリア・サザンカ行事(入居者19名 職員 6名参加)
7.	9	誕生日会(兼あんドーナツ)	アジサイユニット行事(入居者10名 職員 3名参加)
	16	誕生日会(兼たこ焼き)	サクラユニット行事(入居者20名 職員 5名)
9.	16	誕生日会(兼昭和カフェ)	ダリア・サザンカ行事(入居者20名 職員 5名参加)
	27	誕生日会(兼おやつレク)	ハス・ヒマワリ行事(入居者19名 職員 6名参加)
10.	15	誕生日会	サクラユニット行事(入居者17名 職員 3名)
	20	誕生日会(兼ハロウィン)	ダリア・サザンカ行事(入居者20名 職員 6名参加)
	27	誕生日会(兼お茶会)	ウメ・モモユニット行事(入居者19名 職員 4名参加)
11.	7	誕生日会(兼たこ焼き)	バラ・アジサイユニット行事(入居者20名 職員8名 実習生5名参加)
	15	誕生日会(兼おでん)	サクラユニット行事(入居者20名 職員 5名)
12.	21	誕生日会(兼おやつレク)	ダリア・サザンカ行事(入居者20名 職員 6名参加)
	22	誕生日会(兼忘年会)	ウメ・モモユニット行事(入居者20名 職員 7名参加)
	27	誕生日会(兼年末大掃除)	サクラユニット行事(入居者20名 職員 4名)
	30	誕生日会(兼鍋パーティ)	ハス・ヒマワリ行事(入居者20名 職員 6名参加)
6.	2. 18	誕生日会(兼マクドナルド)	ウメ・モモユニット行事(入居者 20名 職員 4名参加)
	3. 19	誕生日会(兼ケーキバイキング)	ハス・ヒマワリ行事(入居者20名 職員 5名参加)
	22	誕生日会(兼ドーナツ)	ウメ・モモユニット行事(入居者 20名 職員 3名参加)
	27	誕生日会(兼おやつレク)	ハス・ヒマワリ行事(入居者20名 職員 6名参加)

2 施設外行事

開 年 月 日	催 日	行 事 名	行 事 内 容
令和			
5.	6. 11	月が丘ふれあい文化祭	月が丘地区にて季節行事(入居者 1名参加)
	18	月が丘バザー	月が丘地区にて季節行事(入居者 1名参加)
	7. 29	夏祭り	月が丘地区にて季節行事(入居者 2名参加)
10.	14	ふれあい運動会	月が丘地区にて季節行事(入居者 2名参加)
	16	防災訓練	月が丘地区にて合同防災訓練(職員 3名 入居者 0名参加)
	22	寄せ植え	月が丘地区にて季節行事(入居者 1名参加)
	29	スマイルコンサート	月が丘地区にて季節行事(職員 2名 入居者 1名参加)

令和5年度

職員研修実施状況

1 施設内研修

開 年 月 日	催 月 日	研 修 内 容	講 師 名
令和		(事業所研修)	
5.4.5	6	入浴用スリングシート実技研修	職員 7名参加
		理念研修	職員 48名参加
5.19		王子ネピアによる排泄支援研修	職員 6名参加
6.30		倫理及び法令遵守に関する研修	職員 21名参加
	30	接遇に関する研修	職員 21名参加
7.31		感染予防に関する研修	職員 37名参加
	31	事故発生又は再発防止に関する研修	職員 37名参加
8.5		認知症に関する研修	職員 14名参加
	8	口腔ケアに関する研修	職員 10名参加
9.27		身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 15名参加
	29	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 12名参加
	30	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 7名参加
10.30		接遇に関する研修	職員 35名参加
11.21		王子ネピアによる排泄支援研修	職員 6名参加
	30	王子ネピアによる排泄支援研修	職員 9名参加
12.19		ポジショニング研修	職員 18名参加
	22	ポジショニング研修	職員 16名参加
	25	クレーム対応研修	職員 16名参加
	26	クレーム対応研修	職員 21名参加
6.2.19		身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 15名参加
	21	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 12名参加
	28	身体拘束・高齢者虐待防止に関する研修	職員 7名参加
3.12		王子ネピアによる排泄支援研修	職員 8名参加
		看取り研修	職員 15名参加
	13	王子ネピアによる排泄支援研修	職員 4名参加
		看取り研修	職員 12名参加

2 施設外研修

開 年 月 日	催 月 日	研 修 内 容	実 施 場 所
令和			
5.4.15		神戸市認定調査員新規研修	職員 1名参加
6.15		ノーリフトケア コーディネーター 養成講座 アドバンス	職員 1名参加
	19	介護士会総会及び研修会	職員 1名参加
	23	第1回兵庫県認知症介護実践リーダー研修	職員 1名参加
9.22		神戸市認定調査員現任者研修	職員 1名参加
10.6		安全運転管理者等講習	職員 1名参加
	16	第1回神戸市認知症介護実践リーダー研修	職員 1名参加
	24	ユニットリーダー研修実地研修	職員 1名参加
11.24		外国人指導者ワークショップ	職員 1名参加
12.4		相談員会・介護士会合同研修	職員 3名参加
6.1.31		介護職対象口腔ケア実習	職員 3名参加
	2.19	施設ケアマネジャー研修	職員 1名参加
	26	「ついついやってしまう不適切ケアを考える」	職員 2名参加
	26	兵庫県4DAS実践研修	職員 1名参加
	27	ユニットリーダー研修実地研修	職員 1名参加

各委員会開催状況

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		1 【幹部会議】
5.	4. 7	*年間活動計画、現状の課題及び進捗状況の確認
	5. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	6. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	7. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	8. 4	*現状の課題及び進捗状況の確認
	9. 4	*現状の課題及び進捗状況の確認
	10. 5	*理念研修、現状の課題及び進捗状況の確認
	11. 6	*現状の課題及び進捗状況の確認
	12. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
6.	1. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	2. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	3. 5	※年間のまとめ、次年度へ向けての課題整理
令和		2 【チューター会議】
5.	4. 29	*年間活動計画、課題及び進捗状況の確認
	5. 20	*課題及び進捗状況の確認（ルールやマナーほか）
	6. 29	*3か月の振り返り及び進捗状況の確認
	7. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
	8. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
	9. 29	*6か月の振り返り及び進捗状況の確認
	10. 29	*課題及び進捗状況の確認（基本理念の確認）
	11. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
	12. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
6.	1. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
	2. 29	*課題及び進捗状況の確認（コミュニケーション・言葉かけほか）
	3. 29	*年間のまとめ
令和		3 ユニットリーダー会議
5.	4. 7	*年間活動計画、現状の課題及び進捗状況の確認
	5. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	6. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	7. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	8. 4	*現状の課題及び進捗状況の確認
	9. 4	*現状の課題及び進捗状況の確認
	10. 5	*理念研修、現状の課題及び進捗状況の確認
	11. 6	*現状の課題及び進捗状況の確認
	12. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
6.	1. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	2. 5	*現状の課題及び進捗状況の確認
	3. 5	*年間のまとめ、次年度へ向けての課題整理
令和		4 【デイサービス会議】
5.	4. 3	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	5. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	6. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	7. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	8. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	9. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	10. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	11. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	12. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
6.	1. 5	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	2. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案
	3. 1	*連絡事項 今月の予定 ご利用者の支援方法、注意点の確認 厨房との情報共有・提案

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		5 【医療サービス会議】
5.	4. 24	* 診療所における業務について 現状の課題
	5. 22	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	6. 27	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	7. 24	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	8. 28	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	9. 28	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	10. 23	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	11. 27	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	12. 25	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
6.	1. 22	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	2. 26	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
	3. 25	* 診療所における業務について 現状の課題及び進捗状況の確認
令和		6 【認知症ケア会議】
5.	4. 24	* 年間活動計画、現状の課題及び進捗状況の確認
	5. 22	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	6. 26	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	7. 24	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	8. 28	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	9. 25	* コロナ感染拡大防止のため中止
	10. 23	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	11. 27	* コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 25	* コロナ感染拡大防止のため中止
6.	1. 22	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	2. 26	* 現状の課題及び進捗状況の確認
	3. 25	* 年間のまとめ、次年度へ向けての課題整理
令和		7 【口腔ケア会議】
5.	4. 11	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	5. 9	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	6. 13	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	7. 11	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	8. 8	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	9. 12	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	10. 10	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	11. 11	* コロナ感染拡大防止のため中止
	12. 12	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
6.	1. 9	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
	2. 14	* コロナ感染拡大防止のため中止
	3. 12	* 施設としての課題 気になる利用者 歯科Dr. 歯科衛生士からの指導内容
令和		8 【厨房会議】
5.	4. 26	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	5. 22	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	6. 19	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	7. 24	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	8. 28	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	9. 28	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	10. 23	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	11. 27	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	12. 25	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
6	1. 26	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	2. 27	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
	3. 26	* 残食調査の結果 現状の課題と進捗
5.	7. 22	* 第1回嗜好調査
	11. 14	* 第2回嗜好調査

開 年 月 日	催 日	活 動 内 容
令和		9 労働安全衛生委員会
5.	4. 20	* 定例年間議題 役割分担 安全衛生に関する基本知識 健康診断の実施について
	5. 8	* メンタルヘルスケア 喫煙の推進
	6. 13	* 食中毒予防 ハラスメント対策
	7. 20	* 熱中症予防 ストレスチェックの活用
	8. 17	* 長時間労働の防止 ワークライフバランス
	9. 21	* 腰痛対策 生活習慣病の予防
	10. 19	* 睡眠、休養について 通勤時の災害防止
	11. 16	* インフルエンザなどの感染症予防
	12. 16	* 交通事故予防 つまずき、転倒災害の防止
6	1. 18	* アルコールとの上手な付き合い方
	2. 15	* 生活習慣病予防
	3. 21	* 花粉症対策
令和		10 人権侵害防止委員会
5.	4. 26	* 委員会の趣旨の確認、年間活動計画作成
	6. 28	* 接遇に関するアンケート実施
	8. 23	* 課題の整理及び問題ケースの検証
	10. 25	* 課題の整理及び問題ケースの検証
	11. 7	* 不適切ケアアンケート実施
	12. 27	* 課題の整理及び不適切ケアアンケート集計
6.	2. 28	* 課題の整理及び問題ケースの検証
	3. 27	* 課題の整理及び問題ケースの検証
令和		11 事故・リスクマネジメント委員会
5.	4. 12	* 年間活動計画、事故発症状況の検証
	6. 14	* 事故発生状況の検証、対応策の検討
	8. 16	* 事故発生状況の検証、職員研修の内容検討
	10. 11	* 事故発生状況の検証、職員研修の実施、振り返り
	12. 13	* 事故発生状況の検証、対応策の検討
6	2. 14	* 事故発生状況の検証、対応策の検討
	3. 13	* 年間のまとめと次年度への課題
令和		12 介護サービス委員会
5.	4. 19	* 委員会の趣旨の確認、年間活動計画作成、排せつ勉強会準備
	5. 17	課題の整理及び問題ケースの検証
	7. 19	課題の整理及び問題ケースの検証
	9. 20	課題の整理及び問題ケースの検証
	11. 15	課題の整理及び問題ケースの検証、口腔ケア勉強会の準備
6.	1. 17	課題の整理及び問題ケースの検証
	3. 20	課題の整理及び問題ケースの検証
令和		13 食事検討委員会
5.	4. 27	* 年間計画、前年度の嗜好調査をもとに具体的なサービスへの反映
	5. 25	* 具体的なサービスへの進捗状況の検証
	7. 27	* 具体的なサービスへの進捗状況の検証
	9. 28	* 具体的なサービスへの進捗状況の検証
	11. 24	* 具体的なサービスへの進捗状況の検証
6.	1. 25	* 具体的なサービスへの進捗状況の検証
	3. 28	* 年間のまとめ、次年度の課題調整
令和		14 感染症予防委員会
5.	4. 13	* 年間活動計画、新型コロナウイルス対策
	6. 8	* 感染症対策
	8. 10	* 感染症対策
	10. 12	* 感染症対策、食中毒・ガウンテクニック研修
	12. 14	* 感染症対策
6.	2. 8	* 感染症対策
	3. 14	* 次年度の取り組み

令和5年度

地 域 活 動

稼 年 月 日	動	摘 要
令和		
5. 4. 8		防犯・防災部会パトロール（職員 1名参加）
4. 9		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
20		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 5名参加）
5. 14		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
18		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
		ふれあい文化祭 バザー（職員 2名参加）
6. 15		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
18		月が丘まちづくり協議会クリーン作戦（職員 3名参加）
7. 9		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
20		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 5名参加）
8. 17		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
9. 10		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
17		月が丘まちづくり協議会クリーン作戦（職員 2名参加）
21		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 3名参加）
10. 9		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
16		防災訓練（職員 2名参加）
19		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 6名参加）
29		スマイルコンサート（職員 2名参加）
11. 12		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
16		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
12. 9		防犯・防災部会パトロール（職員 1名参加）
10		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
17		月が丘まちづくり協議会クリーン作戦（職員 3名参加）
21		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
6. 1. 14		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
18		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 4名参加）
2. 11		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
15		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 5名参加）
3. 11		月が丘ふれあいまちづくり協議会（職員 2名参加）
17		月が丘まちづくり協議会クリーン作戦（職員 3名参加）
21		櫻ホーム西神周辺清掃活動（職員 5名参加）

令和5年度 感染症罹患状況

施設名 櫻ホーム西神

分類	感染症	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
		利用者	職員	利用者	職員	利用者	職員																							
利用者及び職員にも感染が起こり、媒介者となりうる感染症	1 インフルエンザ																										0名	0名		
	2 感染性胃腸炎 (ノロウイルス等)																											0名	0名	
	3 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)																											0名	0名	
	4 痲疹型疥癬																											0名	0名	
	5 マイコプラズマ感染症																											0名	0名	
	6 結核																													
	7 新型コロナウイルス								1名	2名	0名	4名										3名	0名	16名	13名			20名	19名	
感下が二健康な人に感染し、抵抗力に低下を起す	8 メシチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (MRSA)																											0名	0名	
	9 緑膿菌感染症																												0名	0名
予血る感染を媒介して感染	10 肝炎 (B型)																											0名	0名	
	11 肝炎 (C型)																											0名	0名	
	12 HIV感染症																											0名	0名	
その他の感染症	13 クロストリジウム・ ディフィシル腸炎																											0名	0名	
	14 カルバペネム耐性腸内細菌 科細菌感染症																											0名	0名	
	15																											0名	0名	
	16																											0名	0名	
	17																											0名	0名	
	18																											0名	0名	
	19																											0名	0名	
	20																											0名	0名	
合 計		0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	2名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	0名	16名	13名	0名	0名	20名	19名		

令和5年度

見学・実習等受入れ状況

受入 年月日	摘 要
令和 5.8.10 ～ 9.3 (12日間)	【実習】 兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科「ソーシャルワーク実習Ⅱ」 兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 3回生 矢尾 瑞 基
8.10 ～ 9.11 (24日間)	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科「相談援助実習」 兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 3回生 石 田 夢 和
8.18 22 (5日間)	兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科 「給食管理臨地実習」 3回生 小石原 愛 3回生 藤 木 泉 実
8.21 ～ 25 (5日間)	兵庫県立農業高等学校 生物工学科 2年生 谷 口 夕 梨 子 夏季インターシップ(職業体験)
9.11 15 (5日間)	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校 1年生 稲 毛 乙 葉 介護福祉士コース
10.6 ～ 12.1 (8日間)	神戸学院大学総合リハビリテーション学部社会リハビリテーション学科 「ソーシャルワーク入門実習」 社会リハビリテーション学科 3回生 藤 井 聖 樹 3回生 生 田 歩 夢
5.8.19 20 6.3.4 ～ 7 (6日間)	兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科「ソーシャルワーク実習Ⅰ」 兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科 1回生 河 野 光 希 1回生 白 川 瑠 奈 1回生 岳 田 大 輝 1回生 塚 北 奈 菜 子 1回生 濱 田 妙 1回生 松 本 侑 己 1回生 山 口 萌々寧

令和5年度

ボランティア稼働実績

稼働 年月日	摘 要
5.11.6 ～ 11.10 (5日間)	【トライやるウィーク】 平野中学校 2名 押部谷中学校 3名
5.11.14 28 12.12 26 6.1.9 23 2.13 27 3.12 26	【デイサービスセンターさくらさくレクリエーションボランティア】 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名 レクリエーションボランティア 1名
	個人・・・10回 延べ10名
5.8.1 .9.1 10.1 11.1	【法人減免】 多床室 : 1件 ユニット型 : 1件 ユニット型 : 1件 ユニット型 : 1件

令和5年度

事業報告書

櫻ホーム西神 診療所

〈基本理念〉

- ① 公益的事業の積極的取組み
- ② 人権を擁護する
- ③ 発達支援・自立支援に向けたサービスの確立
- ④ 医療・教育・福祉の連携強化
- ⑤ 地域社会との共生

本年度は、当法人の基本理念に基づき本事業を実施した。

本年度の事業運営状況は、延べ診察数が利用者7,367名、職員4名の計7,371名であり、目標収入予算額14,000千円に対して、4,983千円減の9,017千円であり、予算収入から大幅な減収となった。入居者及び利用者への治療と施設職員の診察に積極的に取り組むことができなかったことが要因であり、診療所としての機能を適正に活用できるように必要な検査や検査結果に基づく必要な治療を明確にすること及び毎月の目標数を明確にすることで、安定した事業運営を継続させるために必要な収入の確保に努めなければならない。

1 事業目的

地域貢献及び地域に根差した施設となることを目的に常勤医師を配置し、保険医療機関として地域予防医療に取り組んだ。

また、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神（空床利用ショート含）及び地域密着型特別養護老人ホーム櫻ホーム西神入居者、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくの利用者に対し、必要な診療を行うとともに、日々の健康管理により、健康の維持、増進を図った。

2 事業の実施主体

社会福祉法人桜谷福祉会

3 事業所名及び所在地等

- ① 事業名称 櫻ホーム西神診療所
- ② 事業所在地 兵庫県神戸市西区月が丘1丁目41番12号
- ③ 診療科 内科
- ④ 事業連絡先 078-995-7145

4 診療日及び診療時間

診療時間	日	月	火	水	木	金	土
午前 10:00～12:00	—	○	—	○	○	○	○
午後 13:00～15:00	—	○	—	○	○	—	○

5 地域医療の展開

地域の頼れる健康相談所となるよう、健康講座の開催地域の予防医学に取り組むことを目指したが、健康講座の開催計画を明確に作成することができなかったことにより、地域貢献事業の活性化につなげることができなかった。次年度は、明確な健康講座等の開催計画を作成し、計画に基づき、地域貢献事業の活性化に努めたい。

6 施設入居者及び利用者の健康管理

入居者及び利用者の健康状態を管理し、一人一人が快適な生活を送ることができるよう、必要な指導を行ったが、入居者が入院につながるケースが多かった。次年度は、診療所として可能な検査や治療を積極的に行うことで、入居者の適正な入院管理に努める。

感染症対策について、本年度は特別養護老人ホームで2回、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくで1回、新型コロナウイルスのクラスター化となった。特別養護老人ホーム櫻ホーム西神では、適切な治療をすることで入居者については重症化することがなかったため、年間ベッド稼働率への影響は最小限にとどめることができた。しかし、認知症対応型デイサービスセンターさくらさくについては、クラスター化を止めることができず、利用者による利用控えのうえ、新規利用者確保についても思うようにいかなかったため、年間稼働率が激減し、予算達成することはできなかった。

7 施設職員の健康管理

施設職員の健康維持を図るため、日頃の健康指導及び必要な診察を行うことを目標に掲げたが、職員の新型コロナウイルス対応及び阪神地区事業所職員のインフルエンザの予防接種を実施するだけの最低限の対応しかできなかった。次年度は、積極的に施設職員の診察に取り組むことに努めたい。

8 安定した事業運営への取組み

予算で設定された収入の確保について、入居者及び利用者への治療と施設職員の診察に積極的に取り組むことができなかった結果、特別養護老人ホーム櫻ホーム西神での新型コロナウイルスのクラスター化への対応となった令和 6 年 2 月だけ月間の目標予算収入を確保することができたが、それ以外の月は月間の目標予算収入を大幅に達成できず、予算収入から大幅な減収となった。次年度は、診療所としての機能を適正に活用できるように必要な検査や検査結果に基づく必要な治療を明確にすること及び毎月の目標数を明確にすることで、安定した事業運営を継続させるために必要な収入の確保に努める。これらのことを踏まえ、次年度は診療所の現状の把握と課題・問題点の整理を行い、経営の正常化に向けての改善策等について検討することを目的として、毎月診療所運営会議を開催する。

9 新規個別指導

保険医療機関として事業を開始したことにより、近畿厚生局長より令和 5 年 10 月 20 日付近厚発 1020 第 3 号にて令和 5 年 11 月 20 日に新規個別指導の実施の通知があり、令和 5 年 11 月 20 日に近畿厚生局兵庫事務所において近畿厚生局と兵庫県による新規個別指導が実施された。

令和 5 年 11 月 20 日に実施された新規個別指導の結果について、近畿厚生局長より令和 5 年 12 月 12 日付近厚発 1212 第 13 号にて結果について通知があった。

まず、電子カルテの運用について、医師以外の職員が代行入力する規定がなかったにも関わらず、代行入力を行っていたことを指導されたことを受け、令和 5 年 12 月 1 日付にて「櫻ホーム西神診療所における電子保存に関する運用管理規程」医師以外の職員が代行入力することが可能となるように改正した。また、届出事項の不備があった内容に対しては、令和 5 年 12 月 8 日付桜谷福発第 183 号及び 184 号にて神戸市長及び近畿厚生局長宛へ届出を行った。

なお、令和 5 年 12 月 12 日付近厚発 1212 第 13 号において、診療録及び診療報酬明細書の記載が不適切であるとの指摘を受け、診療録と診療報酬明細書の傷病名の見直しを行った。

今後は、「保険医療機関及び保険医療養担当規則」等に基づいた保険診療の質的向上及び適正化を図るため、診療録への適切な記載及び電子カルテの適正な運用に努めなければならない。